# （仮称）小町の館建築工事

## （建築工事）

# （仮称）小町の館建築工事

## （建築工事）

[redacted]

図面リスト

| 番　号 | 図　面　名　称 | 縮　尺 |
|---|---|---|
| Ａ－０１ | 建築工事特記仕様書（１） | |
| Ａ－０２ | 建築工事特記仕様書（２） | |
| Ａ－０３ | 建築工事特記仕様書（３） | |
| Ａ－０４ | 配　置　図・案　内　図 | S=1:500・800 |
| Ａ－０５ | 面　積　計　算　書 | S=1:100 |
| Ａ－０６ | 法規チェック図 | S=1:100 |
| Ａ－０７ | 仕　　上　　表 | |
| Ａ－０８ | 平　　面　　図 | S=1:100 |
| Ａ－０９ | 屋　根　伏　図 | S=1:100 |
| Ａ－１０ | 立　　面　　図 | S=1:100 |
| Ａ－１１ | 断　　面　　図 | S=1:100 |
| Ａ－１２ | 矩　計　図（１） | S=1:30 |
| Ａ－１３ | 矩　計　図（２） | S=1:30 |
| Ａ－１４ | 矩　計　図（３） | S=1:30 |
| Ａ－１５ | 平面詳細図（１） | S=1:50 |
| Ａ－１６ | 平面詳細図（２） | S=1:50 |
| Ａ－１７ | 平面詳細図（３） | S=1:50 |
| Ａ－１８ | 展　開　図（１） | S=1:50 |
| Ａ－１９ | 展　開　図（２） | S=1:50 |
| Ａ－２０ | 展　開　図（３） | S=1:50 |
| Ａ－２１ | 展　開　図（４） | S=1:50 |
| Ａ－２２ | 展　開　図（５） | S=1:50 |
| Ａ－２３ | キ　ー　プ　ラ　ン | S=1:100 |
| Ａ－２４ | 建　具　表（１） | S=1:50 |
| Ａ－２５ | 建　具　表（２） | S=1:50 |
| Ａ－26-1 | 建　具　表（３） | S=1:50 |
| Ａ－26-2 | 家　具　表 | S=1:30・50 |
| Ａ－２７ | 天　井　伏　図 | S=1:100 |
| Ａ－２８ | 筋違い・金物位置図 | S=1:150 |
| Ａ－２９ | ソイルセメントコラム地業特記仕様書 | |
| Ａ－３０ | ソイルセメントコラム地業伏図 | S=1:100 |
| Ａ－３１ | 基　礎　伏　図 | S=1:30・100 |
| Ａ－３２ | 床　　伏　　図 | S=1:100 |
| Ａ－３３ | 小　屋　伏　図 | S=1:100 |
| Ａ－３４ | 撤　去　詳　細　図 | S=1:30・50・200 |
| Ａ－３５ | 外　構　計　画　図 | S=1:30・200 |

# 建築工事特記仕様書

## Ⅰ 工事概要

1 工事名　(仮称)小町の館建築工事（建築工事）
2 工事場所　湯沢市小野字二ツ森149-2・他
3 敷地面積　5,560.21㎡
4 構造規模　木造平家建

| 棟名称 | | | |
|---|---|---|---|
| 構造 | 木造 | | |
| 階数 | 1 | | |
| 建築面積 | 674.20㎡ | | |
| 延べ床面積 | 630.13㎡ | | |

・垂直積雪量（m）　・風速（ＶＯ）
・地表面粗度区分

5 建物用途　建築基準法による用途：（物販店舗）

## Ⅱ 建築工事仕様

1．図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成22年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。
2．特記仕様書の適用等
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）内の表示番号は、本標準仕様書の当該項目、当該図面又は当該表を示す。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ①. 適用基準等 | ※秋田県建築工事監督実施要領（秋田県建設交通部監修）（平成16年版）<br>※秋田県建築工事施工管理要領（秋田県建設交通部監修）（平成16年版）<br>※工事写真の撮り方（建築編第２版）（建設省大臣官房官庁営繕部監修） |
| | 2．工事実績情報の登録 | ※　適用する　・適用しない　(1.1.4) |
| | 3．概成工期 | 工事工期より　日前　(1.2.1) |
| | 4．電気保安技術者 | ・　適用する　※　適用しない　(1.3.3) |
| | ⑤. 施工条件 | ・図示　・工事補足説明事項　(1.3.5)<br>関連工事による施工時期の調整　⊙有（内容：外構工事　）・無　(1.3.5)<br>施工時期・時間の制限　※指定しない　・<br>部位別施工順序　※指定しない　・図示による<br>工事用車両の駐車場所　⊙有（打合せによる）　・無<br>資機材置場所　⊙有（打合せによる）　・無<br>関係機関等との協議の未成立事項　・有（内容：　）<br>⊙無<br>関係機関等との協議結果　・有（内容：　）<br>⊙無 |
| | ⑥. 施工中の安全確保及び環境保全 | ※「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（平成9年建設省告示第1536号）」に基づき、指定された建設機械を使用する。　(1.3.7)<br>※「建設機械に関する技術指針（平成3年建設省通知第247号）」に基づき、指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。　(1.3.7) |
| | ⑦. 発生材の処理等 | ⊙特定建設資材廃棄物の発生材の処理　(1.3.8)<br>種類：再資源化等をする施設名・住所・搬出距離（km）<br>建設発生土：<br>コンクリート塊：（株）湯沢ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ　湯沢市山田字四ツ屋1　7km<br>アスファルト塊：同上<br>建設発生木材：同上<br>・特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理　(1.3.8)<br>種類：処分施設名・住所・搬出距離（km）<br>・引き渡しを要するもの　(1.3.8)<br>・現場再利用発生材　(1.3.8)<br>・本工事では、秋田県建設副産物対策に係わる取扱い要領に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完成時に同計画書の実施書を監督員に提出するものとする。　(1.3.8)<br>⊙本工事で発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、秋田県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理するものとする。 |
| | ⑧. 交通安全管理 | 関係機関との協議　(1.3.9)<br>⊙必要（関係機関：道の駅おがち　）　・必要なし<br>交通誘導員<br>・配置する（・警備業法第18条に規定する特定の種別の警備業務　・任意）<br>（　ヶ月×　人）<br>⊙配置しない<br>特定の種別の警備業務は、警備員等の検定等に関する規則（平成17年国家公安委員会規則第20号）及び秋田県公安委員会告示第144号（平成18年10月6日）による。 |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ⑨. 建築材料等 | 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、以下のいずれかに該当するものとする。<br>1　ＪＩＳ及びＪＡＳマーク表示のある材料<br>2　エコマーク認定製品（（財）日本環境協会）<br>3　秋田県認定リサイクル製品<br>4　建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新年版）（（社）公共建築協会）（以下「評価名簿」という。）に記載の製品<br>5　上記以外のもので以下の(1)～(6)の事項を満たすもの<br>(1)　品質及び性能に関する試験データが整備されていること。<br>(2)　生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。<br>(3)　安定的な供給が可能であること。<br>(4)　法令等で定める許可、認定又は免許を取得していること。<br>(5)　製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。<br>(6)　販売、保守等の営業体制が整えられていること。<br>なお、5の材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は、外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出をして承諾をうけるものとする。<br>また、備考欄に商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受けること。 |
| | ⑩. 化学物質を放散する建築材等 | 工事に使用する化学物質を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。<br>(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDFパーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(3)接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(5)(1)、(3)及び(4)の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br><br>設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。<br>・ホルムアルデヒドの放散量が規制対象外の場合、該当する建築材料<br>(1)ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品<br>(2)建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品<br>(3)下記表示のあるＪＡＳ規格品<br>ア　非ホルムアルデヒド系接着剤使用<br>イ　接着剤等不使用<br>ウ　非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用<br>エ　ホルムアルデヒドを使用しない塗料等使用<br>オ　非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用<br>カ　ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用<br>・ホルムアルデヒドの放散量が第３種の場合、該当する建築材料<br>(1)ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆規格品<br>(2)建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品<br>(3)旧ＪＩＳのE0規格品、旧ＪＡＳのＦC0規格品 |
| | ⑪. 特別な材料の工法 | 建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法によるものとする。 |
| | ⑫. 技能士 | ※適用する。　・適用しない。　(1.5.2)<br>適用職種　（一級、単一等級の職種作業）　鉄筋工事（⊙鉄筋施工）<br>コンクリート工事（⊙型枠施工）　鉄骨工事（・鉄工・とび）<br>ブロック他工事（・ブロック建築・ＡＬＣパネル施工）　防水工事（⊙防水施工）　タイル工事（⊙タイル張り）　木工事（⊙建築大工）<br>屋根およびとい工事（⊙建築板金・かわらぶき・スレート施工）<br>左官工事（⊙左官）　金属工事（・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工・内装仕上げ施工（鋼製下地））　建具工事（・サッシ施工・ガラス施工）　塗装工事（⊙塗装）　内装工事（⊙表装・内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等））<br>石工事（⊙石材施工）　造園工事（・造園） |
| | ⑬. 化学物質の濃度測定 | 次の室の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告すること。　(1.5.9)<br>・測定対象化合物質<br>ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン<br>・測定対象室<br>測定対象室は、次の①から⑦とし、それぞれ１室以上を測定する。<br>①事務室　②会議室　③上級室　④休憩室　⑤居住室・宿泊室<br>⑥研究室などその他の主要室　⑦書庫、倉庫など常時換気しない室<br>測定対象室ごとに２室以上ある場合は、建築材料等の仕様が大きく異なる室ごとに測定を行う。<br>・測定箇所数<br>測定箇所数は、次による。また、全ての測定箇所においてモルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンの濃度を同時に測定する。<br>室の床面積Ａ(㎡)：Ａ≦50 / 50＜Ａ≦200 / 200＜Ａ≦500 / 500＜Ａ<br>測定箇所数：1 / 2 / 3 / 4<br>・測定方法<br>測定は、パッシブ型採取機器を用いる。<br>採取機器、及び採取要領については監督員の指示による。 |
| | ⑭. 完成図書等 | ・電子納品対象工事にあたっては、この欄を適用せず「16 電子納品等」によること。<br><br>完成図面はＡ４版に製本（黒表紙、金文字）して１部提出するほか、~~設計図をマイクロフィルム化してアパッチャーカードに添付したものを完成検査後すみやかに提出すること。~~　(1.7.1)<br>完成図書に綴じこむもの<br>・施工図　・構造計算書　※主要資材メーカーリスト　※保証書<br>※保守、保全に関する説明書　⊙その他監督員の指示するもの<br>添付するもの<br>※Ａ３番縮小原図（配置図、平面図、立面図、仕上表、一般断面図）とする。<br>※アパッチャーカード色（・県有：ブルー　・教育庁：グリーン） |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ⑮. 工事写真 | ・電子納品対象工事にあたっては、この欄を適用せず「16 電子納品等」によること。<br>工事中、完成時ともカラー写真とする。　(1.7.1)<br>分類：規格：撮影箇所：提出部数<br>着工前：サービス版：工事写真の撮り方建築編：２部<br>工事中：サービス版：工事写真の撮り方建築編：２部<br>完成時：⊙サービス版・キャビネ版：工事写真の撮り方建築編：２部<br>同上：部<br>営繕年報用：・キャビネ版：外部１枚、内部１枚：部<br>この表のほか監督員が必要と認め、指示した箇所及び部数。また、上記の写真はデジタル写真も可とし、その仕様等は監督員の指示による。 |
| | 16. 電子納品等 | ※電子納品対象工事　・電子納品対象外工事<br>完成図書等電子データの提出方法<br>※秋田県公共事業共有統合データベースシステム(以下、システムという)への登録<br>・その他（　）<br>ＣＤ－Ｒによる提出<br>※　不要　・　必要（　部）<br>電子納品対象工事にあっては、請負者は、次により電子納品を行うものとする。ただし、監督職員の承諾があった場合はこの限りでない。<br>(1)工事写真及び完成図書等の取扱いは「営繕工事電子納品要領（案）【平成14年11月国土交通省大臣官房官庁営繕部】(以下、「要領」という。)による。<br>「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定するものとする。<br>(2)電子納品とは調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することを言う。<br>(3)電子データとは、「要領」に締めさて多ファイルフォーマットに基づいて作成されたものをいう。<br>(4)工事写真は、国土交通省「デジタル写真管理情報基準(案)」に基づくこと。<br>(5)回線等の都合により、電子成果品の全部または一部がシステムに登録できず、CD-Rにより納品された場合については、監督員等が納品物をシステムに登録するものとする。また、システムにすべて登録されたもののうち、会計実地検査において成果品の提出を求められることがある案件については、CD-Rでの提出は不要とする。<br>(6)電子納品の運用にあたっては、「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）等の運用について（秋田県）」を参考にすること。<br>(7)設計監理業務として行う営繕年報作成のため、工事着元情報の提供に協力すること。 |
| | 17. 設備工事との取合い | 施工範囲<br>種別：区分：電気：機械：建築<br>梁・床・壁貫通部：補強：：：●<br>：スリーブ：●：●：<br>壁埋込型器具類：補強：：：●<br>：仮枠：●：●：<br>天井埋込型器具類下地：切込：：：●<br>：補強：：：●<br>：墨出し：●：●：<br>別途機器への接続：：●：●：<br>防火戸：自動開閉装置：●：：<br>：開閉装置：：：●<br>電動ｼｬｯﾀｰ 自動扉：二次配線・操作ｽｲｯﾁ：：：●<br>：二次配管：●：：<br>軽量鉄骨壁の機器取付け用の補強：●：●：<br>吊ボルト用インサート：●：●：<br>機械室電気室等の設備機器の基礎：：：●<br>機械室電気室等の設備ピット（蓋含む）：：：●<br>自立型制御盤の基礎：：：●<br>自立型アンテナの基礎：：：●<br>床点検口、天井点検口：：：●<br>消火水槽用マンホール：：：●<br>※施工図<br>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。 |
| | 18. かし点検 | ※適用する　・適用しない<br>契約事項によるかし担保期間満了前にかし点検を行うので請負者は立ち会うこと。 |
| | 19. 環境への配慮 | 秋田県は県の事務事業において、環境にやさしい行動が定着することを目指し、環境に与える負荷を低減する取り組みを継続的に推進するためISO14001の認証を取得している。請負者は監督職員と協議を行い、県の定めるISO14001環境方針の基本理念、基本方針を具体的に公共事業に反映させるよう努めなければならない。<br><br>秋田県庁環境方針<br>1　基本理念<br>資源やエネルギーの大量消費などを伴う都市化の進展や生活様式の変化は、生活の利便性を高める一方で環境への負荷を増大させ、地域の環境のみならず、地球全体の環境そのものに影響を与えています。<br>今こそ私たちは、自らの日常生活や経済活動のあり方を見つめ直し、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会の構築に向け、県民・事業者・行政が協働して、自主的かつ積極的に環境の保全に取り組む必要があります。<br>このため、秋田県庁では、事業者、消費者の立場で自ら率先して環境への負荷の低減に取り組む足がかりとして、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、職員一人ひとりの実践を通じて、環境への負荷の少ない持続的発展の可能な循環型社会の実現を目指します。<br>2　基本方針<br>秋田県庁は自らが行う事務事業活動が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、次の方針に基づき積極的に行動します。<br>(1)総合的な環境保全施策の推進<br>「自然と人との共生、環境への負荷の少ない循環を基調とした社会の構築、地球環境保全への積極的な取り組み、環境保全へ向けての全ての主体の参加」を基本としながら、秋田県環境基本計画に掲げる環境保全施策について環境目的・目標を定め、推進に努めます。 |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| | | (2)事業活動における積極的な環境配慮の実施<br>公共事業等の事務事業の実施に当たっての環境配慮方針を基に環境目的・目標を定め環境負荷の低減に努めます。<br>(3)秋田県庁環境保全率先実行計画の推進（省略）<br>(4)環境関連法規等の遵守<br>環境に関する法令、条例、協定、その他の合意事項を遵守し、環境予防に努めます。<br>以上の取り組みを確実なものとするため、環境マネジメントシステムを導入して定期的な見直しを行い、継続的な改善を図ります。<br>また、環境方針及び環境目的・目標の達成状況は、庁内外に公表し、誰もがその情報を入手できるようにします。<br><br>平成12年8月8日　秋田県知事 |
| | 20. 発注者が実施する調査等に対する協力 | 当該工事が公共事業労務費調査等の対象工事となった場合には、調査に協力しなければならない。 |
| ②仮設工事 | ①. 仮設足場 | 外部足場　※枠組足場（※手すり先行工法　・その他）<br>（枠組足場において手すり先行工法による場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成15年4月策定）」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立等の基準」によるものとする） |
| | ②. 監督員事務所 | ※設ける　⊙設けない　(2.3.1)<br>・10㎡程度　・20㎡程度　・35㎡程度　・65㎡程度　・100㎡程度<br>・請負者事務室の中に監督員用スペース　㎡程度確保する。<br>備品は下記のものを備える。<br>机、いす、書棚、黒板、ゴム長靴、雨合羽、保安帽、安全帯、冷暖房機器<br>その他監督員の指示するもの |
| | ③. 工事用水及び電力 | 工事用水　構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)<br>⊙利用できない<br>工事用電力　構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）<br>⊙利用できない |
| | ④. 工事表示板の設置 | 監督員が指定する位置に一箇所設置する。<br>表示時期は工事着工時から完成時までとする。<br>表示板の形式<br>建築工事の表示<br>工事名称：(仮称)小町の館建築工事（建築工事）<br>構造・規模：木造平家建　延べ床面積 630.13㎡<br>工事期間：平成　年　月　日　～　平成　年　月　日<br>建築主：<br>設計者：みらい設計一級建築士事務所　代表　高橋一秀<br>工事監督者：<br>工事施工者： |
| | 5．工事概要の表示 | ・表示する。　※表示しない。<br>建物のイメージがわかるようパース等を活用して表示する。<br>（サイズ1.800×900　カラーコピーラミネート加工程度）<br>注１　表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。<br>２　地色は、マンセル記号１ＧＹ7.5/8とし黒文字（角ゴシック）で表現する<br>３　建築主は、契約担当者名とすること。<br>４　表示板の大きさ<br>※１号　(横180cm×縦 90cm)　・２号　(横240cm×縦120cm)<br>・３号　(横360cm×縦180cm)　・その他（　） |
| ③土工事 | ①. 埋戻し及び盛土の種別 | 種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)(表3.2.1)<br>建設発生土受入数量　＿＿＿＿m3<br>発生場所　＿＿＿＿<br>受入条件　＿＿＿＿ |
| | ②. 建設発生土の処理 | ・構外指示の場所に搬出する（搬出先は特記1.3発生材の処理による）(3.2.5)<br>・構内指示の場所にたい積する。<br>⊙構内指示の場所に敷きならす。 |
| | 3．山留めの撤去 | ＿＿＿＿　(3.3.3)<br>＿＿＿＿ |
| ④地業工事 | 1．載荷試験 | 試験方法及び報告書は敷地調査共通仕様書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)による。　(4.2.3)(4.2.4)<br>・杭載荷試験　箇所　最大荷重　t<br>・平板載荷試験　箇所　最大荷重　t　試験する深さ　設計ＧＬ－　m |
| | 2．既製コンクリート杭地業 | 杭の種類　(4.3.2)<br>・高強度プレストレストコンクリート杭（ＪＩＳ規格品）<br>・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種<br>・高強度プレストレストコンクリート杭（評価品）　種<br>・＿＿＿＿<br>継手　※アーク溶接継手　・無溶接継手　(4.3.6)(4.4.4)<br>先端部形状　・閉そく平たん　径　・開放型　(4.3.2)(4.4.2)<br>杭の施工法<br>・掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ現地盤　－　m　(4.3.3)<br>オーガー径杭径　－５０mm程度　(4.4.3)<br>・特定埋込杭工法（建築基準法の規定に基づき認定された工法）　(4.3.5)<br>・セメントミルク工法　(4.3.4)<br>杭打機の種類<br>ハンマーの種別　・低騒音型油圧パイルハンマー　・ドロップハンマー<br>低騒音型油圧パイルハンマーの仕様<br>建設技術評価規定（昭和53年建設省告示第976号）に基づき評価されたもの、又は低騒音型油圧パイルハンマー施工研究報告書（昭和59年9月（財）国土開発技術研究センター）に記載されたもの。<br>パイルドライバー　※三点支持式クローラークレーン<br>騒音・振動の測定　・　行う　※行わない |
| | 3．鋼杭地業 | 鋼杭の種類　※鋼管杭　・Ｈ形鋼杭　(4.4.2)<br>先端形状　・閉そく平たん径　※開放型　(4.4.2) |

Title: (仮称)小町の館建築工事（建築工事）
Scale:
NO: A-01
建築工事特記仕様書（１）

## ④ 地業工事

4. 既製コンクリート杭地業　コンクリートの種別　・A種　・B種　(4.5.3)
掘削工法　・アースドリル工法　※安定液使用　(4.5.4)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張り　※行う　・行わない)

⑤. 砂利及び砂地業　※再生クラッシャラン（※厚さ60m/m　⊙厚さ120m/m)　(4.6.3)

⑥. 床下防湿層　※設ける　・設けない　(4.6.6)

⑦. 地盤改良　※行う（ソイルセメントコラム地業）
・行わない

## ⑤ 鉄筋工事

①. 鉄筋の種別　(5.2.1)

| 規格名称 | 種類の記号 | 径 (mm) |
|---|---|---|
| 鉄筋コンクリート用棒鋼 | ※SD295A | ※　D16以下　・ |
| | ※SD345 | ※　D19以上　・ |

②. 溶接金網　ＪＩＳ規格品（網目形状　、寸法　、鉄線径　）　(5.2.2)

③. 鉄筋の継手　※ガス圧接（柱・梁の主筋）　※重ね継手　・特殊な鉄筋継手　(5.3.4)

④. 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ　(5.3.5)

| 施工箇所 | 表5.3.6の値に加える寸法(mm) |
|---|---|
| | |

⑤. 圧接完了後の試験　試験方法　※超音波探傷試験　・引張試験　(5.4.9)

⑥. 特殊な鉄筋継手　・機械式継手（種類　）　・溶接継手　(5.5.2)

⑦. 各部配筋　杭頭補強　・A形　・B形　・図示　(別図1.1)(図1.1)
柱の帯筋　※H形　・W－1形　・SP形　・丸形　(別図2.2)(図2.2)
壁開口部補強　・A形　※B形　(別図4.2)(図4.3)
片持ちｽﾗﾌﾞ補強※D10-100@ﾀﾞﾌﾞﾙ　・図示　(別図5.2)(図5.7)
梁貫通補強　・M形　・MH型　(別図7.1)(図7.1)
・旧建設省の技術評価又は日本建築ｾﾝﾀｰの評価を取得した既製品

## ⑥ コンクリート工事

①. コンクリートの種類　(6.1.3)
※普通コンクリート　・軽量コンクリート
使用材料、施工条件、要求性能等の適用箇所
・あり　※なし
特殊な性能要求におけるコンクリート
・あり　※なし

②. 設計基準強度　※普通コンクリート（N/mm2)　(6.1.4)

| 設計基準強度 | 施工箇所（構造体コンクリート） |
|---|---|
| ※　２１ | 布基礎・土間コンクリート |
| ・ | |

③. レディーミクストコンクリート　種別　※　Ⅰ類　・　Ⅱ類　(6.1.5)

④. 打放し仕上げの種類　合板せき板を用いる打放し仕上げの種別　(6.2.5)

| 種別 | 施工箇所 |
|---|---|
| ・　Ａ　種 | |
| ※　Ｂ　種 | 図示の範囲 |
| ・　Ｃ　種 | |

⑤. セメントの種類　・普通ポルトランドセメント・混合セメントA種・その他　(6.3.2)

⑥. 型枠　せき板の種類　(6.9.3)
※合板（厚さ　※12m/m　・　m/m)　・断熱材兼用型枠材
・床型枠用鋼製デッキプレート　・MCR工法用シート

| 種類 | 施工箇所 |
|---|---|
| | |

7. 軽量コンクリート　(6.11.1)

| 種別 | 適用箇所 | 所要気乾単位容積質量（t／m3) |
|---|---|---|
| ・1種 | | |
| ・2種 | | |

8. 寒中コンクリート　適用期間　月　～　月　(6.12.2)

⑨. 無筋コンクリート　(6.14.1)

| 設計基準強度 | 施工箇所 |
|---|---|
| ※18 | 捨コン |
| ・ | |

10. コンクリートの追加品質管理　※適用する　・適用しない
追加品質管理の方法及び適用基準等は「建築物に用いるコンクリートの品質確保の取扱通知（平成18年3月30日付け営第1628号)」による。

## ⑦ 鉄骨工事

1. 鉄骨の製作工場　※建築基準法第68条26第1項の規定に基づき国土交通大臣が認定した製作工場で全国鐵鋼工業協会で行う性能評価区分が次の工場とする。　(7.1.3)
・Hグレード　・Mグレード　・Rグレード　・Jグレード
・旧建設省課長通達第220号による溶接作業条件判定要領（判定基準）に適合する作業工場で監督員が承諾した工場。

2. 施工管理技術者　※適用する　・適用しない　(7.1.3)

3. 鋼材の種別　(7.2.1)

| 材質 | 規格等 |
|---|---|
| ＳＳ400 | ・規格品（JISG3101)　・7.2.10(a)に合格するもの |
| ＳＮ400 | ・規格品（JISG3136)｜ |
| ＳＮ490 | ・規格品（JISG3136) |
| ＳＳＣ400 | ・規格品（JISG3350)　・7.2.10(a)に合格するもの |
| ＳＴＫ400 | ・規格品（JISG3444)　・7.2.10(a)に合格するもの |
| ＳＴＫＲ400 | ・規格品（JISG3466)　・7.2.10(a)に合格するもの |

形状、寸法は図示による。

4. 高力ボルト　(7.2.2)

| ボルト種別 | セットの種類 |
|---|---|
| ※トルシア形高力ボルト | ※２種(S10T)　・ |
| ・ＪＩＳ形高力ボルト | ※２種(F10T)　・ |
| ・溶融亜鉛メッキボルト | ※１種(F8T)　・ |

5. アンカーボルト　(7.2.4)(7.10.3)

| 種類 | 材質 | 適用箇所 | 保持及び埋込方法 |
|---|---|---|---|
| ・構造用 | ※SNR400 | ・ | ※図示による |
| | | ・ | ・ |
| ・建方用 | ※SS400 | ・ | ・A種 |
| | ・ | ・ | ※B種 |
| | | | ・C種 |

6. 柱底均しモルタル　(7.2.9)(7.10.3)

| 種別 | 適用箇所 | 柱底均しモルタル材料 |
|---|---|---|
| ※Ａ　種 | | ※無収縮モルタル評価名簿による |
| ・Ｂ　種 | | |

7. 鉄骨製作精度　※「建築工事標準仕様書6鉄骨工事(JASS6)」付則6「鉄骨精度検査基準」による。

8. 溶接接合　溶接部の試験　(7.6.11)

| 試験の種別 | ＡＯＱＬ | 検査水準 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ※超音波探傷試験 | ※4.0%　・2.5% | ※6水準　・ | 二回抜き取り |

9. 耐火被覆　(7.9.2)(7.9.4～6)

| 種　別 | 材料及び工法 | 備　考 |
|---|---|---|
| ・ラス張モルタル | 15章2節による | |
| ・耐火吹付け材 | 建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの | |
| ・耐火板張り | 建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの | |

10. 溶融亜鉛めっき　亜鉛めっきの種別　(7.12.3)(14.2.3)

| 種別 | 適用箇所 |
|---|---|
| ※Ａ種 | |
| | |

## ⑧ ＣＢ・ＡＬＣ押出成形板工事

①. ブロック　・耐力壁（※空洞ブロック16　・　）　(8.3.2)
・帳壁等（※空洞ブロック16　・　）
⊙衛生配管用裏積等（※空洞ブロック08　・　）

2. ＡＬＣパネル　(8.4.4～6)

| 使用箇所 | 工法種別 | 材料厚さ等 |
|---|---|---|
| ・外壁 | ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 | |
| ・間仕切壁 | ・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ種 | |
| ・屋根・床 | | |

3. 押出成形セメント板　(8.5.4～5)

| 使用箇所 | 工法種別 | 材料厚さ等 |
|---|---|---|
| ・外壁 | ・Ａ種　・Ｂ種 | |
| ・間仕切壁 | ・Ｂ種　・Ｃ種 | |
| | | |

## ⑨ 防水工事

1. アスファルト防水　(9.2.2)(9.2.3)

| 種　別 | 施　工　箇　所 |
|---|---|
| ・Ａ１－２ | |
| ・ | |
| ・ | |
| ・ | |

アスファルトの種類※３種　(9.2.2)
(9.3.3)

2. 改質アスファルトシート防水

| 種　別 | 施　工　箇　所 |
|---|---|
| ・ＡＳ－１ | |
| ・ＡＳ－２ | |

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.3)

| 種　別 | 施　工　箇　所 | 仕上塗料（露出） |
|---|---|---|
| ・ＳＦ１ | | |
| ・ＳＦ２ | | |
| ・ＳＭ１ | | |
| ・ＳＭ２ | | |
| ・ＳＭ３ | | |

4. 塗膜防水　(9.5.3)

| 種　別 | 施　工　箇　所 | 仕上塗料（露出） |
|---|---|---|
| ・ウレタン塗膜防水 | Ｘ－ | |
| ・ゴムアスファルト系塗膜防水 | Ｙ－ | |

⑤. シーリング　・接着性試験（※簡易接着性試験　・引張接着性試験）　(9.6.5)

6. 施工票　屋根防水法事完了後は、仕様、施工業者名、完成年月日を記載した施工票を監督員の指示する位置に取り付ける。

85cm
| 仕　様 | |
|---|---|
| 完成年月日 | |
| 施　工　者 | |

125cm

## ⑩ 石工事

①. 石　材　(10.2.1)(10.5.2)

| 石材の種類 | 品　質 | 施工箇所 | 工法 | 産地・名称 | 仕上の種類 |
|---|---|---|---|---|---|
| 御影石 | | 外部柱脚 | | | 本磨き |
| ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ | | トイレ腰板 | | | |
| | | | | | |

## ⑪ タイル工事

①. タイル材料　タイルの種類　(11.2.1)

| 施工箇所 | 形状寸法 (mm) | き じ 磁器 | き じ 陶器 | き じ せっ器 | うわ薬 施釉 | うわ薬 無釉 | 役物 有 | 役物 無 | 色 標準 | 色 特殊 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 床 | 100×100 | ● | | | | ● | | ● | ● | |
| 床 | 150×150 | | | ● | ● | | | ● | ● | |
| 床 | 300×300 | ● | | | | ● | | ● | ● | |
| 壁 | 150×150 | | ● | | ● | | | ● | ● | |

タイルの見本焼き　※　行わない　・　行う　(11.2.1)
磁器質タイル、陶器質タイル、せっ器質タイル（評価名簿による）

②. 張付け用材料　接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(11.2.3)

③. 陶磁器質タイル張り　下地ごしらえ　・ＭＲＣ工法　・目荒らし工法　(11.3.3)

壁タイル張りの工法　(11.3.3)

| タイルの種別 | 工法 |
|---|---|
| ⊙内装タイル | ・改良積み上げ張り |
| | ⊙接着剤張り |
| | ・ |
| ・外装タイル | ・密着張り |
| | ・改良積み上げ張り |
| | ・改良圧着張り |
| | ・ |
| ・ユニットタイル | ・マスク張り |
| | ・モザイクタイル張り |
| | ・ |

4. 陶磁器質タイル型枠先付け　外装タイルの型枠先付けの種別　(11.4.2)
・タイルシート法　・目地桟法　・桟木法

## ⑫ 木工事

①. 木　材　木材は、原則として県産材を使用する。

②. 表面仕上げ材　見え係り面の表面仕上げ　(12.1.4)

| 種別 | 施工箇所又は部分 |
|---|---|
| ・Ａ種 | |
| ※Ｂ種 | 造作材 |
| ・Ｃ種 | |

③. 木材の含水率　木材の工事現場搬入時の含水率　(12.2.1)

| 構造材、下地材 | 造作材 |
|---|---|
| ※Ａ種　・Ｂ種 | ※Ａ種　・Ｂ種 |

④. 代用樹種の使用　代用樹種を使用しない箇所　(12.2.1)
・なし　※有り（　）

⑤. 集成材等　集成材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(12.2.2)

6. 床張り用合板　合板等のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(12.2.3)

⑦. 接着剤　接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(12.2.6)

8. 防腐処理　防腐剤（環境に配慮した表面処理用防腐剤（　）　(12.2.8)
・保存処理木材（工場における加圧処理材）　(12.2.8)

9. 防蟻処理・防虫処理　・防蟻処理（　）　(12.2.9)
・ラワン材（広葉樹製材の日本農林規格による保存処理Ｋ１）　(12.2.10)

## ⑬ 屋根及びとい工事

①. 長尺金属板葺　(13.2.2)

| 材　種 | 厚さ | 屋根葺形式 | 備考 |
|---|---|---|---|
| ※JIS G3312の屋根用規格品 | | | |
| ⊙ガルバリウム鋼板 | 0.4 | 立平葺防水工法 | |
| | 0.4 | 横葺 | |

特殊工法は監督員の承諾する専門工事業者とする。

2. 折板葺　・JIS A 6514の規格品とする。　(13.3.2)

3. 粘土瓦葺　(13.4.2)

| 種　類 | 大きさ | 産　地 |
|---|---|---|
| | | |

雪止め瓦　・使用する　・使用しない
・役物瓦 _____　(13.4.2)

④. とい　といの材質等　(13.5.2)

| 材　種 | 防　露 |
|---|---|
| ※配管用鋼管 | ※13.5.3により行う　・　行わない |
| ⊙硬質塩化ビニル管 | ・ |

防露材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(13.5.2)

## ⑭ 金属工事

1. 工法　受材の取付工法　※構造体施工時の取付　・あと施工アンカー　(14.1.3)
あと施工ｱﾝｶｰの引抜き耐力の確認試験　※引張試験　・実施しない　(14.1.3)

②. ステンレス表面仕上　※ＨＬ仕上げ　・NO.2B仕上げ　(14.2.1)

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2)

| 種　別 | 施工箇所 |
|---|---|
| ・Ａ－１種 | |
| ・Ｂ－１種 | |
| ・Ｃ－１種 | |
| ・ | |

4. 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3)

| 亜鉛めっきの種別 | 施工箇所 |
|---|---|
| ・Ａ種 | |
| ・ | |

5. 軽量鉄骨天井下地　野縁などの種類　(14.4.2)
＜屋内＞　※19形　・25形　＜屋外＞　・19形　※25形

天井下地材の補強　(14.4.4)
・耐震性を考慮した補強　・屋外の軒天井、ピロティー等の補強
（各補強方法は図示による）

6. 軽量鉄骨壁下地　スタッド、ランナーなどの種類　(14.5.3)
・50形　・65形　・90形　・100形　・その他

7. 金属成形板張り　(14.6.2)

| 材種 | 製法 | 寸法 | 形状 | 表面処理等 |
|---|---|---|---|---|
| ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ | ・押出し | 板幅・ | | |
| | ・プレス | 板厚・ | | |
| | ・ロール | | | |

8. アルミニウム製笠木　部材の種類　・250形　・300形　・350形　(14.7.2)
表面処理　※Ａ－１種　※Ｂ－１種　・Ａ－２種　・Ｂ－２種　(14.7.2)

9. 手すり及びタラップ　(14.8.2)(14.8.3)

| 材質 | 表面処理の種別 |
|---|---|
| 手すり　・ステンレスSUS304 | |
| ・鋼　製 | 14.2.2の　種 |
| タラップ　・アルミ製 | |

## 15 左官工事

1. セルフレベリング材塗り　種類　※セメント系　・石膏系　(15.4.2)

②. 仕上げ塗材仕上げ　(15.5.2)(15.5.6)(表15.5.1)

| 規格名称 | 種類(呼び名) | 仕上 | 工法 | 上塗り材 |
|---|---|---|---|---|
| 薄付け仕上塗材 | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | ・ | ・ | ・ | |
| 厚付け仕上塗材(ｽﾀｯｺ) | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | ・ | ・ | ・ | |
| 複層仕上塗材 | ⊙吹付タイル | ⊙凸部処理 | ⊙吹付け | - |
| | ・ | ・ | ・ | |
| 軽量骨材仕上塗材 | ・吹付用軽量塗材 | ※砂壁状 | ※吹付け | |
| | ・こて塗用軽量塗材 | ※平坦状 | ※こて塗り | |

屋内の壁天井の仕上塗材（※防火認定材料　・非防火認定材料)　(15.5.2)
内装仕上げ塗材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(15.5.2)

3. ロックウール吹付け　ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(15.7.2)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(15.7.2)

④. 防火材料　※屋内の壁及び天井の仕上げ材は建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。　(15.5.2)

## 16 建具工事

①. アルミニウム製建具　外部に面する建具　(16.2.2)(16.2.4)

| 種別 | ⊙Ａ種 | ・Ｂ種 | ・Ｃ種 |
|---|---|---|---|
| 耐風圧性 | Ｓ－３ | Ｓ－５ | Ｓ－６ |
| 気密性 | Ａ－４ | Ａ－４ | Ａ－４ |
| 水密性 | Ｗ－４ | Ｗ－４ | Ｗ－５ |
| 枠見込寸法(mm) | 80 | 70 | 100 |

表面処理（屋外）　※Ｂ－１
Ｂ－２種の場合
・ブロンズカラー(標準色)　・ブロンズカラー(黒色)　・ステインカラー
Ｃ－２種の場合
・ブロンズカラー(標準色)　・ブロンズカラー(黒色)　・ステインカラー
鉄骨下地の溶接箇所の防錆処理　・Ａ種　・Ｂ種

②. 網戸(防虫網戸)　防虫網　⊙合成樹脂　・ガラス繊維入り合成樹脂　・ステンレス(SUS316)　(16.2.3)

③. 鋼製建具　簡易気密ドアセット　※適用する　・適用しない　(16.3.2)(16.3.3)
外部に面する建具の耐風圧性　※Ｓ－４　・Ｓ－５

4. 鋼製軽量建具　簡易気密ドアセット　※適用する　・適用しない　(16.4.2)

5. ステンレス製建具　簡易気密ドアセット　※適用する　・適用しない　(16.5.2)
外部に面する建具の耐風圧性　※Ｓ－４　・Ｓ－５
表面の仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・　(16.5.4)
鋼板の曲げ加工　※普通仕上げ　・角出し曲げ　(16.5.5)

⑥. 木製建具　建具材の含水率　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　(16.6.2)
合板のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(16.6.2)
ふすま材料　・Ⅰ型　・Ⅱ型　(16.6.2)
建具用接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(16.6.2)
建具表面板の厚さ（　mm)　(16.6.3)
⊙普通合板　・難燃合板　・特殊合板

⑦. 鍵　マスターキーの製作　⊗製作する(箇所は打合せによる)・製作しない　(16.7.4)

⑧. 自動ドア（開閉装置）　駆動方式　※電気式　・　(16.8.3)
センサーの種類　⊗光線（反射）スイッチ　⊙タッチ式スイッチ
凍結防止装置　外部に面するドアに設置する。

9. 重量ｼｬｯﾀｰ　種類　・一般重量ｼｬｯﾀｰ　・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ　・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ　・防煙ｼｬｯﾀ
耐風圧性能 JIS A4704による強さの区分　・50　・80　・120
開閉機能　※上部電動式（手動併用)　・上部手動式
シャッターケース（防火、防煙以外の場合)　・設ける　・設けない
煙・熱感知連動ｼｬｯﾀｰの危害防止機構　※障害物感知装置　・二段下降方式　(16.10.2)

10. 軽量ｼｬｯﾀｰ　開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用式)　(16.11.2)
耐風圧性能 JIS A4704による強さの区分　・50　・65　・80
シャッターケース　・設ける　・設けない
スラット形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

11. オーバーヘッドドア　(16.12.2)

| セクション材料による種類 | 開閉方式 | 収納形式 | ガイドレール |
|---|---|---|---|
| ※スチールタイプ<br>・アルミニウムタイプ<br>・ファイバーグラスタイプ | ※バランス式<br>・チェーン式<br>・電動式 | ※ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形<br>・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形<br>・ハイリフト形<br>・ﾊﾟｰﾃｶﾙ形 | ※溶融亜鉛めっき鋼板<br>・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304) |

⑫. ガラスの品質・規格　複層ガラス JIS R3209による断熱性　・日射熱遮へい性による区分
※1種　・2種　・3種　・4種　・5種
ガラスの留め材　⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ　⊙ガスケット
防火戸のガラスの留め材は、建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。　(16.13.2)

[redacted]

Title　(仮称)小町の館建築工事（建築工事）

Scale　NO

建築工事特記仕様書（２）　A-02

## 17 カーテンウォール工事

### 1. カーテンウォールの性能 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

| カーテンウォール種別 | ・メタルカーテンウォール | ・ |
|---|---|---|
| 材　種 | | |
| 耐風圧性 | | |
| 気 密 性 | | |
| 水 密 性 | | |
| 耐 火 性 | | |
| 遮 音 性 | | |
| 枠見込み | | |
| 表面仕上げ | | |
| シーリング材の種類 | | |

## ⑱ 塗装工事

### ①. 材料 (18.1.3)
屋内で使用する塗料
　ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種
防火材料
　屋内の壁及び天井の塗料の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。

### ②. 素地ごしらえ
各部素地ごしらえ

| | | |
|---|---|---|
| 木　部 | ※Ａ種（不透明塗料塗）※Ｂ種（透明塗料塗） | (18.2.2) |
| 鉄鋼面 | ・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種 | (18.2.3) |
| 亜鉛めっき鋼面 | ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 | (18.2.4) |
| モルタル面 | ・Ａ種　※Ｂ種 | (18.2.5) |
| コンクリート面 | ※Ａ種　・Ｂ種 | (18.2.6) |
| ボード面 | ※Ａ種（継目処理工法）　※Ｂ種（その他） | (18.2.7) |

### 3. 錆止め塗料塗り (18.3.2)
塗料の種別

| | |
|---|---|
| 鉄鋼面 | ※Ａ種（屋外）　※Ｂ種（屋内）　・Ｃ種 |
| 亜鉛めっき面 | ※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 |

塗料塗りの種別 (18.3.3)

| | |
|---|---|
| 鉄鋼面 | ※Ａ種（見え掛り）　※Ｂ種（見え隠れ） |
| 亜鉛めっき面 | ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 |

### ④. 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り　鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.4.4)

### ⑤. クリヤラッカー塗り　木部クリアラッカー塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.5.2)

### 6. フタル酸樹脂エナメル塗り　木部フタル酸樹脂エナメル塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.6.2)
鉄鋼面等フタル酸樹脂エナメル塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.6.3)

### 7. アクリル樹脂塗り　アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.7.2)
アクリル樹脂エナメル塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.8.2)

### ⑧. 合成樹脂エマルションペイント塗り　合成樹脂エマルションペイント塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.13.2)

### 9. 多彩模様塗料塗り　鉄鋼、亜鉛めっき面多彩模様塗料塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.14.2)

### 10. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り　コンクリート面合成樹脂エマルション模様塗料塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.15.2)
鉄鋼、亜鉛めっき面合成樹脂エマルション模様塗料塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.15.2)

### 11. ウレタン樹脂ワニス　木部ウレタン樹脂ワニス塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.17.2)

### 12. マスチック　コンクリート面等マスチック塗り　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 (18.18.2)

### 13. 屋内水系塗料塗り　鉄鋼面つや有合成樹脂エマルションペイント塗り　・Ａ種　※Ｂ種 (18.19.3)

## ⑲ 内装工事

### ①. ビニル床シート張り (19.2.2)

| 種類 | 記号 | 色柄 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|
| ⊙一般用（発泡層のないもの） | | ⊙ﾏｰﾌﾞﾙ色<br>⊙木目調 | ⊙2.0<br>⊙2.3<br>※2.5 |

工法　・張付け　施工箇所（　　）　(19.2.3)
　　・熱溶接　施工箇所（　　）

### ②. ビニル床タイル張り (19.2.2)

| 種類 | | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| ⊙コンポジションビニル床タイル | ⊙半硬質<br>・軟質 | ※2.0<br>⊙3.0 |
| ・ホモジニアスビニル床タイル | ・マーブル<br>・プレーン | ※2.0<br>・ |

### 3. ゴム床タイル張り (19.2.2)

| 種類 | | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| ・<br>・ | ・天然ゴム<br>・合成ゴム | ・<br>・ |

### ④. 視覚障害者用床タイル　材質　※塩化ビニル製　・　(19.2.2)
寸法　※300×300　・

### ⑤. ビニル幅木　材質　※軟質　・硬質 (19.2.2)
厚さ　※2.0　・
高さ　※60　・75　・100　⊙300

### ⑥. 接着剤　ビニル床タイル、ビニル床シート、ゴム床タイル及びビニル幅木に使用する接着剤 (19.2.2)
ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

### 7. カーペット敷き　カーペットの種類 (19.3.3) (19.3.4)

| 施工箇所 | 種類 | 厚さ | 工法 | 品質 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

### ⑧. 合成樹脂塗床　弾性ウレタン塗床、エポキシ樹脂塗床 (19.4.2)
塗材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

### 9. フローリング張り (19.5.2～7)

| 種別 | 樹種 | 厚さ(mm) | 工法 |
|---|---|---|---|
| ・<br>・<br>・ | ・<br>・ | ・12<br>・ | ・モルタル埋込み工法<br>・釘留工法<br>（種別・Ａ種・Ｂ種・Ｃ種）<br>・接着工法 |

複合フローリングのホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種
接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種 (19.5.5)

### 10. 畳敷き　畳の種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種（畳床・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ） (19.6.1)

### ⑪. 石こうボードその他ボード及び合板張り
ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種 (19.7.2)
合板類のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種 (19.7.2)
接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種 (19.7.2)

### 12. 遮音シール材　・アクリル系シーリング材　・ジョイントコンパウンド (19.7.2)

### ⑬. 石膏ボードの目地処理　・継目処理工法　⊙突き付け工法　・目透し工法 (19.7.3)
・

### ⑭. 壁紙張り
壁紙のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種 (19.8.2)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種 (19.8.2)

### ⑮. 断熱材　断熱材の種類 (19.9.2)

| 種類 | 種別(級別) | 厚さ | 品質 |
|---|---|---|---|
| ⊙押出法ポリスチレンフォーム<br>・硬質ウレタンフォーム | ・2種b<br>・ | 30 | JIS A 9511の規格品 |
| ・吹付け硬質ウレタンフォーム | 難燃性<br>・2級・3級 | | JIS A 9526による |
| ⊙グラスウール | ・16K | 100 | |

断熱材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種 (19.9.2)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種 (19.9.2)

## ⑳ ユニット及びその他の工事

### 1. フリーアクセスフロア (20.2.2)

| 項目 | 品質・性能等 |
|---|---|
| 主要部材 | |
| 表面材 | |
| 寸法 | |
| 耐荷重 | ・3000N　・5000N |
| 耐震性 | ・0.6　・1.0 |
| その他 | |

### 2. 可動間仕切 (20.2.3)

| 項目 | 種類・性能等 |
|---|---|
| 構造形式 | ・スタッド式密閉形 |
| 構成材 | ・アルミニウム合金系・スチール系 |
| 遮音性 | ・36dB以上 |
| 表面材 | ・焼付塗装鋼板（標準色）t=0.5以上 |

### 3. 移動間仕切 (20.2.4)

| 項目 | 種類・性能等 |
|---|---|
| ﾊﾟﾈﾙの操作方法 | ・ |
| ﾊﾟﾈﾙ表面材の材質及び仕上げ | ・製造所仕様の化粧鋼板（標準色）t=0.5以上 |
| ﾊﾟﾈﾙ圧着装置の操作方法 | ・ハンドル回転式・ワンタッチ上下式 |
| 遮音性 | ・36dB以上・36dB未満 |

### 4. トイレブース　取り付け用あと施工アンカーの材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による。
パネル表面材　⊙メラミン樹脂　・ポリエステル樹脂 (20.2.5)

### 5. 階段滑り止め　材種ステンレス(SUS304)ピニルタイヤ入り(幅約35mm) (20.2.6)
取り付け方法　※接着工法　・埋込み工法

### 6. 黒板　種類及び色 (20.2.8)

| 種類 | 規格名称 | 色彩 | 形状 |
|---|---|---|---|
| ・ホーロー<br>・焼き付け | JISS6045の規格品 | | ・平面<br>・曲面<br>・スクリーン引分け |

### 7. 衝突防止表示　市販品　材質　・寸法　・ (20.2.10)

### ⑧. 室名札　市販品　⊙片面　・両面　材質（⊙ｱｸﾘﾙ製 ⊙木製）
文字　⊙ＯＰ　・彫込みＯＰ　⊙フルカラー印刷 (20.2.10)

### 9. 煙突ライニング　・安全使用温度　・400° C　・650° C (20.2.11)

### 10. ブラインド　ブラインド形式 (20.2.12)

| 形式 | ・横型ブラインド | ・縦型ブラインド |
|---|---|---|
| スラットの材種 | | |
| 開閉方式 | ・ギア式・コード式 | ・２本操作コード方式 |
| スラットの幅（mm） | | |
| その他 | | |

### 11. ロールスクリーン　操作方式　・ワンタッチ式　・チェーン式 (20.2.13)

### 12. カーテン (20.2.14)

| 名称品質など | ひだの種類 | 形式 | 引分け種類 |
|---|---|---|---|
| | | ・片引き<br>・引分け | ・手引き<br>・ひも引き<br>・電動 |

品番は参考商品名である。

### 13. カーテンレール　材質　※ステンレス製　・アルミニウム製 (20.2.14)
形状　※Ｄ型又は角型　・Ｃ型

### ⑭. 点検口

| 施工箇所 | 材種 | 寸法 | 形式 |
|---|---|---|---|
| 天井 | ※アルミニウム製<br>・ | ※450×450<br>・600×600 | ※額縁タイプ<br>・目地タイプ |
| 床 | ※アルミニウム製<br>・ | ・450×450<br>※600×600 | ※貼物用<br>・充填用 |

屋外　※コンクリート製　・磁器質タイル（・100角　・150角　・300角）

### ⑮. ステンレス流し台　※ＢＬ商品（システム　・　・　）トラップ付

### 16. コンロ台　※ＢＬ商品（システム　・　・　）バックガード（・有　・無）

### 17. つり戸棚　※ＢＬ商品（システム　・　・　）

### 18. 水切棚　・１段　・２段

### 19. 木製収納家具　合板類、ＭＤＦ、パーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

### ⑳. 視覚障害者用誘導ブロック　屋外　※コンクリート製　⊙磁器質タイル（・100角　・150角　⊙300角）
屋内

### 21. かぎ箱　市販品　フック数　・30　・40　・60　・100
材質　※金属製

### ㉒. 雪おろし表示板　・プラスチック製　厚さ５mm　文字は彫込みＯＰ　ステンレスビス止め

**雪おろし表示板**

| | |
|---|---|
| 設計積雪荷重 | 4500Ｎ／㎡<br>（垂直積雪量：150cm、単位荷重：30Ｎ／㎝m） |
| 設計者 | （住所　受注者名）<br>（管理技術者氏名） |
| 施工者 | （住所　受注者名）<br>（現場代理人氏名） |
| 完成年月日 | ○○年○○月○○日 |

注意
1　積雪量が垂直積雪量の７割に達する場合は、雪おろしをしてください。
2　雪おろしは、積雪量だけで判断せず、「施設保全マニュアル」を参考に適切に対処してください。
3　積雪荷重が設計積雪荷重を超えた場合は、建物の損傷や倒壊の恐れがあります。

3360mm程度
260mm程度

## 21 排水工事

### 1. 排水管　排水管用材料 (21.2.1)
・遠心力鉄筋コンクリート管　・硬質塩化ビニル管
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管

### 2. グレーチング　※鋳製　・ステンレス製 (21.2.2)

### 3. 鋳鉄製マンホール蓋　マンホール蓋は簡易防臭型とし、表面には用途別の標準文字付きとする。 (21.2.2)

## 22 舗装工事

### 1. 再生材　※使用する　・使用しない (22.1.3)

### 2. しゃ断層及び凍上抑制層用材料　しゃ断層　※川砂、海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石

### 3. 路床安定処理　路床安定処理用添加材料　・セメント系　・石灰系 (22.2.3)

### 4. 盛土材料　路床の盛土材料「３章土工事１埋めし及び盛土の種別」による。 (22.2.3)

### 5. 路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　※行わない　・行う（※乱した土　・乱さない土） (22.2.5)

### 6. 路床締固め度試験　※行わない　・行う (22.2.5)

### 7. 路盤材料　※再生材のクラッシャラン　ＲＣ－４０ (22.3.3)
・砕石のクラッシャラン　Ｃ－４０

### 8. 路盤の締固め度試験　※行わない　・行う (22.3.5)

### 9. アスファルト舗装　加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)

| | |
|---|---|
| 表層 | ※再生密粒度アスファルトギャップ混合物（１３Ｆ）<br>・細粒度アスファルトギャップ混合物（１３Ｆ） |
| 基層 | ※再生粗粒度アスファルト混合物（２０）<br>・粗粒度アスファルト混合物（２０） |

### 10. コンクリート舗装　早強セメント　・使用する　※使用しない (22.5.3)
溶接金網　※あり　・なし

### 11. 透水性アスファルト舗装　アスファルトの種類　※改質アスファルトⅠ型（車道部） (22.6.3)
※改質アスファルトⅡ型（歩道部）
透水性アスファルト混合物の抽出試験　・行う　※行わない (22.4.6)

### 12. 排水性アスファルト舗装　アスファルトの種類　・改質アスファルトⅠ型 (22.7.3)
※改質アスファルトⅡ型
排水性アスファルト混合物の抽出試験　・行う　※行わない (22.4.6)

### 13. ブロック系舗装　・コンクリート平板舗装　※砂目地　・モルタル目地 (22.8.2)
・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)
舗石の基層　※コンクリート舗装　・アスファルト舗装 (22.8.2)

### 14. 構内砂利敷き　砂利敷き種別　※Ａ種（通路）　※Ｂ種（建物周囲） (22.10.2)

## 23 植栽工事

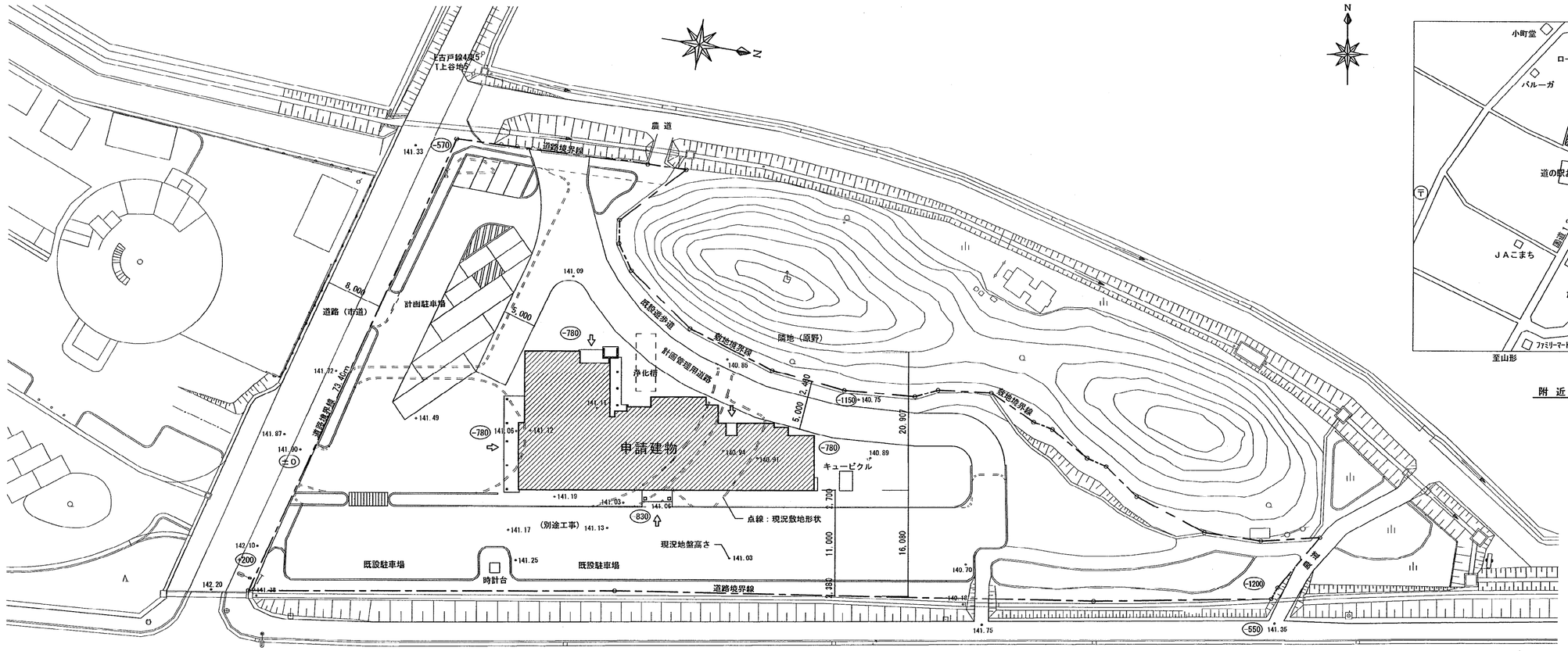
### 1. 植栽基盤　※適用する　・適用しない (23.2.2)

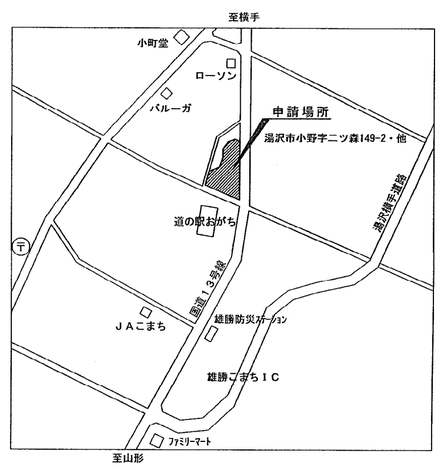
| 種別 | 樹木等 |
|---|---|
| ・Ａ種 | |
| ・Ｂ種 | |
| ・Ｃ種 | |
| ・Ｄ種 | |

### 2. 植込み用土　※現場発生の良質土　・客土 (23.2.3)

### 3. 芝　種別　・こうらい芝の類　・野芝の類　・吹付けは種 (23.4.2)

Title (仮称)小町の館建築工事（建築工事）
Scale
NO A-03
建築工事特記仕様書（３）

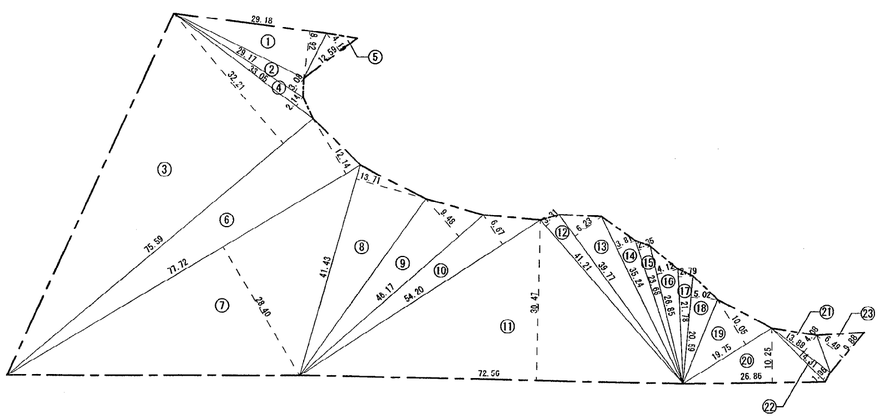



附 近 見 取 図

計画地盤高さを示す

配 置 図 S=1:500




敷地面積求積図 S=1:800

| 番号 | 底 辺 | 高 さ | 倍 面 積 | 面 積 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 29.18 | 8.92 | 260.2856 | 130.14280 |
| 2 | 29.17 | 3.08 | 89.8436 | 44.92180 |
| 3 | 75.59 | 32.21 | 2,434.7539 | 1,217.37695 |
| 4 | 33.05 | 2.14 | 70.7270 | 35.36350 |
| 5 | 12.59 | 4.19 | 52.7521 | 26.37605 |
| 6 | 77.72 | 12.14 | 943.5208 | 471.76040 |
| 7 | 77.72 | 28.40 | 2,207.2480 | 1,103.62400 |
| 8 | 41.43 | 13.71 | 568.0053 | 284.00265 |
| 9 | 46.17 | 9.48 | 437.6916 | 218.84580 |
| 10 | 54.20 | 6.67 | 361.5140 | 180.75700 |
| 11 | 72.56 | 30.47 | 2,210.9032 | 1,105.45160 |
| 12 | 41.21 | 3.31 | 136.4051 | 68.20255 |
| 13 | 39.77 | 6.23 | 247.7671 | 123.88355 |
| 14 | 35.24 | 3.81 | 134.2644 | 67.13220 |
| 15 | 28.68 | 2.35 | 67.3980 | 33.69900 |
| 16 | 26.85 | 4.12 | 110.6220 | 55.31100 |
| 17 | 21.78 | 2.79 | 60.7662 | 30.38310 |
| 18 | 20.59 | 5.02 | 103.3618 | 51.68090 |
| 19 | 19.75 | 10.05 | 198.4875 | 99.24375 |
| 20 | 26.86 | 10.25 | 275.3150 | 137.65750 |
| 21 | 13.88 | 4.08 | 56.6304 | 28.31520 |
| 22 | 14.31 | 1.96 | 28.0476 | 14.02380 |
| 23 | 9.88 | 6.49 | 64.1212 | 32.06060 |
| 合 計 | | | | 5,560.21570 |
| 敷地面積 | | | | 5,560.21 ㎡ |

面 積 表

(㎡)

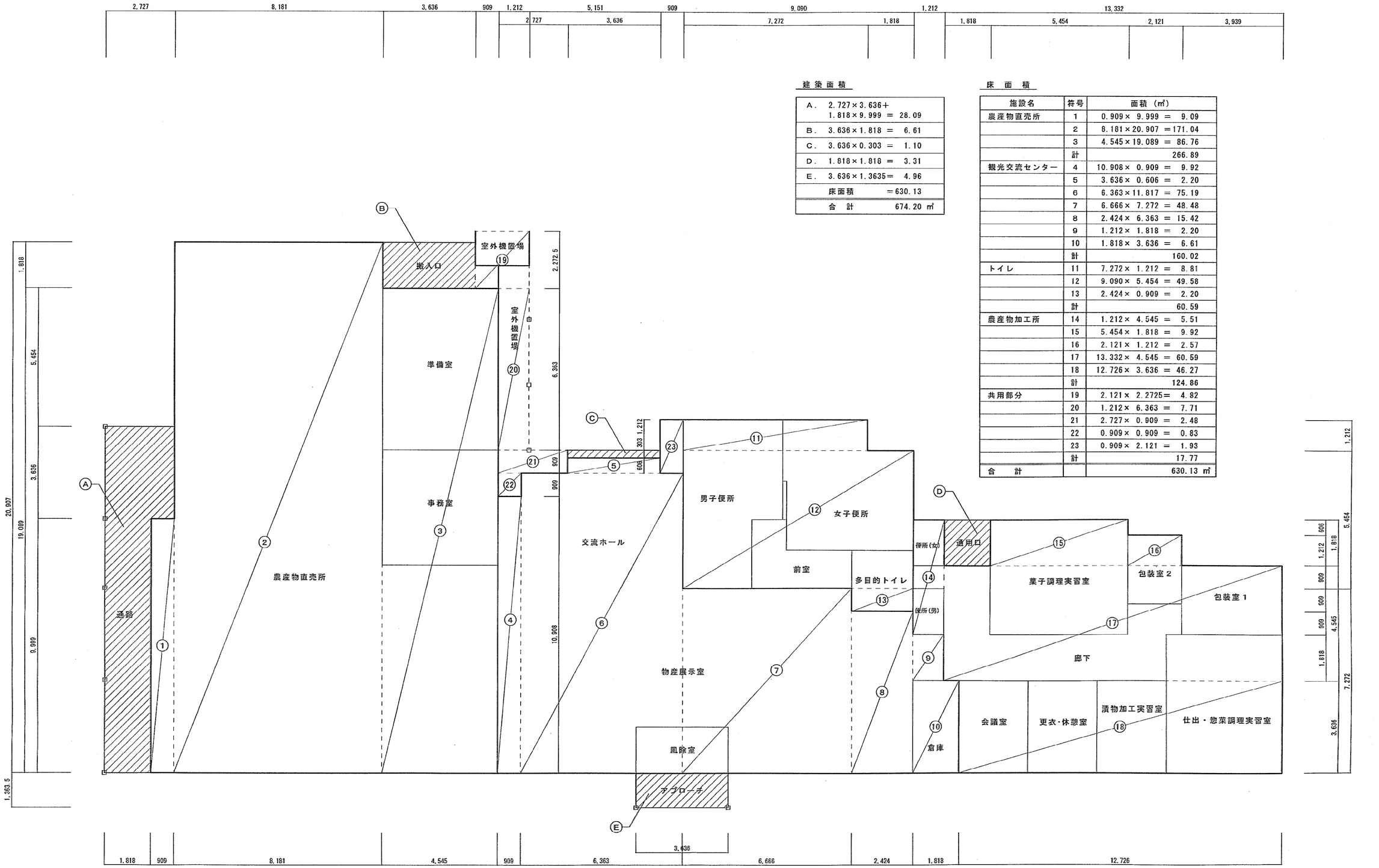
| | 申請建物 | 既存建物 | 合 計 |
|---|---|---|---|
| 敷地面積 | | | 5,560.21 |
| 建築面積 | 674.20 | —— | 674.20 |
| 延床面積 | 630.13 | —— | 630.13 |

Title
(仮称)小町の館建築工事（建築工事）

配 置 図 ・ 案 内 図

Scale
S=1:500・800

NO
A-04




### 建築面積

| | | |
|---|---|---|
| A. | 2.727×3.636＋1.818×9.999 | = 28.09 |
| B. | 3.636×1.818 | = 6.61 |
| C. | 3.636×0.303 | = 1.10 |
| D. | 1.818×1.818 | = 3.31 |
| E. | 3.636×1.3635 | = 4.96 |
| | 床面積 | =630.13 |
| | 合　計 | 674.20 ㎡ |

### 床面積

| 施設名 | 符号 | 面積（㎡） |
|---|---|---|
| 農産物直売所 | 1 | 0.909× 9.999 = 9.09 |
| | 2 | 8.181×20.907 =171.04 |
| | 3 | 4.545×19.089 = 86.76 |
| | 計 | 266.89 |
| 観光交流センター | 4 | 10.908× 0.909 = 9.92 |
| | 5 | 3.636× 0.606 = 2.20 |
| | 6 | 6.363×11.817 = 75.19 |
| | 7 | 6.666× 7.272 = 48.48 |
| | 8 | 2.424× 6.363 = 15.42 |
| | 9 | 1.212× 1.818 = 2.20 |
| | 10 | 1.818× 3.636 = 6.61 |
| | 計 | 160.02 |
| トイレ | 11 | 7.272× 1.212 = 8.81 |
| | 12 | 9.090× 5.454 = 49.58 |
| | 13 | 2.424× 0.909 = 2.20 |
| | 計 | 60.59 |
| 農産物加工所 | 14 | 1.212× 4.545 = 5.51 |
| | 15 | 5.454× 1.818 = 9.92 |
| | 16 | 2.121× 1.212 = 2.57 |
| | 17 | 13.332× 4.545 = 60.59 |
| | 18 | 12.726× 3.636 = 46.27 |
| | 計 | 124.86 |
| 共用部分 | 19 | 2.121× 2.2725= 4.82 |
| | 20 | 1.212× 6.363 = 7.71 |
| | 21 | 2.727× 0.909 = 2.48 |
| | 22 | 0.909× 0.909 = 0.83 |
| | 23 | 0.909× 2.121 = 1.93 |
| | 計 | 17.77 |
| 合　計 | | 630.13 ㎡ |

面積計算書 S=1:100

| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事） | 面積計算書 | S=1:100 | A-05 |

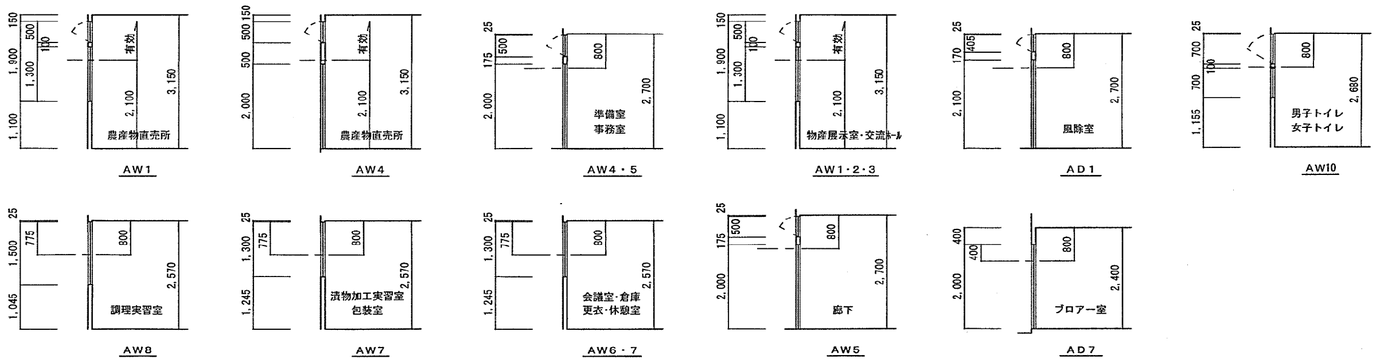
採光・換気・排煙計算書

| | 部屋名 | 床面積(㎡) | | 必要面積(㎡) | 有効面積(㎡) | | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農産物直売所 | 農産物直売所 | 217.31 | 採光 | 217.31×1/20＝10.87 | ＡＷ１ | (1.65×1.80)×5＝14.85 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 217.31×1/20＝10.87 | AW1・AW4<br>ＡＤ３<br>ＡＤ５ | (0.80×0.50×2)×7＝5.60<br>1.50×2.00＝3.00<br>(0.75×2.00)×2＝3.00 ┐11.60 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 217.31×1/50＝4.35 | AW1・AW4 | (0.80×0.50×2)×7＝5.60 | ＯＫ |
| | 準備室 | 28.92 | 採光 | 28.92×1/20＝1.45 | ＡＤ4Ｂ | 3.47×1.00＝3.47 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 28.92×1/20＝1.45 | ＡＤ4Ｂ | 1.50×2.00＝3.00 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 28.92×1/50＝0.58 | ＡＷ４ | 0.80×0.50×2＝0.80 | ＯＫ |
| | 事務室 | 20.66 | 採光 | 20.66×1/20＝1.04 | ＡＤ6Ａ | 1.60×1.00＝1.60 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 20.66×1/20＝1.04 | ＡＤ6Ａ | 0.72×2.00＝1.44 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 20.66×1/50＝0.42 | ＡＷ５ | (0.77×0.50)×2＝0.77 | ＯＫ |
| 観光交流センター | 物産展示室<br>交流ホール<br>前　室 | 104.94<br>＋<br>41.86<br>＋<br>7.62<br>＝<br>154.42 | 採光 | 154.42×1/20＝7.72 | AW1・AW2・AW3 | 1.65×1.80×6＝17.82 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 154.42×1/20＝7.72 | AW1・AW2・AW3<br>ＡＷ12<br>ＡＷ２ | (0.80×0.50×2)×6＝4.80<br>0.74×0.70×4＝2.07<br>(0.75×1.30)×2＝1.95 ┐8.82 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 154.42×1/50＝3.09 | AW1・AW2・AW3 | (0.80×0.50×2)×6＝4.80 | ＯＫ |
| | 風除室 | 6.61 | 排煙 | 6.61×1/50＝0.14 | ＡＤ１ | 0.80×0.405＝0.32 | ＯＫ |
| | 男子トイレ | 22.95 | 排煙 | 22.95×1/50＝0.46 | ＡＷ10 | 0.69×0.70＝0.48 | ＯＫ |
| | 倉　庫 | 6.61 | 排煙 | 6.61×1/50＝0.14 | ＡＷ７ | 0.60×0.775＝0.46 | ＯＫ |
| 農産物加工所 | 仕出・惣菜調理実習室 | 24.79 | 採光 | 24.79×1/20＝1.24 | ＡＷ８ | 1.65×1.50×2＝4.95 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 24.79×1/20＝1.24 | ＡＷ８ | 0.75×1.50×2＝2.25 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 24.79×1/50＝0.50 | ＡＷ８<br>※1ヶ所のみ有効 | 0.75×0.775＝0.58 | ＯＫ |

| | 部屋名 | 床面積(㎡) | | 必要面積(㎡) | 有効面積(㎡) | | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農産物加工所 | 包装室１ | 10.74 | 採光 | 10.74×1/20＝0.54 | ＡＷ７ | 0.60×1.30＝0.78 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 10.74×1/20＝0.54 | ＡＷ７ | 0.60×1.30＝0.78 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 10.74×1/50＝0.22 | ＡＷ７ | 0.60×0.775＝0.46 | ＯＫ |
| | 菓子調理実習室 | 24.79 | 採光 | 24.79×1/20＝1.24 | ＡＷ８ | 1.65×1.50×2＝4.95 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 24.79×1/20＝1.24 | ＡＷ８ | 0.75×1.50×2＝2.25 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 24.79×1/50＝0.50 | ＡＷ８<br>※1ヶ所のみ有効 | 0.75×0.775＝0.58 | ＯＫ |
| | 包装室２ | 5.78 | 採光 | 5.78×1/20＝0.29 | ＡＷ７ | 0.60×1.30＝0.78 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 5.78×1/20＝0.29 | ＡＷ７ | 0.60×1.30＝0.78 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 5.78×1/50＝0.12 | ＡＷ７ | 0.60×0.775＝0.46 | ＯＫ |
| | 漬物加工実習室 | 9.92 | 採光 | 9.92×1/20＝0.50 | ＡＷ７ | 0.60×1.30＝0.78 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 9.92×1/20＝0.50 | ＡＷ７ | 0.60×1.30＝0.78 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 9.92×1/50＝0.20 | ＡＷ７ | 0.60×0.775＝0.46 | ＯＫ |
| | 更衣・休憩室 | 9.92 | 採光 | 9.92×1/20＝0.50 | ＡＷ６ | 1.65×1.30＝2.14 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 9.92×1/20＝0.50 | ＡＷ６ | 0.75×1.30＝0.97 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 9.92×1/50＝0.20 | ＡＷ６ | 0.75×0.775＝0.58 | ＯＫ |
| | 会議室 | 9.92 | 採光 | 9.92×1/20＝0.50 | ＡＷ６ | 1.65×1.30＝2.14 | ＯＫ |
| | | | 換気 | 9.92×1/20＝0.50 | ＡＷ６ | 0.75×1.30＝0.97 | ＯＫ |
| | | | 排煙 | 9.92×1/50＝0.20 | ＡＷ６ | 0.75×0.775＝0.58 | ＯＫ |
| | 廊　下 | 24.79 | 排煙 | 24.79×1/50＝0.50 | ＡＷ５ | (0.77×0.50)×2＝0.77 | ＯＫ |
| | ブロアー室 | 1.93 | 排煙 | 1.93×1/50＝0.04 | ＡＤ７ | 0.74×0.40＝0.29 | ＯＫ |

※女子トイレ・多目的トイレ・便所(男・女)の排煙設備は、告示１４３６－４－ハ(２)により設置免除とする

排煙パターン




小屋裏隔壁

※建令114条3項2号により緩和

消防法上無窓階の判定

630.13×1/30＝21.00……(1)

| | | |
|---|---|---|
| ＡＤ１ | 3.40×2.10 | ＝ 7.14 |
| ＡＤ３ | 3.40×2.00 | ＝ 6.80 |
| ＡＤ4Ａ・4Ｂ | 3.47×2.00×2 | ＝13.88 |
| ＡＤ５ | 1.65×2.00×2 | ＝ 6.60 |
| ＡＤ6Ａ・6Ｂ | 1.60×2.00×2 | ＝ 6.40 |
| ＡＷ１ | 1.65×1.30×7 | ＝15.02 |
| 計 | | 55.84……(2) |

※　(1)＜(2)……ＯＫ

Title (仮称)小町の館建築工事（建築工事)　法規チェック図　Scale S=1:100　NO A-06

## 外部仕上

| | | | |
|---|---|---|---|
| アプローチ・通路 | 磁器質タイル 300角（モルタル下地）※INAX ｸﾚﾄﾞ同等品<br>視覚障害者用タイル 300×300※点字型・誘導型<br>アプローチ柱脚部：厚30御影石 H=100（本磨き） 通路柱脚部：厚45御影石 H=100（本磨き）<br>通路電動庇テント：W=3600･･･3ヶ所、W=2700･･･1ヶ所（ｱｰﾑ2.0m､ｷｬﾝﾊﾞｽ地、上ｹｰｽｾｯﾄ､ﾘﾓｺﾝ内蔵※ﾃﾝﾊﾟﾙ ｽｰﾊﾟｰﾏｷｼﾑ同等品） | 軒天 | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ（一部、有孔板） 軒先見切：厚0.4ガルバリウム鋼板 |
| 搬入口・通用口 | 磁器質タイル 100角（モルタル下地） | 屋根 | 厚0.4ガルバリウム鋼板立平葺防水工法（ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940下地） 雪止ｱﾝｸﾞﾙ L-40×40×3（着色亜鉛ﾒｯｷ）<br>アルミ自然棟換気（新日軽 棟風 固定型同等品） 棟押え・雨押え：厚0.4ガルバリウム鋼板包み<br>吹抜屋根：厚0.4ガルバリウム鋼板横葺※はぜ部シール（ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940下地） 雪止金物（羽根型・塗装品）<br>棟飾り：厚0.4ガルバリウム鋼板平葺※はぜ部シール<br>雨樋：マイルドE-Ｉ型同等品 縦樋：ＰＣ３０同等品 |
| 根廻り | コンクリート打放し仕上 複層塗材Ｅ(吹付タイル) | | |
| 外壁 | 厚16防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ横張 ※金具工法（ﾆﾁﾊ ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16 ﾚﾊﾞﾝｽ調 同等品）同材コーナー共 一部、厚15鉄板ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ縦張（ｱｲｼﾞｰ ｶﾞﾙｽﾊﾟﾝ同等品）<br>ｼｰﾄ状天然砕石装飾材 600×600（厚12防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ無塗装品 W900下地） ※外壁材下地は通気工法（通気胴縁18×45@455・透湿防水ｼｰﾄ下地）、アルミ通気土台見切 | 破風・笠木 | 厚0.4ガルバリウム鋼板包み |
| 開口部 | アルミ断熱サッシ（住宅用、一部汎用） 開口部廻り：変成シリコンシーリング | その他 | 洗い場：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ(厚100ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ下地)<br>膳板ｽﾃﾝﾚｽ曲げ加工 W=135 |

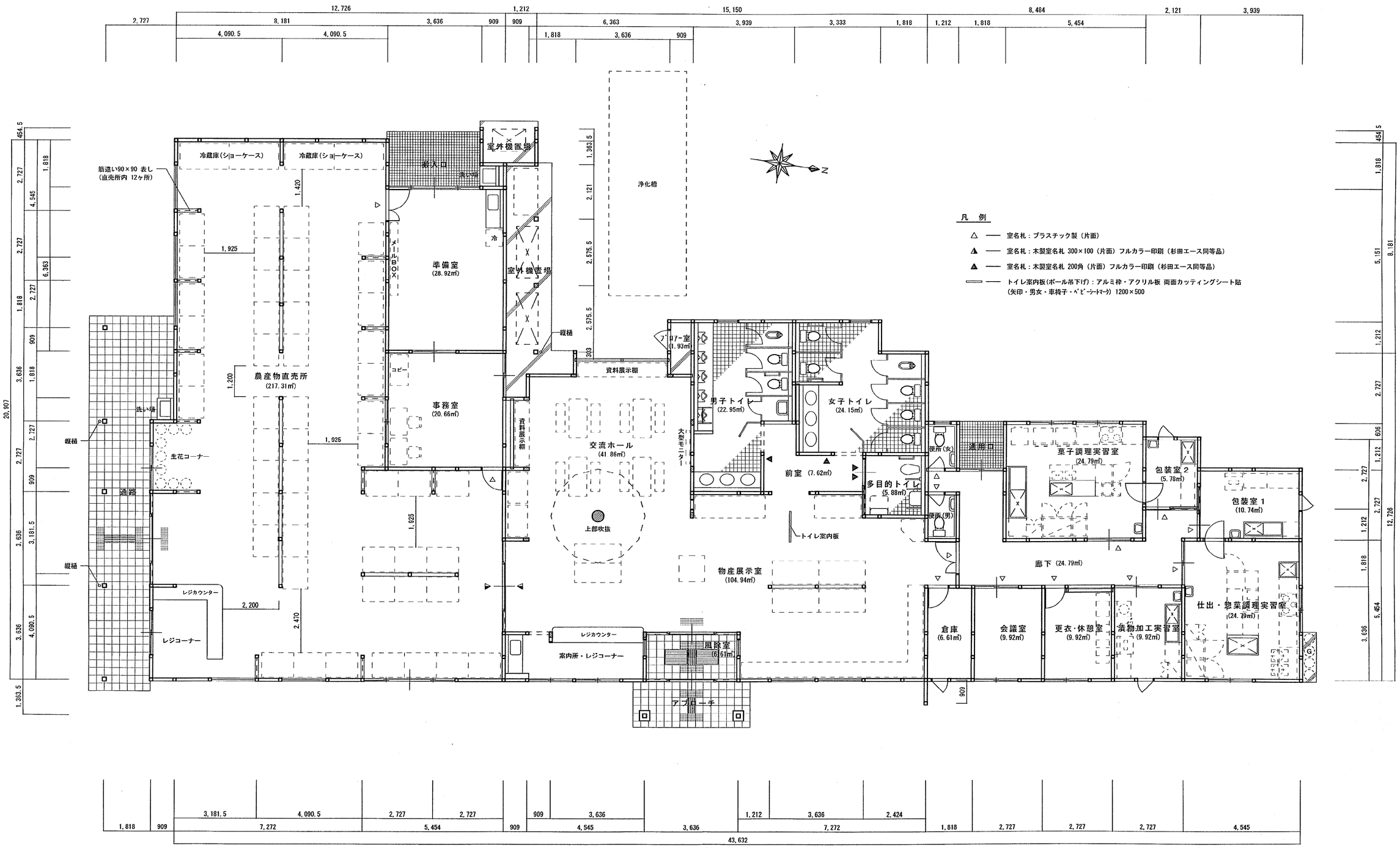
## 内部仕上

| | 室名 | 床 | 床の高さ | 幅木 | 壁 | 天井 | 天井見切 | 天井の高さ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農産物直売所 | 農産物直売所 | 厚2.0長尺ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張(木目調)※東リ ﾏﾁｭｱ同等品（モルタル下地） | GL＋100 | ｿﾌﾄ巾木H=300※木目調（ｺﾝｸﾘｰﾄ、PB下地） | ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚9.5化粧石膏ボード張（900×900） | 塩ビ見切縁 | 3,150 | 点鋲(SUS)※杉田ｴｰｽ ﾅﾋﾞﾗｲﾝ点鋲同等品<br>内壁下部見切：塩ビ見切縁（※腰壁ふかし部分以外） |
| | 準備室 | 耐摩耗塗り床（モルタル下地） | 100 | ｿﾌﾄ巾木H=300（ｺﾝｸﾘｰﾄ、PB下地） | ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚9.5化粧石膏ボード張（900×900） | 塩ビ見切縁 | 2,700 | 流し台 W=1500 流し前：厚0.4ステンレス張<br>内壁下部見切：塩ビ見切縁（※腰壁ふかし部分以外） |
| | 事務室 | 厚2.0ビニル床シート張(ﾏｰﾌﾞﾙ色)（モルタル下地） | 100 | ｿﾌﾄ巾木H=300（ｺﾝｸﾘｰﾄ、PB下地） | ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚9.5化粧石膏ボード張（900×900） | 塩ビ見切縁 | 2,700 | 内壁下部見切：塩ビ見切縁 |
| 観光交流センター | 風除室 | 磁器質タイル 300角 ※INAX ｸﾚﾄﾞ同等品（モルタル下地） | 100 | 磁器質タイル 300角 | ｼｰﾄ状天然砕石装飾材 600×600（厚12.5 耐水ボード下地） | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,700 | 視覚障害者用タイル 300×300※点字型<br>足拭きマット 900×600(枠共) |
| | 物産展示室 | 厚3ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張 450角 ※東リ ﾌｪｲﾔｰﾙﾌﾞﾙｽ同等品（モルタル下地） | 100 | ｽﾌﾞﾙｽCL H=100 | 腰：ビニールクロス貼 H=1000 （厚12.5 石膏ボード下地）<br>壁：掲示用クロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚12ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)（厚9.5 石膏ボード下地） | 塩ビ見切縁 | 3,150 | 流し台 W=1500 流し前：厚0.4ステンレス張<br>点鋲(SUS)※杉田ｴｰｽ ﾅﾋﾞﾗｲﾝ点鋲同等品<br>ピクチャーレール（可動フック共） |
| | 交流ホール | 厚3ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張 450角 ※東リ ﾌｪｲﾔｰﾙﾌﾞﾙｽ同等品（モルタル下地） | 100 | ｽﾌﾞﾙｽCL H=100 | 腰：厚12杉縦羽目板張 ＣＬ H=1000<br>壁：掲示用クロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚12ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)（厚9.5 石膏ボード下地）<br>吹抜：ビニールクロス貼 （厚9.5 石膏ボード下地） | 塩ビ見切縁 | 3,150<br>6,600 | ピクチャーレール（可動フック共）<br>ステンレス床目地金物<br>壁クロス文字プリント※７ヶ所 |
| | 前室 | 厚3ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張 450角 ※東リ ﾌｪｲﾔｰﾙﾌﾞﾙｽ同等品（モルタル下地） | 100 | ｽﾌﾞﾙｽCL H=100 | 壁：ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚12ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)（厚9.5 石膏ボード下地） | 塩ビ見切縁 | 2,700 | 厚1.2ステンレス出入口枠<br>ステンレス床目地金物 |
| | 男子トイレ | 磁器質タイル 150角※INAX ｷｭﾘｵ同等品<br>汚垂れ石 D=600 ※INAX ｱｰｽﾄﾝｽﾃｯﾌﾟⅡ同等品（モルタル下地） | 100 | —— | 磁器質タイル150角 （厚12.5 耐水ボード下地）<br>※INAX ｾﾗﾏｯﾄ･ﾈｵ同等品 （一部、モルタル下地 H=300） | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,680 | 膳板：テラゾーブロック 135×20（一部、170×20） |
| | 女子トイレ | 磁器質タイル 150角 ※INAX ｷｭﾘｵ同等品（モルタル下地） | 100 | —— | 磁器質タイル150角 （厚12.5 耐水ボード下地）<br>※INAX ｾﾗﾏｯﾄ･ﾈｵ同等品 （一部、モルタル下地 H=300） | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,680 | 膳板：テラゾーブロック 135×20 |
| | 多目的トイレ | 磁器質タイル 150角 ※INAX ｷｭﾘｵ同等品（モルタル下地） | 100 | —— | 磁器質タイル150角 （厚12.5 耐水ボード下地）<br>※INAX ｾﾗﾏｯﾄ･ﾈｵ同等品 （一部、モルタル下地 H=300） | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,680 | 膳板：テラゾーブロック 135×20 |
| | 倉庫 | 厚2.0ビニル床シート張(ﾏｰﾌﾞﾙ色)（モルタル下地） | 100 | ｿﾌﾄ巾木H=300（ｺﾝｸﾘｰﾄ、PB下地） | ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚9.5化粧石膏ボード張 | 塩ビ見切縁 | 2,570 | 内壁下部見切：塩ビ見切縁（※腰壁ふかし部分以外） |
| 加工研修センター | 廊下 | 厚2.0ビニル床シート張(ﾏｰﾌﾞﾙ色)（モルタル下地） | 100 | ｿﾌﾄ巾木H=300（ｺﾝｸﾘｰﾄ下地） | ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚9.5化粧石膏ボード張 | 塩ビ見切縁 | 2,700 | 内壁下部見切：塩ビ見切縁 |
| | 仕出･惣菜調理実習室 | 厚2.0 抗菌塗り床（防滑仕上）※ユータック抗菌塗り床同等品（モルタル下地） | 100 | ｽﾃﾝﾚｽ巾木 H=100 | 腰：厚0.6ｽﾃﾝﾚｽ張(HL) H=950 （厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板下地）<br>壁：厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,570 | 一槽シンク |
| | 包装室１ | 厚2.0 抗菌塗り床（防滑仕上）※ユータック抗菌塗り床同等品（モルタル下地） | 100 | ｽﾃﾝﾚｽ巾木 H=100 | 腰：厚0.6ｽﾃﾝﾚｽ張(HL) H=950 （厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板下地）<br>壁：厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,570 | 水切付一槽シンク |
| | 菓子調理実習室 | 厚2.0 抗菌塗り床（防滑仕上）※ユータック抗菌塗り床同等品（モルタル下地） | 100 | ｽﾃﾝﾚｽ巾木 H=100 | 腰：厚0.6ｽﾃﾝﾚｽ張(HL) H=950 （厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板下地）<br>壁：厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,570 | 水切付一槽シンク<br>台付一槽シンク |
| | 包装室２ | 厚2.0 抗菌塗り床（防滑仕上）※ユータック抗菌塗り床同等品（モルタル下地） | 100 | ｽﾃﾝﾚｽ巾木 H=100 | 腰：厚0.6ｽﾃﾝﾚｽ張(HL) H=950 （厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板下地）<br>壁：厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,570 | 一槽シンク |
| | 漬物加工実習室 | 厚2.0 抗菌塗り床（防滑仕上）※ユータック抗菌塗り床同等品（モルタル下地） | 100 | ｽﾃﾝﾚｽ巾木 H=100 | 腰：厚0.6ｽﾃﾝﾚｽ張(HL) H=950 （厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板下地）<br>壁：厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | 塩ビ見切縁 | 2,570 | 水切付一槽シンク |
| | 更衣・休憩室 | 厚2.0ビニル床シート張(ﾏｰﾌﾞﾙ色)（モルタル下地） | 100 | ｿﾌﾄ巾木H=300（ｺﾝｸﾘｰﾄ、PB下地） | ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚9.5化粧石膏ボード張 | 塩ビ見切縁 | 2,570 | 内壁下部見切：塩ビ見切縁（※腰壁ふかし部分以外） |
| | 会議室 | 厚2.0ビニル床シート張(ﾏｰﾌﾞﾙ色)（モルタル下地） | 100 | ｿﾌﾄ巾木H=300（ｺﾝｸﾘｰﾄ、PB下地） | ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚9.5化粧石膏ボード張 | 塩ビ見切縁 | 2,570 | 内壁下部見切：塩ビ見切縁（※腰壁ふかし部分以外） |
| | 便所(男・女) | 厚2.0ビニル床シート張(ﾏｰﾌﾞﾙ色)（モルタル下地） | 100 | ｿﾌﾄ巾木H=300（ｺﾝｸﾘｰﾄ、PB下地） | ビニールクロス貼 （厚12.5 石膏ボード下地） | 厚9.5化粧石膏ボード張 | 塩ビ見切縁 | 2,400 | 内壁下部見切：塩ビ見切縁（※腰壁ふかし部分以外） |
| 共通 | ブロアー室 | コンクリートコテ仕上 | 100 | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し | 厚12.5 石膏ボード張 | 厚9.5化粧石膏ボード張 | 塩ビ見切縁 | 2,400 | 内壁下部見切：塩ビ見切縁 |
| | 室外機置場 | コンクリートコテ仕上 | 100 | —— | 外壁表し | 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 目透張 ＥＰ | —— | 3,000 | |

## 特記事項

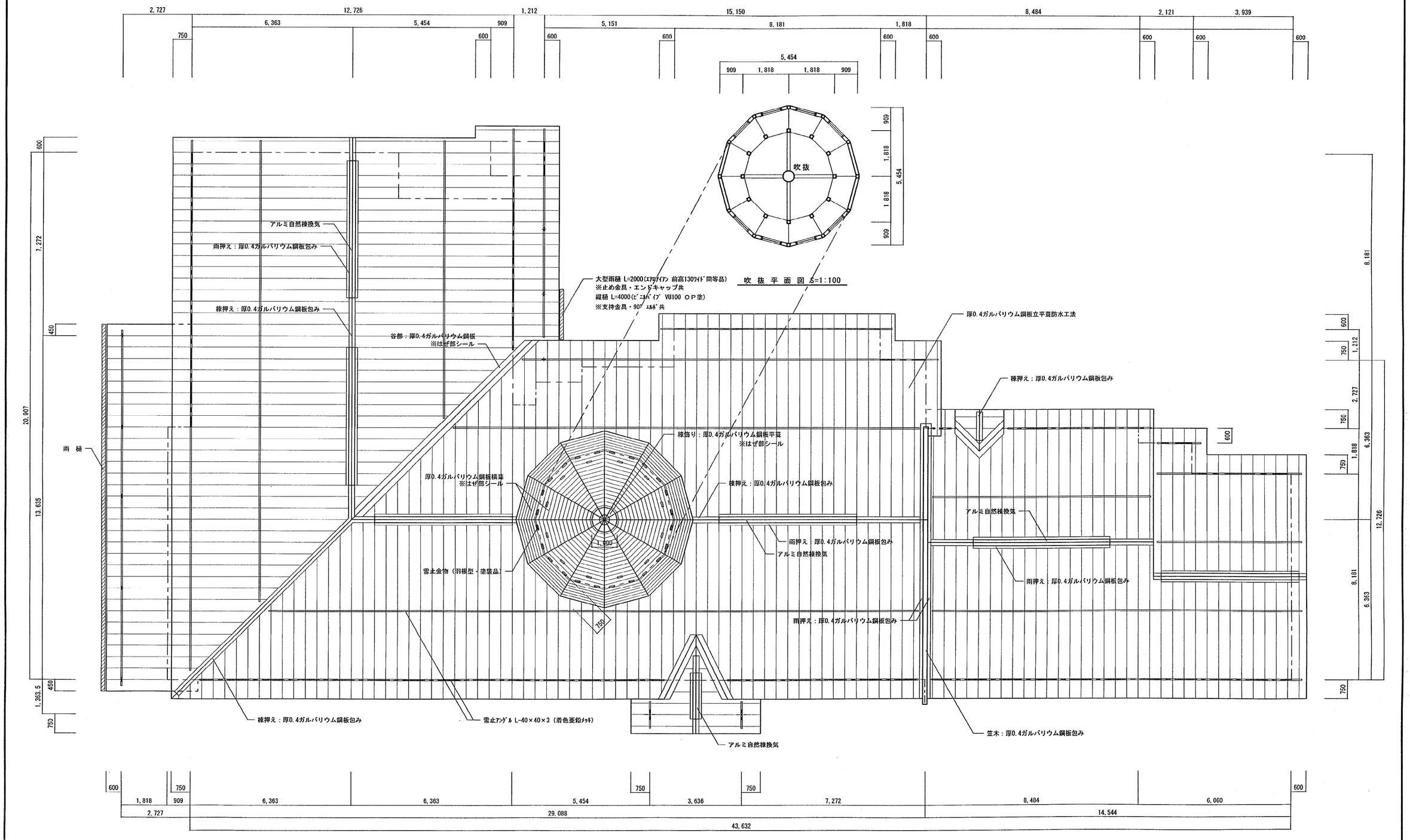
1. 内部土間下には全て厚0.15土間シート・厚30ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ発泡材敷込みとする
2. 基礎立上り（外周）の内側には厚30ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ発泡材はめ込みとする
3. 外周面の壁・天井には厚100グラスウール(16K)入れとする
4. ビニールクロスはサンゲツ1000同等品（不燃NM-9891）とする
5. 掲示用クロスはサンゲツ掲示用クロス同等品（難燃RM-9319)とする
   ※多目的ﾄｲﾚ・便所(男)と接する壁は不燃ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼とする（防煙区画）
6. 視覚障害者用タイルはINAX ﾋﾞｱﾌﾘｰ(300角)同等品とする
7. 厚12.5石膏ボードは（不燃NM-8619同等）とする
8. 厚6無石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板は（不燃NM-9246同等）とする
9. 厚9.5石膏ボードは（準不燃QM-9828同等）とする
10. 厚9.5化粧石膏ボードはマーブルトーン同等品（準不燃QM-9824）とする
11. 厚9ロックウール吸音板はソーラートン同等品（不燃NM-8599）とする
12. ｼｰﾄ状天然砕石装飾材は(ﾓﾀﾞﾝｱｰﾄ 砂岩※不燃NM-8573同等品)とする
13. 外部の木部見掛りは木材保護塗料塗り（オスモカラー同等品）とする
14. 流し台はクリナップ 木キャビキッチン(すみれ)同等品とする
15. 内部の仕上材・塗装・住設はＦ☆☆☆☆とする
16. 間仕切は120×30@454.5、横胴縁は24×45@454.5、天井野縁は40×40@454.5
17. 外周面及び平面詳細図に示す範囲は、壁下地 30×30(縦胴縁)取付とする
18. 特記以外の造作材はスプルス ＣＬとする

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事） 仕上表 | | A-07 |



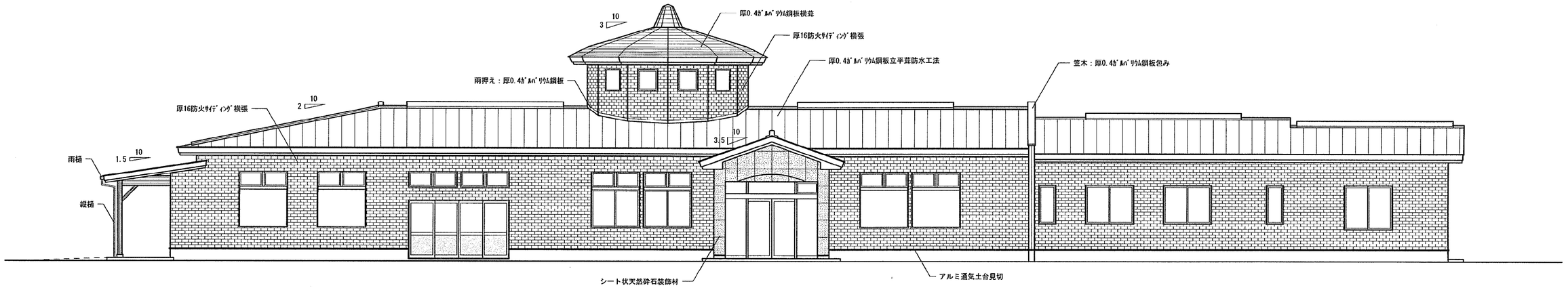

平　面　図 S=1:100

| | | | |
|---|---|---|---|
| Title | (仮称)小町の館建築工事（建築工事） | Scale | NO |
| | 平　面　図 | S=1:100 | A-08 |

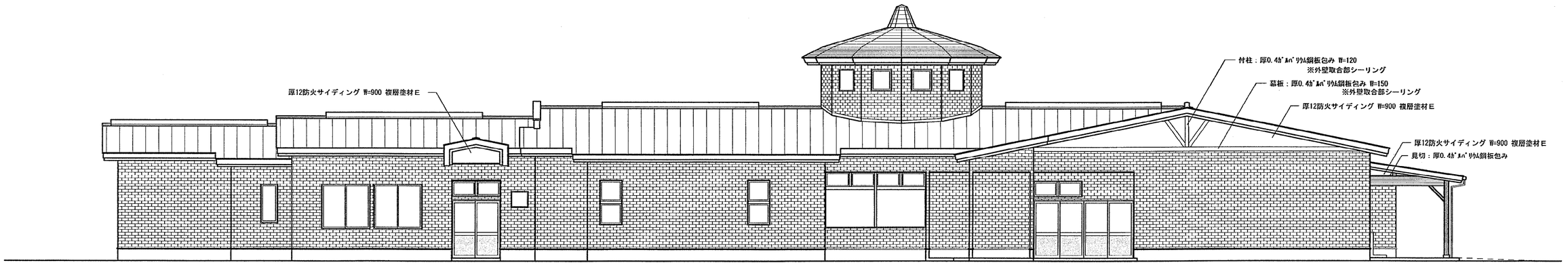



屋 根 伏 図 S=1:100

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事） 屋 根 伏 図 | S=1:100 | A-09 |

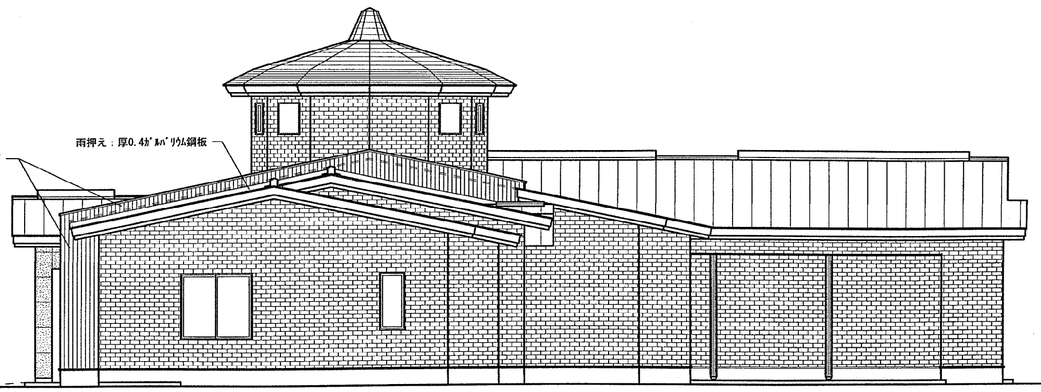



東　面




西　面

南　面



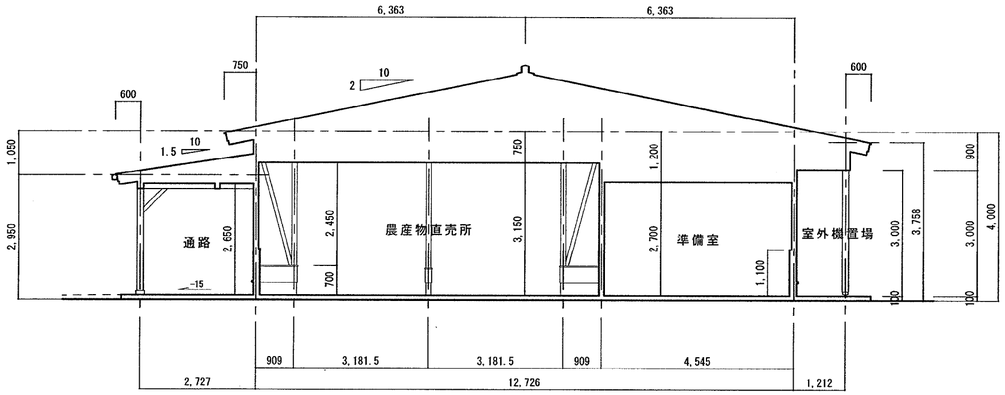

北　面

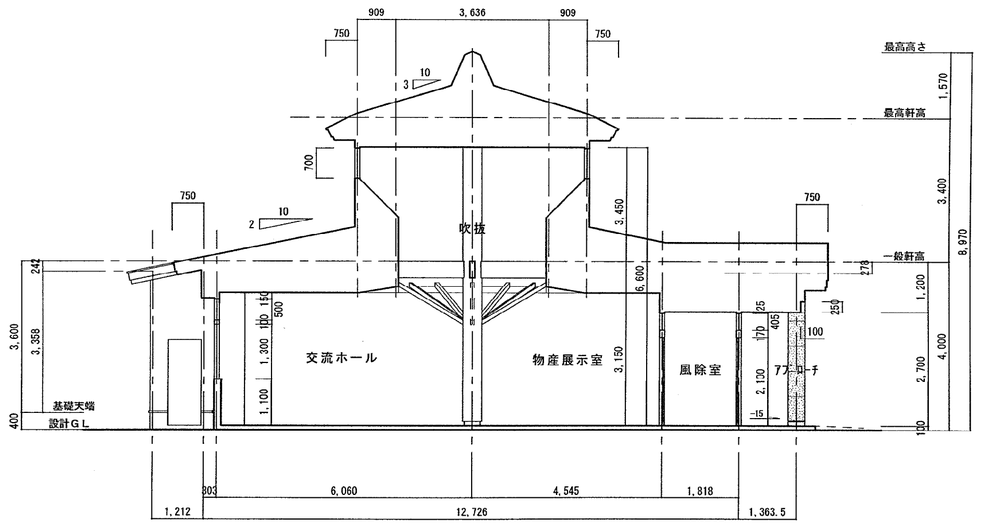
Title
（仮称）小町の館建築工事（建築工事）

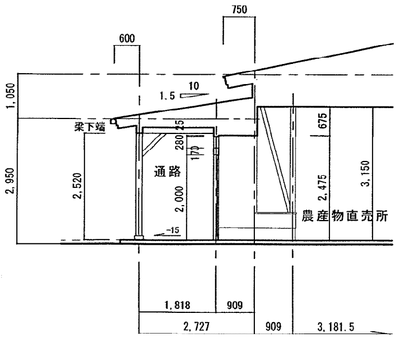
立　面　図

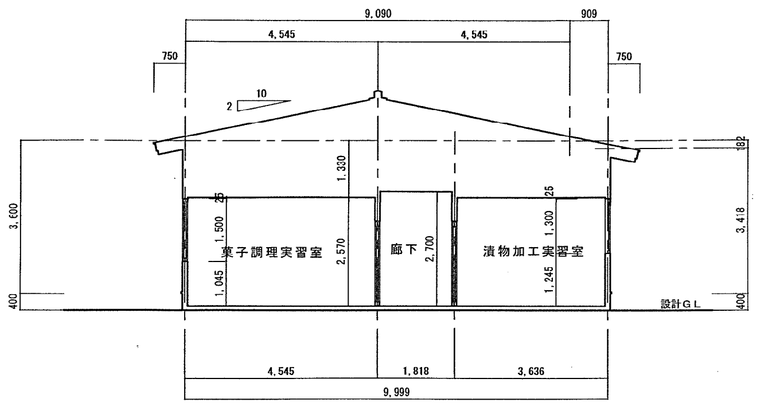
Scale
S=1:100

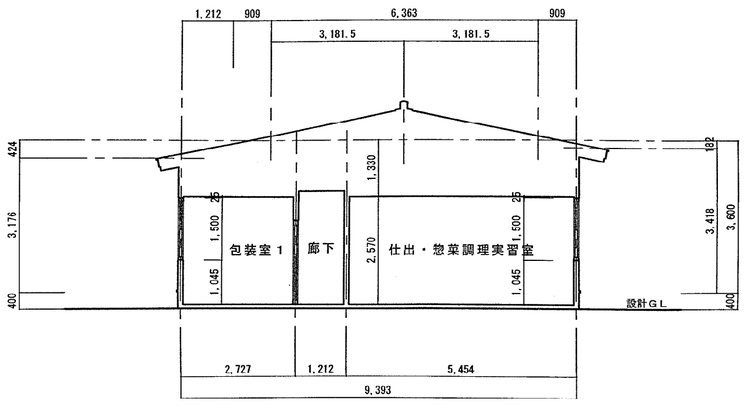
NO
A-10



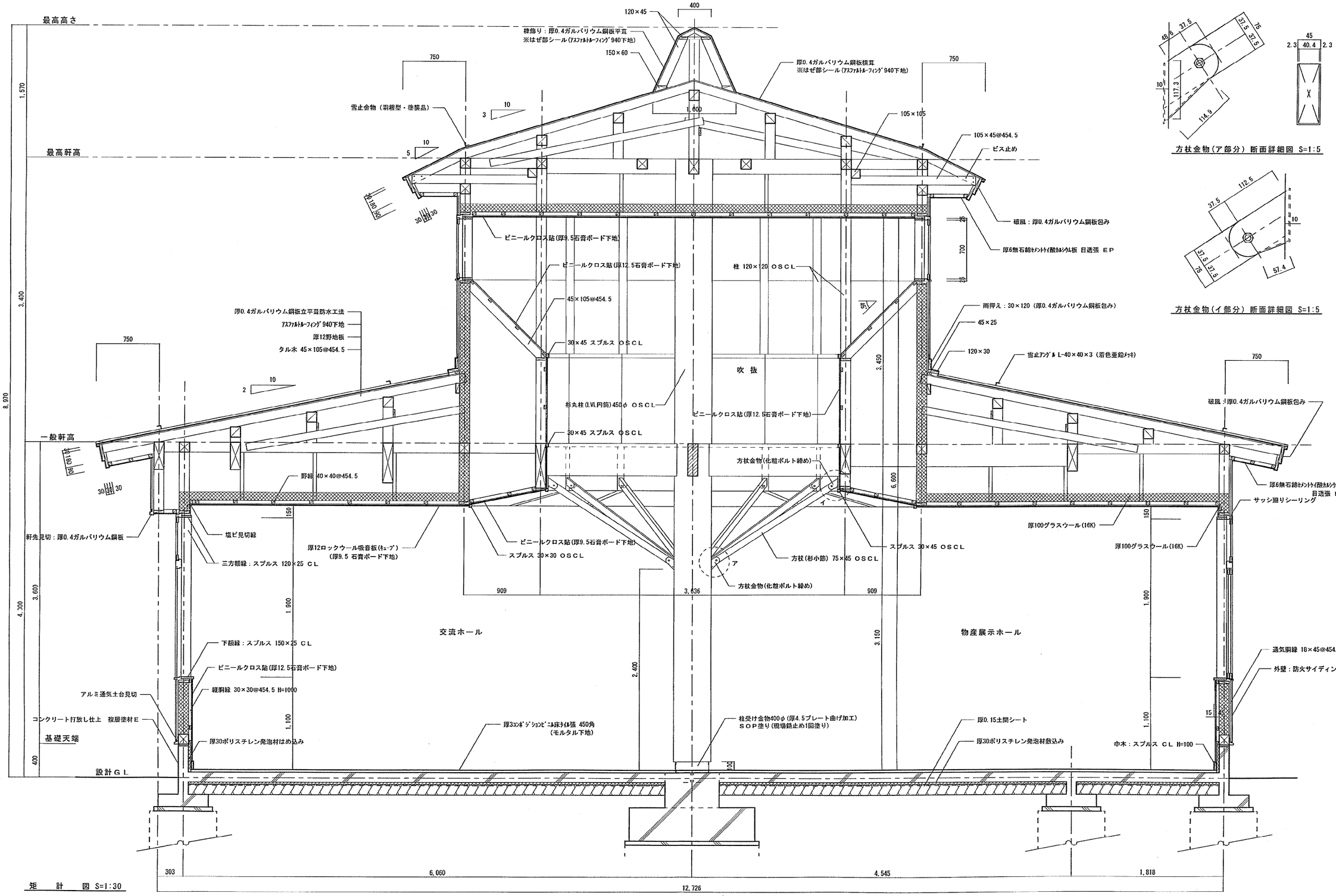




断　面　図 S=1:100

| | Title | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| | (仮称)小町の館建築工事（建築工事） | 断　面　図　S=1:100 | A-11 |




矩　計　図 S=1:30

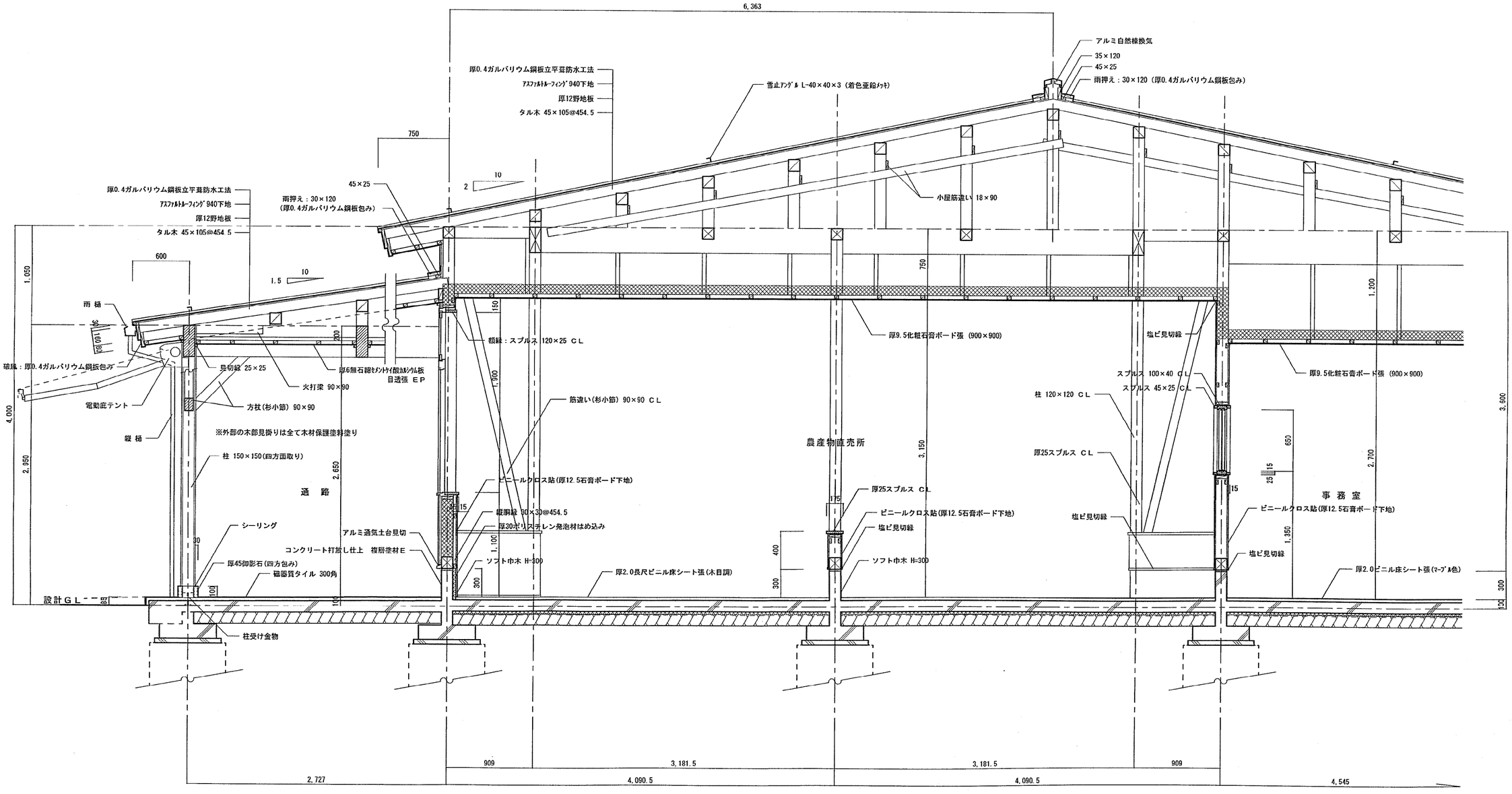



方杖金物(ア部分) 断面詳細図 S=1:5




方杖金物(イ部分) 断面詳細図 S=1:5

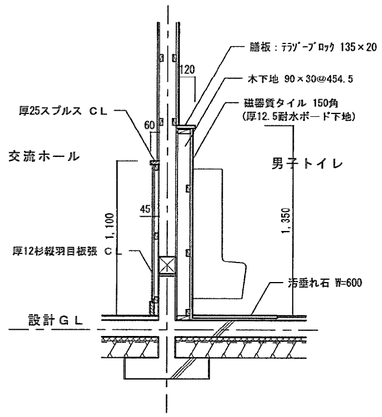
| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事）　矩　計　図（1） | S=1:30 | A-12 |

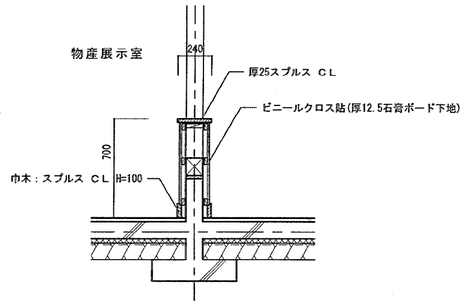


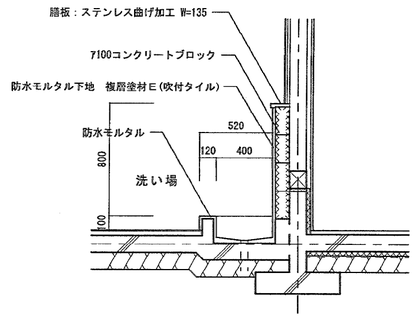

矩　計　図 S=1:30

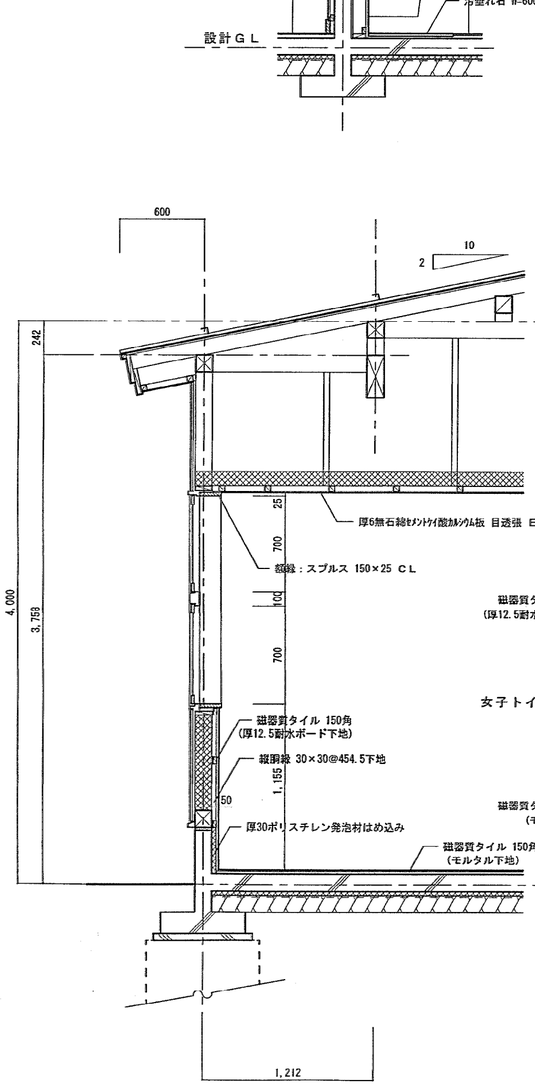
| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事） | 矩　計　図（2） | S=1:30 | A-13 |

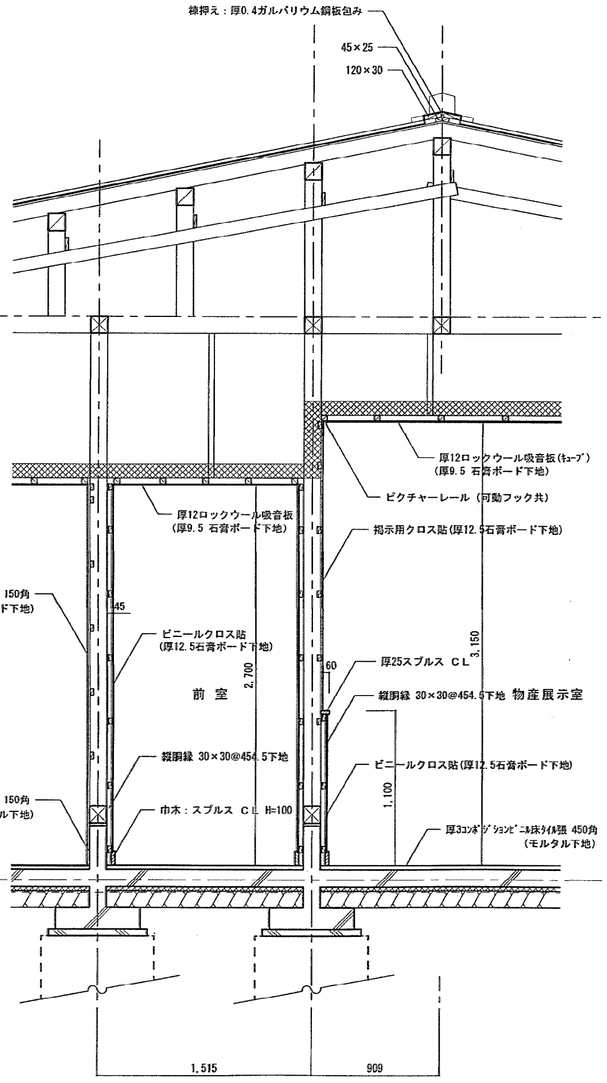
コンクリート打放し仕上　複層塗材Ｅ(吹付タイル)

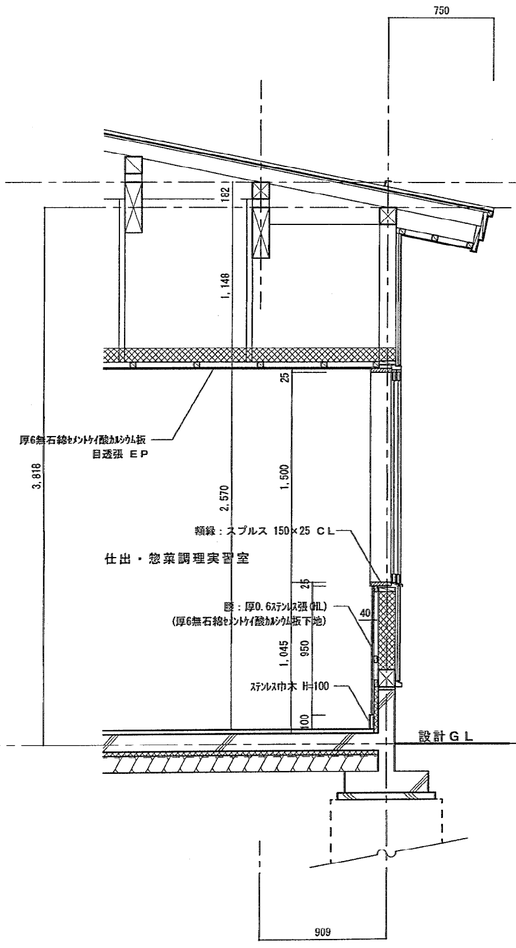


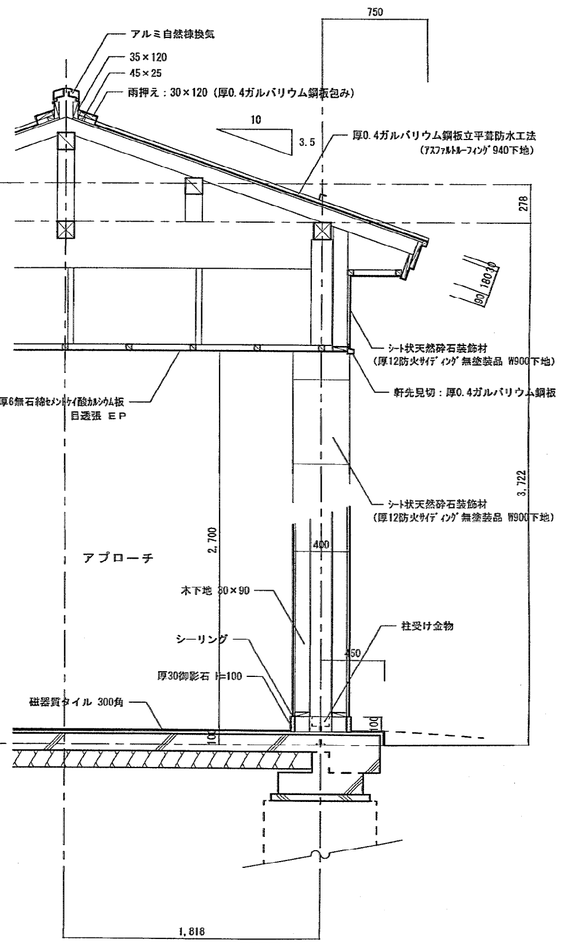



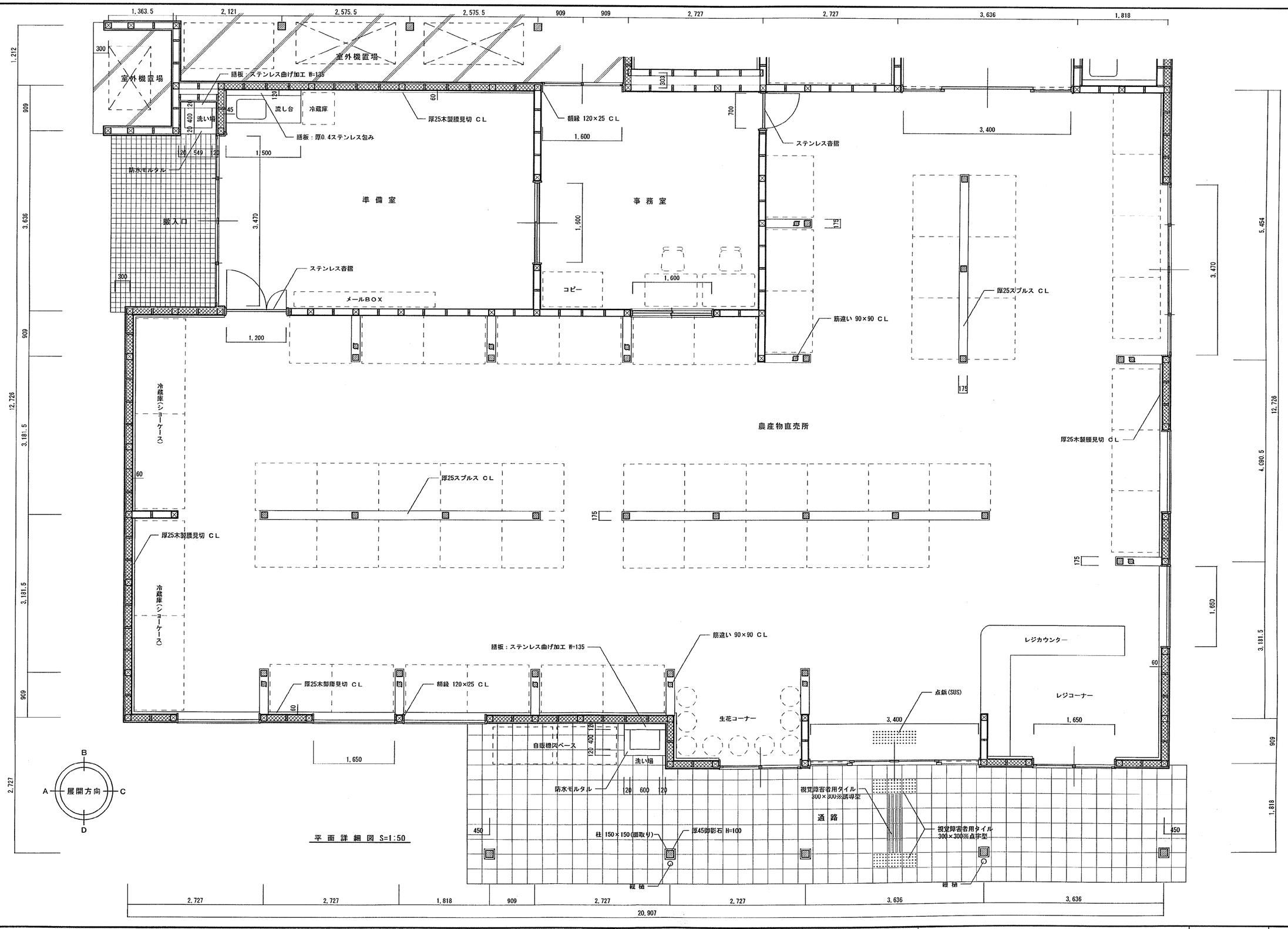



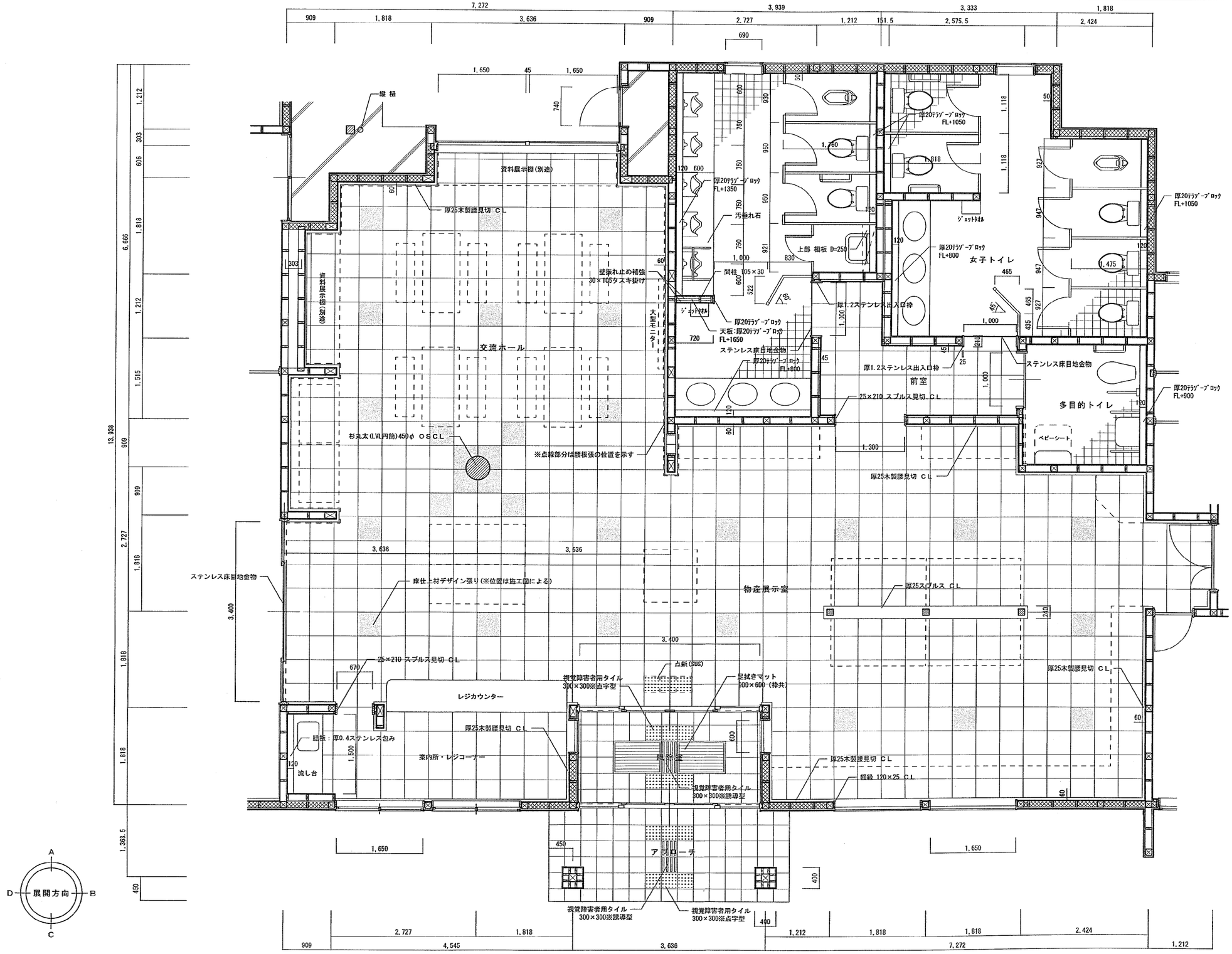




矩　計　図 S=1:30

| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事） | 矩　計　図（３） | S=1:30 | A-14 |

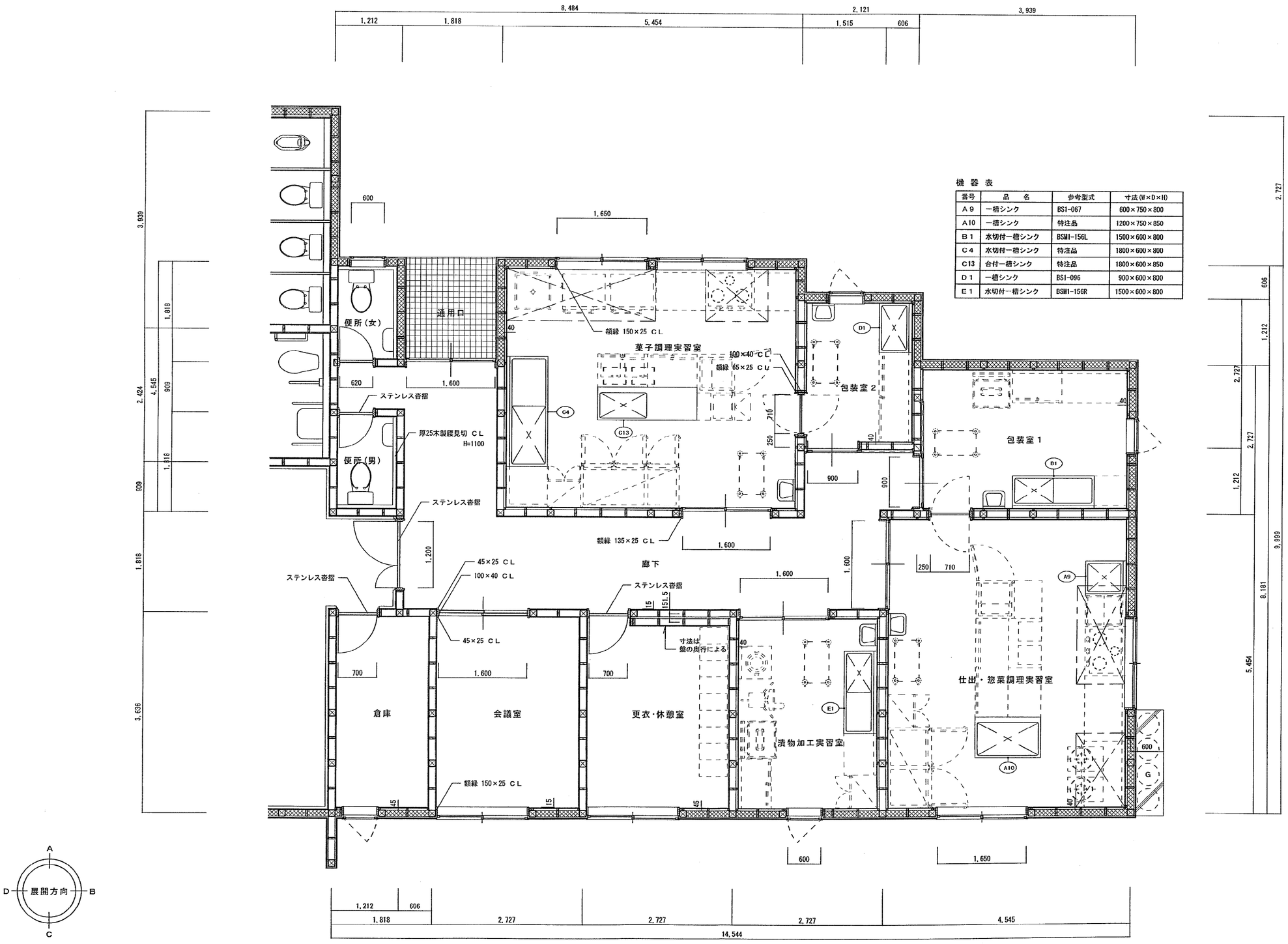



| | | | |
|---|---|---|---|
| [redacted] | Title (仮称)小町の館建築工事（建築工事） | Scale S=1:50 | NO A-15 |
| | 平 面 詳 細 図（1） | | |




平 面 詳 細 図 S=1:50

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事(建築工事) 平 面 詳 細 図 (2) | S=1:50 | A-16 |




機 器 表

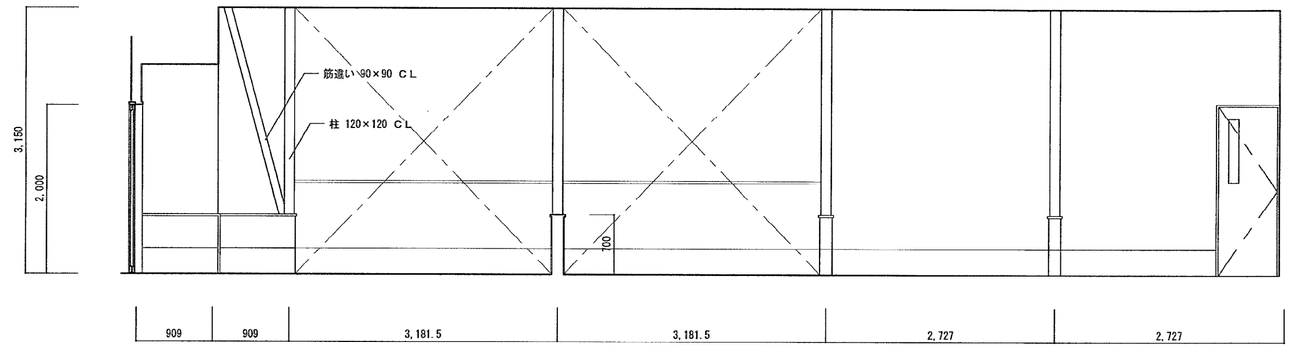
| 番号 | 品 名 | 参考型式 | 寸法(W×D×H) |
|---|---|---|---|
| A 9 | 一槽シンク | BSI-067 | 600×750×800 |
| A10 | 一槽シンク | 特注品 | 1200×750×850 |
| B 1 | 水切付一槽シンク | BSM1-156L | 1500×600×800 |
| C 4 | 水切付一槽シンク | 特注品 | 1800×600×800 |
| C13 | 台付一槽シンク | 特注品 | 1800×600×850 |
| D 1 | 一槽シンク | BSI-096 | 900×600×800 |
| E 1 | 水切付一槽シンク | BSM1-156R | 1500×600×800 |



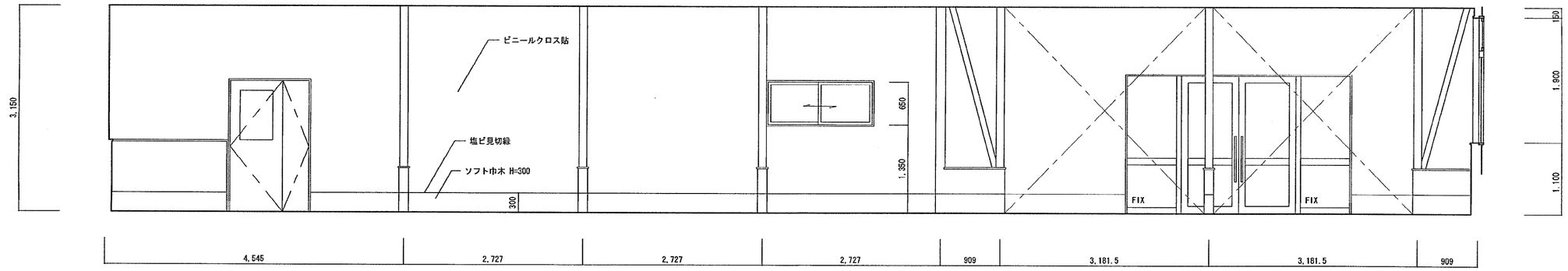

平 面 詳 細 図 S=1:50

| | Title | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| | (仮称)小町の館建築工事（建築工事） | 平 面 詳 細 図（3） S=1:50 | A-17 |

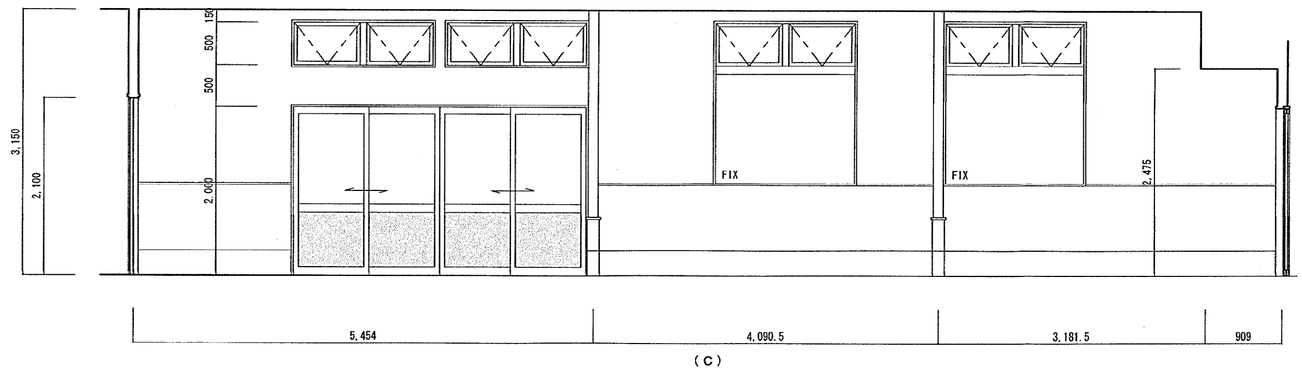
農産物直売所



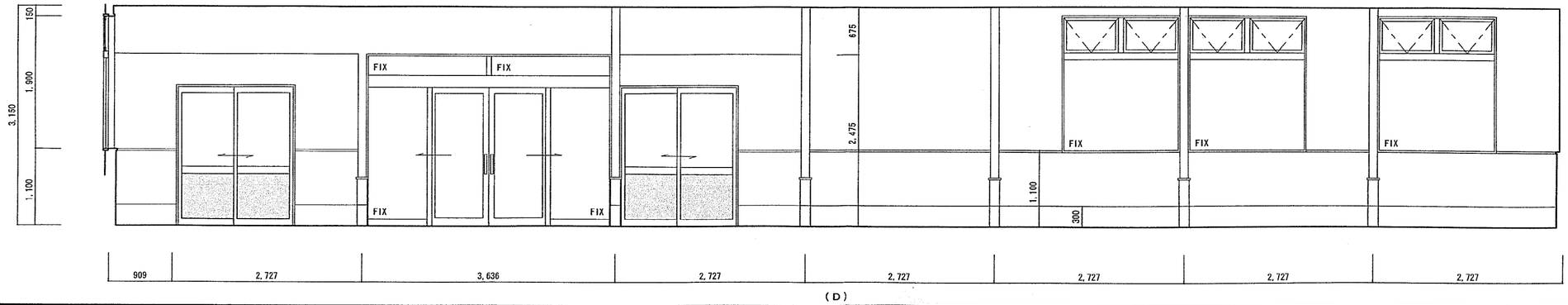

（A）




（B）



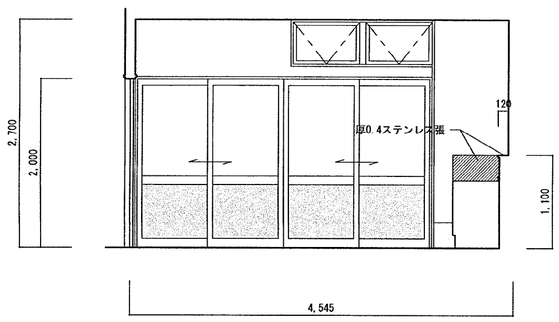

（C）



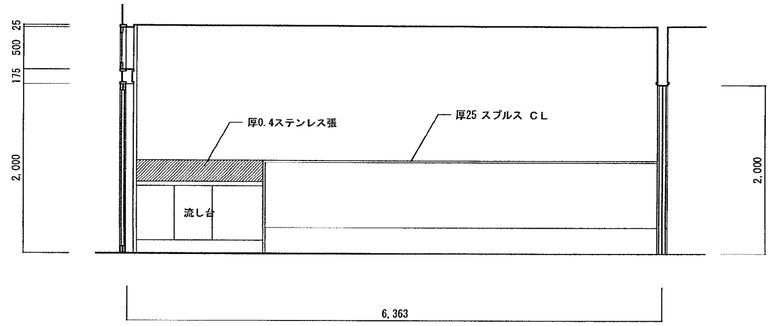

（D）

| | | | |
|---|---|---|---|
| [redacted] | Title (仮称)小町の館建築工事（建築工事) | 展　開　図（1） | Scale S=1:50 / NO A-18 |

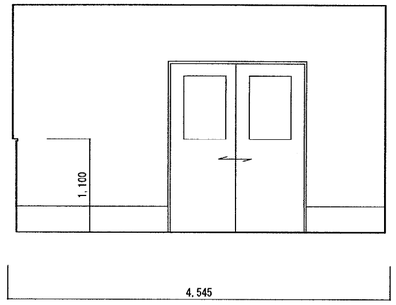
## 準備室




（A）

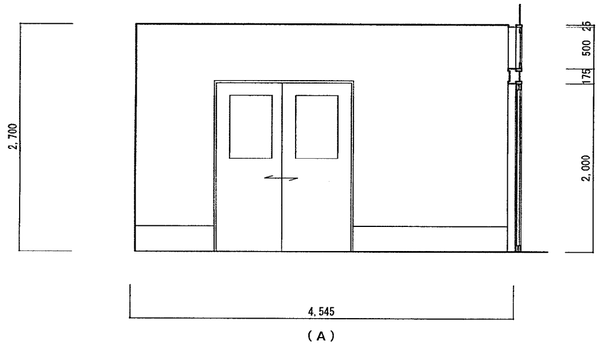



（B）

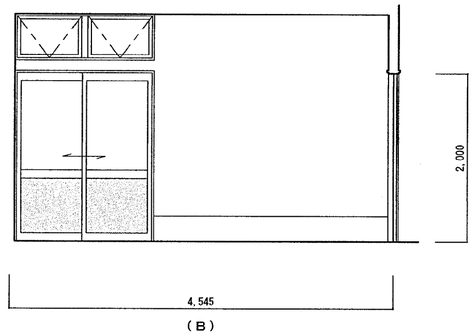



（C）

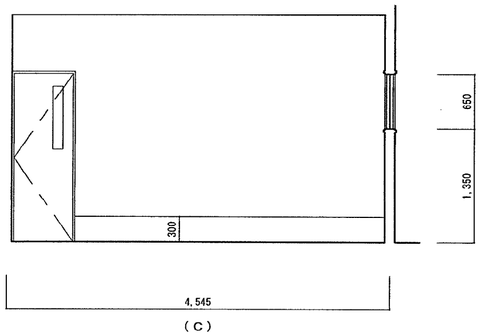
## 事務室



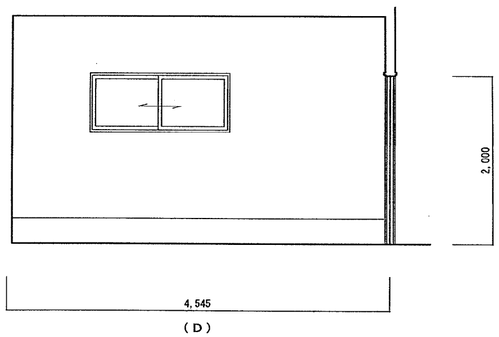

（A）




（B）

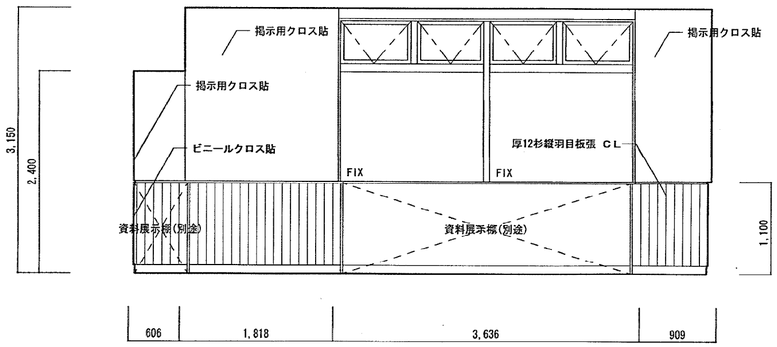



（C）

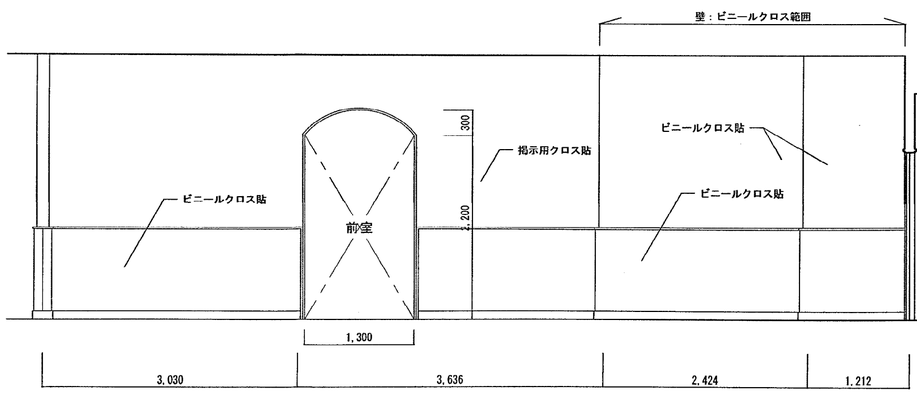



（D）

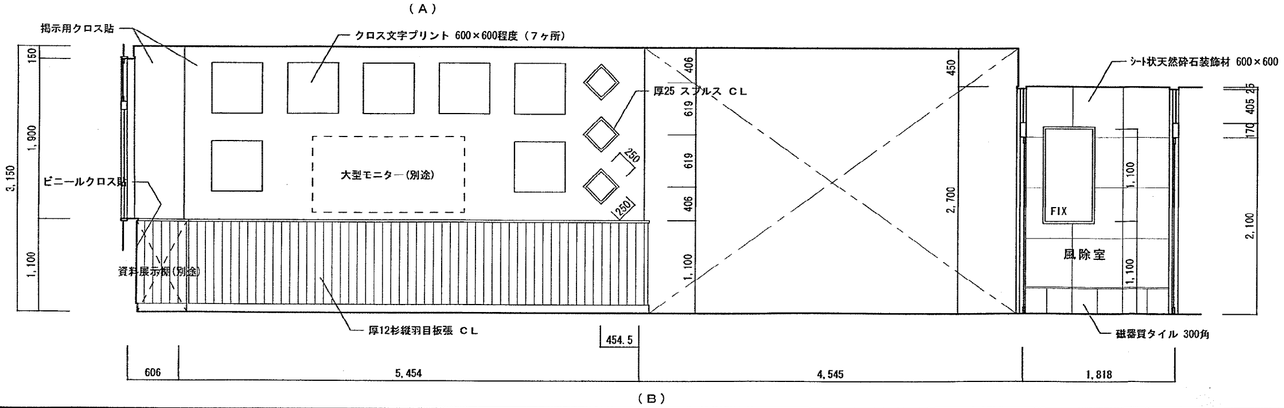
## 交流ホール・物産展示室



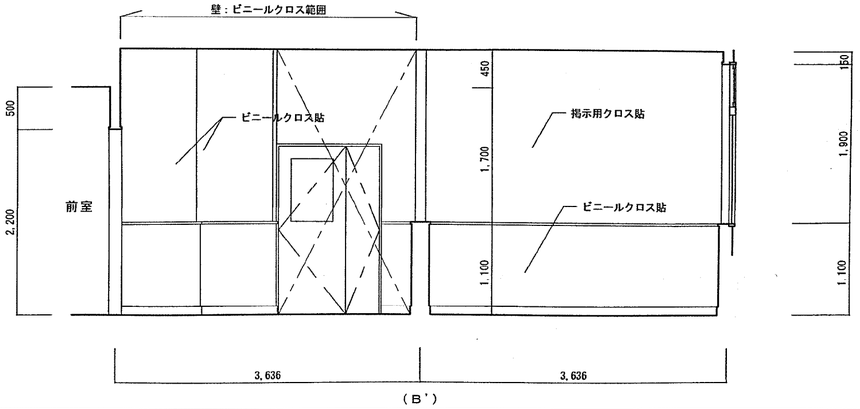

（A）




（A'）



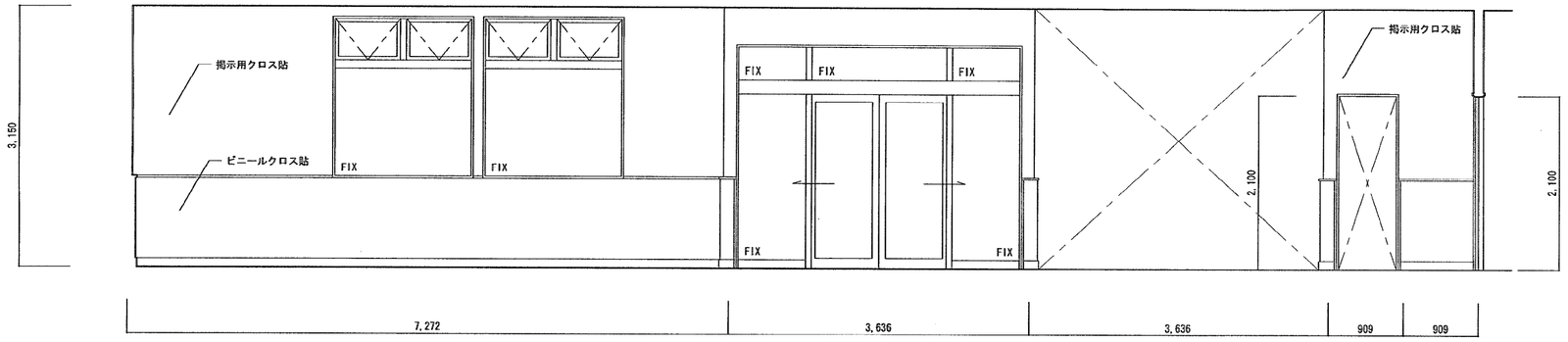

（B）



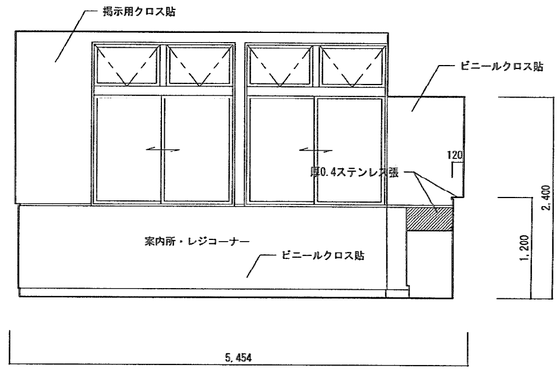

（B'）

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事）　展　開　図（2） | S=1:50 | A-19 |

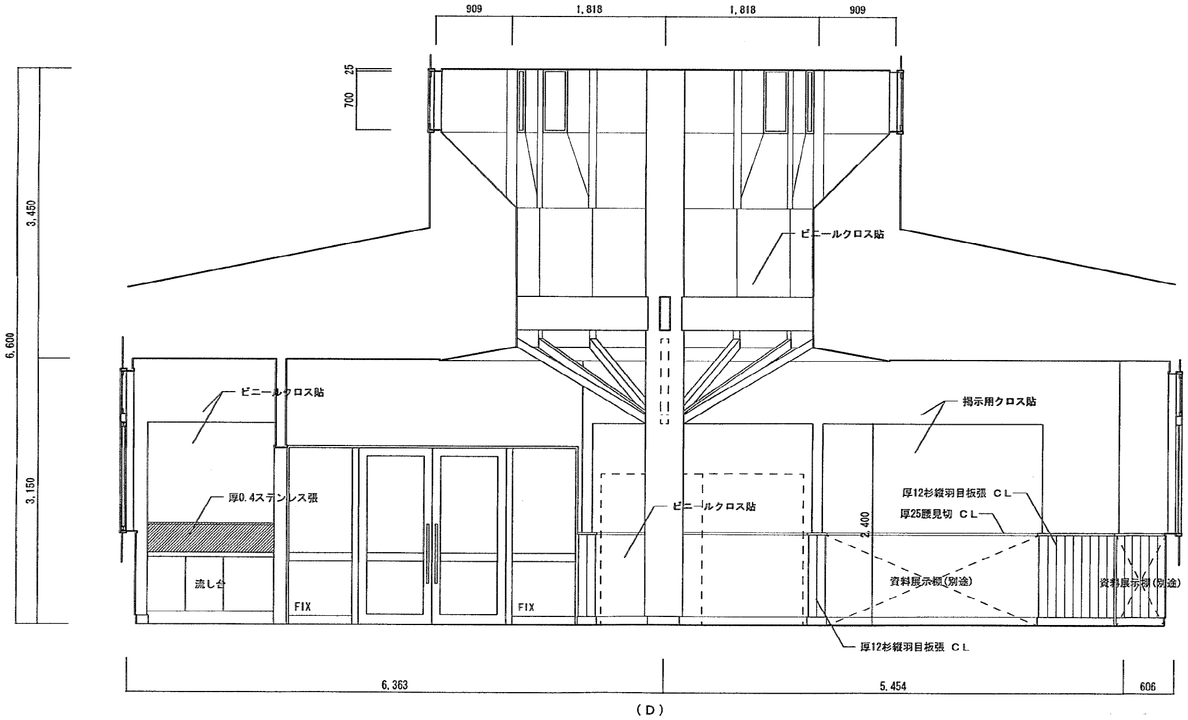
交流ホール・物産展示室




（C）

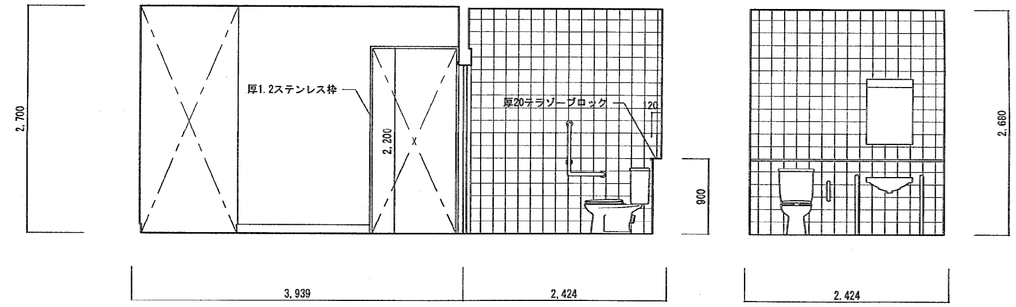



（C'）

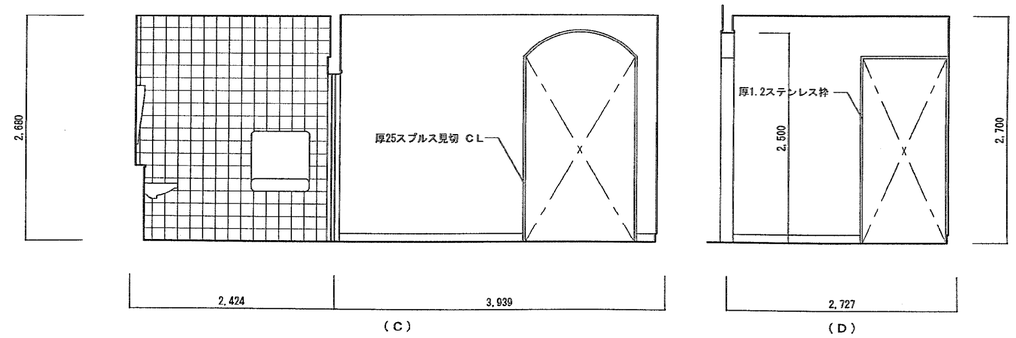



（D）

前室・多目的トイレ

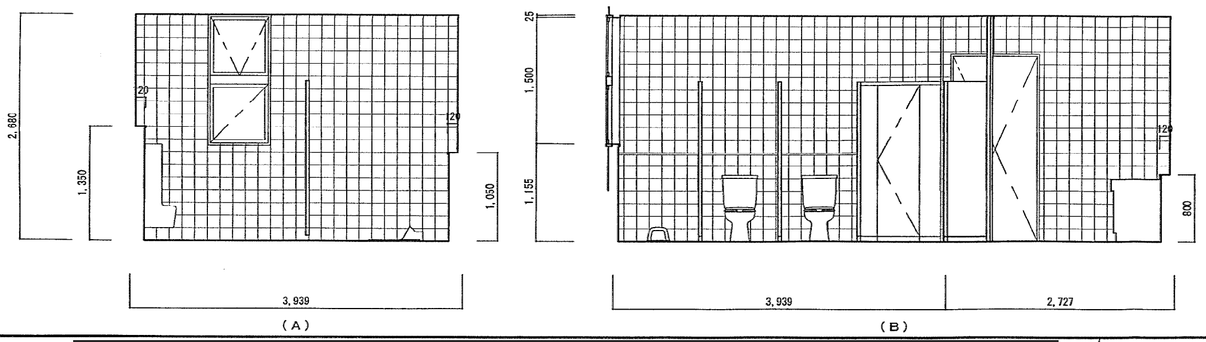



（A）　（B）




（C）　（D）

男子トイレ




（A）　（B）　（C）　（D）

[redacted]

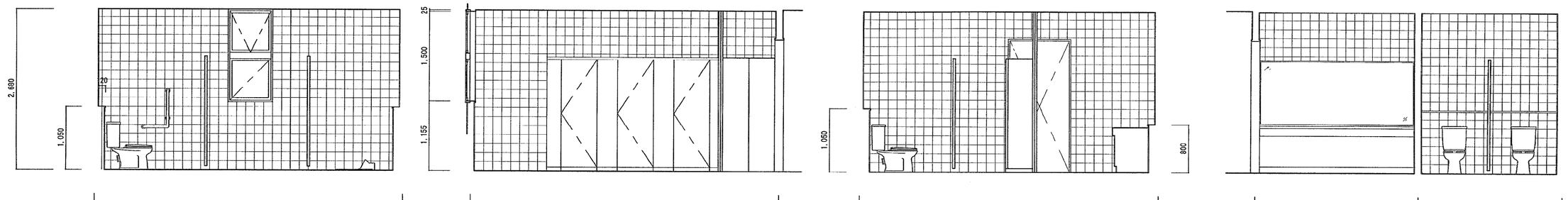
Title
（仮称）小町の館建築工事（建築工事）

展　開　図（3）

Scale
S=1:50

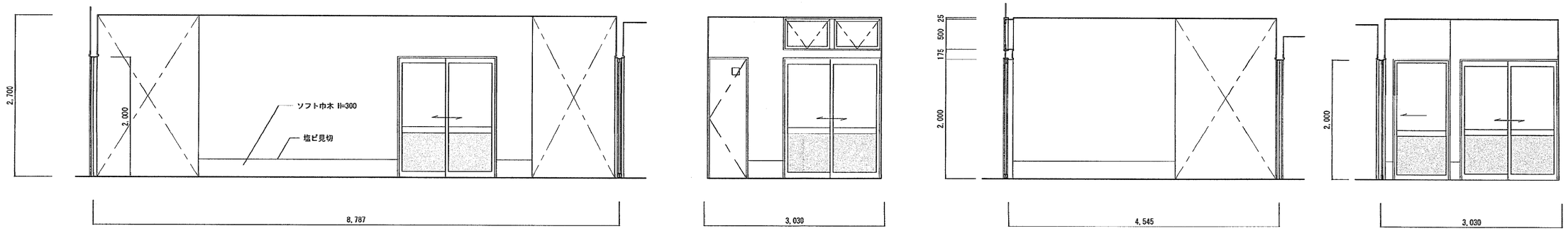
NO
A-20

女子トイレ

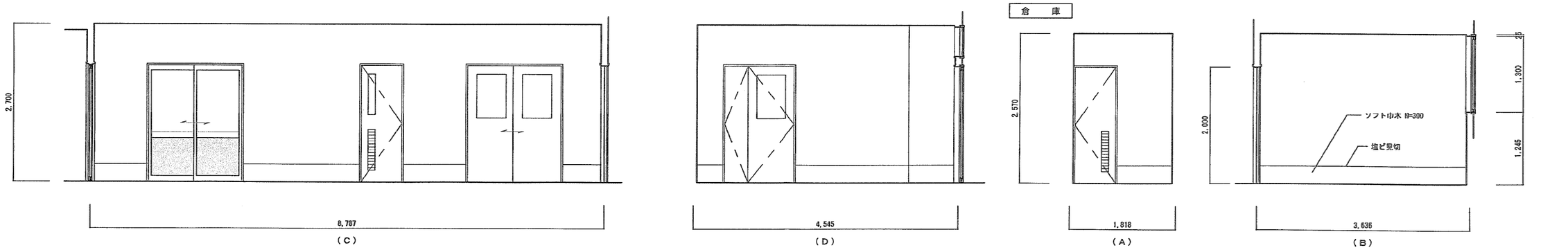



（A）　（B）　（C）　（D）

廊　下

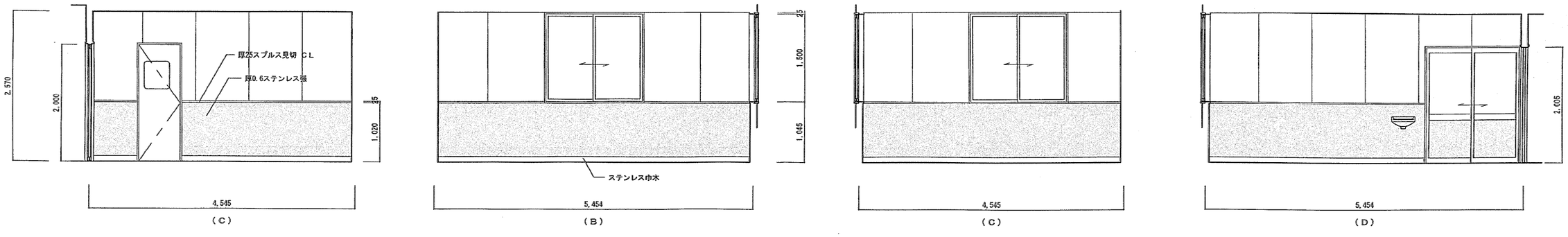



（A）　（A'）　（B）　（B'）




（C）　（D）　（A）　（B）

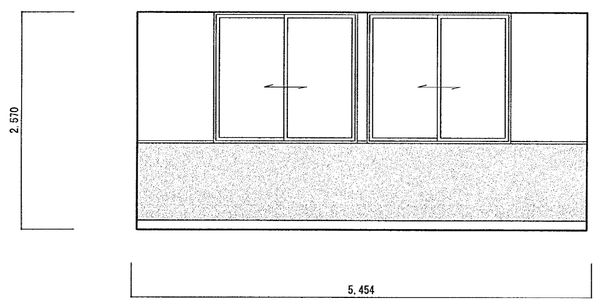
仕出・惣菜調理実習室



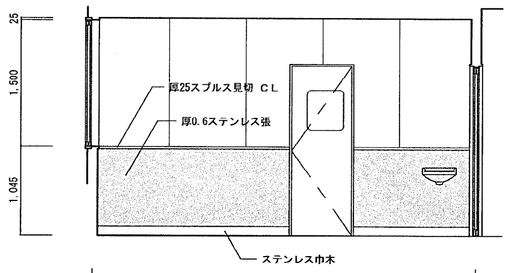

（C）　（B）　（C）　（D）

| | | | |
|---|---|---|---|
| | Title | Scale | NO |
| [redacted] | （仮称）小町の館建築工事（建築工事）　展　開　図（4） | S=1:50 | A-21 |

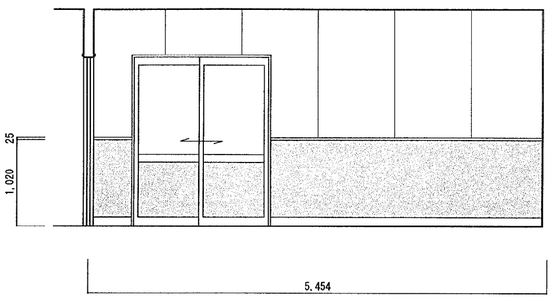
## 菓子調理実習室



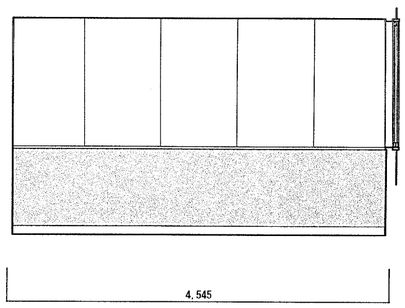
（A）



（B）

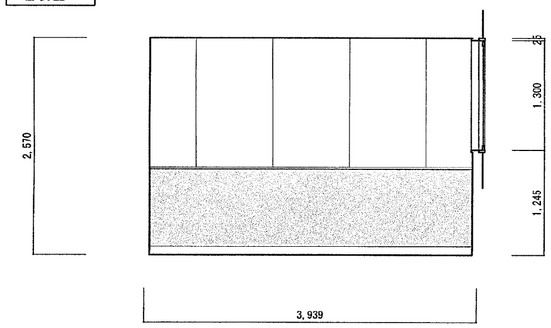


（C）

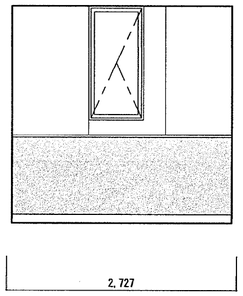


（D）

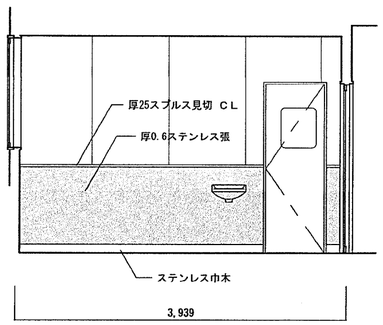
## 包装室１



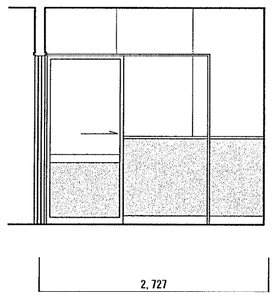
（A）



（B）

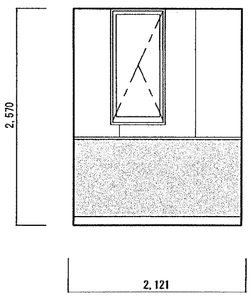


（C）

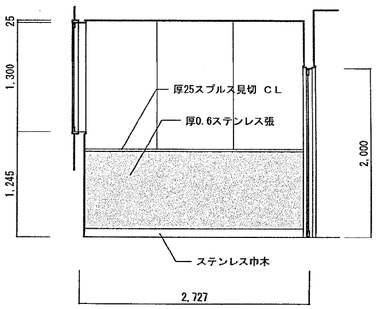


（D）

## 包装室２

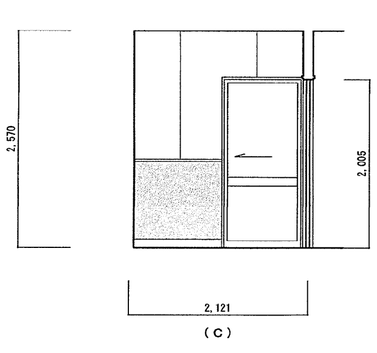


（A）

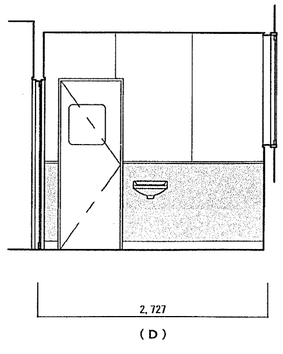


（B）

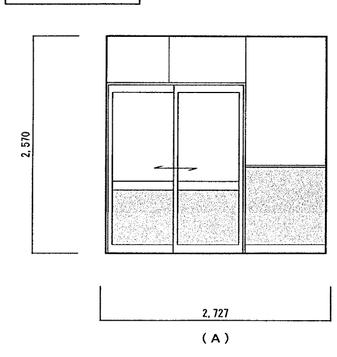
## 漬物加工実習室



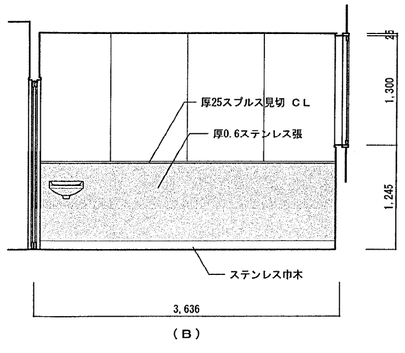
（C）



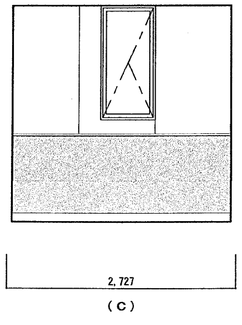
（D）



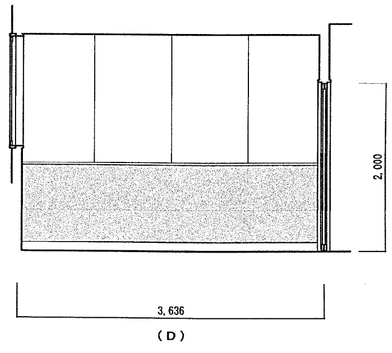
（A）



（B）

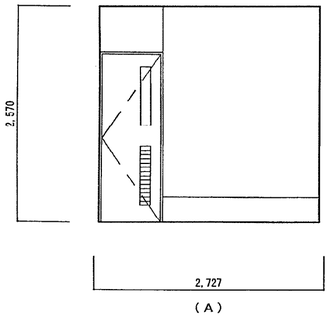


（C）

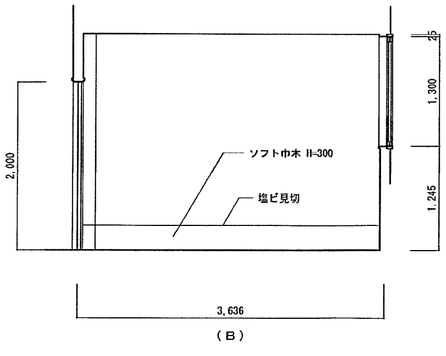


（D）

## 更衣・休憩室

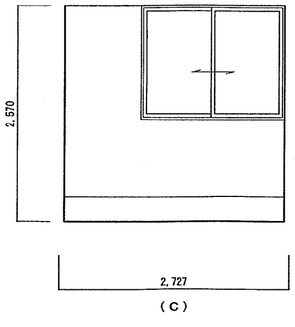


（A）

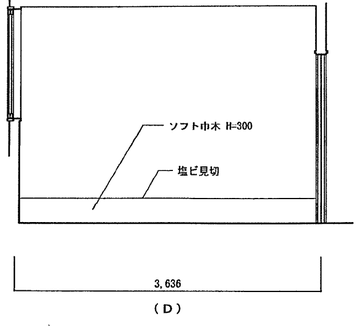


（B）

## 会議室

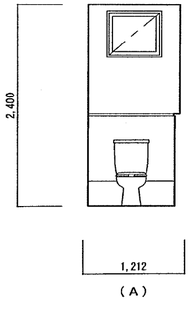


（C）

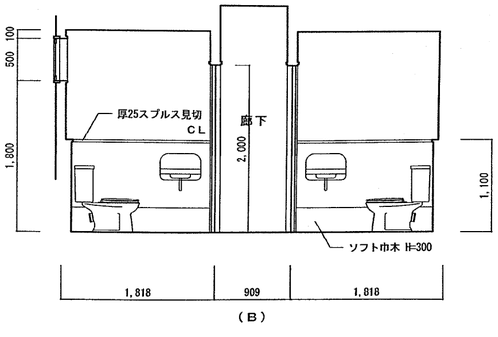


（D）

## 便所（女・男）



（A）



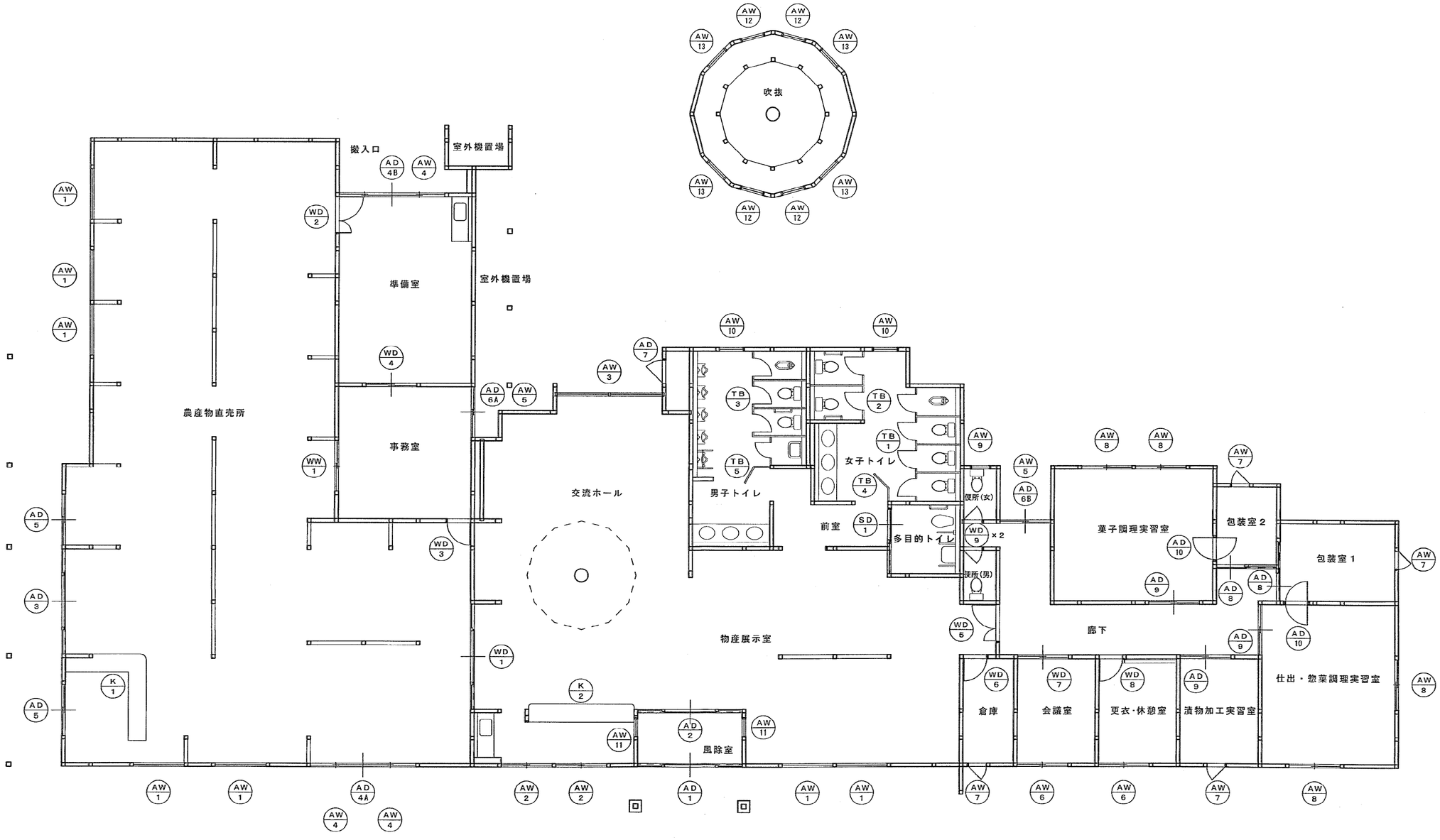
（B）

Title
(仮称)小町の館建築工事（建築工事）

展　開　図（5）

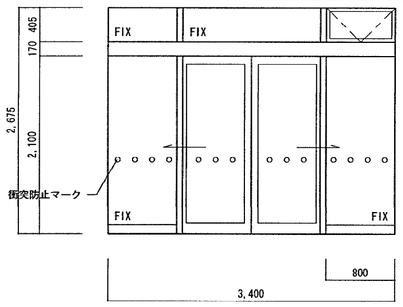
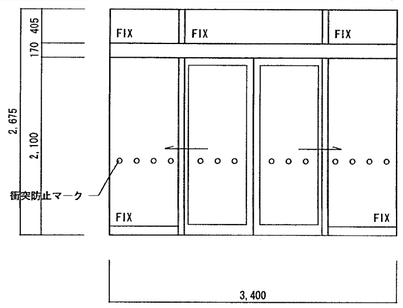
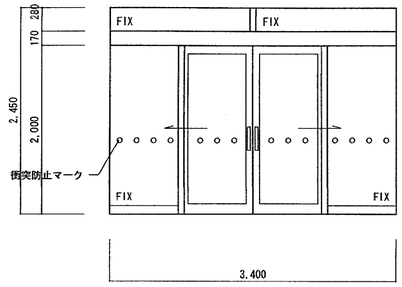
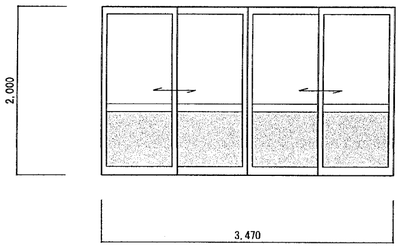
Scale
S=1:50

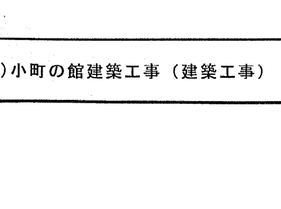
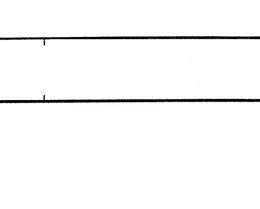
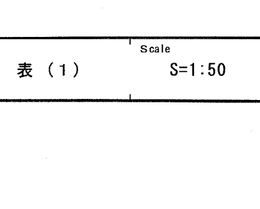
NO
A-22

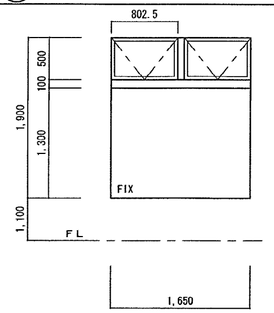
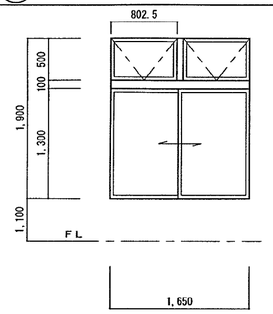
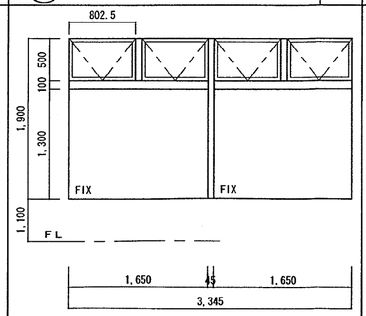
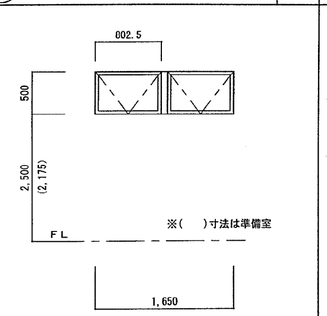
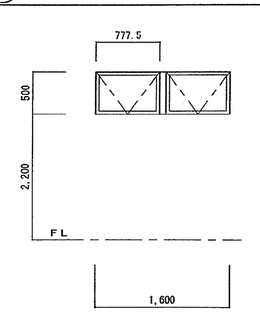
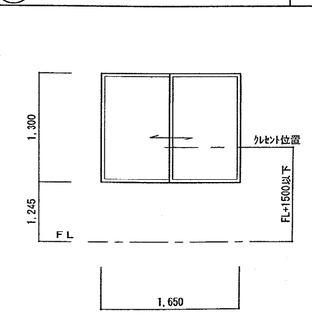



キ ー プ ラ ン S=1:100

| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事） | キ ー プ ラ ン | S=1:100 | A-23 |

| 符号・数量 | AD 1 昼除室 | 数量 1 | AD 2 昼除室 | 数量 1 | AD 3 農産物直売所 | 数量 1 | AD 4A AD 4B 農産物直売所・準備室 | 数量 1 | 数量 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | |  | |  | |  | | |
| 形式 | 排煙窓付引き分け自動ドア | | はめ殺し窓付引き分け自動ドア | | はめ殺し窓付引き分け自動ドア | | AD4A：４枚建引違いサッシ（断熱サッシ） AD4B：４枚建引違いサッシ（フロントサッシ） | | |
| 見込 | １００ | | １００ | | １００ | | AD4B：７０ | | |
| 材質・仕上 | アルミカラー | | アルミカラー | | アルミカラー | | AD4A：アルミカラー（内側樹脂） AD4B：アルミカラー | | |
| 硝子 | ５ミリ透明（ランマ：３ミリ透明） | | ５ミリ透明（ランマ：３ミリ透明） | | 透明ペア（５＋６＋５）、ランマ：透明ペア（３＋６＋３） | | AD4A：透明ペア(3+12+3) AD4B：透明・型板ペア(3+6+4) ※AD4A-B共通（腰：アルミ断熱パネル） | | |
| 金物 | サムターン付シリンダー錠・オートエンジン・衝突防止マーク<br>熱線スイッチ（安全光線スイッチ併用・無目取付型）<br>内外部三方雨切・ワイヤーチェーン式開閉装置(FL+1500以下)・付属金物一式 | | サムターン付シリンダー錠・オートエンジン・衝突防止マーク<br>熱線スイッチ（安全光線スイッチ併用・無目取付型）<br>内外部三方雨切・付属金物一式 | | サムターン付シリンダー錠・オートエンジン・衝突防止マーク<br>内：タッチ式スイッチ、外：熱線スイッチ（安全光線スイッチ併用・無目取付型）<br>内外部三方雨切・付属金物一式 | | 上げ下げ錠付シリンダー錠<br>土間取付け（下枠SUS）・付属金物一式 | | |

| 符号・数量 | AD 5 農産物直売所 | 数量 2 | AD 6A AD 6B 事務室・廊下 | 数量 1 | 数量 1 | AD 7 ブロアー室 | 数量 1 | AD 8 包装室１・２ | 数量 2 | AD 9 実習室 | 数量 3 | AD 10 包装室１・２ | 数量 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | | | | | | |  | |  | |  | |
| 形式 | 引違いサッシ（断熱サッシ） | | 引違いサッシ（断熱サッシ） | | | 片開きドア | | 片引きサッシ | | 引違いサッシ | | スイングドア（ユニフロー ＥＤ－３同等品） | |
| 見込 | | | | | | | | | | | | | |
| 材質・仕上 | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | | アルミカラー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | 表面樹脂シート（芯材ＭＤＦボード） | |
| 硝子 | 透明ペア（３＋１２＋３） ※腰：アルミ断熱パネル | | ADGA：透明ペア(3+12+3)、ADGB：透明・型板ペア(3+12+4) | | | 4ミリ型板 ※腰：アルミパネル | | ３ミリ透明 ※腰：アルミパネル | | ３ミリ透明 ※腰：アルミパネル | | 透明アクリル | |
| 金物 | 上げ下げ錠付シリンダー錠<br>土間取付け（下枠SUS）・付属金物一式 | | 上げ下げ錠付シリンダー錠 ADGA：網戸 ※腰：アルミ断熱パネル<br>土間取付け（下枠SUS）・付属金物一式 | | | シリンダー錠・土間取付け（下枠SUS）・付属金物一式 | | シリンダー錠・土間取付け（下枠SUS）・付属金物一式 | | シリンダー錠・土間取付け（下枠SUS）・付属金物一式 | | 付属金物一式 | |

| 符号・数量 | AW 1 農産物直売所・物産展示室 | 数量 7 | AW 2 物産展示室 | 数量 2 | AW 3 交流ホール | 数量 1 | AW 4 農産物直売所・準備室 | 数量 3 | AW 5 事務室・廊下 | 数量 2 | AW 6 会議室・更衣休憩室 | 数量 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | |  | |  | |  | |  | |  | |
| 形式 | 排煙窓付はめ殺しサッシ（断熱サッシ） | | 排煙窓付引違いサッシ（断熱サッシ） | | 排煙窓付はめ殺しサッシ（断熱サッシ） | | 排煙サッシ（断熱サッシ） | | 排煙サッシ（断熱サッシ） | | 引違いサッシ（断熱サッシ） | |
| 見込 | | | | | | | | | | | | |
| 材質・仕上 | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | |
| 硝子 | 透明ペア（３＋１２＋３） | | 透明ペア（３＋１２＋３） | | 透明ペア（３＋１２＋３） | | 透明ペア（３＋１２＋３） | | 透明ペア（３＋１２＋３） | | 透明・型板ペア（３＋１２＋４） | |
| 金物 | ワイヤーチェーン式開閉装置(FL+1500以下)<br>付属金物一式 | | ワイヤーチェーン式開閉装置(FL+1500以下)<br>網戸（引き違い用）・付属金物一式 | | ワイヤーチェーン式開閉装置(FL+1500以下)<br>付属金物一式 | | ワイヤーチェーン式開閉装置(FL+1500以下)<br>付属金物一式 | | ワイヤーチェーン式開閉装置(FL+1500以下)<br>付属金物一式 | | ダブルクレセント(標準クレセント取り外し)・網戸<br>付属金物一式 | |

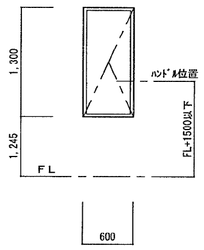
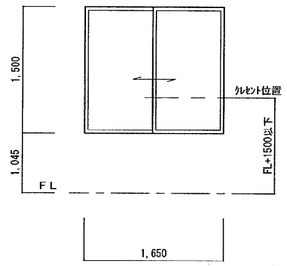
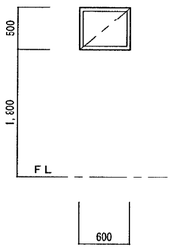
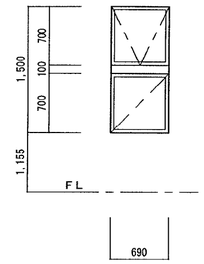
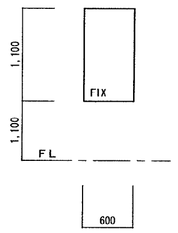
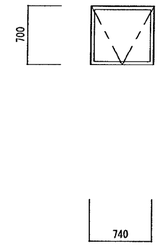
※断熱サッシはアルプラクラスＫ３同等品とする

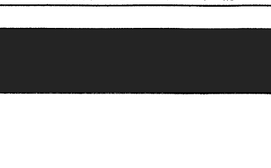
Title (仮称)小町の館建築工事（建築工事)

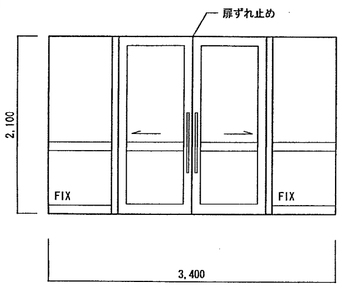
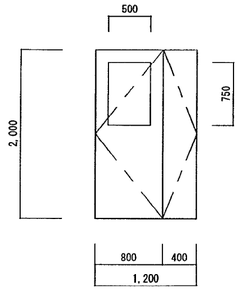
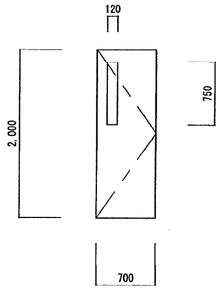
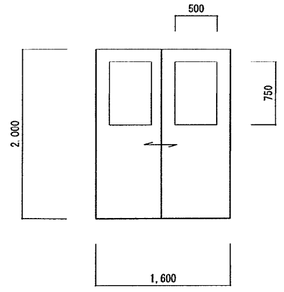
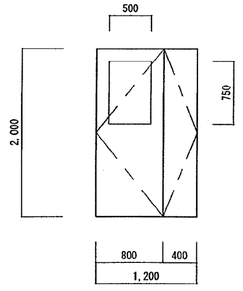
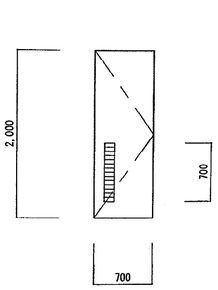
建具表（１)

Scale S=1:50

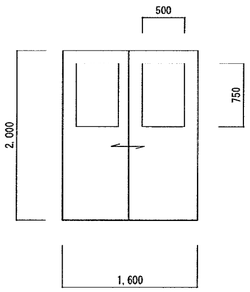
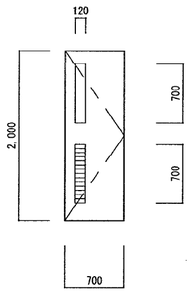
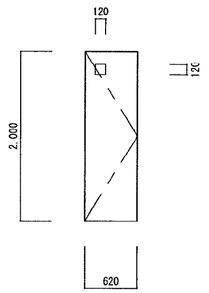
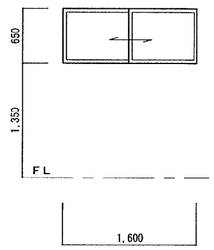
NO A-24

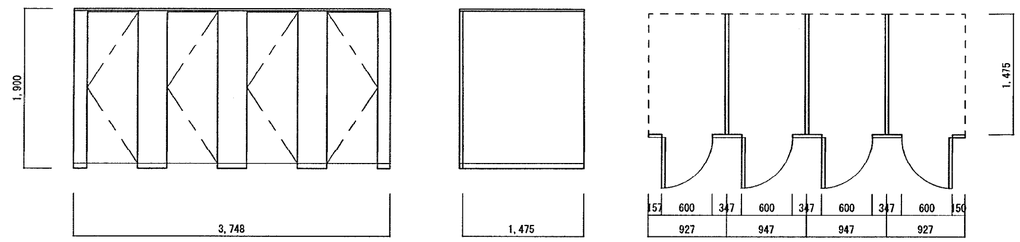
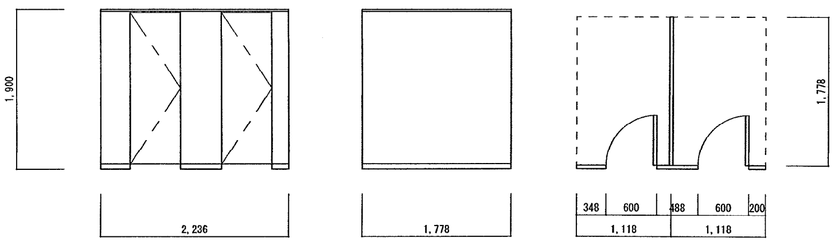
| 符号・数量 | AW 7 倉庫・漬物加工実習室・包装室1.2 | 数量 4 | AW 8 実習室 | 数量 4 | AW 9 便所（女） | 数量 1 | AW 10 男子トイレ・女子トイレ | 数量 2 | AW 11 風除室 | 数量 2 | AW 12 吹抜 | 数量 4 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | |  | |  | |  | |  | |  | |
| 形式 | タテすべり出しサッシ※オペレータータイプ（断熱サッシ） | | 引違いサッシ（断熱サッシ） | | 横すべり出しサッシ※オペレータータイプ（断熱サッシ） | | 排煙窓付横すべり出しサッシ（断熱サッシ） | | はめ殺しサッシ（断熱サッシ） | | 排煙サッシ（断熱サッシ） | |
| 見込 | | | | | | | | | | | | |
| 材質・仕上 | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | | アルミカラー（内側樹脂） | |
| 硝子 | 透明・型板ペア（３＋１２＋４） | | 透明・型板ペア（３＋１２＋４） | | 透明・型板ペア（３＋１２＋４） | | 透明・型板ペア（３＋１２＋４） | | 透明ペア（３＋１２＋３） | | 透明ペア（３＋１２＋３） | |
| 金物 | 折りたたみ網戸<br>付属金物一式 | | ダブルクレセント（標準クレセント取り外し）・網戸<br>付属金物一式 | | 網戸・チェーン式オペレーター<br>付属金物一式 | | ワイヤーチェーン式開閉装置（FL+1500以下）<br>横すべり出しサッシ網戸・付属金物一式 | | 付属金物一式 | | オペレーター式開閉装置（FL+1500以下）※サッシ２台で１ヶ所<br>付属金物一式 | |

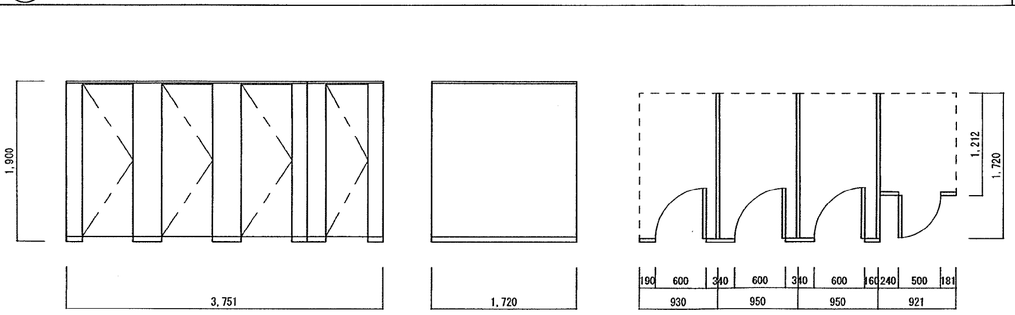
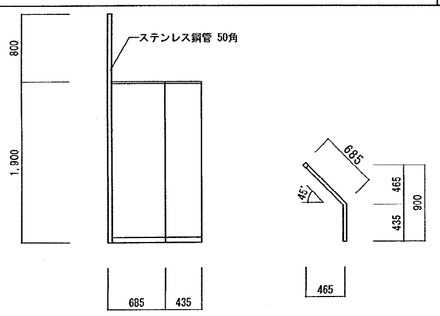
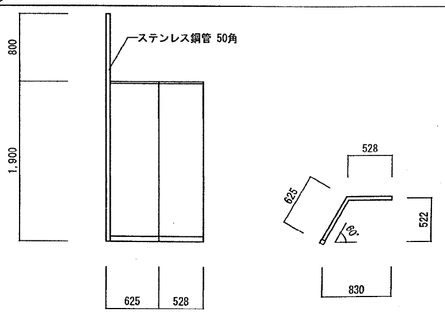
| 符号・数量 | AW 13 吹抜 | 数量 4 | SD 1 吹抜 | 数量 1 |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | |  | |
| 形式 | はめ殺しサッシ（断熱サッシ） | | 鋼製引戸（三和 スムードα同等品） | |
| 見込 | | | | |
| 材質・仕上 | アルミカラー（内側樹脂） | | 扉：厚0.6 カラー鋼鈑 | |
| 硝子 | 透明ペア（３＋１２＋３） | | ４ミリ型板 | |
| 金物 | 付属金物一式 | | 引戸クローザー・ステンレス引手・厚1.2 ステンレス三方枠・中間停止装置<br>シリンダー錠（外側：表示付非常解シリンダー　内側：大型サムターン）<br>付属金物一式 | |

| 符号・数量 | WD 1 物産展示室 | 数量 1 | WD 2 準備室 | 数量 1 | WD 3 事務室 | 数量 1 | WD 4 事務室 | 数量 1 | WD 5 廊下 | 数量 1 | WD 6 倉庫 | 数量 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | |  | |  | |  | |  | |  | |
| 形式 | はめ殺し付引き分け戸 | | 額入親子開きフラッシュ戸 | | 額入片開きフラッシュ戸 | | 額入引違いフラッシュ戸 | | 額入親子開きフラッシュ戸 | | 額入片開きフラッシュ戸 | |
| 見込 | ４０ | | ４０ | | ４０ | | ４０ | | ４０ | | ４０ | |
| 材質・仕上 | スプルス ＣＬ | | 両面ポリ化粧合板 | | 両面ポリ化粧合板 | | 両面ポリ化粧合板 | | 両面ポリ化粧合板 | | 両面ポリ化粧合板 | |
| 硝子 | ３ミリ透明 | | ３ミリ透明 | | ３ミリ透明 | | ３ミリ透明 | | ４ミリ型板 | | | |
| 金物 | ハンガーレール金物一式・ガイドローラー・木製引手 L=700 | | 丁番・レバーハンドル・フランス落し<br>ドアクローザー・戸当り・サムターン付シリンダー錠 | | 丁番・レバーハンドル<br>ドアクローザー・戸当り・サムターン付シリンダー錠 | | Uステンレール・戸車・アルミ引手 | | 丁番・レバーハンドル・フランス落し・ドアクローザー<br>戸当り・サムターン付シリンダー錠（廊下側：サムターン） | | 丁番・レバーハンドル・木製ガラリＣＬ<br>ドアクローザー・戸当り・シリンダー錠 | |

Title: （仮称）小町の館建築工事（建築工事）　建具表（２）　Scale: S=1:50　NO: A-25

| 符号・数量 | WD 7 会議室 | 数量 1 | WD 8 更衣休憩室 | 数量 1 | WD 9 便所(男)・(女) | 数量 2 | WW 1 事務室 | 数量 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | |  | |  | |  | |
| 形式 | 額入引違いフラッシュ戸 | | 額入片開きフラッシュ戸 | | 額入片開きフラッシュ戸 | | 引違い窓 | |
| 見込 | ４０ | | ４０ | | ４０ | | ３３ | |
| 材質・仕上 | 両面ポリ化粧合板 | | 両面ポリ化粧合板 | | 両面ポリ化粧合板 | | スプルス ＣＬ | |
| 硝子 | ４ミリ型板 | | ４ミリ型板 | | ２ミリ型板 | | 3mm透明 | |
| 金物 | Uステンレール・戸車・アルミ引手・シリンダー錠 | | 丁番・レバーハンドル・木製ガラリＣＬ<br>ドアクローザー・戸当り・シリンダー錠 | | 丁番・レバーハンドル<br>表示錠・ドアクローザー・戸当り | | クレセント・Vレール・戸車・アルミ引手 | |

| 符号・数量 | TB 1 女子トイレ | 数量 1 | TB 2 女子トイレ | 数量 1 |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | |  | |
| 形式 | トイレブース（シンエツ セレクトシリーズ同等品） | | トイレブース（シンエツ セレクトシリーズ同等品） | |
| 見込 | ４０ | | ４０ | |
| 材質・仕上 | メラミン化粧板 | | メラミン化粧板 | |
| 硝子 | | | | |
| 金物 | アルミＳ笠木・ステンレス巾木・アルミＳアールエッジ<br>ラッチ・ストライク・ヒンジ・帽子掛け戸当り・付属金物一式 | | アルミＳ笠木・ステンレス巾木・アルミＳアールエッジ<br>ラッチ・ストライク・ヒンジ・帽子掛け戸当り・付属金物一式 | |

| 符号・数量 | TB 3 男子トイレ | 数量 1 | TB 4 女子トイレ | 数量 1 | TB 5 男子トイレ | 数量 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | |  | |  | |
| 形式 | トイレブース（シンエツ セレクトシリーズ同等品） | | トイレブース（シンエツ セレクトシリーズ同等品） | | トイレブース（シンエツ セレクトシリーズ同等品） | |
| 見込 | ４０ | | ４０ | | ４０ | |
| 材質・仕上 | メラミン化粧板 | | メラミン化粧板 | | メラミン化粧板 | |
| 硝子 | | | | | | |
| 金物 | アルミＳ笠木・ステンレス巾木・アルミＳアールエッジ・把手・戸当り・物入れ用ラッチ<br>ラッチ・ストライク・ヒンジ・帽子掛け戸当り・付属金物一式 | | アルミＳ笠木・ステンレス巾木・先端ステンレス鋼管 50角（H=2700）・付属金物一式 | | アルミＳ笠木・ステンレス巾木・先端ステンレス鋼管 50角（H=2700）・付属金物一式 | |

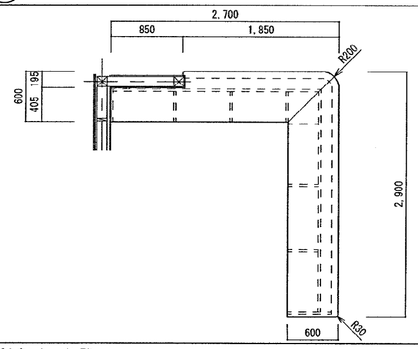
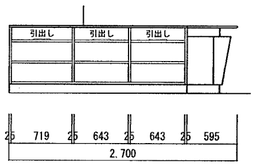
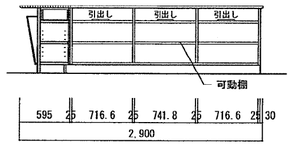
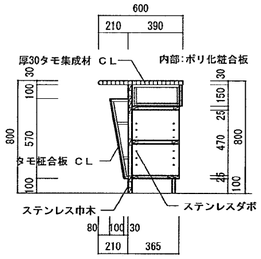
[redacted]

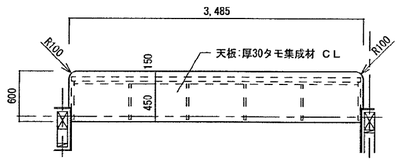
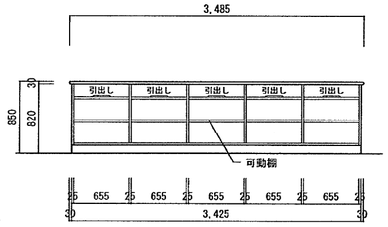
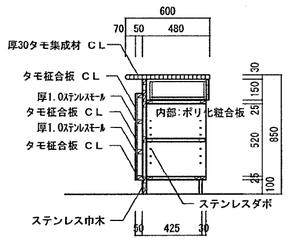
Title: (仮称)小町の館建築工事（建築工事)

建　具　表（３）

Scale: S=1:50

NO: A-26-1

| 符号・数量 | K 1 農産物直売所　S=1:50 | 数量 1 |
|---|---|---|
| 姿図 |     断面詳細図 S=1:30 |
| 形式 | レジカウンター（L型） | |
| 見込 | 25・30 | |
| 材質・仕上 | ポリ化粧合板（正面:タモ柾合板 CL） | |
| 硝子 | | |
| 金物 | ステンレスダボ@50・ステンレス巾木(HL) | |

| 符号・数量 | K 2 物産展示室　S=1:50 | 数量 1 |
|---|---|---|
| 姿図 |    断面詳細図 S=1:30 |
| 形式 | レジカウンター（I型） | |
| 見込 | 25・30 | |
| 材質・仕上 | ポリ化粧合板（正面:タモ柾合板 CL） | |
| 硝子 | | |
| 金物 | ステンレスダボ@50・ステンレス巾木(HL)・厚1.0ステンレス化粧モール(HL) | |
| 符号・数量 | | |
| 姿図 | | |
| 形式 | | |
| 見込 | | |
| 材質・仕上 | | |
| 硝子 | | |
| 金物 | | |

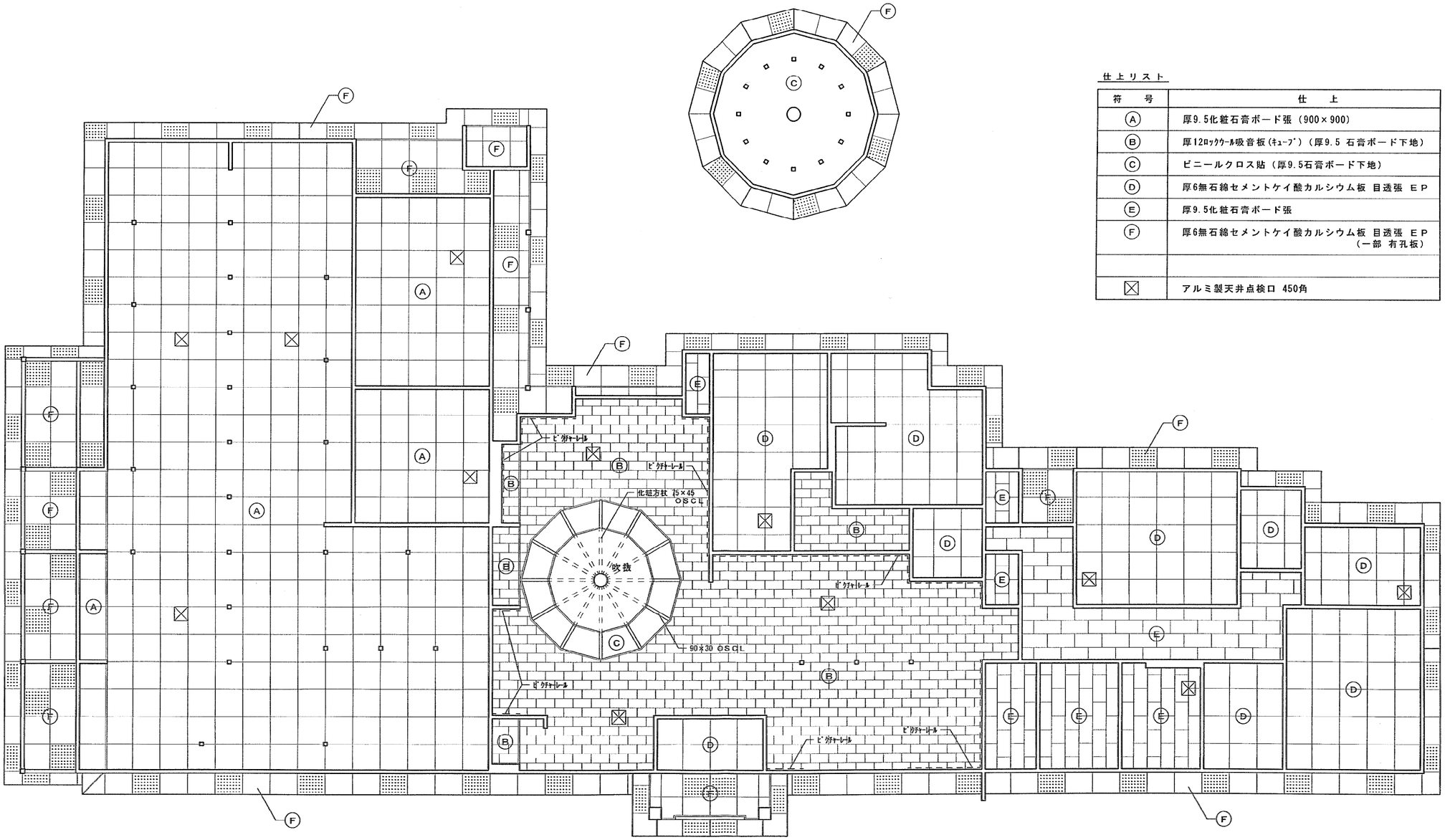
[redacted]

Title
（仮称）小町の館建築工事（建築工事）

家　具　表

Scale
S=1:30
S=1:50

NO
A-26-2

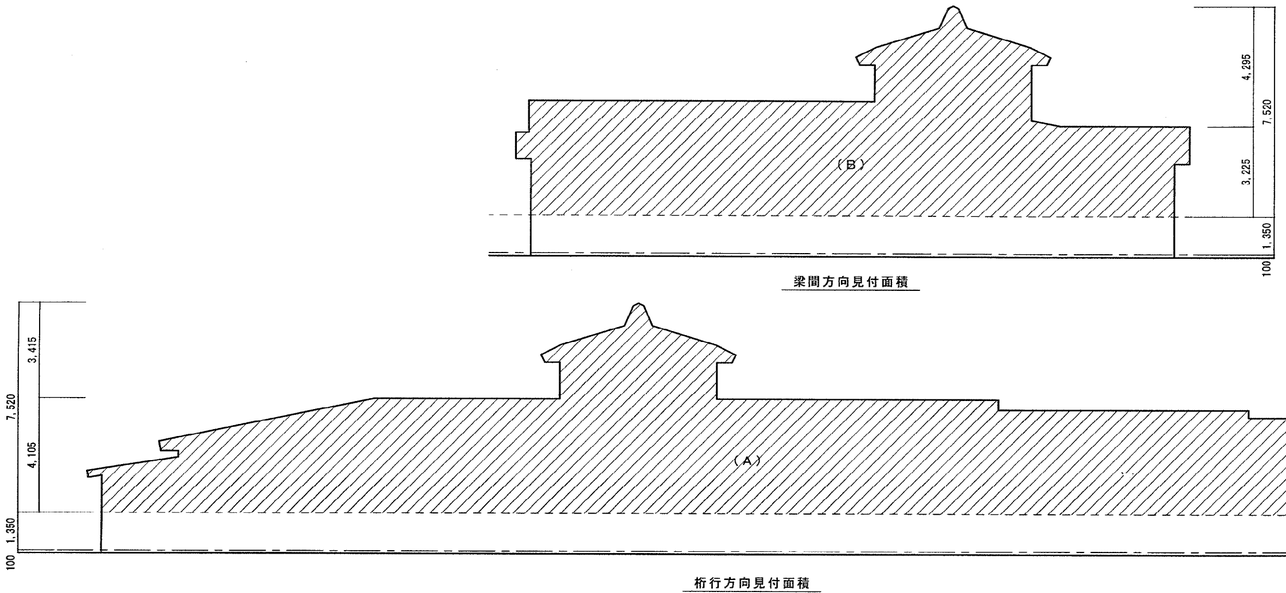



仕上リスト

| 符　号 | 仕　上 |
|---|---|
| Ⓐ | 厚9.5化粧石膏ボード張（900×900） |
| Ⓑ | 厚12ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)（厚9.5 石膏ボード下地） |
| Ⓒ | ビニールクロス貼（厚9.5石膏ボード下地） |
| Ⓓ | 厚6無石綿セメントケイ酸カルシウム板 目透張 ＥＰ |
| Ⓔ | 厚9.5化粧石膏ボード張 |
| Ⓕ | 厚6無石綿セメントケイ酸カルシウム板 目透張 ＥＰ（一部 有孔板） |
| | |
| ⊠ | アルミ製天井点検口 450角 |

天　井　伏　図 S=1:100

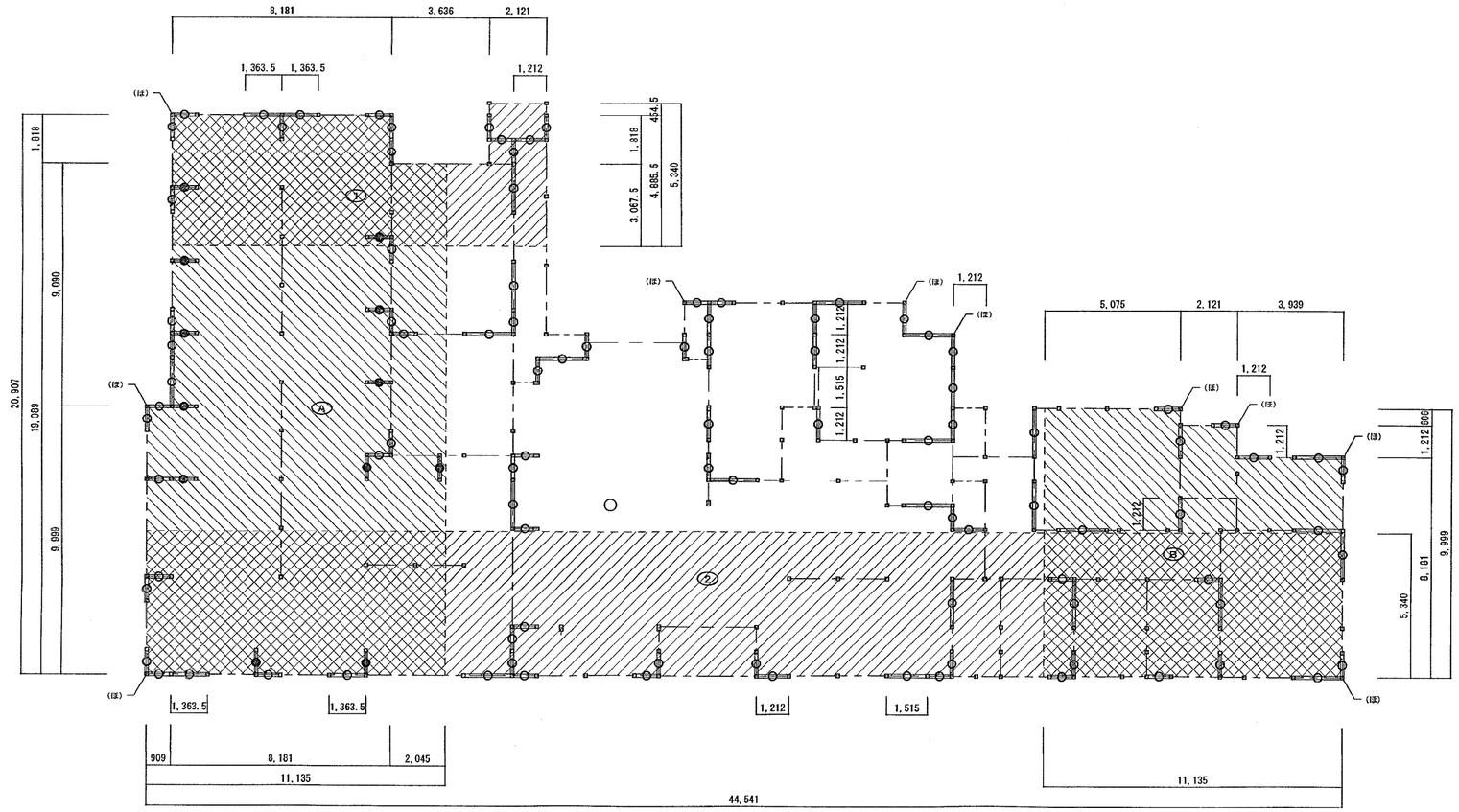
| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事） 天　井　伏　図 | S=1:100 | A-27 |




梁間方向見付面積




桁行方向見付面積




筋違い位置図 S=1:150

## 建築基準法施行令第４６条４項に基づく筋違い計算表(平家建て)

| 床面積による軸組計算 | | | | | 見付面積による軸組計算 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 梁間・桁行方向共 | | | | | 梁間方向(桁行方向見付面積を記入) | | | | 桁行方向(梁間方向見付面積を記入) | | | |
| 床面積 630.13 m²×0.11=(屋根軽) | | (イ)軸組長さ 69.32 m | | | 見付面積 (A) 188.17 m²×0.5m/m²= | | (ロ)軸組長さ 94.09 m | | 見付面積 (B) 105.44 m²×0.5m/m²= | | (ハ)軸組長さ 52.72 m | |
| 壁 軸組の種類 | | 軸組の長さ | × 箇所 | × 倍率 | 有効軸組の長さ | 軸組の長さ | × 箇所 | × 倍率 | 有効軸組の長さ | | | |
| 有効軸組の長さ | 筋違い４５×１０５(片入れ) | 0.90 | 32 | 2.0 | 57.60 | 0.90 | 24 | 2.0 | 43.20 | | | |
| | 〃 | 1.20 | 11 | 2.0 | 26.40 | 1.20 | 4 | 2.0 | 9.60 | | | |
| | 〃 | 1.50 | 1 | 2.0 | 3.00 | 1.35 | 4 | 2.0 | 10.80 | | | |
| | 〃 | 1.80 | 10 | 2.0 | 36.00 | 1.50 | 1 | 2.0 | 3.00 | | | |
| | 〃 | | | | | 1.80 | 12 | 2.0 | 43.20 | | | |
| | 筋違い９０×９０(片入れ) | 0.90 | 4 | 3.0 | 10.80 | 0.90 | 8 | 3.0 | 21.60 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 判定 | | (イ)又は(ロ)の大なる値 94.09 m ≦ 133.80 m | | | | (イ)又は(ハ)の大なる値 69.32 m ≦ 131.40 m | | | | | | |

## ◆筋違いバランス計算書

| ①について検討 | ②について検討 |
|---|---|
| 存在壁量<br>(0.9×3+1.2+1.35×2)×2<br>+(0.9×2)×3=18.60 | 存在壁量<br>(0.9×11+1.2+1.35×2+1.5<br>+1.8×2)×2=37.80 |
| 必要壁量<br>(8.181×4.8855+3.636×3.0675<br>+2.121×5.34)×0.11=6.87 | 必要壁量<br>(44.541×5.34)×0.11=26.16 |
| 壁量充足率<br>18.60÷6.87=2.71 | 壁量充足率<br>37.80÷26.16=1.44 |
| 壁量比 双方とも１以上のためＯＫ | |
| Ⓐについて検討 | Ⓑについて検討 |
| 存在壁量<br>(0.9×13+1.8)×2<br>+(0.9×4)×3=37.80 | 存在壁量<br>(0.9×4+1.2×2+1.8×3)×2<br>=22.80 |
| 必要壁量<br>(0.909×9.999+8.181×20.907<br>+2.045×19.089)×0.11=24.11 | 必要壁量<br>(5.075×9.999+2.121×9.393<br>+3.939×8.181)×0.11=11.32 |
| 壁量充足率<br>37.80÷24.11=1.57 | 壁量充足率<br>22.80÷11.32=2.01 |
| 壁量比 双方とも１以上のためＯＫ | |

凡 例

- - 筋違い：杉 45×105<片入れ>※筋違いプレート使用‥‥２倍
- - 筋違い：杉(小節程度)90×90<片入れ>※M12ボルト締め‥‥３倍

<必要壁量>

・１階建ての１階 11cm/m²

<柱脚柱頭金物>

(ほ) ── 羽子板ボルト締ｽｸﾘｭｰ釘打ち又は短ざく金物ｽｸﾘｭｰ釘打ち

※特記以外の、筋違いが取り付く柱の柱脚柱頭金物は全て(ほ)Ｔ字金物又はＶ字金物同等以上を使用

[redacted]

Title (仮称)小町の館建築工事（建築工事）

筋違い・金物位置図

Scale S=1:150

NO A-28

# ソイルセメントコラム地業特記仕様書

## １．工事概要

本地業は、ソイルセメントコラム工法（以下テノコラム工法という）による地盤改良地業である。テノコラム工法は、スラリー状のセメント系固化剤を地盤に注入しながら、共廻り防止翼を装着した撹拌装置を用いて原地盤土と機械的に混合撹拌し、固化材の固化反応により所定の強度を持つ改良柱体（以下コラムという）を築造するものである。

## ２．一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか「改訂版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針／平成１４年１１月」（日本建築センター、以下指針という）による。

## ３．特記事項

1) コラムの径・掘削深度（改良長＋空掘長）・本数・配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・配置及び固化材液の配合等について、土質や地盤の状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。

2) コラムの設計基準強度は、Ｆｃ＝　　８００．０　　kN/m2　とする。（コラム径：φ　　８００　mm）

3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理及び品質検査を実施する。

4) 本工事工法は、改良体の品質（変動係数 25 %）が、建設大臣認定機関の「財団法人先端建設技術センター」にて証明された技術審査証明取得工法とする。又、事前にその証明書を監理者に提出し、承認を得ることとする。

## ４．施工計画

1) 本工事施工業者は、本工法の施工技術に精通した業者とする。

2) 施工計画書

工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

イ. 地盤概要
ロ. 工事内容（コラム径、コラム長、空掘長、コラム数、設計基準強度）
ハ. 工事期間及び工程
ニ. 工事要領（使用固化材、配合、撹拌翼の昇降速度、吐出量等）
ホ. 施工機器
ヘ. 施工管理の方法
ト. 品質管理の方法
チ. 仮設設備とその配置
リ. 各種作業の主たる従事者の組織表
ヌ. 施工記録の方法
ル. 環境の保全対策
ヲ. 安全対策
ワ. 建築請負業社の本工事責任者名
カ. 本工事施工業社名及び責任者名
ヨ. 品質証明書（技術審査証明書等）

## ５．施工

1) 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないように養生する。

2) 作業手順は、施工計画書による。施工の障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。

3) 本工事により排出される発生残土は、場内処分とする。

4) 施工に対して疑義が生じた場合は、ただちに監督員と協議し、その指示を受ける。

## ６．施工機械

1) 固化材と原位置土を一体のものとして確実に混合撹拌ができ、共廻り現象を防止する撹拌装置を装着した改良機とする。

2) 所定の施工管理項目を、計測・記録できる管理装置を用いること。

3) 改良機本体は、本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。

4) ミキシングプラントは、所定の吐出量を十分供給できるものとする。

## ７．配合管理

1) 固化材液に使用する固化材は、セメント系固化材を使用する。

2) 配合強度

割増係数は，変動係数を想定し９項に規定する抜き取りヶ所数Ｎに応じて下表を用いて設定する。

| 変動係数 | Ｎ | 1 | 2 | 3 | 4～6 | 7～8 | 9～ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ２５% | αt | 2.163 | 1.918 | 1.815 | 1.719 | 1.651 | 1.594 |

Ｘｆ ＝ αt×Ｆｃ　　［Ｘｆ：配合強度、αt：割増し係数］

3) 室内配合試験

固化材液の配合（Ｗ／Ｃ）と使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて現場室内強度比を参考して、配合強度を満足するように決定する。あるいは正確に土質を把握し、かつその土質に対する既存データがある場合は、その結果を用いて添加量を決定する。

## ８．施工管理

1) 施工の安定性を確保するため下記に示す項目について管理する。

イ. 形状・寸法：鉛直性　　改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計で管理する
　　コラム芯　　事前にコラム芯にマークを設ける
　　掘削深度　　深度計で計測し記録する
　　改良径　　撹拌装置の形状・寸法を記録する
ロ. 固化材　：材料計量　　水・固化材の重量
　　スラリー比重　　メスシリンダーまたはマッドバランスによる測定とする
　　スラリーの吐出量　　流量計で計測し記録する
ハ. 撹拌混合度：掘進・引き上げ速度　　速度計で計測し記録する
　　撹拌装置　　掘削翼・撹拌翼の枚数等
ニ. 支持地盤　：掘進速度　　速度計
　　オーガー電流値（またはトルク値）　　電流計、トルク計

2) 施工の立ち会い

建築工事の請負者は、本地業責任者（請負業者の中から選定）及び施工責任者を定め、両者は本地業の施工中は立ち会うものとする。

## ９．品質検査

1) 検査ヶ所数（コア抜取ヶ所数）

頭部コア：　　３　ヶ所
深度コア：　　３　ヶ所

2) 合否の判定

イ. 抜取ヶ所１ヶ所当たり３個の供試体を採取し、その平均強度をそのヶ所の強度とする。
ロ. 一軸圧縮試験は、公的機関あるいは検査員立ち会いの下に行うものとする。
ニ. 検査手法は、品質のバラツキを想定する場合の検査手法Ａによる。
ホ. 検査手法Ａによる品質検査

合否の判定は、抜取Ｎヶ所の一軸圧縮試験の平均値が、下式を満足した場合を合格とする。

ＸＮ≧ＸＬ＝Ｆｃ＋ｋａ・σｄ

ＸＮ：Ｎヶ所の一軸圧縮強度の平均値　(kN/m2)
ＸＬ：合格判定値　(kN/m2)
Ｆｃ：設計基準強度　(kN/m2)
ｋａ：合格判定係数
σｄ：標準偏差　(kN/m2)　＝　Ｖｄ・ｑｕｄ
Ｖｄ：変動係数、品質確認書より想定する
ｑｕｄ：想定した平均一軸圧縮強さ　(kN/m2)

| 抜取ヶ所数　Ｎ | 1 | 2 | 3 | 4～6 | 7～8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合格判定係数ｋａ | 1.9 | 1.7 | 1.6 | 1.5 | 1.4 | 1.3 |

## 10．報告

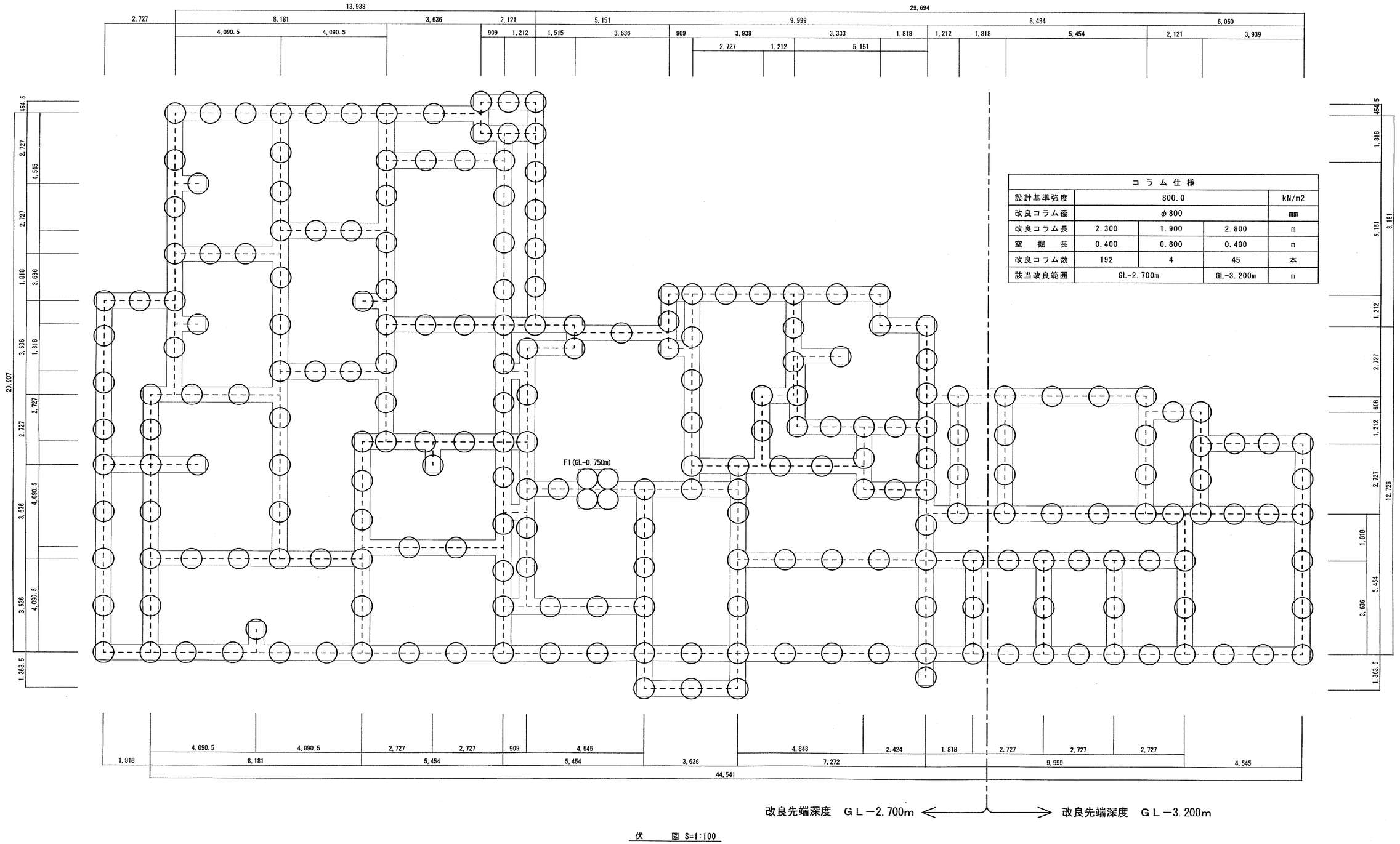
工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、３部監督員に提出する。

イ. コラムの伏図及び番号
ロ. コラムの施工日
ハ. コラムの径及び長さ
ニ. 掘削深度
ホ. 掘削速度及び引き上げ速度
ヘ. 固化材液の配合と固化材の使用量
ト. コアの強度管理試験結果
チ. 合格判定結果

## 11．その他

施工に当たっては、セメント系固化材等からの六価クロムの溶出試験を実施し、環境庁告示第４６号の基準値を満足する様必要な措置を講じること。

試験方法、試験個数等に関しては、平成１３年４月２０日付国官技第１６号国営建第１号「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要綱（案）の一部変更について」による。




| コラム仕様 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 設計基準強度 | 800.0 | | | kN/m2 |
| 改良コラム径 | φ800 | | | mm |
| 改良コラム長 | 2.300 | 1.900 | 2.800 | m |
| 空　掘　長 | 0.400 | 0.800 | 0.400 | m |
| 改良コラム数 | 192 | 4 | 45 | 本 |
| 該当改良範囲 | GL-2.700m | | GL-3.200m | m |

伏　　図 S=1:100

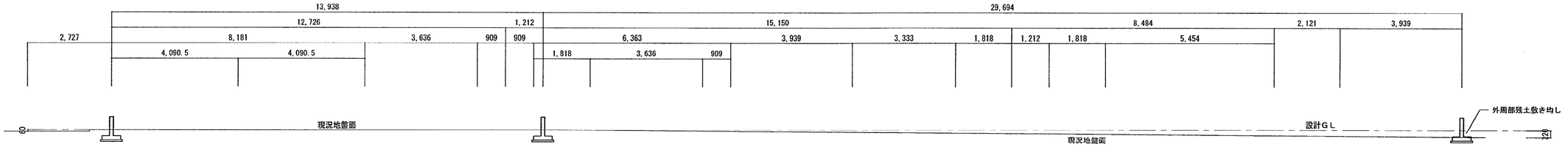
[redacted]

Title
(仮称)小町の館建築工事（建築工事）

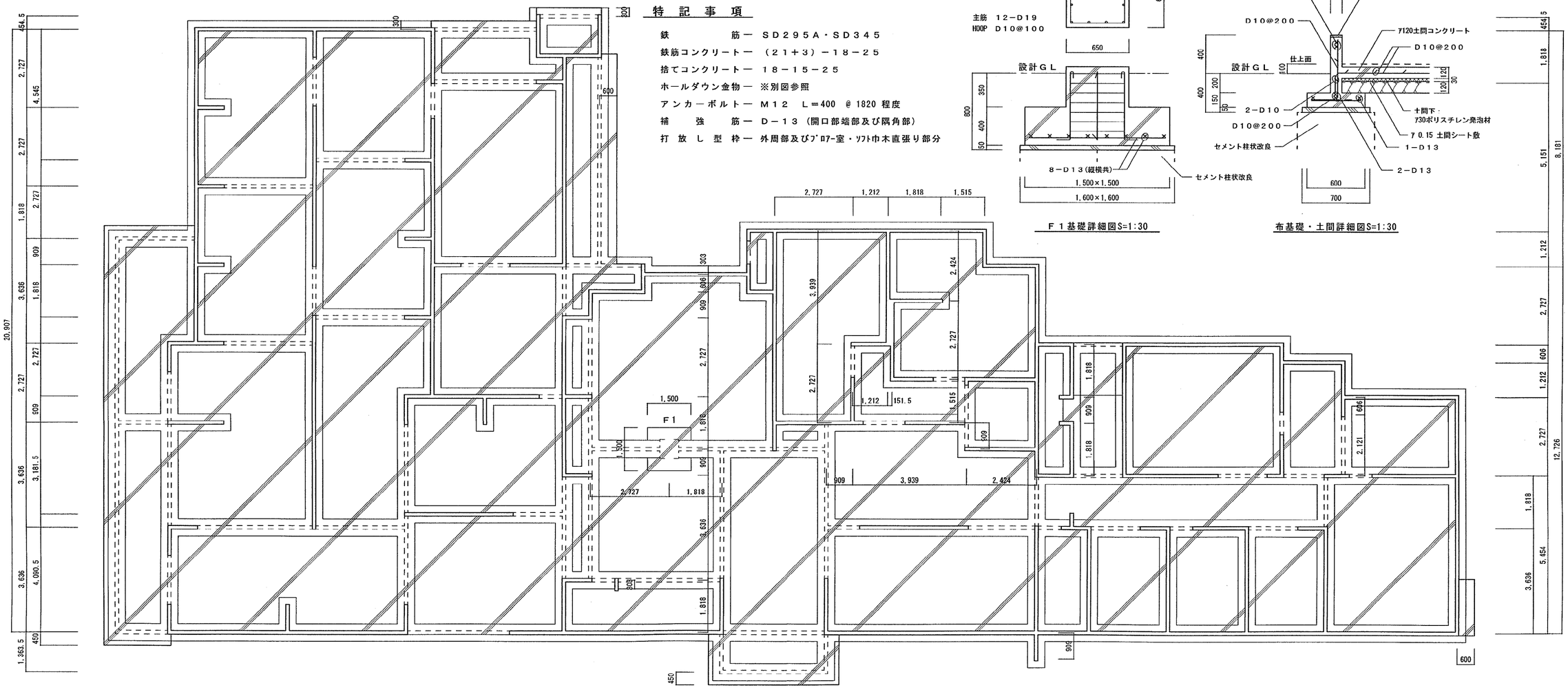
ソイルセメントコラム地業伏図

Scale
S=1:100

NO
A-30



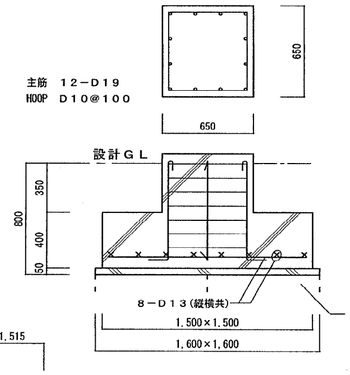

地盤横断図 S=1:100



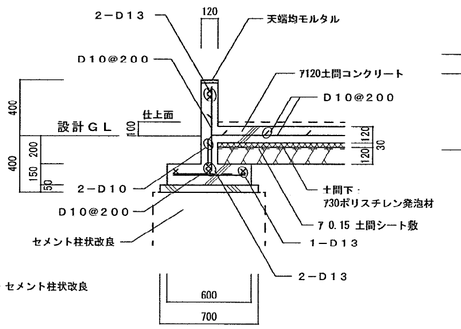

基礎伏図 S=1:100

## 特記事項

鉄筋　　SD295A・SD345
鉄筋コンクリート　（21＋3）－18－25
捨てコンクリート　18－15－25
ホールダウン金物　※別図参照
アンカーボルト　M12　L＝400　@1820程度
補強筋　D－13（開口部端部及び隅角部）
打放し型枠　外周部及びﾌﾞﾛｱｰ室・ｿﾌﾄ巾木直張り部分

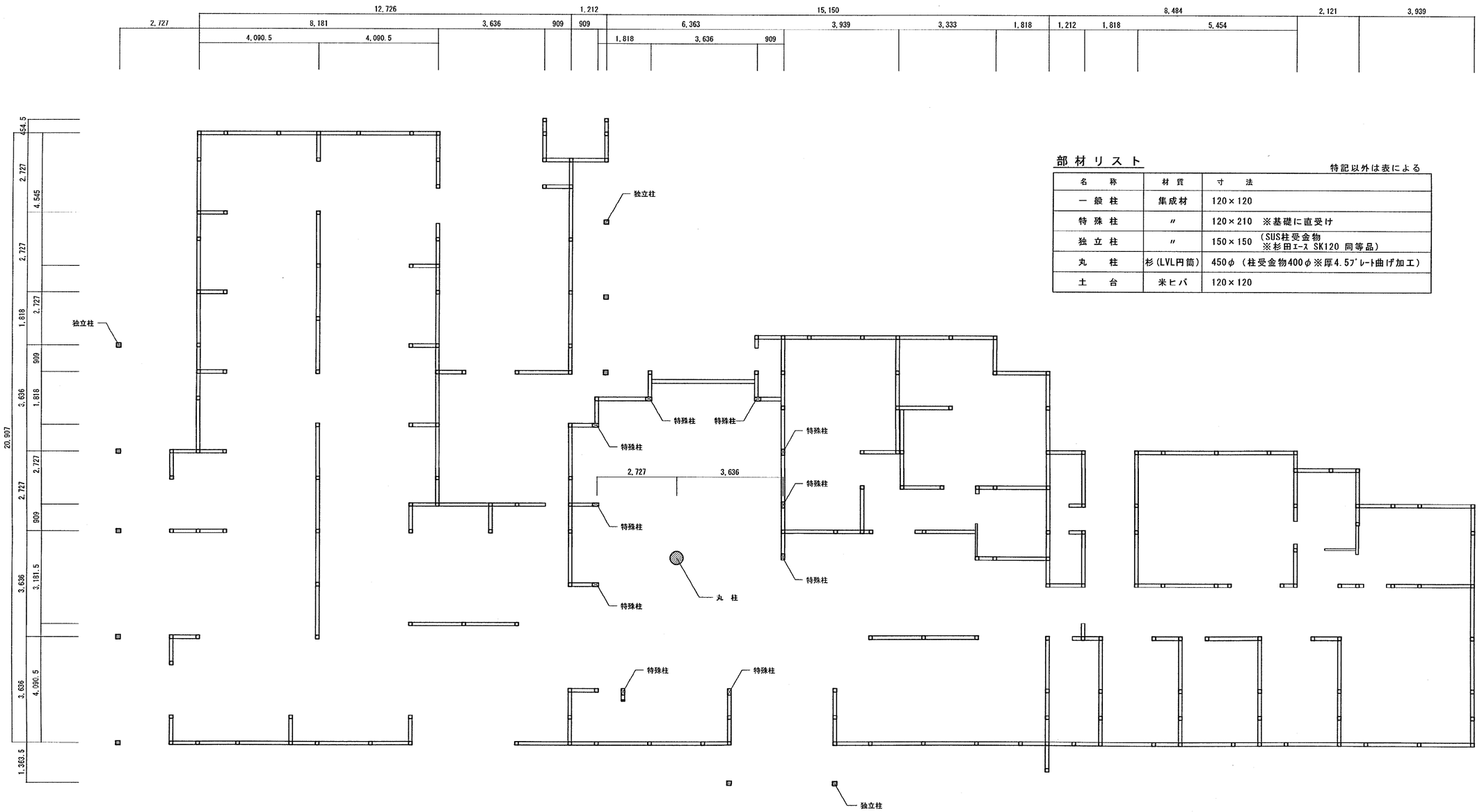



F1基礎詳細図S=1:30




布基礎・土間詳細図S=1:30

| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| （仮称）小町の館建築工事（建築工事） | 基礎伏図 | S=1:30・100 | A-31 |




## 部材リスト

特記以外は表による

| 名　称 | 材　質 | 寸　法 |
|---|---|---|
| 一般柱 | 集成材 | 120×120 |
| 特殊柱 | 〃 | 120×210　※基礎に直受け |
| 独立柱 | 〃 | 150×150　(SUS柱受金物<br>※杉田ｴｰｽ SK120 同等品) |
| 丸　柱 | 杉(LVL円筒) | 450φ（柱受金物400φ※厚4.5ﾌﾟﾚｰﾄ曲げ加工） |
| 土　台 | 米ヒバ | 120×120 |

床　伏　図 S=1:100

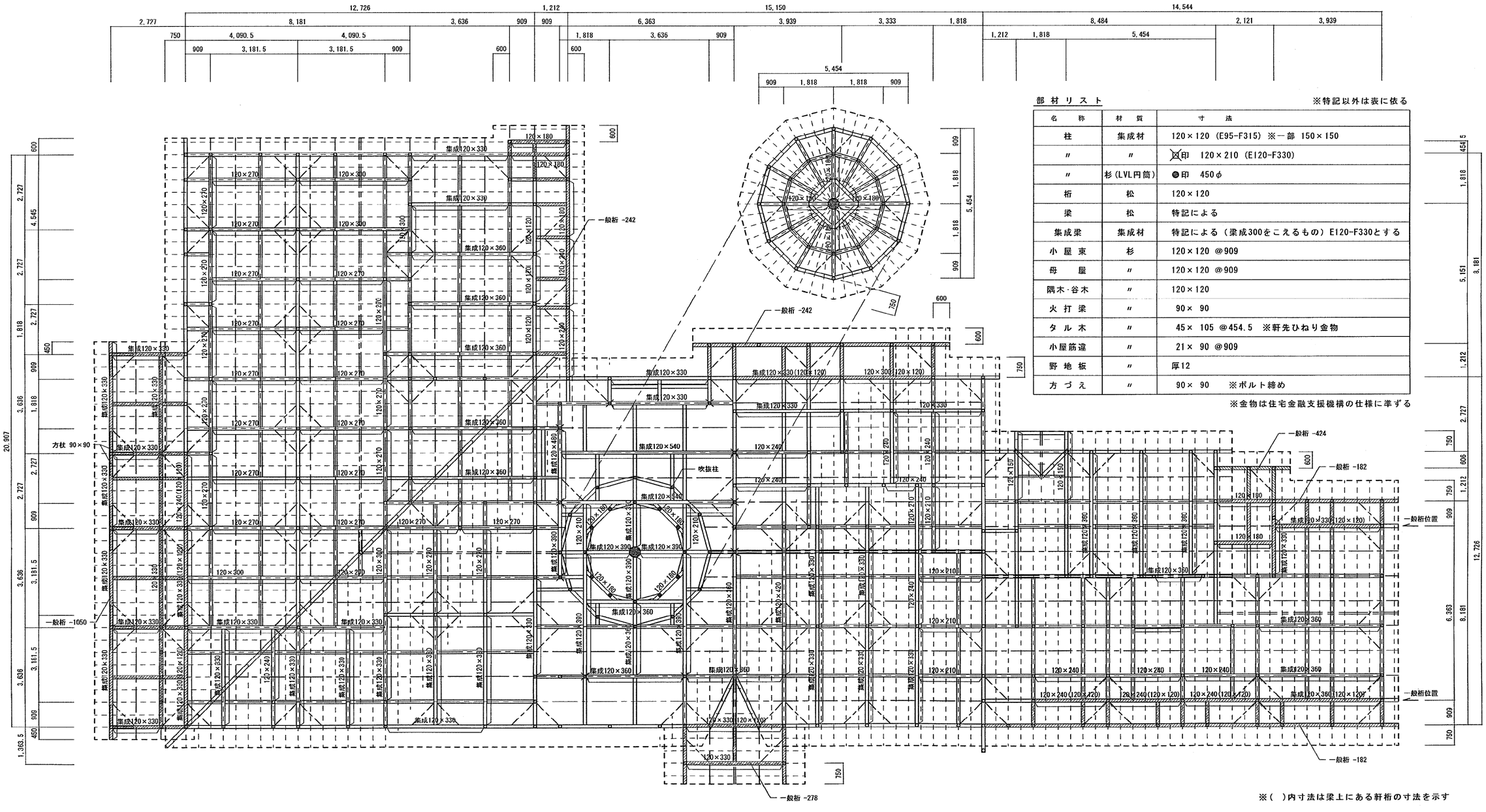
[redacted]

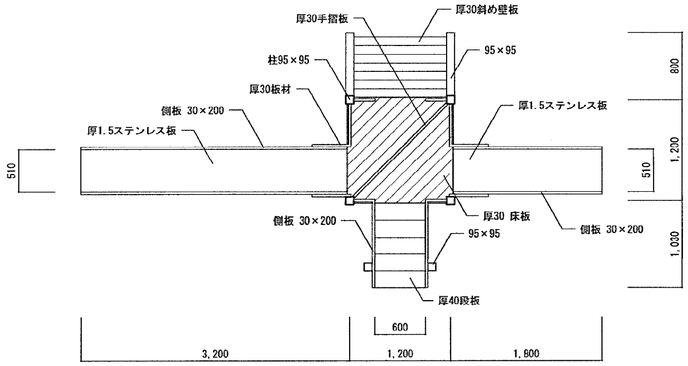
Title
(仮称)小町の館建築工事（建築工事）

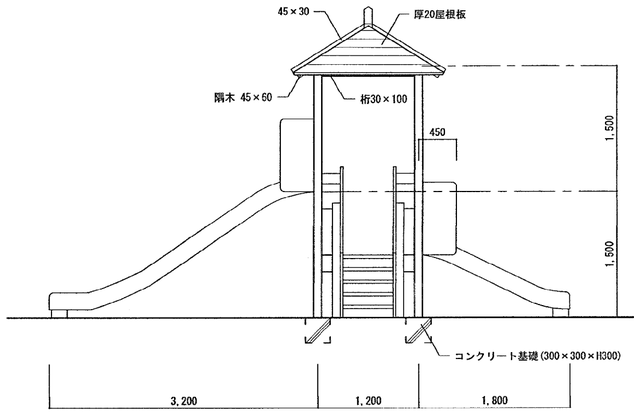
床　伏　図

Scale
S=1:100

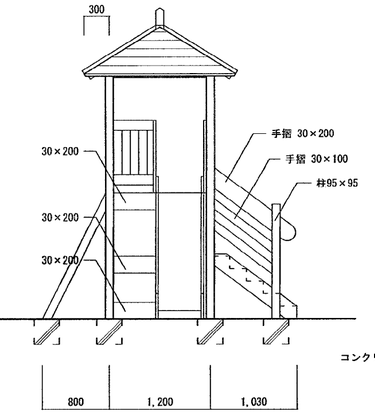
NO
A-32

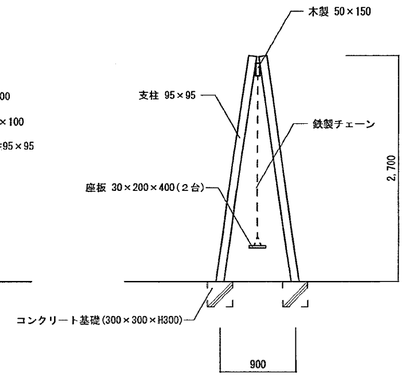

一般桁 -242
一般桁 -424
一般桁 -182
一般桁 -1050
一般桁 -278
吹抜柱
方杖 90×90
一般桁位置
一般桁位置
集成120×330
集成120×360
集成120×540
集成120×390
集成120×480
120×270
120×300
120×240
120×210
120×180
120×150
120×120
120×330
120×360
120×390
120×480
120×540
集成120×330(120×120)
120×240(120×120)
集成120×360(120×120)
集成120×330(120×150)
集成120×330(120×180)
集成120×330(120×210)
集成120×330(120×240)
集成120×330(120×270)
集成120×330(120×300)
集成120×330(120×330)
集成120×330(120×360)
集成120×330(120×390)
集成120×330(120×420)
集成120×330(120×450)
集成120×330(120×480)
集成120×330(120×510)
集成120×330(120×540)
集成120×360(120×120)
集成120×360(120×150)
集成120×360(120×180)
集成120×360(120×210)
集成120×360(120×240)
集成120×360(120×270)
集成120×360(120×300)
集成120×360(120×330)
集成120×360(120×360)
集成120×360(120×390)
集成120×360(120×420)
集成120×360(120×450)
集成120×360(120×480)
集成120×360(120×510)
集成120×360(120×540)
集成120×330(120×120)
集成120×360(120×120)
集成120×360(120×150)
集成120×360(120×180)
集成120×360(120×210)
集成120×360(120×240)
集成120×360(120×270)
集成120×360(120×300)
集成120×360(120×330)
集成120×360(120×360)
集成120×360(120×390)
集成120×360(120×420)
集成120×360(120×450)
集成120×360(120×480)
集成120×360(120×510)
集成120×360(120×540)
集成120×330(120×150)
集成120×330(120×180)
集成120×330(120×210)
集成120×330(120×240)
集成120×330(120×270)
集成120×330(120×300)
集成120×330(120×330)
集成120×330(120×360)
集成120×330(120×390)
集成120×330(120×420)
集成120×330(120×450)
集成120×330(120×480)
集成120×330(120×510)
集成120×330(120×540)
集成120×330(120×570)
集成120×330(120×600)
集成120×330(120×630)
集成120×330(120×660)
集成120×330(120×690)
集成120×330(120×720)
集成120×330(120×750)
集成120×330(120×780)
集成120×330(120×810)
集成120×330(120×840)
集成120×330(120×870)
集成120×330(120×900)
集成120×330(120×930)
集成120×330(120×960)
集成120×330(120×990)
集成120×330(120×1020)
集成120×330(120×1050)
集成120×330(120×1080)
集成120×330(120×1110)
集成120×330(120×1140)
集成120×330(120×1170)
集成120×330(120×1200)
集成120×330(120×1230)
集成120×330(120×1260)
集成120×330(120×1290)
集成120×330(120×1320)



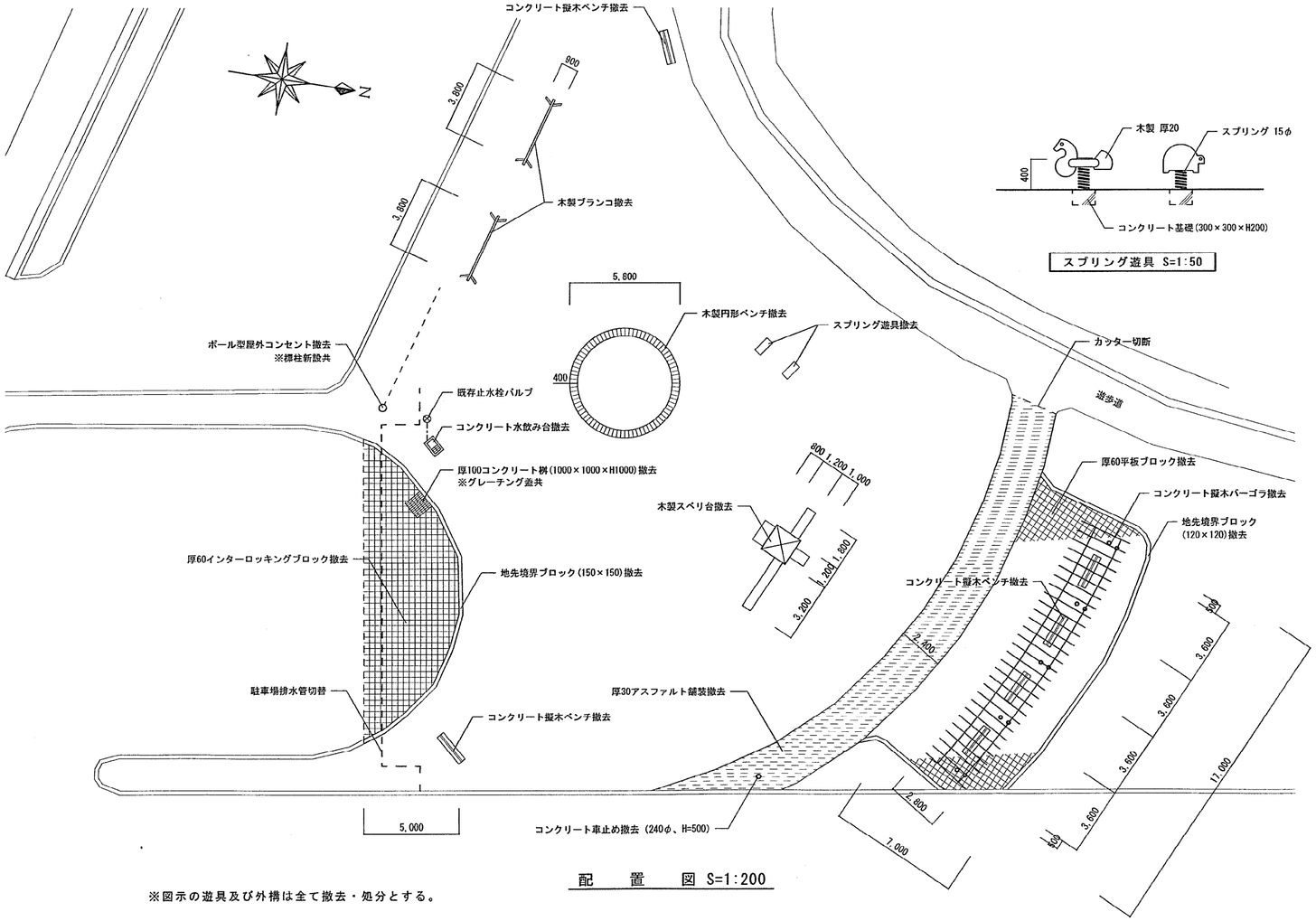




木製スベリ台 S=1:50




木製ブランコ S=1:50

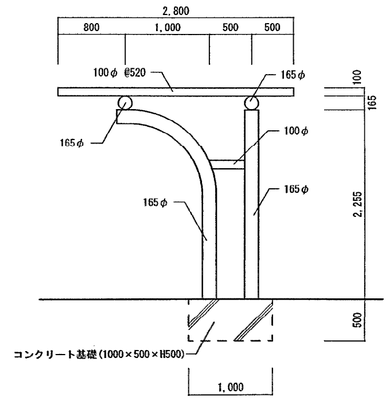



配　置　図 S=1:200

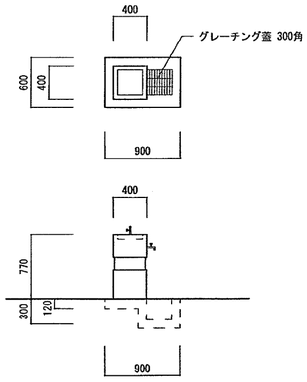
※図示の遊具及び外構は全て撤去・処分とする。



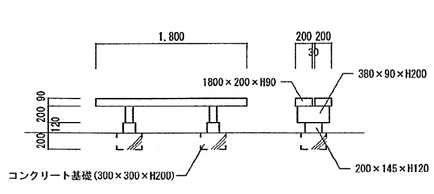

スプリング遊具 S=1:50



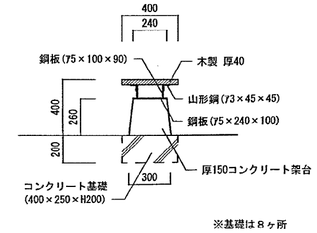

コンクリート擬木パーゴラ S=1:50




コンクリート水飲み台 S=1:50



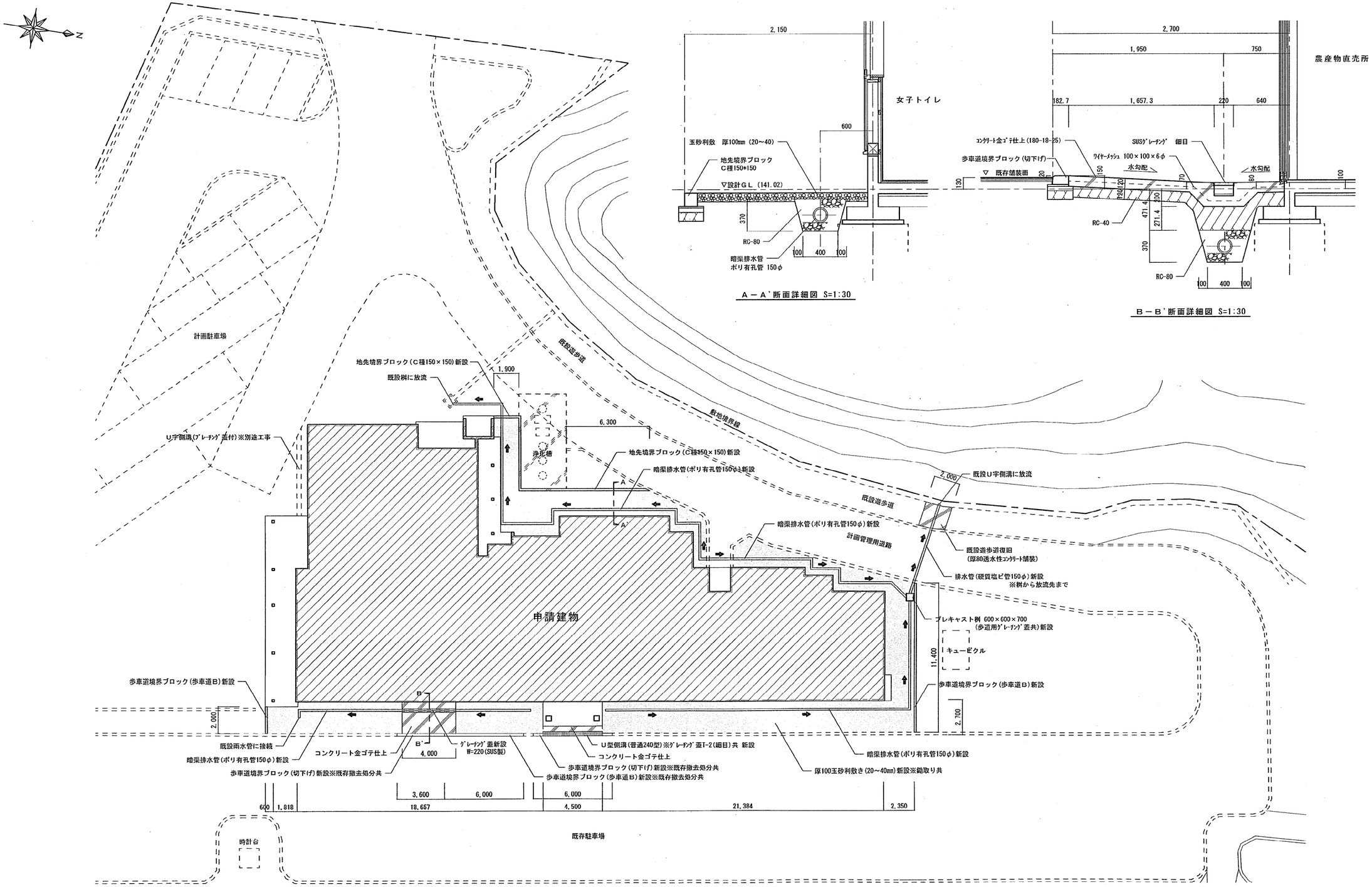

コンクリート擬木ベンチ S=1:50




※基礎は8ヶ所

木製円形ベンチ S=1:30

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（建築工事）　撤去詳細図 | S=1:30・50・200 | A-34 |




外 構 計 画 図 S=1:200

[redacted]

Title
(仮称)小町の館建築工事 (建築工事)

外 構 計 画 図

Scale
S=1:30-200

NO
A-35

# （仮称）小町の館建築工事

## （電気設備工事）

# （仮称）小町の館建築工事

# （電気設備工事）

[redacted]

図面リスト

| 番　号 | 図　面　名　称 | 縮　尺 |
|---|---|---|
| Ｅ－０１ | 電気設備工事特記仕様書（１） | |
| Ｅ－０２ | 電気設備工事特記仕様書（２） | |
| Ｅ－０３ | 受変電配置図 | S=1:500 |
| Ｅ－０４ | 幹線設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－０５ | 動力設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－０６ | 電灯設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－０７ | 誘導灯・非常用照明設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－０８ | 照明器具姿図 | |
| Ｅ－０９ | コンセント設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－１０ | 厨房動力・コンセント設備図 | S=1:50 |
| Ｅ－１１ | 換気設備電源配線図 | S=1:100 |
| Ｅ－１２ | 分電盤結線図(L-1) | |
| Ｅ－１３ | 分電盤結線図(P-1) | |
| Ｅ－１４ | 分電盤結線図(L-2・P-2) | |
| Ｅ－１５ | 弱電設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－１６ | 放送設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－１７ | 弱電設備機器姿図 | |
| Ｅ－１８ | テレビ共聴設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－１９ | 自動火災報知設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－２０ | 警備保障配管設備図 | S=1:100 |
| Ｅ－２１ | 融雪設備図 | S=1:100 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

# 電気設備工事特記仕様書

## Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 名　（仮称）小町の館建築工事（電気設備工事）
2 工 事 場 所　湯沢市小野字二ツ森149-2・他
3 敷 地 面 積　5,560.21㎡
4 構 造 規 模　木造平家建

| 棟名称 | | | |
|---|---|---|---|
| 構造 | 木造 | | |
| 階数 | 1 | | |
| 建築面積 | 674.20㎡ | | |
| 延べ床面積 | 630.13㎡ | | |

・垂直積雪量（m）　・風速（ＶＯ）
・地表面粗度区分

5 建物用途　建築基準法による用途　（物販店舗）

## Ⅱ 工 事 種 目

⊙印適用）

| 工事種目 | 摘要 | 工事種目 | 摘要 |
|---|---|---|---|
| ⊙幹線設備 | | ⊙拡声設備 | |
| ⊙電灯設備 | | ⊙誘導支援設備 | |
| ⊙動力設備 | | ⊙テレビ共同受信設備 | |
| ⊙受変電設備 | | ・テレビ電波障害防除設備 | |
| ・発電設備 | | ・監視カメラ設備 | |
| ・静止形電源設備 | | ⊙防犯・入退室管理設備 | 配管のみ |
| ⊙ＬＡＮ設備 | | ⊙自動火災報知設備 | |
| ⊙構内交換設備 | | ・雷保護設備 | |
| ・時刻表示設備 | | ・医療関係設備 | |

## Ⅲ 電気設備工事仕様

1．図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成22年版）」、公共建築設備工事標準図(平成22年版)による。
2．特記仕様書の適用等
　1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
　2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と⊗印のついた場合は、共に適用する。
　3）特記事項に記載の（　）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図面又は当該表を示す

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ①．適用基準等 | ※秋田県電気設備工事監督実施要領（秋田県建設交通部監修）（平成16年版）<br>※秋田県電気設備工事施工管理要領（秋田県建設交通部監修）（平成16年版）<br>※工事写真の撮り方（建築設備編第２版）（建設省大臣官房官庁営繕部監修） |
| | ２．工事実績情報の登録 | ※適用する　・適用しない |
| | ③．施工中の安全確保及び環境保全 | ※「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（平成9年建設省告示第1536号）」に基づき、指定された建設機械を使用する。(1-1.3.7)<br>※「建設機械に関する技術指針（平成3年建設省通知第247号）」に基づき、指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。(1-1.3.7)<br>関係機関との協議(1-1.3.5)<br>・必要（関係機関：　）　・必要なし<br>交通誘導員<br>・配置する（・警備業法第18条に規定する特定の種別の警備業務　・任意）<br>（　日×　人）<br>・配置しない<br>特定の種別の警備業務は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年国家公安委員会規則第20号)及び秋田県公安委員会告示第144号(平成18年10月6日)による。 |
| | 4．発生材の処理等 | ・特定建設資材廃棄物の発生材の処理(1-1.3.8)<br>種類／再資源化等をする施設名・住所・搬出距離（km）<br>建設発生土／コンクリート塊／アスファルト塊／建設発生木材<br>・特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理(1-1.3.8)<br>種類／再資源化等をする施設名・住所・搬出距離（km）<br>・引き渡しを要するもの（　）(1-1.3.8)<br>・特別管理産業廃棄物（　）(1-1.3.8)<br>なお、特別管理産業廃棄物（ＰＣＢ使用機器・微量ＰＣＢ混入機器等）は関係法令に従い適切に処理する。<br>・現場再利用発生材(1-1.3.8)<br>・本工事では、秋田県建設副産物対策に係わる取扱い要領に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完成時に同計画書の実施書を監督員に提出するものとする。(1-1.3.8)<br>・本工事で発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、秋田県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理するものとする。 |
| | 5．概成工期 | ・適用する（工事期日より　日前）　※適用しない(1-1.2.1) |
| | ⑥．電気保安技術者 | ※適用する　・適用しない(1-1.3.2) |
| | 7．施工条件 | ・図示　・工事補足説明事項(1-1.3.3) |
| | ⑧．機器及び材料の品質等 | 本工事に使用する機器及び材料（以下「機材」という。）は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、以下のいずれかに該当するものとする。<br>(1) ＪＩＳ及びＪＡＳマーク表示のある機材(1-4.2)<br>(2) エコマーク認定製品（(財)日本環境協会）<br>(3) 秋田県認定リサイクル製品<br>(4) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新年版)（(社)公共建築協会）（以下「評価名簿」という。）に記載の製品 |
| | ⑨．化学物質を放散する建築材等 | 工事に使用する化学物質を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(6)を満たすものとする。<br>(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDFパーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(3)接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(5)(1)、(3)及び(4)の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(6)アスベストを含有していないこと。 |
| | ⑩．工事写真 | 工事中、完成時ともカラー写真とする。<br>分類／規格／撮影箇所／提出部数<br>着工前／サービス版／工事写真の撮り方建築設備編／２部<br>工事中／サービス版／工事写真の撮り方建築設備編／２部<br>完成時／⊙サービス版・キャビネ版／工事写真の撮り方建築設備編 同上／２部 同上部<br>営繕年報用／・キャビネ版／外部１枚、内部１枚／部<br>この表のほか監督員が必要と認め、指示した箇所及び部数。また、上記の写真はデジタル写真も可とし、その仕様等は監督員の指示による。 |
| | ⑪．完成図書等 | ※完成検査後に次の完成図書（各１部）を速やかに提出する。(1-1.7.1～3)<br>(1)完成図書（Ａ４版、完成図書作成要領による）<br>(2)アパッチャーカード（アイボリー）にマイクロフィルムを添付したもの<br>(3)マイクロ第２原図（Ａ３版）<br>(4)完成図及び施工図（原寸）二つ折りに製本したもの<br>(5)完成図及び施工図Ａ３版縮小図を二つ折りしたもの<br>(6)保全に関する資料<br>(7)その他監督員が指示したもの<br>※付属品、予備品、保守工具等は引継目録を添えて提出する<br>※カギ等の表示札は樹脂製（市販品）をする |
| | ⑫．かし点検 | ※適用する　・適用しない<br>契約事項によるかし担保期間満了前にかし点検を行うので請負者は立ち会うこと。 |
| | 13．環境への配慮 | 秋田県は県の事務事業において、環境にやさしい行動が定着することを目指し、環境に与える負荷を低減する取り組みを継続的に推進するためISO14001の認証を取得している。請負者は監督職員と協議を行い、県の定めるISO14001環境方針の基本理念、基本方針を具体的に公共事業に反映させるよう努めなければならない。<br>当該工事が公共事業労務費調査等の対象工事となった場合には、調査に協力しなければならない。 |
| | 14．発注者が実施する調査等に対する協力 | |
| 共通工事 | ①．仮設工事<br>(1)監督員事務所 | ・監督員事務所　・設ける（　㎡程度）　※設けない(1-2.1.1)<br>・請負人事務所　⊗設ける（　㎡程度）　・設けない<br>・作業下小屋　・設ける（　㎡程度）　※設けない |
| | (2)工事用水及び電力 | 工事用水　構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）<br>⊙利用できない<br>工事用電力　構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）<br>⊙利用できない |
| | (3)工事表示板の設置 | 監督員が指定する箇所に一箇所設置する。<br>表示時期は工事着工時から完成時までとする。<br>表示板の形式<br>工事名称／建築工事の表示<br>工事名称／(仮称)小町の館建築工事（電気設備工事）<br>構造・規模／木造平家建　延べ床面積 630.13㎡<br>工事期間／平成　年　月　日　～　平成　年　月　日<br>建築主／<br>設計者／みらい設計一級建築士事務所　代表　高橋一秀<br>工事監督者／<br>工事施工者／<br>注１ 表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。<br>２ 地色は、マンセル記号１ＧＹ7.5/8とし黒文字（角ゴシック）で表現する<br>３ 建築主は、契約担当者名とすること。<br>４ 表示板の大きさ<br>※１号　（横180cm×縦 90cm）　・２号　（横240cm×縦120cm）<br>・３号　（横360cm×縦180cm）　・その他（　） |
| | ②．土工事<br>(1)掘削及び埋め戻し | １ 本工事の掘削、埋戻しは次による。(2-2.12.2)<br>掘削：※機械掘り　・手掘り<br>埋戻し：・山砂　※根切り土（良質土を使用） |
| | (2)建設発生土の処理 | 秋田県建設副産物対策に係わる取扱い要領に従い処理することとし、搬出を要しない建設発生土の処理は下記とする。<br>※敷きならず　構内指定箇所（　）<br>・たい積する　構内指定箇所（　） |
| | ③．電気工事<br>(1)呼線の挿入 | 本工事で通線しない新設管路には呼線を挿入する。線種はEM-IM絶縁電線1.6mm以上とする。(2-2.2.9)(2-2.12.4) |
| | (5) | 上記以外のもので以下のア～エの事項を満たすもの<br>ア 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。<br>イ 法令等で定める許可、認定又は免許を取得していること。<br>ウ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。<br>エ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。<br>なお、(5)の材料を使用する場合は、ア～エの証明となる資料を監督員に提出して承諾を受けるものとする。<br>また、備考欄に商品名等が記載された機材は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受けること。 |
| 共通工事 | ②．接地極 | 特記なき接地極の仕様は下表による。<br>接地工事の種類／記号／接地抵抗／接地極仕様<br>Ａ種／$E_A$／10Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>Ｂ種／$E_B$／Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>Ｃ種／$E_C$／10Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>Ｄ種／$E_D$／100Ω以下／・接地銅板　※接地棒<br>A種、C種、D種共用／$E_{ACD}$／10Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>高圧避雷器／$E_{LH}$／10Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>低圧ＳＰＤ／$E_{LL}$／10Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>避雷設備／$E_L$／10Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>Ａ型／$E_{LA}$／―／・放射状・垂直・板状<br>Ｂ型／$E_{LB}$／―／・環状・基礎・網状<br>構内交換機 陽極 200回線以下／$E_t$／10Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>構内交換機 陽極 1,000回線以下／$E_t$／6Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>構内交換機 陽極 1,000回線超過／$E_t$／4Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>本配線盤の保安装置／$E_{At}$／10Ω以下／※接地銅板・接地棒<br>電話引込口の保安器 アンテナ保安器／$E_{Lt}$／100Ω以下／・接地銅板／※接地棒<br>拡声用増幅器／$E_{Dt}$／100Ω以下／・接地銅板／※接地棒<br>測定用／$E_Q$／・接地銅板／※接地棒 |
| | (3)埋設帯及び埋設標柱 | 埋設配管配線路には、埋設表示用テープ（ビニル製折り返し付）及び埋設標柱（舗装部分は埋設ピンとする）を敷設する。（高低圧、通信共）(2-1.16.5)<br>（高圧地中線路には、用途、電圧種別等の表示をする。）(2-2.12.4～5) |
| | (4)プレート | ※金属製（ステンレス、新金属を含む）　・樹脂製 |
| | (5)プレートの用途表示 | 器具を実装しないものについては用途を示す略標を付ける。 |
| | (6)ｹｰﾌﾞﾙﾏｰｸの取り付け | プルボックス、盤内、ケーブルラック、その他の要所及びハンドホール内に合成樹脂製、ファイバ製等の表示札、表示シートを取り付け回路の種別行き先を表示する。(2-2.2.10)<br>ハンドホール内の用途別のケーブルマークの色別は次による。(2-2.12.5)<br>用途／地色／文字色<br>高圧／赤／黒<br>低圧／白／黒<br>動力／青／白<br>通信／黄／黒<br>火報／だいだい／黒 |
| | (7)盤名称などの表示 | 各盤には上部に名称、下部に盤記号のネームプレートを取り付ける。<br>プレートは樹脂製（文字彫刻）とする。ドア裏面又は保護盤表面の請負者銘板には、標準仕様書に記載されている内容を明記する。<br>プルボックスには用途を示す略標を付ける。(2-1.6.8)(2-1.11.8) |
| | (8)標準色 | 盤等の塗装色は特記なき場合製造者標準色とする。 |
| | (9)ハンドホール | ※ブロック桝　・現場打ち桝(2-1.16.5)<br>蓋は電気設備であることを示すマーク付きとする。(2-2.12.3) |
| | (10)合成樹脂可とう管 | 合成樹脂可とう管は、ＰＦ管（一重管）とし温度による分類はタイプ25とする。また、合成樹脂可とう管に使用する位置ボックスは、原則として樹脂製とする。(2-1.2.2) |
| | (11)配管等の塗装 | 金属管の塗装箇所は図面特記による。(1-2.7.1) |
| | (12)耐震施工 | 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計、施工指針（建設省住宅局建築指導課監修）」による。また、横引き配管等は標準仕様書による。(2-2.1.14) |
| | (13)他工事との調整 | 特記なき場合は下記による。（●印適用）<br>区分種別／電気／機械／建築<br>梁・床・壁貫通部 補強／／／●<br>梁・床・壁貫通部 スリーブ／●／●／<br>壁埋込型機器類 補強／／／●<br>壁埋込型機器類 仮枠／●／●／<br>天井埋込型器具類下地 切込／／／●<br>天井埋込型器具類下地 補強／／／●<br>天井埋込型器具類下地 墨出し／●／●／<br>別途機器への接続／●／●／<br>防火戸閉鎖装置／●／／<br>電動ｼｬｯﾀｰ 自動扉 開閉装置／／／●<br>電動ｼｬｯﾀｰ 自動扉 二次配線・操作ｽｲｯﾁ／／／●<br>電動ｼｬｯﾀｰ 自動扉 二次配管／●／／<br>軽量鉄骨壁の機器取付け用の補強／●／●／<br>吊ボルト用インサート／●／●／<br>機械室電気室等の設備機器の基礎／／／●<br>機械室電気室等の設備ピット（蓋含む）／／／●<br>自立型制御盤の基礎／／／●<br>自立型アンテナの基礎／／／●<br>床点検口、天井点検口／／／●<br>消火水槽用マンホール／／／●<br>注　複数箇所に●印のあるものは、各工事に適用する。 |
| | (14)保温、結露防止 | 外部に面する壁、天井で建築工事でＦＰ板（スタイロフォーム）打ち込み箇所に取り付ける位置ボックス等は保温、結露防止処理を行う。 |
| | (15)インサート | 鋼製とする。床板で保温板打ち込み部分は、断熱用インサート（亜鉛メッキ製品）を使用する。 |
| 共通工事 | (16)再使用機器 | 取外し再使用機器は絶縁抵抗測定のうえ、清掃後取り付ける。 |
| | (17)ケーブル保護 | ケーブル配線工事において壁体内及び立ち上がり、立ち下がり部は電線管保護のこと。 |
| | (18)スリーブ材 | イ）水密を要する梁、床、壁のスリーブ(1-2.8.1)<br>※つば付き鋼管製　・亜鉛鉄板製<br>ロ）上記を除く箇所のスリーブ<br>※紙スリーブ　・鉄板スリーブ |
| | (19)はつり | 既存コンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 |
| | (20)電線類 | 標準仕様書による他、EM-UTP、EM-MEES及びEM-EBTを追加する。(2-1.1.1)(6-1.1.1) |
| 幹線設備 | ①電気方式 | 電灯配線　１φ３Ｗ　２００／１００Ｖ<br>動力配線　３φ３Ｗ　２００Ｖ |
| | ②屋外配線<br>(1)配線方法<br>(2)工事区分 | ⊙地中配線（⊙管路式　・直埋式）　・架空線式(2-2.11.1～12.6)<br>各盤の一次側接続までとする。 |
| | ③屋内配線<br>(1)配線方法<br>(2)工事区分 | ・配管配線　・ケーブルラック　⊙ケーブル配線(2-2.1.1～10.6)<br>各盤の一次側接続までとする。 |
| | ④盤類の表示他 | 各盤には標準仕様書記載の他に下記の表示を行う。(2-1.6.8)<br>(1)結線図等の縮小図を添付する。（扉裏面にカードケース貼付）(2-1.11.8)<br>(2)接地用端子を取り付ける。（図面特記による） |
| | ⑤機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの(2-1.17.1) |
| | ⑥施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの(2-2.18.2) |
| 電灯設備 | ①電気方式 | 幹線　１φ３Ｗ　２００／１００Ｖ<br>分岐　１φ３Ｗ　２００／１００Ｖ |
| | ②配線方法 | ⊙天井隠ぺい及び床壁埋込配管配線(2-2.14.1)<br>ケーブル配線（ケーブル等の１芯を接地線とする場合は、芯線被覆は緑とする） |
| | ③配線器具 | 配線器具の仕様は次による。(2-1.3.1)<br>スイッチ：大角（２個以上はネーム入りとする）<br>コンセント：大角<br>アース端子：ターミナル式<br>天井換気扇用スイッチ：大角（ランプ内蔵） |
| | ④配線と器具の接続 | 配線と灯具の接続はＥＥＦケーブル等、又はキャブタイヤケーブルを使用する。(2-2.14.1) |
| | ５．予備配管 | 分電盤内予備回路が４ケ以下の場合電線管25㎜２本、５ケ以上の場合は３本を天井裏まで配管する。 |
| | ⑥非常用照明器具 | ⊗電池内蔵型　・電池別置型 |
| | 7．屋外灯 | 点灯方式　※自動点滅器＋タイマー　・自動点滅器(2-1.4.2)<br>ポール内開閉器（カットアウトＳＷ、ナイフＳＷ）を設けること。<br>地中配管等からの防湿処理を施すこと。<br>基　礎：　※ブロック　・現場打ち |
| | ⑧機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの(2-1.17.1) |
| | ⑨施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの(2-2.18.2) |
| 動力設備 | ①電気方式 | 幹線、分岐　３φ３Ｗ　２００Ｖ(2-2.15.1) |
| | ②配線方法 | ⊙天井隠ぺい及び床壁埋込配管配線<br>⊙ケーブル配線 |
| | ③機械設備工事との取り合い | 冷暖房機器付属の制御盤に対する起動停止命令、インターロック及び状態表示などの配線、電動機容量については機械設備工事施工者と事前に打ち合わせること。 |
| | ④機器への接続 | 図面特記明示のない場合は電動機などへの接続は本工事とする。(2-2.15.3) |
| | ⑤機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの(2-1.17.1) |
| | ⑥施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの(2-2.18.2) |
| 受変電設備 | ①電気方式 | 高圧　３φ３Ｗ　６ＫＶ　低圧　３φ３Ｗ　２００Ｖ<br>低圧　１φ３Ｗ　２００／１００Ｖ |
| | ②受電方式 | ⊗キュービクル式　・開放型(3-1.1.1～8)<br>※屋内　⊙屋外（ﾄﾗﾝｽ：電灯　75 KW・動力 150 KW、ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎　2000×2000×H300共）(3-1.6.1～6) |
| | ③主遮断装置 | ・ＣＢ型（※ＶＣＢ　・ＧＣＢ）　・ＰＦ－Ｓ型(3-1.10.1) |
| | ④変圧器、高圧コンデンサ類 | 変圧器　※油入型　・モールド型(3-1.10.2～4)<br>コンデンサ　※油入型　・モールド型<br>直列リアクトル　※油入型　・モールド型 |
| | ⑤柱上機器 | 高圧深開閉器（ステンレス）　・重耐塩　⊙一般型(3-1.10.8)<br>⊙ＰＡＳ　・ＰＧＳ　⊙方向性避電器付<br>⊙避雷器付　・ＶＴ内蔵<br>過電流蓄勢トリップ付地絡トリップ形、ＳＯＧ制御箱はステンレス製（鍵付）とする。 |
| | ⑥高圧ケーブルの端末処理 | 屋外側　・耐塩型　・屋外耐塩碍子型(2-2.1.1)<br>処理者銘板取り付け（屋内外共、線名、作業日、氏名を表示） |
| | ⑦機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの(3-1.14.1) |
| | ⑧施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの(2-2.3.3) |
| | ⑨電気料金他 | 受電から引き渡しまでの電気料金　※本工事　・別途<br>受電から引き渡しまでの保安委託費　※本工事　・別途 |

[redacted]

Title　（仮称）小町の館建築工事（電気設備工事）
Scale
NO　E-01
電気設備工事特記仕様書(1)

## 7 発電設備

| | | |
|---|---|---|
| 1. 装置 | ・ディーゼル発電装置　・ガスエンジン発電装置　・ガスタービン発電装置<br>・熱併給発電装置　・太陽光発電装置　・風力発電装置 | (5-1.1.1～1.3.8)<br>(5-1.6.1～1.8.7) |
| 2. 形式 | ・防災型　・一般型　・長時間型 | |
| 3. 発電機 | ・3φ3W　200V　50Hz　　KVA以上<br>・3φ3W　6V　50Hz　　KVA以上 | (5-1.1.3)<br>(5-1.2.3)<br>(5-1.3.3)<br>(5-1.6.3)<br>(5-1.8.2) |
| 4. 原動機 | 定格出力　PS以上　・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ　・ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝ　・ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ<br>始動方式　・電気式　・空気式 | (5-1.1.4)<br>(5-1.2.4)<br>(5-1.3.4) |
| 5. 冷却方式 | ・ラジエター式　・水槽循環式 | |
| 6. 燃料 | 種類　・軽油　・A重油　・灯油　・ガス<br>・燃料小出槽　L<br>・主貯油槽（地下）　※なし　・あり（・別途　・本工事） | |
| 7. 太陽光発電装置 | 太陽電池アレイ　公称出力　KW<br>パワーコンディショナ　φ　W　定格出力　KW | (5-1.7.1～8) |
| 8. 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (5-1.9.1)<br>(5-1.9.3～5) |
| 9. 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (5-2.6.2)<br>(5-2.6.4～6) |

## 8 静止形電源設備

| | | |
|---|---|---|
| 1. 用途 | ・非常用照明　・非常用電源　・受変電設備制御 | |
| 2. 機材 | 標準仕様書直流電源装置、交流無停電電源装置による。 | (4-2.1.1～2.12) |
| 3. 蓄電池 | ・据置鉛蓄電池（・ベント形　・制御弁式）<br>・据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池<br>・シール形ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池<br>・長寿命型MSE電池 | (4-2.1.8) |
| 4. 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (4-2.3.1) |
| 5. 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (4-3.3.2) |

## ⑨ LAN設備

| | | |
|---|---|---|
| ① 工事範囲 | ⊙配管　⊙配線　・情報機器（仕様図による。） | |
| 2. 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-1.21.1) |
| ③ 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-2.28.2) |

## ⑩ 構内交換設備

| | | |
|---|---|---|
| ① 工事範囲 | ⊙配管　・配管、配線（MJ付）　・端子盤<br>・交換機　・電話機　・保安器盤（　L） | |
| 2. 機器 | ・PBX（・分散中継式　・中継台式）　・ボタン電話装置 | (6-1.6.2)<br>(6-1.6.7) |
| 3. 回線数 | 局線　／　回線　　内線　／　回線 | |
| 4. 電話機 | ・多機能型　・停電用電話機　・一般内線型 | (6-1.6.5) |
| 5. 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-1.21.1) |
| 6. 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-2.28.2) |

## 11 時刻表示設備

| | | |
|---|---|---|
| 1. 親時計 | 水晶式親時計　回線<br>・自立型　・壁掛型　・防災盤組込み | (6-1.7.4.2) |
| 2. 子時計 | ・単独型　・スピーカー組込み　・修正器 | (6-1.7.4.4) |
| 3. 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-1.21.1) |
| 4. 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-2.28.2) |

## ⑫ 拡声設備

| | | |
|---|---|---|
| ① 用途 | ・一般業務用　・非常放送用　⊙業務、非常放送兼用 | |
| ② 型式<br>出力<br>付属機器<br>出力回路数 | ・デスク形　・ラック組込み　⊙壁掛形　・卓上形<br>W　ラジオチューナー：・AM　・FM<br>・ベルタイマ　・チャイム　・プログラムタイマ<br>回路一斉スイッチ付 | |
| ③ スピーカ | ⊙壁掛　⊙天井埋込み　・吊り下げ | (6-1.9.3) |
| ④ 音量調整器 | ⊙壁取り付け　⊙スピーカ組込み | |
| ⑤ マイクロフォン | ⊙ダイナミック　・ワイヤレス | (6-1.9.4)<br>(6-1.8.6.1) |
| ⑥ マイクスタンド | ・スタンド型　⊙卓上型 | |
| ⑦ 配線方法 | ・天井隠ぺい及び躯体埋込み配管　⊙ケーブル配線 | (6-2.1.1～7.8) |
| 8. AM,FMアンテナ | ・設ける（ステンレス製）　・設けない | (6-1.9.4) |
| ⑨ 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-1.21.1) |
| ⑩ 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-2.28.2) |

## ⑬ 誘導支援設備

| | | |
|---|---|---|
| 1. 機材 | 標準仕様書インターホン、トイレ呼び出し装置による。 | (6-1.10.1～9) |
| 2. ｲﾝﾀｰﾎﾝ通話方式 | ・相互式　・親子式　・同時通話式　・テレビインターホン | |
| 3. ｲﾝﾀｰﾎﾝ型式 | ・壁掛け　・卓上型 | |
| 4. ｲﾝﾀｰﾎﾝ用途 | ・庁内連絡用　・身体障害者用　・夜間連絡用 | |
| ⑤ トイレ呼出装置 | 表示器　1 窓　・壁掛型　⊙埋込み　・防災盤組込み | (6-1.10.6) |
| ⑥ 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-1.21.1) |
| ⑦ 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-2.28.2) |

## ⑭ テレビ共同受信設備

| | | |
|---|---|---|
| ① アンテナ | ・VHF　素子（※ステンレス製　・アルミ製）<br>⊙UHF　素子（※ステンレス製　・アルミ製）<br>⊙BS用　45φ　・CS用　φ | (6-1.11.3) |
| ② アンテナマスト | ⊙壁面取り付け　・自立型<br>⊙溶融亜鉛メッキ製　・ステンレス | (6-1.11.3) |
| ③ 機器 | 標準仕様書テレビ共同受信設備による。 | (6-1.11.2) |
| ④ 同軸ケーブル | 低損失型（BS対応） | (6-1.1.1) |
| ⑤ 出力端子 | プラグ型（BS対応） | (6-1.11.2) |
| ⑥ 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-1.21.1) |
| ⑦ 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-2.28.2) |

## 15 テレビ電波障害防除設備

| | | |
|---|---|---|
| 1. 防除工事範囲 | ・遮蔽　・反射<br>・専用アンテナ設置　・増幅器　・ケーブル<br>・分岐器、分配器　・建柱<br>・地上アナログ波　・地上デジタル波 | |
| 2. 機器 | 標準仕様書テレビ電波障害防除設備による。 | (6-1.12.2) |
| 3. 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-1.21.1) |
| 4. 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-2.28.2) |

## ⑯ 自動火災報知設備

| | | |
|---|---|---|
| ① 受信機 | ⊙P型　2級　5回線　・PG型　回線　・住宅用<br>・R型　アドレス　・GR型　アドレス<br>⊙壁掛　・自立型（・埋込　・露出）　・防災盤組み | (6-1.16.2～3) |

| 自火報 | 防排煙 | ｶﾞｽ漏れ警報 | 機器警報 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 2. 副受信機 | ・P型　級　回線　・R型　アドレス<br>・壁掛（・埋込　・露出） | (6-1.16.4) |
| ③ 発信器 | ⊙P型 2 級　・単独　⊖機器収容箱取り付け<br>・R型　・単独　・機器収容箱取り付け | (6-1.16.6) |
| ④ 電鈴 | 径100mm以上　⊙単独　⊙機器収容箱取り付け | (6-1.16.8) |
| ⑤ 表示灯 | ・単独　⊙機器収容箱取り付け | |
| ⑥ 機器収容箱 | ⊙単独（⊖埋込　・露出）　・消火栓箱（別途）組込み | (6-1.16.8) |
| ⑦ 感知器 | 作動表示装置付とする。（ただし分布形、防爆形を除く） | (6-1.16.8) |
| 8. 感知線 | 空気管は、SSタイプとする。 | |
| 9. 自動閉鎖装置 | ・本工事　・別途<br>・防火戸用（ラッチ式）　・防煙ダンパー | (6-1.17.1～6) |
| 10. ガス漏れ警報装置 | ・本工事　・別途<br>・都市ガス　・LPG | (6-1.19.1～7) |
| 11. 非常通報装置 | ・本工事　・別途 | |
| 12. 非常警報装置 | ・本工事　・別途　・埋込　・露出 | (6-1.18.1～4) |
| ⑬ 配線方法 | ⊙天井隠ぺい壁埋込み配管配線<br>⊙ケーブル配線 | (6-2.1.1～7.8) |
| ⑭ 端子台の取り付け | 機器収容箱内には機器取付板及びケーブル接続端子を取り付ける。 | |
| ⑮ 防火区域図 | ※アクリル板（彫刻）　⊙紙製（ケース入り） | (6-2.24.2) |
| ⑯ 機材の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-1.21.1) |
| ⑰ 施工の試験 | 標準仕様書記載の試験、または監督員の指示するもの | (6-2.28.2) |

## Ⅳ 機器取付高さ

機器取付け高さは下表を標準とする。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

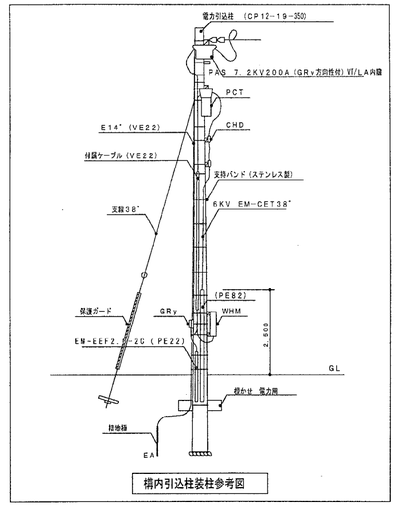
| | 名称 | 測点 | 取付け高さ（mm） |
|---|---|---|---|
| 共通 | 取引用計器 | 地上～窓中心 | 1，800 |
| | 引込み開閉器 | 地上～中心 | 1，800 |
| | 分電盤 | 床上～中心 | 1，500 |
| | スイッチ（身障者用） | 〃 | 1，100～1，200 |
| | 〃（一般） | 〃 | 1，300 |
| | 〃（和室） | 〃 | 1，200 |
| | コンセント（一般） | 床上～中心 | 300 |
| | 〃（和室） | 〃 | 200 |
| | 〃（台上） | 台上～下端 | 150 |
| | 〃（ファン用） | | ファン下端 |
| | 〃（厨房） | 床上～中心 | 800～1，000 |
| | 〃（車庫） | 〃 | 1，300 |
| | 〃（機械室） | 〃 | 500～1，000 |
| | 〃（身障者用） | 〃 | 350～400 |
| | ブラケット（一般） | 床上～中心 | 2，100～2，700 |
| | 〃（踊り場） | 〃 | 約2，500 |
| | 〃（鏡上） | 鏡上端～中心 | 150 |
| | 表示灯（身障者用） | 床上～中心 | 1，500 |
| | 避難口誘導灯 | 床上～下端 | 1，500以上 |
| | 廊下通路誘導灯 | 床上～上端 | 1，000以下 |
| 動力 | 壁掛型制御盤 | 床上～中心 | 1，500 |
| | 開閉器箱 | 〃 | 1，500 |
| | 電磁開閉器用押しボタン | 〃 | 1，300 |
| 電話 | 端子盤（廊下、室内） | 床上～下端 | 300 |
| | 壁付アウトレット（一般） | 床上～中心 | 300 |
| | 〃（和室） | 〃 | 200 |
| 時刻表示拡声 | 壁掛型親時計 | 床上～中心 | 1，500 |
| | 壁付子時計 | 〃 | 2，700 |
| | 壁掛型スピーカー | 〃 | 2，700 |
| | 壁付アッテネーター | 〃 | 1，300 |
| 誘導支援機器 | 表示盤 | 床上～中心 | 1，500 |
| | ベル、ブザー、チャイム | 〃 | 2，700 |
| | 壁付押しボタン（一般） | 〃 | 1，300 |
| | 〃（身障者玄関） | 〃 | 1，100 |
| | 〃（身障者便所） | 〃 | 900 |
| | 呼出し表示灯（身障者用） | 〃 | 2，300 |
| | 壁付インターホン（一般） | 床上～中心 | 1，300 |
| | 〃（身障者用） | 〃 | 1，100 |
| | 壁付アウトレット（一般） | 〃 | 300 |
| | 〃（和室） | 〃 | 200 |
| テレビ機器 | 機器収容箱 | 天井～上端 | 200 |
| | 直列、端末ユニット（一般） | 床上～中心 | 300 |
| | 〃（和室） | 〃 | 200 |
| 防災機器 | 受信機、副受信機 | 床上～操作部 | 800～1，500 |
| | 機器収容箱 | 〃 | 800～1，500 |
| | ガス検知器（LPG） | 床上～上端 | 250 |
| | 都市ガス用検知器（軽質） | 天井～上端 | 150 |
| | 〃（重質） | 床上～上端 | 250 |

Title (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事）

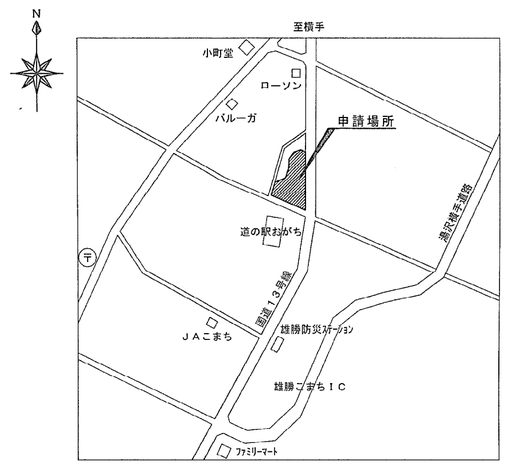
Scale

電気設備工事特記仕様書(2)

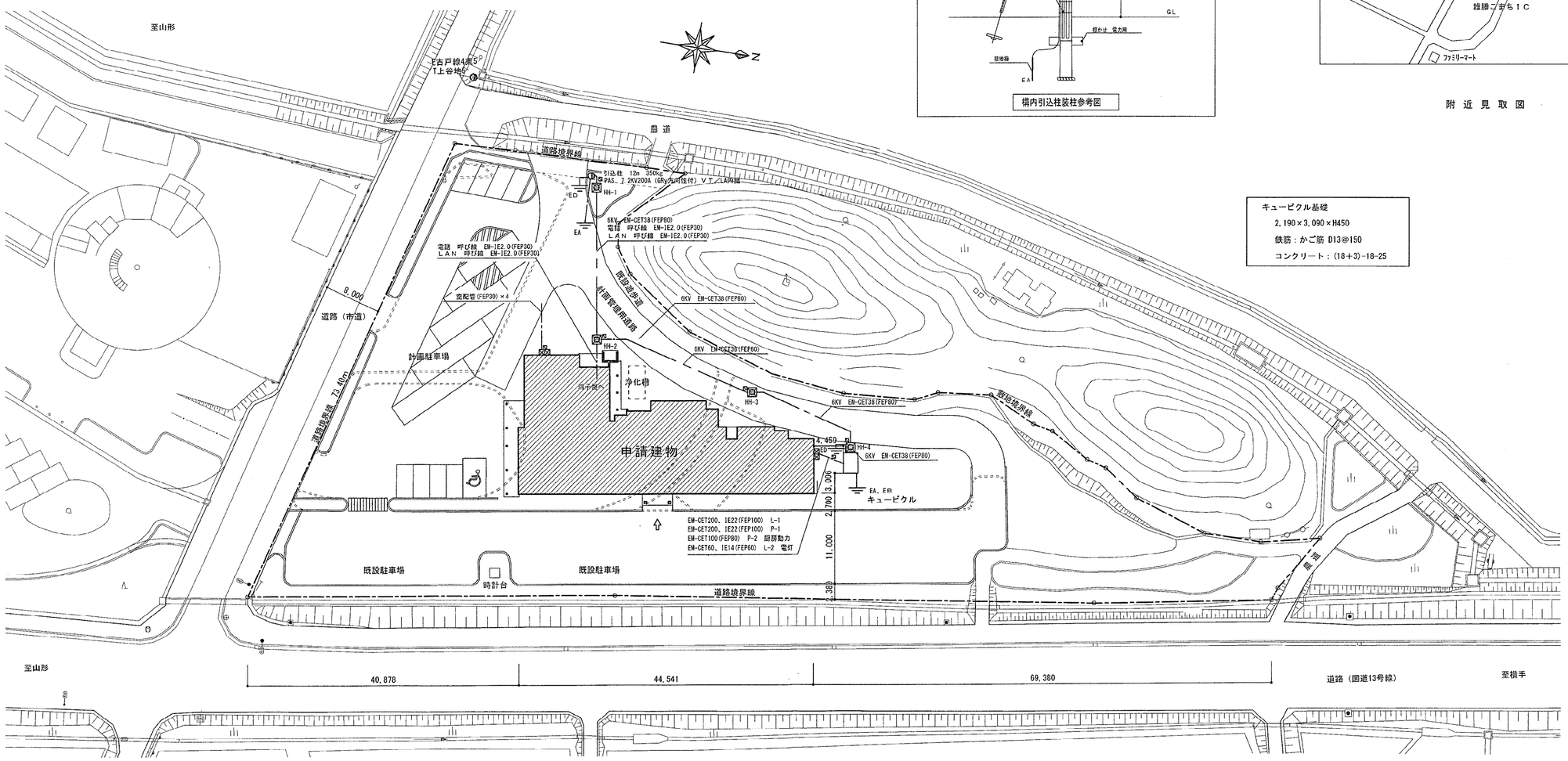
NO E-02




構内引込柱装柱参考図




附 近 見 取 図




配 置 図 S=1:500

キュービクル基礎
2,190×3,090×H450
鉄筋：かご筋 D13@150
コンクリート：(18+3)-18-25

面 積 表 (m²)

| | 申請建物 | 既存建物 | 合 計 |
|---|---|---|---|
| 敷 地 面 積 | | | 5,560.21 |
| 建 築 面 積 | 674.20 | —— | 674.20 |
| 延 床 面 積 | 630.13 | —— | 630.13 |

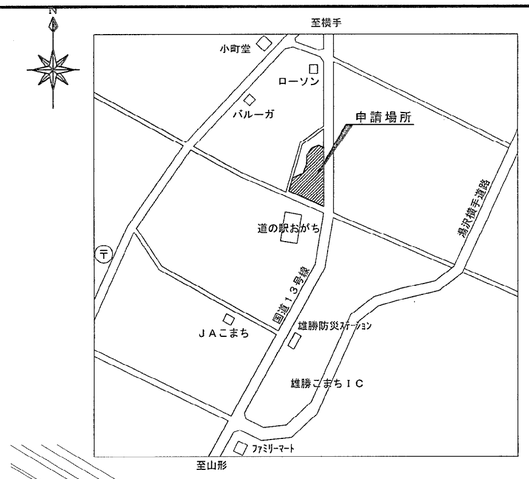
[redacted]

Title (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事)

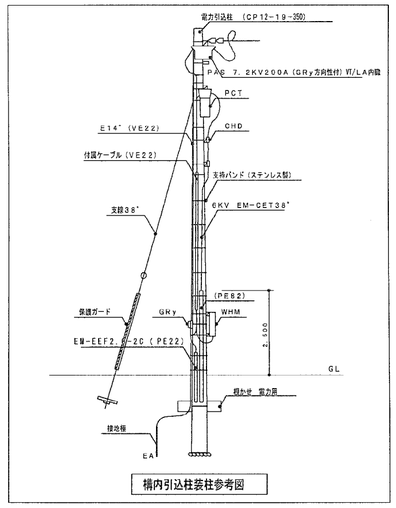
受 変 電 配 置 図

Scale S=1:500

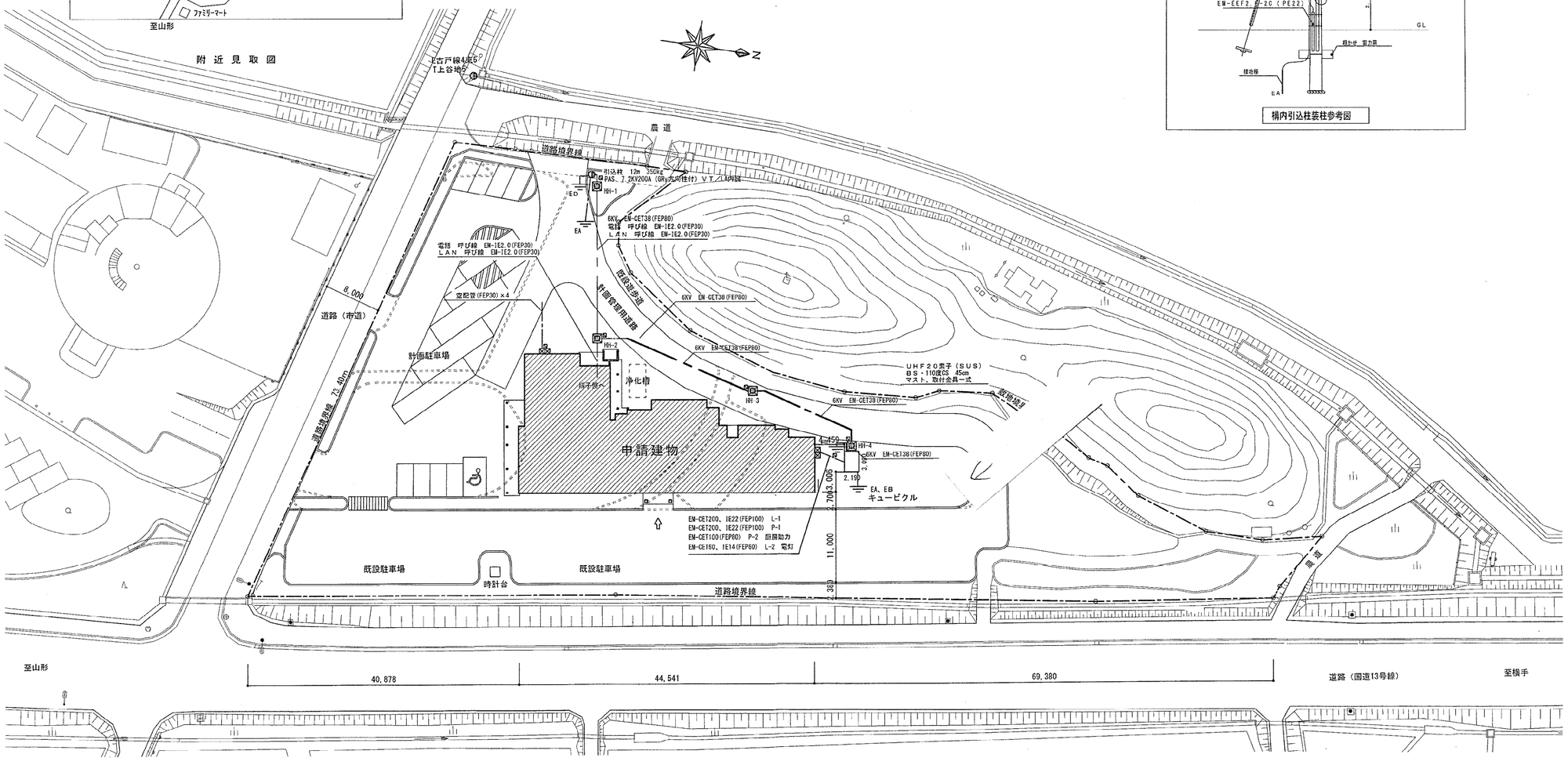
NO E-03




附 近 見 取 図




構内引込柱装柱参考図




配 置 図 S=1:500

面 積 表 (m²)

| | 申請建物 | 既存建物 | 合 計 |
|---|---|---|---|
| 敷 地 面 積 | | | 5,560.21 |
| 建 築 面 積 | 674.20 | —— | 674.20 |
| 延 床 面 積 | 630.13 | —— | 630.13 |

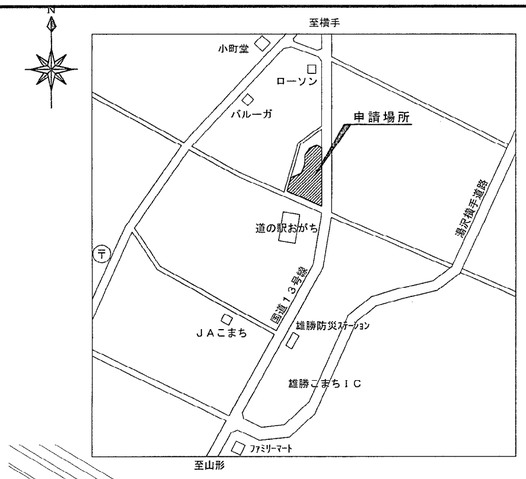
[redacted]

Title (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事)

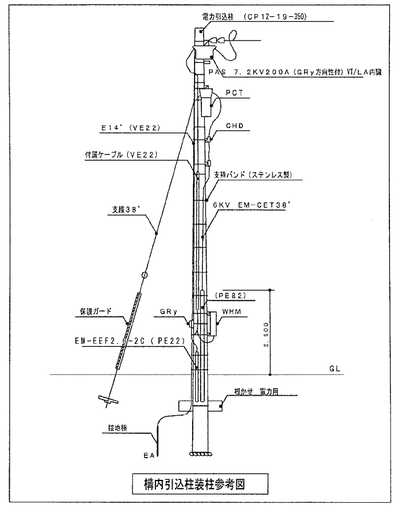
受 変 電 配 置 図

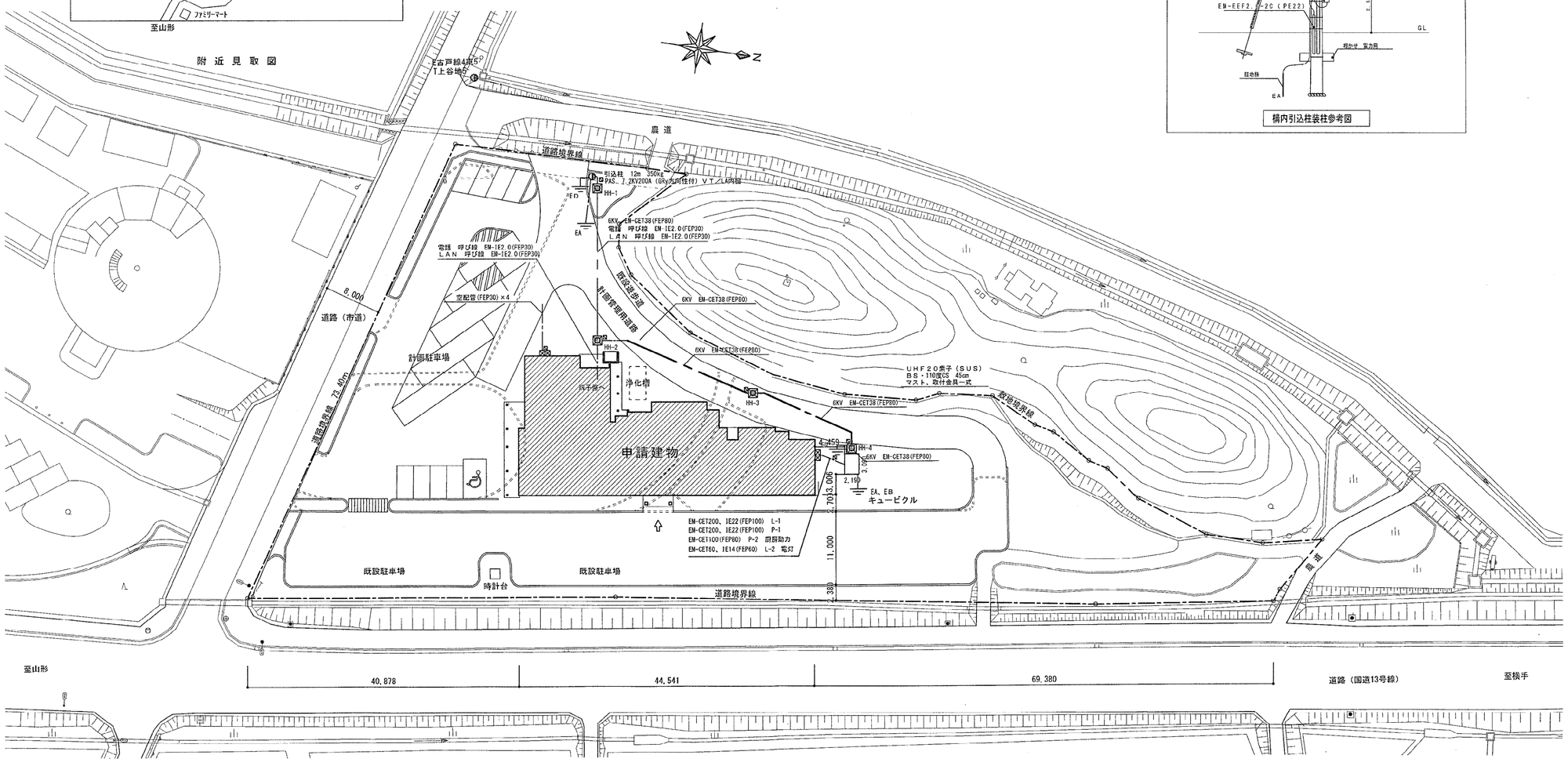
Scale S=1:500

NO E-03




附 近 見 取 図




配 置 図 S=1:500

面 積 表

(m²)

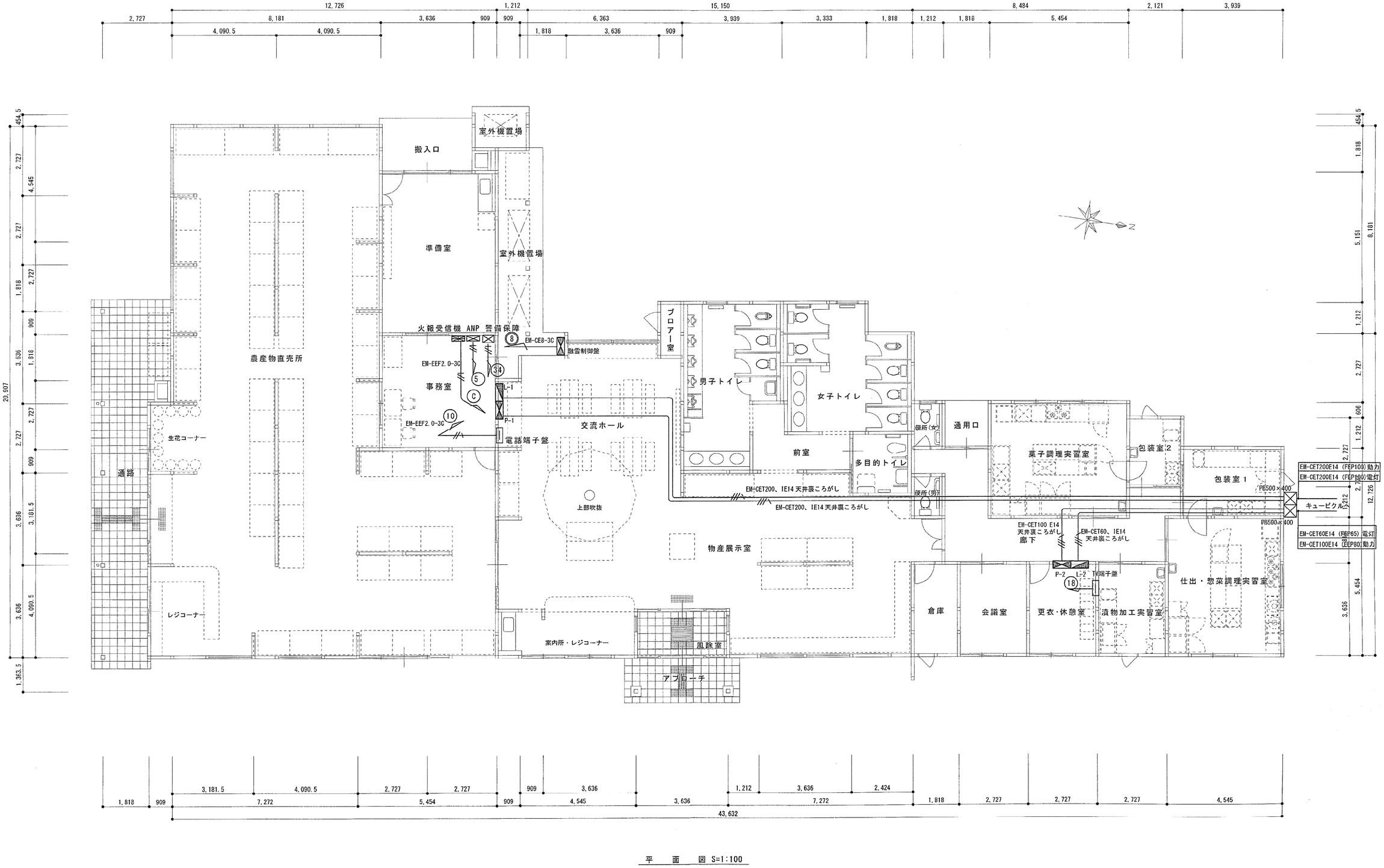
| | 申請建物 | 既存建物 | 合 計 |
|---|---|---|---|
| 敷 地 面 積 | | | 5,560.21 |
| 建 築 面 積 | 674.20 | —— | 674.20 |
| 延 床 面 積 | 630.13 | —— | 630.13 |

Title (仮称)小町の館建築工事(電気設備工事)

受 変 電 配 置 図

Scale S=1:500

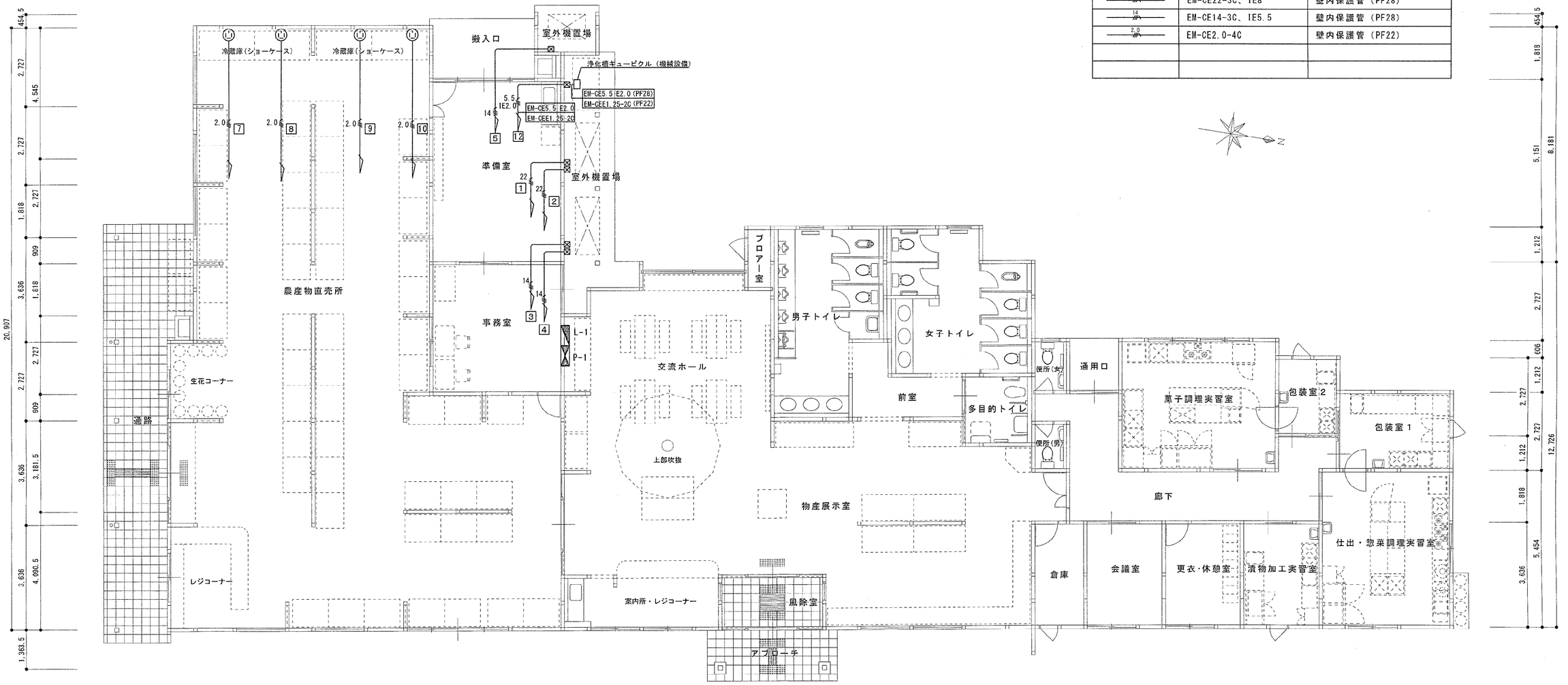
NO E-03




平　面　図 S=1:100

| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事） | 幹線設備図 | S=1:100 | E-04 |

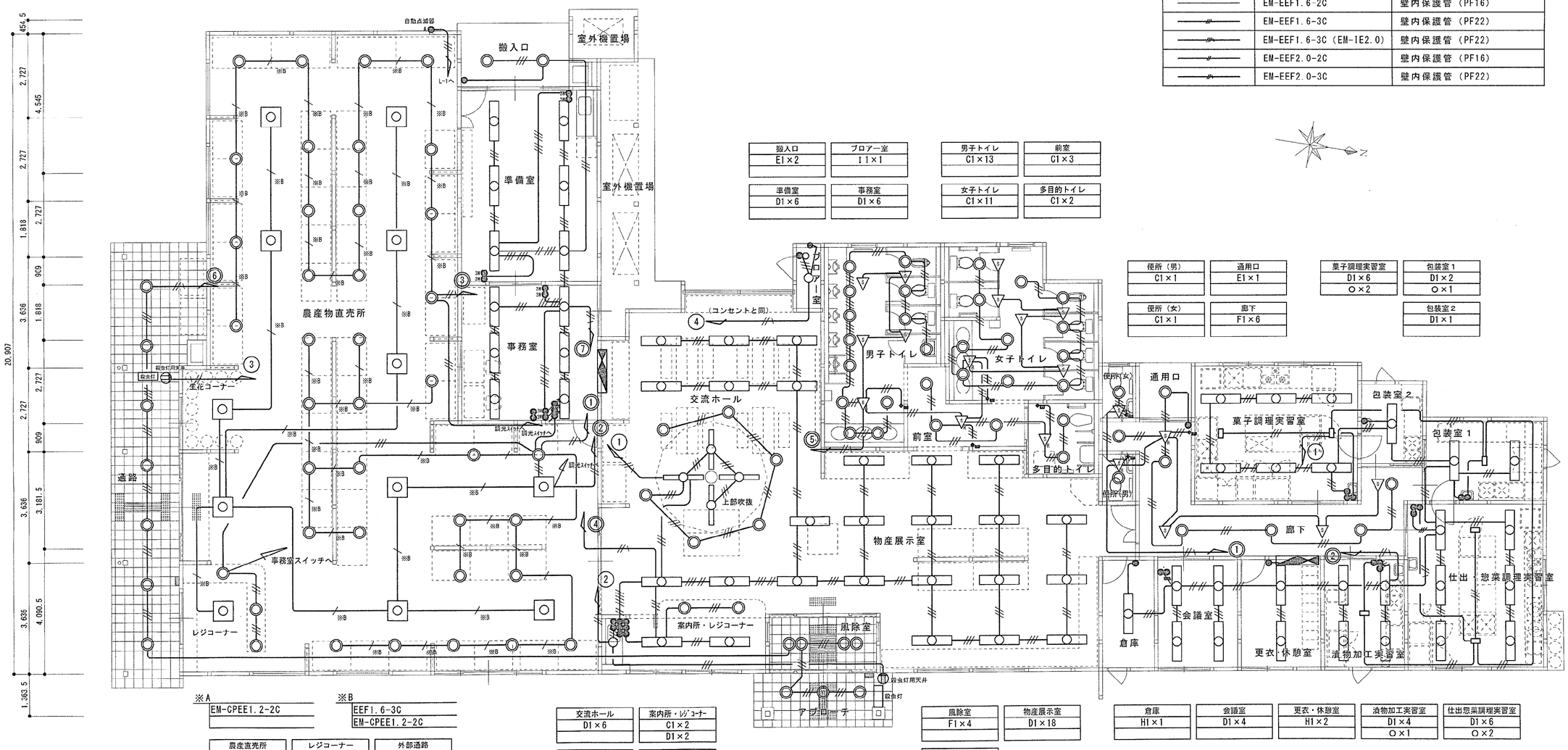
| 配線記号 | 配線種別 | 適　要 |
|---|---|---|
| 22 | EM-CE22-3C、IE8 | 壁内保護管（PF28） |
| 14 | EM-CE14-3C、IE5.5 | 壁内保護管（PF28） |
| 2.0 | EM-CE2.0-4C | 壁内保護管（PF22） |
| | | |
| | | |




平　面　図 S=1:100

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| （仮称）小町の館建築工事（電気設備工事）<br>動力設備図 | S=1:100 | E-05 |

| 配線記号 | 配線種別 | 適　要 |
|---|---|---|
| ——— | EM-EEF1.6-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——/// | EM-EEF1.6-3C | 壁内保護管（PF22） |
| ——/// | EM-EEF1.6-3C（EM-IE2.0） | 壁内保護管（PF22） |
| ——// | EM-EEF2.0-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——// | EM-EEF2.0-3C | 壁内保護管（PF22） |




| 搬入口 | ブロアー室 | 男子トイレ | 前室 |
|---|---|---|---|
| E1×2 | I1×1 | C1×13 | C1×3 |
| 準備室 | 事務室 | 女子トイレ | 多目的トイレ |
| D1×6 | D1×6 | C1×11 | C1×2 |

| 便所（男） | 通用口 | 菓子調理実習室 | 包装室１ |
|---|---|---|---|
| C1×1 | E1×1 | D1×6 | D1×2 |
| 便所（女） | 廊下 | ○×2 | ○×1 |
| C1×1 | F1×6 | | 包装室２ |
| | | | D1×1 |

| 農産直売所 | レジコーナー | 外部通路 |
|---|---|---|
| A1×11 | A1×1 | E1×7 |
| B1×36 | C1×3 | N×1 |

| 交流ホール | 案内所・レジコーナー |
|---|---|
| D1×6 | C1×2 |
| | D1×2 |
| 吹抜 | 流し元 |
| G1×4 | J1×1 |
| B1×6 | |

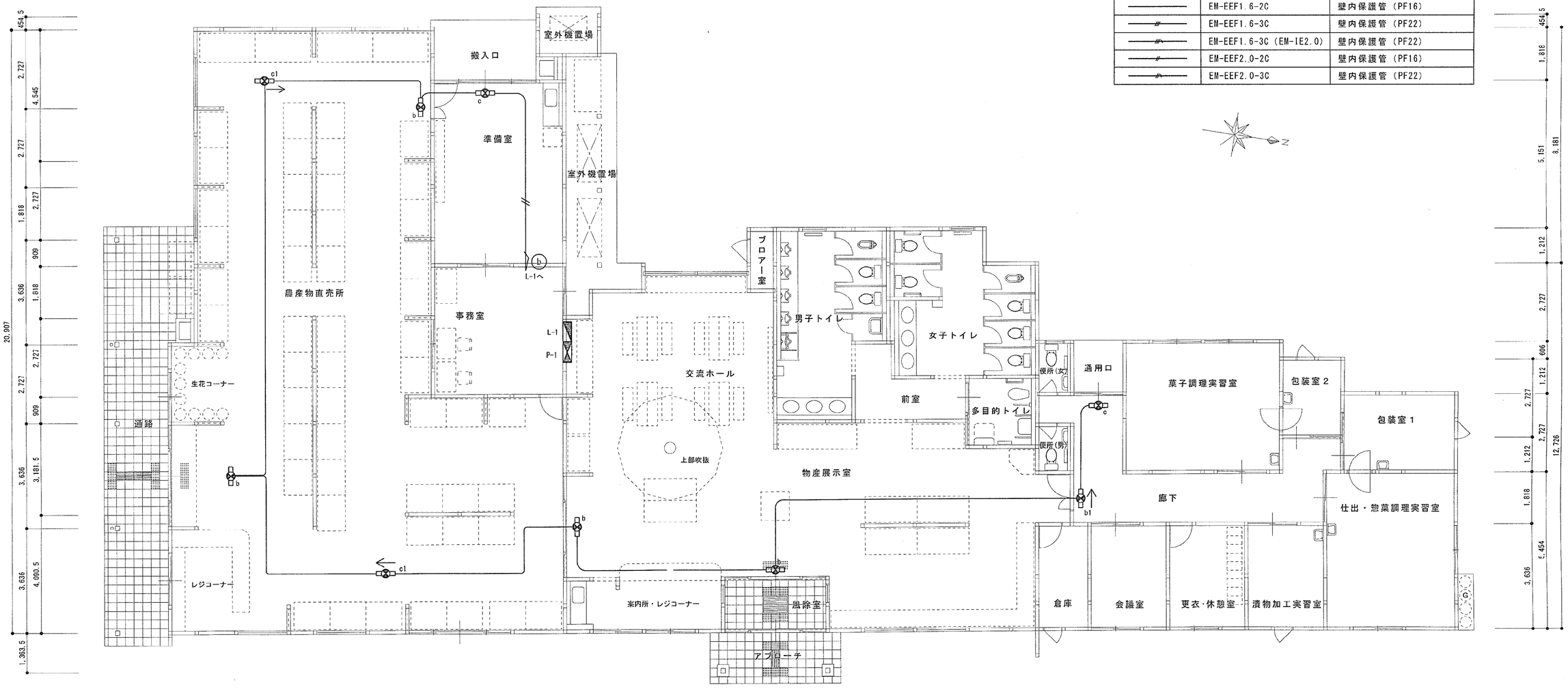
| 風除室 | 物産展示室 |
|---|---|
| F1×4 | D1×18 |
| アプローチ | |
| E1×3 | |
| N×1 | |

| 倉庫 | 会議室 | 更衣・休憩室 | 漬物加工実習室 | 仕出惣菜調理実習室 |
|---|---|---|---|---|
| H1×1 | D1×4 | H1×2 | D1×4 | D1×6 |
| | | | ○×1 | ○×2 |

平　面　図 S=1:100

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| （仮称）小町の館建築工事（電気設備工事） | 電　灯　設　備　図　S=1:100 | E-06 |

| 配線記号 | 配線種別 | 適　要 |
|---|---|---|
| ——— | EM-EEF1.6-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——/——— | EM-EEF1.6-3C | 壁内保護管（PF22） |
| ——//——— | EM-EEF1.6-3C（EM-IE2.0） | 壁内保護管（PF22） |
| ——/——— | EM-EEF2.0-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——//——— | EM-EEF2.0-3C | 壁内保護管（PF22） |



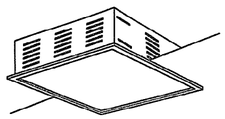

平　面　図 S=1:100

| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| （仮称）小町の館建築工事（電気設備工事） | 誘導灯・非常用照明設備図 | S=1:100 | E-07 |

# 照明器具参考姿図

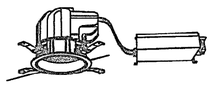
（型番は参考とする）

## A1　LEDベースライト スクエアタイプ（4500K）



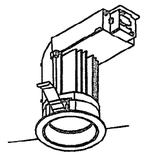
ボルトフリー（100～242V）、白色LED（4500K）
調光範囲（5%～100%）

## B1　LED84W ダウンライト



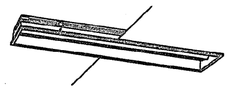
昼白色、ボルトフリー（100～242V）
調光範囲（約5～100%）

## C1　LED22．7W ダウンライト



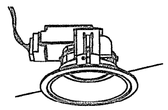
ボルトフリー（100～242V）、温白色LED
拡散タイプ

## D1　LDL40×2 埋込ベースライト



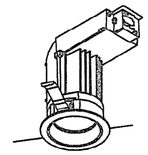
省エネ出力初期照度補正型
ボルトフリー（100～242V）

## E1　LED22．7W 軒下用ダウンライト



電球色・ボルトフリー（100～242V）

## F1　LED22．7W ダウンライト



ボルトフリー（100～242V）、昼白色LED
拡散タイプ

## G1　LED22．0W 建築部材照明

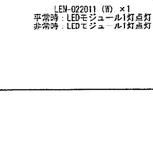
温白色
L＝1200mmタイプ

## H1　LDL40×2 ベースライト



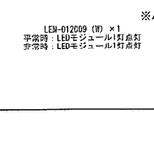
省エネ出力初期照度補正型
ボルトフリー（100～242V）

## I1　防湿・防雨形 LEDユニットフラット形 ブラケット 天井・壁面兼用



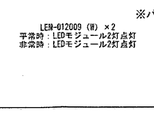
LEDユニットフラット6．4W形付（専用器具）

## J1　LEDユニットフラット形シーリングダウンライト



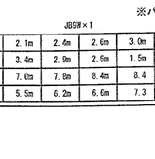
LEDユニットフラット6．4W形付（専用器具）

## N　電撃殺虫器



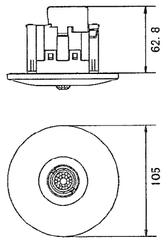
FL20W×2

## O　防湿形 殺菌灯 吊下



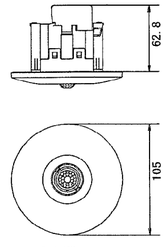
GL6W×1

## 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ（親器・広角検知形）（200V）



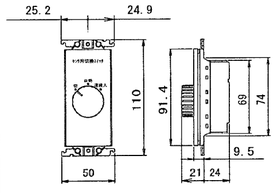

8A 200V AC

## 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ（子器・広角検知形）



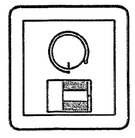

5mA 12V DC

## RAS　埋込熱線センサ用自動ｽｲｯﾁ付操作ユニット 15A 250V AC




15A 250V

## ライトコントロール



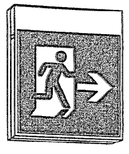
ボルトフリー（100～242V）
調光回路用スイッチC（3線）付
台時切替スイッチ（PON/HF）付

## b　避難口誘導灯片面 B級BL形 壁・天井直付形

※バッテリー内蔵

LEM-022011（W）×1
平常時：LEDモジュール1灯点灯
非常時：LEDモジュール1灯点灯

## b1　避難口誘導灯片面 B級BL形 壁・天井直付形



※バッテリー内蔵

LEM-022011（W）×1
平常時：LEDモジュール1灯点灯
非常時：LEDモジュール1灯点灯

## c　避難口誘導灯片面 C級 壁・天井直付形

※バッテリー内蔵

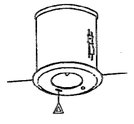
LEM-012009（W）×1
平常時：LEDモジュール1灯点灯
非常時：LEDモジュール1灯点灯

## c1　通路誘導灯両面 C級 壁・天井直付形

※バッテリー内蔵

LEM-012009（W）×2
平常時：LEDモジュール2灯点灯
非常時：LEDモジュール2灯点灯

## 9W　非常灯 低天井用 埋込

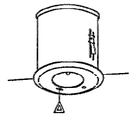


※バッテリー内蔵

保守率 0.79　JB9W×1

| 器具取付高 | | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 3.0m | 3.5m | 4.0m |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 単体配置 | A1 | 3.4m | 2.9m | 2.6m | 1.5m | — | — |
| 直線配置 | A2 | 7.0m | 7.0m | 8.4m | 8.4 | 7.6m | 6.4m |
| 四角配置 | A4 | 5.5m | 6.2m | 6.6m | 7.3 | 7.6m | 6.4m |

## 13W　非常灯 低天井用 埋込



※バッテリー内蔵

保守率 0.79　JB13W×1

| 器具取付高 | | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 3.0m | 3.5m | 4.0m |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 単体配置 | A1 | 4.0m | 4.3m | 4.6m | 4.2m | 2.0m | — |
| 直線配置 | A2 | 8.6m | 9.6m | 10.2m | 11.2m | 12.2m | 12.4m |
| 四角配置 | A4 | 6.8m | 7.7m | 8.2m | 10.0m | 10.0m | 10.0m |

[redacted]

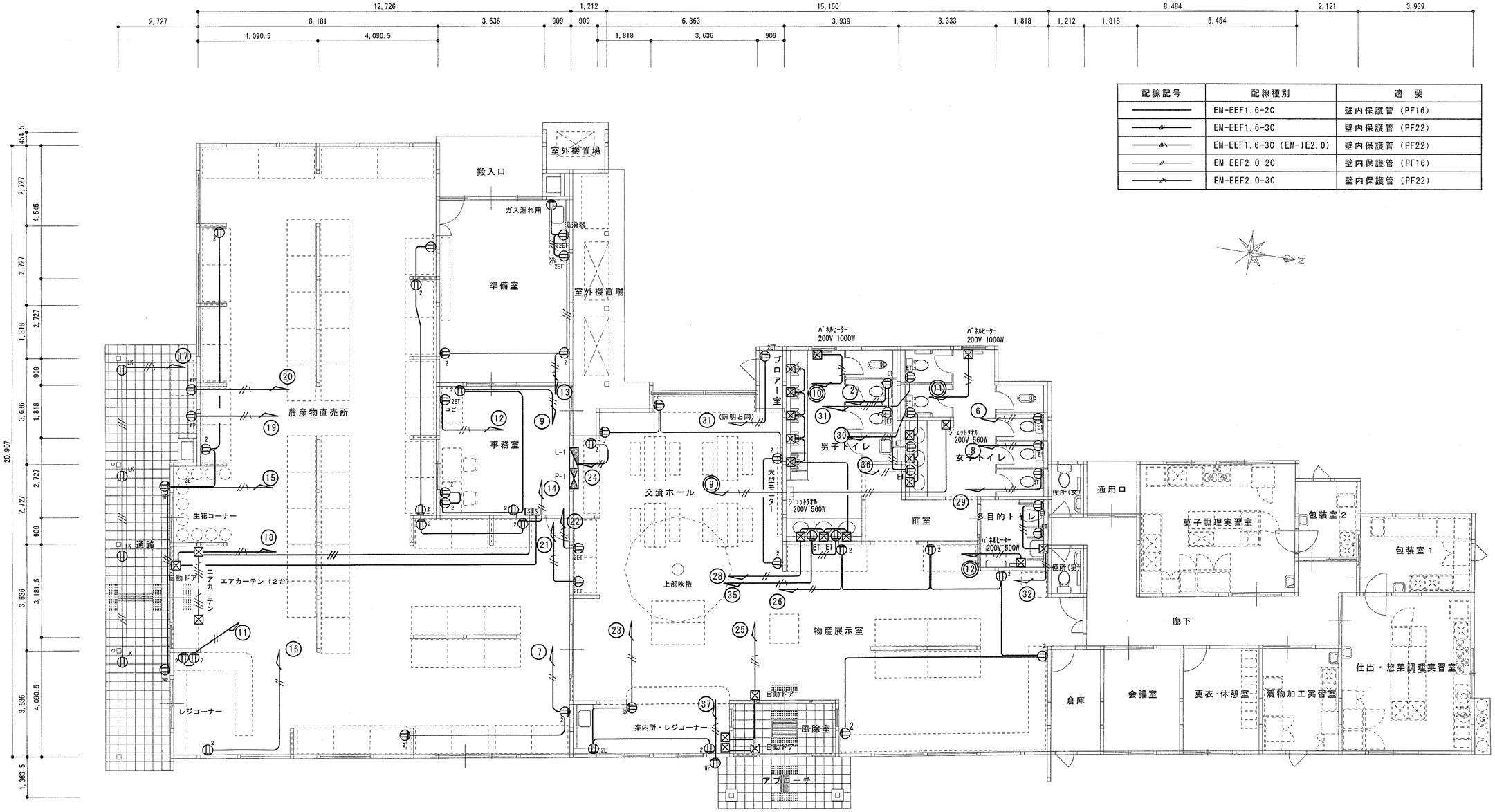
Title
（仮称）小町の館建築工事（電気設備工事）

照明器具姿図

Scale

NO
E-08

| 配線記号 | 配線種別 | 適　要 |
|---|---|---|
| ——— | EM-EEF1.6-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——//—— | EM-EEF1.6-3C | 壁内保護管（PF22） |
| ——//^—— | EM-EEF1.6-3C（EM-IE2.0） | 壁内保護管（PF22） |
| ——/——— | EM-EEF2.0-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——/^—— | EM-EEF2.0-3C | 壁内保護管（PF22） |




平　面　図 S=1:100

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事） | S=1:100 | E-09 |

コンセント設備図

| 配線記号 | 配線種別 | 適　要 |
|---|---|---|
| ——— | EM-EEF1.6-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——//—— | EM-EEF1.6-3C | 壁内保護管（PF22） |
| ——//—— | EM-EEF1.6-3C（EM-IE2.0） | 壁内保護管（PF22） |
| ——//—— | EM-EEF1.6-3C(EM-IE1.6) | 壁内保護管（PF16） |
| ——//—— | EM-EEF2.0-3C | 壁内保護管（PF22） |

男子トイレ
女子トイレ
前室
多目的トイレ
便所（女）
便所（男）
パネルヒーター 200V250W
通用口
物産展示室
風除室
アプローチ
倉庫
会議室
廊下
更衣・休憩室
菓子調理実習室
包装室２
包装室１
仕出・惣菜調理実習室
漬物加工実習室
ミニデッキオーブン 1Φ200V F2.0 1.8KW
架台ホイロ 1Φ200V450W
ミニデッキオーブン 1Φ200V F2.0 1.8KW
IHオーブン 3Φ200V 4.2kw CE3.5 E2.0
IHヒーター 3Φ200V10KW CE5.5 E2.0
IHヒーター 1Φ200V2.0KW
F2.0 F2.0 F2.0
F2.0
L-2
P-2 P-2 L-2
冷凍冷蔵庫671W
真空包装機 4.5KW
TV端子箱
乾燥機 2.528KW
PF22 F2.0
13 P-2へ
P-2へ 12
冷凍冷蔵庫 645W
温湯器

| | | |
|---|---|---|
| 4 | ウォーマー3φ２００ｖ5.5KW | EM-CE3.5-3c E2.0 |
| 2 | IHオーブン 3Φ 200V4.2KW | EM-CE3.5-3c E2.0 |
| 1 | IHヒーター 3Φ 200V10KW | EM-CE5.5-3c E2.0 |
| 23 | IHヒーター 2Φ 200V 2KW | EM-EF2.0-3c |
| 3 | IHヒーター 3Φ 200V 3KW | EM-EF2.0-3c E2.0 |

平面詳細図 S=1:50

Title
(仮称)小町の館建築工事（電気設備工事）

厨房動力・コンセント設備図

Scale S=1:50

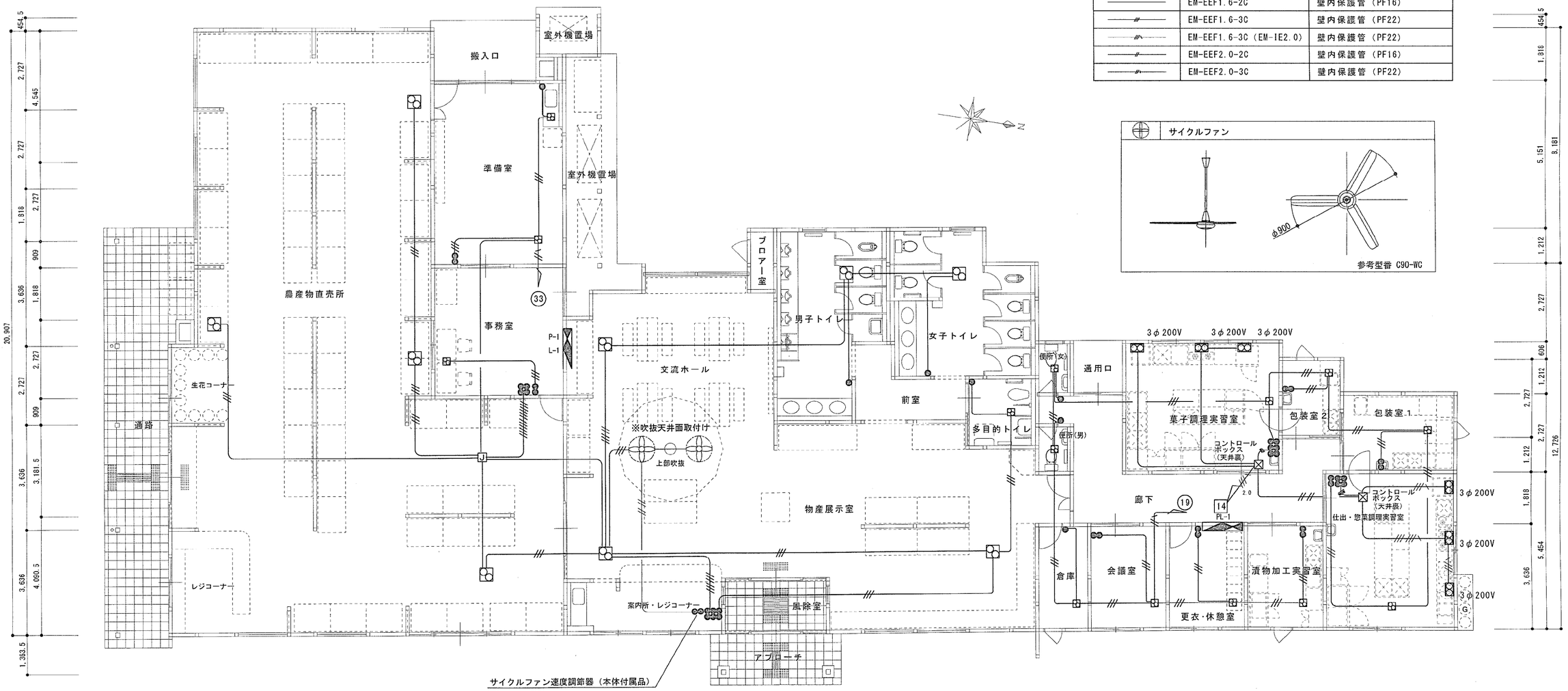
NO E-10

| 配線記号 | 配線種別 | 適　要 |
|---|---|---|
| ——— | EM-EEF1.6-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——//—— | EM-EEF1.6-3C | 壁内保護管（PF22） |
| ——//\—— | EM-EEF1.6-3C（EM-IE2.0） | 壁内保護管（PF22） |
| ——/—— | EM-EEF2.0-2C | 壁内保護管（PF16） |
| ——/\—— | EM-EEF2.0-3C | 壁内保護管（PF22） |

サイクルファン




参考型番 C90-WC




平　面　図 S=1:100

Title

(仮称)小町の館建築工事（電気設備工事）

換気設備電源配線図

Scale S=1:100

NO E-11

| 分電盤名称 | | L－1 | |
|---|---|---|---|
| キャビネット形式 | | G | |
| 電気方式 | 種別 | 商用 | |
| | 相線 | 1φ 3W | |
| | 電圧 | 200/100V | |
| 負荷容量 | | 38,999VA | |
| 主幹器具 | 定格電流 | 225AF/225A | |
| | 定格遮断電流 | 100/200/500mA切替 | |

キュービクルより
1φ 3W 200－100V

N欠ELB
225AF/225A

| 回路番号 | 室名 | 遮断器 | F/AT | 負荷容量(VA) 電灯 | 負荷容量(VA) ｺﾝｾﾝﾄ | 電圧(V) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | 非常照明 | ELB 2P | 30/20 | 32 | | 100 | ﾊﾛｹﾞﾝ |
| b | 誘導灯 | 〃 | 〃 | 19 | | 100 | LED |
| c | 火災警報 | ELB 2P | 30/20 | | | 100 | |

| 備考 | 電圧(V) | 負荷容量(VA) ｺﾝｾﾝﾄ | 負荷容量(VA) 電灯 | F/AT | 遮断器 | 室名 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 200 | | 1,584 | 30/20 | MCCB 2P | 農産物直売所 | 1 |
| | 200 | | 1,236 | 〃 | 〃 | 農産物直売所 | 3 |
| | 200 | | 624 | 〃 | 〃 | 事務室、準備室 | 5 |
| | 200 | | 796 | 〃 | 〃 | トイレ照明 | 7 |
| | 200 | 1,120 | | 〃 | 〃 | ジェットタオル 男 女 | 9 |
| | 200 | 1,000 | | 〃 | 〃 | 女子ﾄｲﾚﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ | 11 |
| | 200 | 400 | | 〃 | 〃 | 縦樋ヒーター | 13 |
| | 200 | | | 〃 | 〃 | 予備（200V） | 15 |
| | 100 | | 500 | 〃 | 〃 | 吹抜照明 | 1 |
| | 100 | | 1,170 | 〃 | 〃 | 通路殺虫器 | 3 |
| | 100 | | 990 | 〃 | 〃 | 放送アンプ | 5 |
| | 100 | | 54 | 〃 | 〃 | 農産直売所 コンセント | 7 |
| | 100 | 400 | | 〃 | 〃 | 事務室 コンセント | 9 |
| | 100 | 700 | | 〃 | 〃 | 農産物レジ コンセント | 11 |
| | 100 | 300 | | 〃 | 〃 | 準備室 コンセント | 13 |
| | 100 | 500 | | 〃 | 〃 | 農産物直売所(南) コンセント | 15 |
| | 100 | 1,248 | | 〃 | 〃 | テント電源 | 17 |
| | 100 | 900 | | 〃 | 〃 | 自動販売機 | 19 |
| | 100 | 900 | | 〃 | 〃 | 自動販売機 | 21 |
| | 100 | 400 | | 〃 | 〃 | 交流ホール(ﾚｼﾞ) コンセント | 23 |
| | 100 | 1,280 | | 〃 | 〃 | 自動ドア(物産) | 25 |
| | 100 | 820 | | 〃 | 〃 | 男子トイレ コンセント | 27 |
| | 100 | 1,230 | | 〃 | 〃 | 女子トイレ コンセント | 29 |
| | 100 | 86 | | 〃 | 〃 | 女子トイレ コンセント | 31 |
| | 100 | | 344 | 〃 | 〃 | 換気電源 | 33 |
| | 100 | 500 | | 〃 | 〃 | 男子トイレ 温水器 | 35 |
| | 100 | 100 | | 〃 | 〃 | アプローチ コンセント | 37 |

| 回路番号 | 室名 | 遮断器 | F/AT | 負荷容量(VA) 電灯 | 負荷容量(VA) ｺﾝｾﾝﾄ | 電圧(V) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 農産物直売所 | MCCB 2P | 30/20 | 99 | | 200 | |
| 4 | 交流・物産展示室 | 〃 | 〃 | 810 | | 200 | |
| 6 | ｱﾌﾟﾛｰﾁ、風除室 外部（タイマー） | 〃 | 〃 | 450 | | 200 | |
| 8 | 融雪制御盤 | 〃 | 30/30 | | 3,214 | 200 | |
| 10 | 男子ﾄｲﾚﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ | 〃 | 30/20 | | 1,000 | 200 | |
| 12 | 多目的ﾄｲﾚﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ | 〃 | 〃 | | 500 | 200 | |
| 14 | 雨樋ヒーター | 〃 | 〃 | | 1,040 | 200 | |
| 16 | 農産直場所 カウンター照明 | 〃 | 〃 | 120 | | 200 | |
| 2 | アプローチ 殺虫器 | 〃 | 〃 | 5 | | 100 | |
| 4 | ブロア－室 照 明 | 〃 | 〃 | 990 | | 100 | |
| 6 | 女子トイレ コンセント | 〃 | 〃 | | 1,200 | 100 | |
| 8 | 女子トイレ コンセント | 〃 | 〃 | 54 | | 100 | |
| 10 | 端子盤 コンセント | 〃 | 〃 | | 900 | 100 | |
| 12 | 事務室（ｺﾋﾟｰ） | 〃 | 〃 | | 1,000 | 100 | |
| 14 | 農産物直売所(北) コンセント | 〃 | 〃 | | 1,200 | 100 | |
| 16 | 農産物直売所(ﾚｼﾞ) コンセント | 〃 | 〃 | | 300 | 100 | |
| 18 | ｴｱｰｶｰﾃﾝ・自動ドア | 〃 | 〃 | | 930 | 100 | |
| 20 | 自動販売機 | 〃 | 〃 | | 900 | 100 | |
| 22 | 自動販売機 | 〃 | 〃 | | 900 | 100 | |
| 24 | 交流ホール | 〃 | 〃 | | 500 | 100 | |
| 26 | 物産展示室 コンセント | 〃 | 〃 | | 600 | 100 | |
| 28 | 男子ﾄｲﾚ(ｾﾝｻｰ) コンセント | 〃 | 〃 | | 550 | 100 | |
| 30 | 女子ﾄｲﾚ(ｾﾝｻｰ等) | 〃 | 〃 | | 1,120 | 100 | |
| 32 | 多目的トイレ コンセント | 〃 | 〃 | | 510 | 100 | |
| 34 | 警備保障盤 | 〃 | 〃 | | 25 | 100 | |
| 36 | 女子トイレ 電気温水器 | 〃 | 〃 | | 500 | 100 | |
| 38 | 予備 | 〃 | 〃 | | | 100 | |

Title (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事)

Scale

分電盤結線図(L-1)

NO E-12

| 分電盤名称 | | P－1 | |
|---|---|---|---|
| キャビネット形式 | | G | |
| 電気方式 | 種別 | 商用 | |
| | 相線 | 3φ 3W | |
| | 電圧 | 200V | |
| 負荷容量 | | 57,082 VA | |
| 主幹器具 | 定格電流 | 400AF/400A | |
| | 定格遮断電流 | 100/200/500mA切替 | |

キュービクルより
3φ 3W 200V

ELB
400AF/400A

| 備考 | 電圧(V) | 負荷容量(VA) ヒーター | 負荷容量(VA) モーター | F/AT | 遮断器 | 室名 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 200 | | 12,280 | 100/75 | MCCB 3P | エアコン（EHP-1） | 1 |
| | 200 | | 8,450 | 〃 | 〃 | エアコン（EHP-3） | 3 |
| | 200 | | 8,450 | 〃 | 〃 | エアコン（EHP-4） | 5 |
| | 200 | | 1,468 | 50/10 | 〃 | ショーケース | 7 |
| | 200 | | 1,468 | 〃 | 〃 | ショーケース | 9 |
| | 200 | | | 〃 | 〃 | プレハブ冷蔵庫（将来用） | 11 |

| 回路番号 | 室名 | 遮断器 | F/AT | 負荷容量(VA) モーター | 負荷容量(VA) ヒーター | 電圧(V) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | エアコン（EHP-2） | MCCB 3P | 100/75 | 12,280 | | 200 | |
| 4 | エアコン（EHP-3） | 〃 | 〃 | 8,450 | | 200 | |
| 6 | 予備 | | | | | 200 | |
| 8 | ショーケース | 〃 | 50/10 | 1,468 | | 200 | |
| 10 | ショーケース | 〃 | 〃 | 1,468 | | 200 | |
| 12 | 浄化槽 | 〃 | 〃 | 1,300 | | 200 | |

Title
（仮称）小町の館建築工事（電気設備工事）

分電盤結線図（P-1）

Scale

NO
E-13

| 分電盤名称 | | L－2 | |
|---|---|---|---|
| キャビネット形式 | | G | |
| 電気方式 | 種別 | 商用 | |
| | 相線 | 1φ 3W | |
| | 電圧 | 200/100V | |
| 負荷容量 | | 16.241 | |
| 主幹器具 | 定格電流 | 225AF/200A | |
| | 定格遮断電流 | 100/200/500mA切替 | |

キュービクルより
1φ 3W 200 - 100V

N次ELB
225AF/200A

| 電圧(V) | 負荷容量(VA) コンセント | 負荷容量(VA) 電灯 | F/AT | 遮断器 | 室名 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 200 | | | 30/20 | MCCB 2P | 予備 | A |
| 200 | | 279 | 〃 | 〃 | ﾄｲﾚ・廊下電灯 | 1 |
| 200 | 1,800 | | 〃 | 〃 | 菓子調理室 ミニデッキオーブン | 3 |
| 200 | 450 | | 〃 | 〃 | 菓子調理室 架台ホイロ | 5 |
| 100 | 26VA | | 〃 | 〃 | 殺菌灯 | 1 |
| 100 | 200 | | 〃 | 〃 | 仕出し・惣菜室 コンセント | 3 |
| 100 | 300 | | 〃 | 〃 | 包装室 1 コンセント | 5 |
| 100 | 300 | | 〃 | 〃 | 包装室 1 コンセント | 7 |
| 100 | | | 〃 | 〃 | 予備 | 9 |
| 100 | 200 | | 〃 | 〃 | 包装室2 コンセント | 11 |
| 100 | 100 | | 〃 | 〃 | 漬物加工室 コンセント | 13 |
| 100 | 200 | | 〃 | 〃 | 漬物加工室 コンセント | 15 |
| 100 | 1850 | | 〃 | 〃 | 男女便所 コンセント | 17 |
| 100 | 225 | | 〃 | 〃 | 換気扇 | 19 |
| 100 | | | 〃 | 〃 | 予備 | 21 |
| 200 | 2,000 | | 〃 | 〃 | 仕出・惣菜調理 IHレンジ | 23 |
| 100 | | | 〃 | 〃 | 予備 | 25 |

| 回路番号 | 室名 | 遮断器 | F/AT | 負荷容量(VA) 電灯 | 負荷容量(VA) コンセント | 電圧(V) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| B | 予備 | MCCB 2P | 30/20 | | | 200 |
| 2 | 実習室電灯 | 〃 | 30/20 | 1,711 | | 200 |
| 4 | 男・女トイレ パネルヒーター | 〃 | 〃 | | 1000 | 200 |
| 6 | 菓子調理ミニ デッキオーブン | 〃 | 〃 | | 1,800 | 200 |
| 2 | 仕出し・惣菜室 床コンセント | 〃 | 〃 | | 100VA | 100 |
| 4 | 予備 | 〃 | 〃 | | | 100 |
| 6 | 仕出・惣菜調理 コンセント | 〃 | 〃 | | 100 | 100 |
| 8 | 菓子調理室 コンセント | 〃 | 〃 | | 200 | 100 |
| 10 | 菓子調理室 床コンセント | 〃 | 〃 | | 100 | 100 |
| 12 | 包装室 2 コンセント | 〃 | 〃 | | 200 | 100 |
| 14 | 漬物加工室 コンセント | 〃 | 〃 | | 200 | 100 |
| 16 | 更衣，廊下，会議室 コンセント | 〃 | 〃 | | 600 | 100 |
| 18 | テレビ端子盤 コンセント | 〃 | 〃 | | 100 | 100 |
| 20 | 予備 | 〃 | 〃 | | | 100 |
| 22 | 漬物加工室 コンセント | 〃 | 〃 | | 200 | 100 |
| 24 | 菓子調理室 IHレンジ | 〃 | 〃 | | 2,000 | 200 |
| 22 | 予備 | 〃 | 〃 | | | 100 |

(100V) 3,401
(200V) 4,250 279
合計 7,930

(100V) 0 1800
(200V) 1,711 4,800
予備
TOTAL 8,311

| 分電盤名称 | | P－2 | |
|---|---|---|---|
| キャビネット形式 | | G | |
| 電気方式 | 種別 | 商用 | |
| | 相線 | 3φ 3W | |
| | 電圧 | 200V | |
| 負荷容量 | | 50.727 | |
| 主幹器具 | 定格電流 | 225AF/175A | |
| | 定格遮断電流 | 200V/100mA | |

キュービクルより
3φ 3W 200V

CET100sq

ELB
225AF/175A
100mA

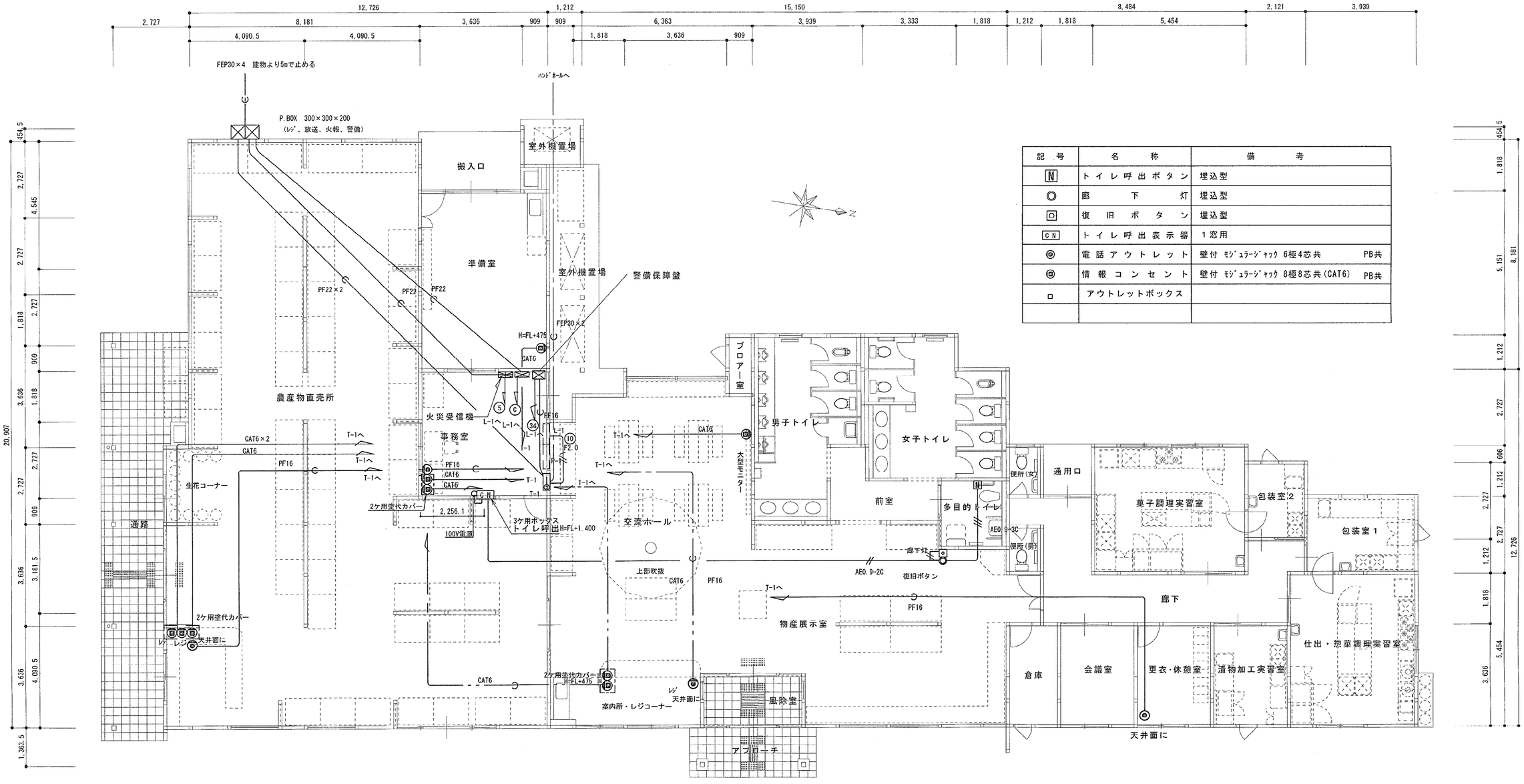
| 電圧(V) | 負荷容量(KW) | F/AT | 遮断器 | 室名 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 200 | 10KW | 50/40 | MCCB 3P | 仕出・惣菜調理 IHレンジ | 1 |
| 200 | 3KW | 50/20 | 〃 | 仕出・惣菜調理 オーブンレンジ | 3 |
| 200 | 0.648KW | 50/15 | 〃 | 仕出・惣菜調理 冷凍冷蔵庫 | 5 |
| 200 | 0.671KW | 50/15 | MCCB 3P | 菓子調理実習室 冷凍冷蔵庫 | 7 |
| 200 | 10KW | 50/40 | MCCB 3P | 菓子調理実習室 IHレンジ | 9 |
| 200 | 4.2KW | 50/20 | MCCB 3P | 菓子調理実習室 IHレンジ | 11 |
| 200 | 2.528KW | 50/20 | MCCB 3P | 倉庫 | 13 |
| 200 | | 50/20 | 〃 | 予備 | |

| 回路番号 | 室名 | 遮断器 | F/AT | 負荷容量(KW) | 電圧(V) |
|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 仕出.惣菜実習室 オーブンレンジ | MCCB 3P | 50/20 | 4.2KW | 200 |
| 4 | 仕出.惣菜実習室 ウォーマー | MCCB 3P | 50/30 | 5.5KW | 200 |
| 6 | 包装室（1） 真空包装機 | MCCB 3P | 50/30 | 4.5KW | 200 |
| 8 | 予備 | MCCB 3P | 50/40 | | 200 |
| 10 | 予備 | MCCB 3P | 50/20 | | 200 |
| 12 | 漬物加工実習室 真空包装機 | MCCB 3P | 50/30 | 4.5KW | 200 |
| 14 | 仕出し.菓子実習室 有圧扇電源 | MCCB 3P | 50/15 | 0.98KW | 200 |
| | 予備 | MCCB 3P | 50/20 | | 200 |

(200V) 31.047

(200V) 19.680
TOTAL

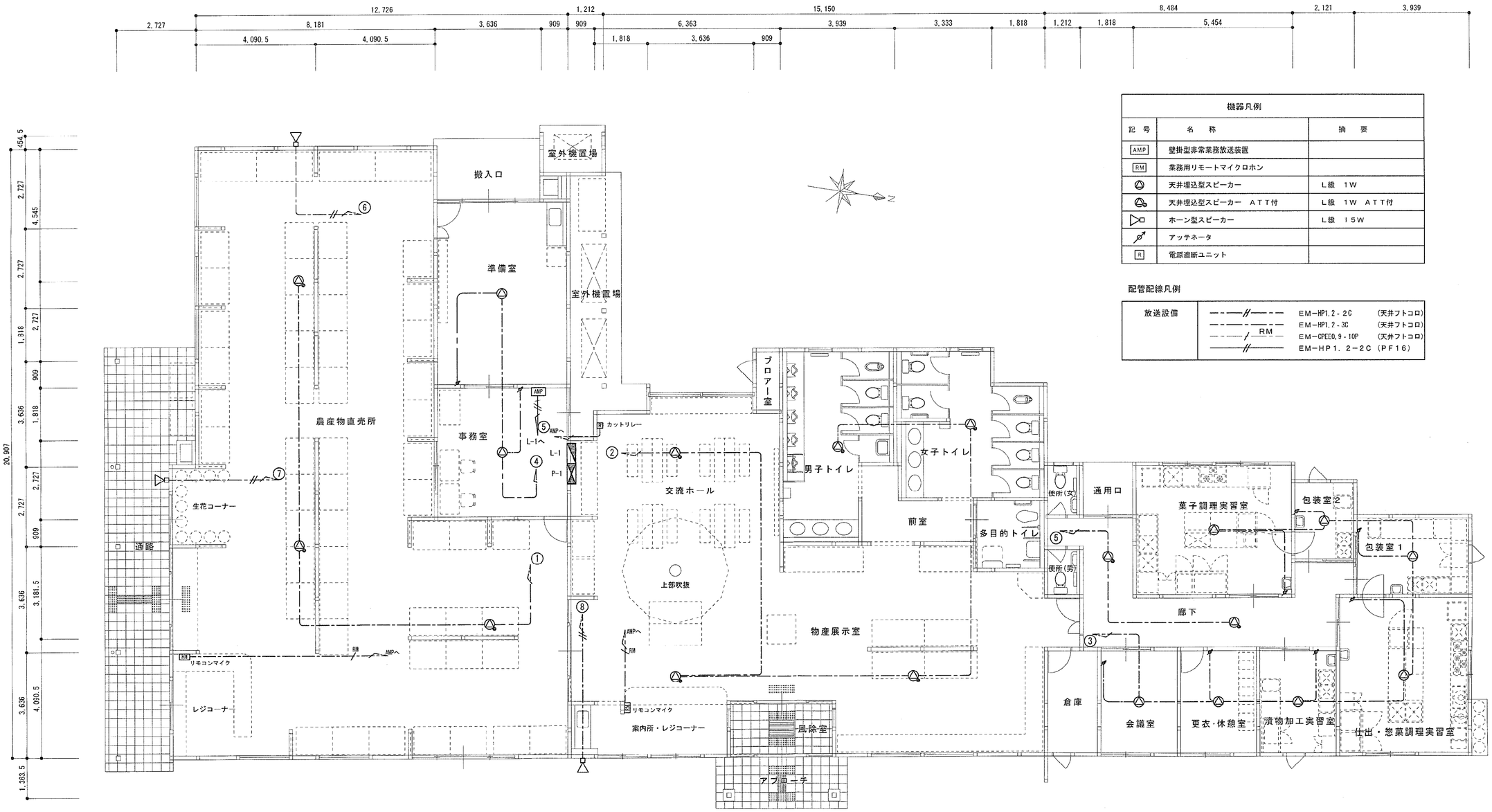
Title (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事)
分電盤結線図(L-2・P-2)
Scale
NO E-14




| 記号 | 名称 | 備考 |
|---|---|---|
| N | トイレ呼出ボタン | 埋込型 |
| ◎ | 廊下灯 | 埋込型 |
| ◎ | 復旧ボタン | 埋込型 |
| C N | トイレ呼出表示器 | 1窓用 |
| ◎ | 電話アウトレット | 壁付 ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 6極4芯共 PB共 |
| ◎ | 情報コンセント | 壁付 ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ 8極8芯共(CAT6) PB共 |
| □ | アウトレットボックス | |
| | | |

平面図 S=1:100

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事(電気設備工事) 弱電設備図 | S=1:100 | E-15 |




| 機器凡例 | | |
|---|---|---|
| 記号 | 名称 | 摘要 |
| AMP | 壁掛型非常業務放送装置 | |
| RM | 業務用リモートマイクロホン | |
| | 天井埋込型スピーカー | L級 1W |
| | 天井埋込型スピーカー ATT付 | L級 1W ATT付 |
| | ホーン型スピーカー | L級 15W |
| | アッテネータ | |
| R | 電源遮断ユニット | |

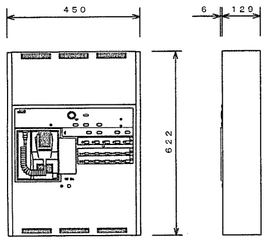
配管配線凡例

| | | |
|---|---|---|
| 放送設備 | EM-HP1.2-2C | (天井フトコロ) |
| | EM-HP1.2-3C | (天井フトコロ) |
| | EM-CPEE0.9-10P | (天井フトコロ) |
| | EM-HP1.2-2C (PF16) | |

平 面 図 S=1:100

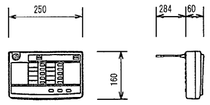
| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事(電気設備工事) 放送設備図 | S=1:100 | E-16 |

## AMP 壁掛型非常業務放送装置




| | |
|---|---|
| 定格出力 | ８０Ｗ（０級増幅方式） |
| 出力制御 | １０回線及び一斉 |
| 非常放送 | 音声警報式、一斉火災放送移行機能付 |
| ブロック放送 | 最大５ブロック（緊急優先、業務、ＢＧＭブロック） |
| 自火報連動 | 連動、連動一斉 |
| 音声警報メッセージ | 日本語・英語１３１種類 |
| 業務放送メッセージ | １２種類 |
| 業務放送優先順位 | ６段階 |
| 操作スイッチ | 非常起動、火災放送、非火災放送、緊急優先一斉、一斉 |
| 表　示 | 火災、発報・火災・非火災放送、出火階、ブロック作動 |
| | 連動、連動一斉、発報連動停止、放送中、メッセージ再生 |
| 液晶表示 | １６文字　×２行（放送内容表示、起動元表示） |
| 状態出力 | １０回路１０種類 |
| 音声入力 | アナウンスマイク、マイク１、マイク２、ライン、 |
| | ユニットケース、報時チャイム |
| | 電話ページング、アナウンスユニット、非常リモコン、 |
| | マルチ業務リモコン、業務リモコン、ＢＧＭ |
| モニタースピーカー | 出力０．４５Ｗ（音量調節器、ハウリング防止機能付） |
| 電　源 | ＡＣ１００Ｖ、５０Ｈｚ/６０Ｈｚ、ＤＣ２４Ｖ |

## RM 業務用リモートマイクロホン



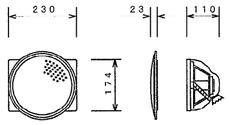

| | |
|---|---|
| 放送場所数 | １０＋一斉 |
| マイクロホン | エレクトレットコンデンサ型 |
| ライン入力 | －１０ｄＢｓ、２ｋΩ |
| 音声出力 | ０ｄＢｓ、１００Ω平衡 |
| チャイム | スイッチ操作により放送設備のチャイムを起動 |
| 電　源 | ＤＣ２４Ｖ、５５ｍＡ（放送設備本体より供給） |
| 質　量 | ２ｋｇ |

## R 電源遮断ユニット




| | |
|---|---|
| 電力容量 | 最大８００Ｗ |
| 電流容量 | 最大１０Ａ（ＡＣアウトレット１個） |
| 制御方式 | ＤＣ２４Ｖ「断」信号によりＡＣ１００Ｖを「断」 |
| | 制御（両切り） |
| 制御電流 | ＤＣ２４Ｖ、約２ｍＡ |
| 電　源 | ＡＣ１００Ｖ |

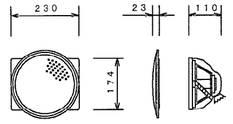
## 天井埋込型スピーカー




L級

| | |
|---|---|
| スピーカーユニット | １６ｃｍコーン型 |
| 定格入力 | １Ｗ／３Ｗ／６Ｗ |
| 出力音圧レベル | ９３ｄＢ／Ｗ（１ｍ） |
| 周波数特性 | ８０～１４，０００Ｈｚ |
| 入力インピーダンス | １．６ＫΩ／６Ｗ、３．３ＫΩ／３Ｗ、１０ＫΩ／１Ｗ |
| アッテネータ | ４段階 |
| スピーカーパネル | ピュアホワイト色アルミパンチング |

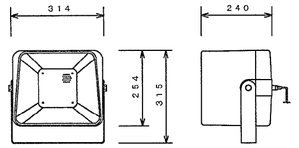
## 天井埋込型スピーカー（ＡＴＴ付）




L級

| | |
|---|---|
| スピーカーユニット | １６ｃｍコーン型 |
| 定格入力 | １Ｗ／３Ｗ／６Ｗ |
| 出力音圧レベル | ９３ｄＢ／Ｗ（１ｍ） |
| 周波数特性 | ８０～１４，０００Ｈｚ |
| 入力インピーダンス | １．６ＫΩ／６Ｗ、３．３ＫΩ／３Ｗ、１０ＫΩ／１Ｗ |
| アッテネータ | ４段階 |
| スピーカーパネル | ピュアホワイト色アルミパンチング |

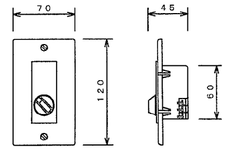
## ホーン型スピーカー




L級

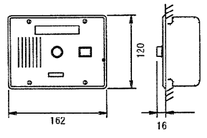
| | |
|---|---|
| スピーカーユニット | １２ｃｍ防滴型 |
| 定格入力 | １５Ｗ／１０Ｗ／３Ｗ |
| 出力音圧レベル | ９９ｄＢ／Ｗ（１ｍ） |
| 周波数特性 | １５０Ｈｚ～１５ｋＨｚ |
| 入力インピーダンス | ６７００／１ｋΩ／３．３ｋΩ |
| 質　量 | ３．６ｋｇ |

## アッテネータ



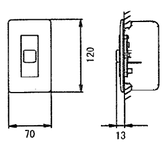

| | |
|---|---|
| 入力容量 | ０．５～６Ｗ |
| 入力インピーダンス | ２０ＫΩ～１．７ＫΩ |
| 音量調節 | ５段階（ＯＦＦ、０、－６、－１２、－１８ＪＢ） |
| 方　式 | トランス方式 |
| プレート | フルカラープレート |
| | |

## CN1 埋込形表示器



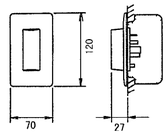

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | ＤＣ１２Ｖ（電源アダプタから供給） |
| 形　状 | 埋込形（ＪＩＳ３個用スイッチボックス） |
| 材　質 | ステンレス |
| 窓　数 | １窓 |
| 表示方式 | 断続ブザー音と表示窓点灯 |

## O 復旧ボタン



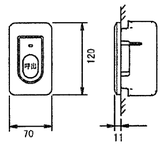

| | |
|---|---|
| 形　状 | 壁埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス） |
| 材　質 | ＡＢＳ樹脂 |
| | |
| | |
| | |

## 廊下灯



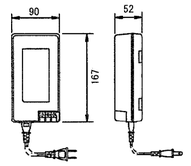

| | |
|---|---|
| 形　状 | 壁埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス） |
| 材　質 | パネル：ＡＢＳ樹脂、ランプカバー：ポリカーボネート |
| 表示灯 | 赤色 |
| | |
| | |

## N トイレ呼出押ボタン

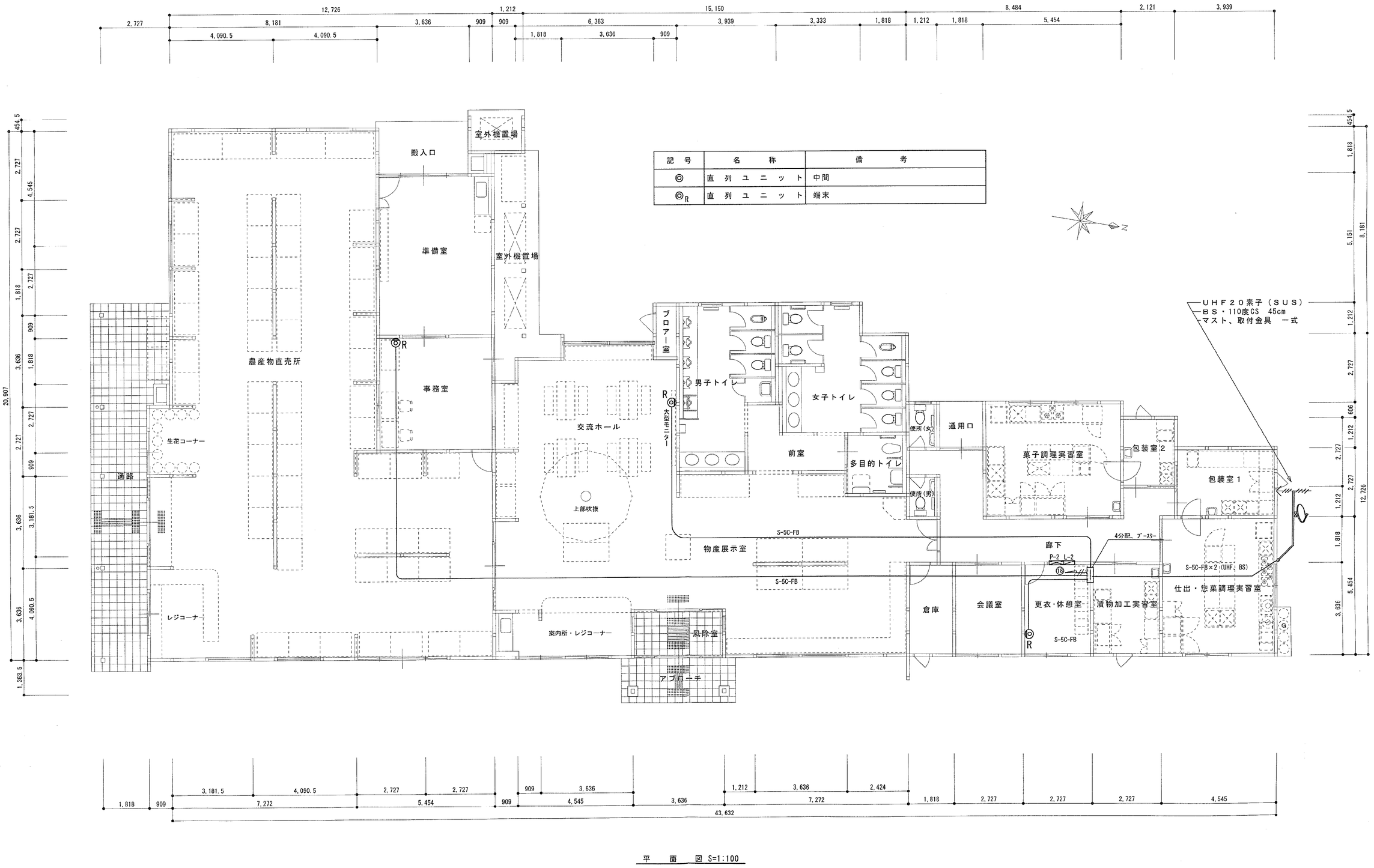



| | |
|---|---|
| 形　状 | 壁埋込形(JIS1個用スイッチボックス) |
| 材　質 | 自己消火性樹脂 |
| | |
| | |
| | |

## 電源アダプター



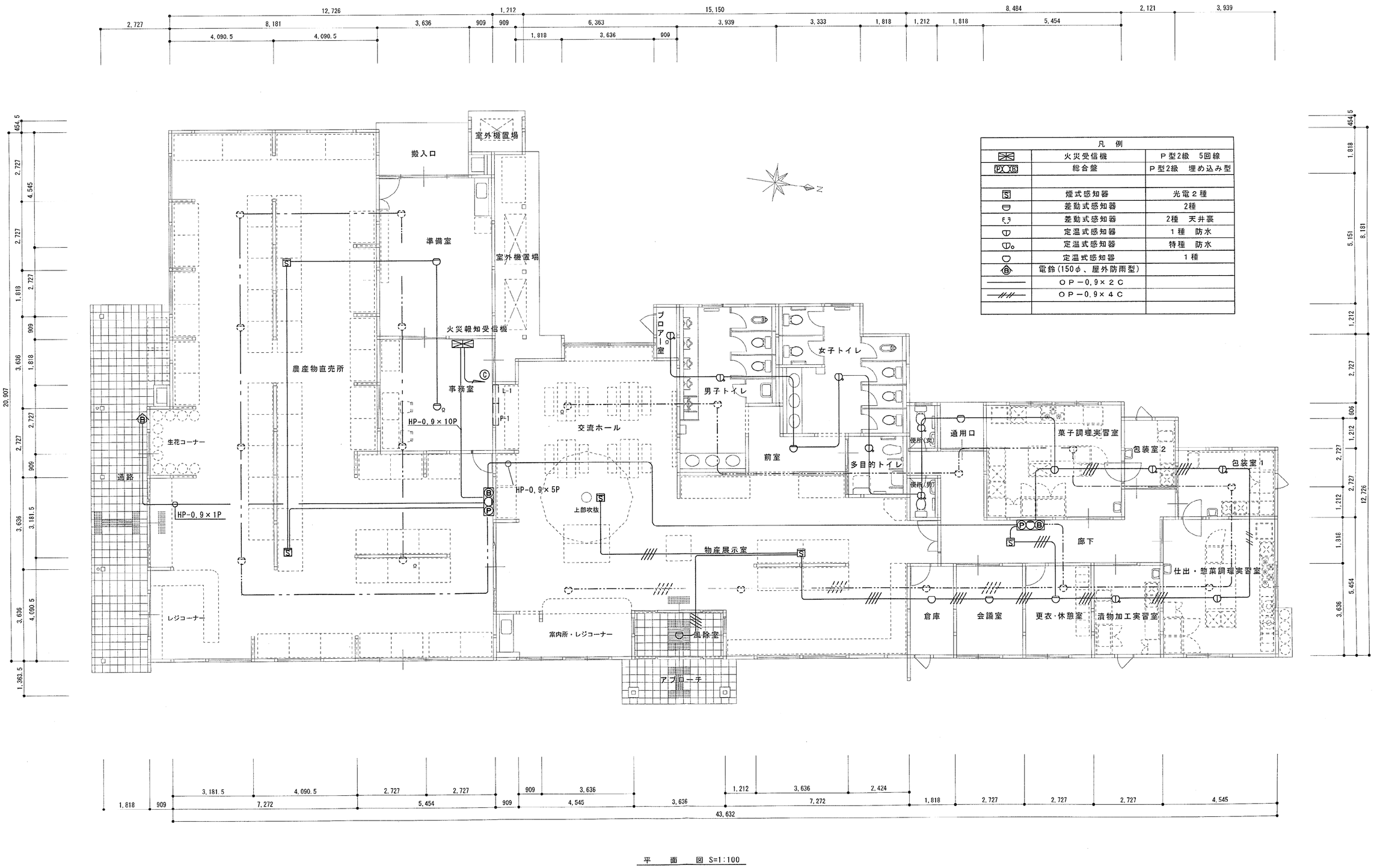

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | AC100V　50/60Hz |
| 入力容量 | 62VA |
| 出力電圧 | DC12V |
| 出力電流 | 2.5A |
| 形　状 | 据置・壁取付兼用型 |
| 材　質 | 難燃性樹脂 |




平面図 S=1:100

[redacted]

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事(電気設備工事) テレビ共聴設備図 | S=1:100 | E-18 |

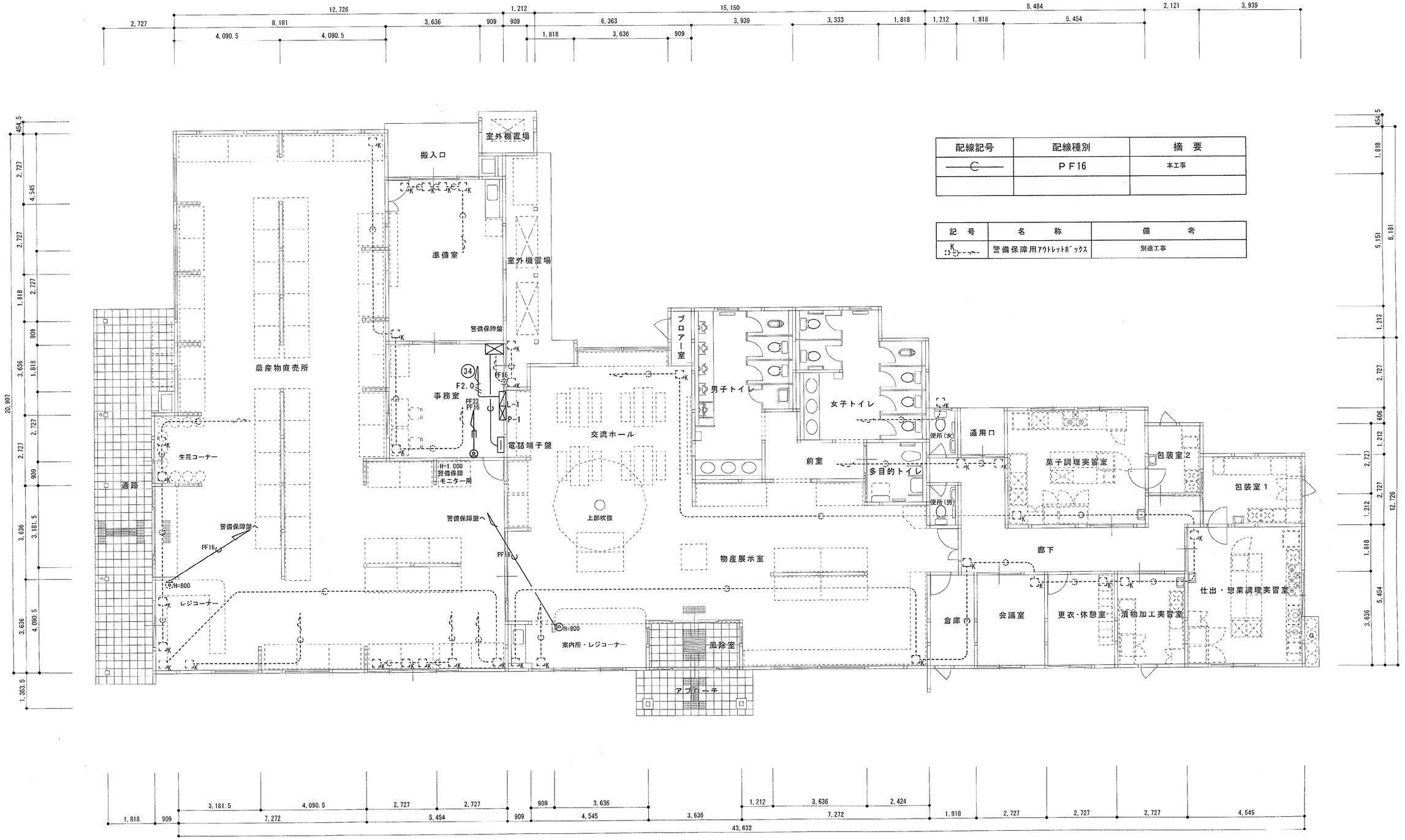



平　面　図 S=1:100

| | | |
|---|---|---|
| Title | (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事） | 自動火災報知設備図 |
| Scale | S=1:100 | |
| NO | E-19 | |

| 配線記号 | 配線種別 | 摘　要 |
|---|---|---|
| C | PF16 | 本工事 |
| | | |

| 記　号 | 名　　称 | 備　　考 |
|---|---|---|
| K | 警備保障用ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ | 別途工事 |




平　面　図 S=1:100

| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事） | 警備保障配管設備図 | S=1:100 | E-20 |

| 配線記号 | 配線種別 |
|---|---|
| ——— | EM-EEF1.6-2C |
| ——//—— | EM-EEF1.6-3C |
| ——//₁—— | EM-EEF1.6-3C（EM-IE2.0） |
| ——// 2—— | EM-EEF2.0-2C |
| ——//₂—— | EM-EEF2.0-3C |

降雪センサー S
ルーフヒーター 7,000×450
制御ケーブル
融雪制御盤へ
排水路ヒーター 5m
縦樋
通路
雨樋ヒーター 13m
搬入口
室外機置場
準備室
火災報知受信機
アンプ
事務室
L-1
L-1へ
P-1
CE5.5-3C
交流ホール
上部吹抜
ブロアー室
男子トイレ
女子トイレ
前室
多目的トイレ
便所(女)
便所(男)
通用口
菓子調理実習室
包装室2
包装室1
廊下（24.79㎡）
PL-1
TV端子盤
仕出・惣菜調理実習室
物産展示室
倉庫
会議室
更衣・休憩室
漬物加工実習室
農産物直売所
案内所・レジコーナー
風除室
F1.6－3C
F1.6－3C
アプローチ
2,200L×150W×2
2,200L×150W×2

平　面　図 S=1:100

| | | | |
|---|---|---|---|
| Title | (仮称)小町の館建築工事（電気設備工事） | Scale | S=1:100 |
| | 融雪設備図 | NO | E-21 |

# （仮称）小町の館建築工事

# （機械設備工事）

# （仮称）小町の館建築工事

# （機械設備工事）

図面リスト

| 番　号 | 図　面　名　称 | 縮　尺 |
|---|---|---|
| Ｍ－０１ | 機械設備工事特記仕様書（１） | |
| Ｍ－０２ | 機械設備工事特記仕様書（２） | |
| Ｍ－０３ | 給排水衛生設備配置図 | S=1:500 |
| Ｍ－０４ | 衛生器具・桝リスト表 | |
| Ｍ－０５ | 給排水衛生設備図 | S=1:100 |
| Ｍ－０６ | 給排水衛生設備詳細図 | S=1:50 |
| Ｍ－０７ | 冷暖房・換気設備機器表 | |
| Ｍ－０８ | 換　気　設　備　図 | S=1:100 |
| Ｍ－０９ | 冷　暖　房　設　備　図 | S=1:100 |
| Ｍ－１０ | 浄　化　槽　設　備　図（１） | S=1:50 |
| Ｍ－１１ | 浄　化　槽　設　備　図（２） | S=1:50 |
| Ｍ－１２ | 浄　化　槽　設　備　図（３） | S=1:50 |
| Ｍ－１３ | 浄　化　槽　設　備　図（４） | |
| Ｍ－１４ | 浄　化　槽　設　備　図（５） | |
| Ｍ－１５ | 浄　化　槽　設　備　図（６） | S=1:20 |
| Ｍ－１６ | 浄　化　槽　設　備　図（７） | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

# 機械設備工事特記仕様書

## Ⅰ 工事概要

1 工事名　(仮称)小町の館建築工事（機械設備工事）
2 工事場所　湯沢市小野字二ツ森149-2・他
3 敷地面積　5,560.21㎡
4 構造規模　木造平家建

| 棟名称 | | | |
|---|---|---|---|
| 構造 | 木造 | | |
| 階数 | 1 | | |
| 建築面積 | 674.20㎡ | | |
| 延べ床面積 | 630.13㎡ | | |

・垂直積雪量（m）　・風速（VO）
・地表面粗度区分

5 建物用途　建築基準法による用途　(物販店舗)

## Ⅱ 工事種目

⊙印適用)

| 空気調和・暖房・冷房設備 | 備考 | 給排水衛生設備 | 備考 | その他設備 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・空気調和設備 | | ⊙衛生器具設備 | | ・昇降機設備 | |
| ⊙暖房設備 | | ⊙給水設備 | | ・医療ガス設備 | |
| ⊙冷房設備 | | ⊙給湯設備 | | | |
| ⊙換気設備 | | ・消火設備 | | | |
| ・排煙設備 | | ⊙排水通気設備 | | | |
| ・自動制御設備 | | ⊙ガス設備 | | | |
| | | ・厨房機器設備 | | | |
| | | ⊙浄化槽設備 | | | |

## Ⅲ 設備概要

建物ごとに下表の種目に区分する　⊙印適用)

| 方式 | 設備概要 | |
|---|---|---|
| 空気調和方式等 | 方式 | ・空気調和　⊙暖冷房　・温水暖房　・温風暖房<br>・蒸気暖房　・床暖房 |
| | 放熱器 | ・空気調和機　・FCU　・パッケージ　・CV<br>・FCV　・パネル |
| | 熱源 | ・ボイラー　・温水発生機　・冷凍機　・冷温水発生機<br>・GHP　・KHP　⊙EHP　・FF式　・氷蓄熱 |
| | 主熱源 | (　　)KW×(　　)台 |
| | 熱源燃料等 | ・灯油　・A重油(1号)　・都市ガス　・(　　) |
| | オイルタンク | ・地下式　・地上式　容量(　　)m3 |
| 給水方式 | ⊙水道直結方式　・高置タンク方式　・圧力タンク方式<br>・タンクレスブースター方式 | |
| 汚水等処理方式 | ・下水道　⊙浄化槽(　45人槽)　・(　　) | |
| 給湯方式 | ⊙局所式　・中央式 | |
| 消火設備方式 | ・屋内消火栓　・1号　・易操作性1号　・2号(・湿式　・乾式) | |
| | ・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ　・湿式　・乾式 | |
| | ・特殊消火　・不活性ガス消火　・泡消火　・粉末消火　・その他(　　) | |
| | ・その他　・連結送水管　・屋外消火栓 | |
| ガス設備方式 | ・都市ガス　種別(　　)　供給会社(　　) | |
| | ⊙液化石油ガス | |
| 自然エネルギー利用 | ・雨水利用(用途　　)　・地下水利用(用途　　) | |
| | ・地熱利用(用途　　)　・雪冷熱利用(用途　　) | |
| | ・その他　(用途　　) | |

## Ⅳ 機械設備工事仕様

1．図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成22年版）」、公共建築設備工事標準図(平成22年版)による。
2．特記仕様書の適用等
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と⊗印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図面又は当該表を示す

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 ① | ① 適用基準等 | ※秋田県機械設備工事監督実施要領（秋田県建設交通部監修）（平成16年版）<br>※秋田県機械設備工事施工管理要領（秋田県建設交通部監修）（平成16年版）<br>※工事写真の撮り方（建築設備編第2版）（建設省大臣官房官庁営繕部監修） |
| | ② 工事実績情報の登録 | ※適用する　・適用しない　(1-1.1.4) |
| | ③ 施工中の安全確保及び環境保全 | ※「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(平成9年建設省告示第1536号)」に基づき、指定された建設機械を使用する。(1-1.3.8)<br>※「建設機械に関する技術指針(平成3年建設省通知第247号)」に基づき、指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。(1-1.3.8)<br>関係機関との協議　(1-1.3.5)<br>・必要(関係機関：　　)　・必要なし<br>交通誘導員<br>・配置する(・警備業法第18条に規定する特定の種別の警備業務　・任意)<br>(　日×　人)<br>・配置しない<br>特定の種別の警備業務は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年国家公安委員会規則第20号)及び秋田県公安委員会告示第144号(平成18年10月6日)による。 |
| | ④ 発生材の処理等 | ⊙特定建設資材廃棄物の発生材の処理　(1-1.3.9) |

| 種類 | 再資源化等をする施設名・住所・搬出距離(km) |
|---|---|
| 建設発生土 | |
| コンクリート塊 | |
| アスファルト塊 | (株)松田　松田ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ　湯沢市山田字福島尻119 |
| 建設発生木材 | |

・特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理　(1-1.3.9)

| 種類 | 再資源化等をする施設名・住所・搬出距離(km) |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |

| | | |
|---|---|---|
| 一般共通事項 ① | | ・引き渡しを要するもの(　　)　(1-1.3.9)<br>・特別管理産業廃棄物(　　)　(1-1.3.9)<br>なお、特別管理産業廃棄物(PCB使用機器・微量PCB混入機器等)は関係法令に従い適切に処理する。<br>・現場再利用発生材　(1-1.3.9)<br>⊙本工事では、秋田県建設副産物対策に係わる取扱い要領に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完成時に同計画書の実施書を監督員に提出するものとする。(1-1.3.9)<br>⊙本工事で発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、秋田県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理するものとする。 |
| | ⑤ 概成工期 | ・適用する(工事期日より　日前)　※適用しない　(1-1.2.1) |
| | ⑥ 電気保安技術者 | ・適用する　※適用しない　(1-1.3.2) |
| | ⑦ 機器及び材料の品質等 | 本工事に使用する機器及び材料(以下「機材」という。)は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、以下のいずれかに該当するものとする。(1-1.4.2)<br>(1) ＪＩＳ及びＪＡＳマーク表示のある機材<br>(2) エコマーク認定製品((財)日本環境協会)<br>(3) 秋田県認定リサイクル製品<br>(4) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新年版)((社)公共建築協会)(以下「評価名簿」という。)に記載の製品<br>(5) 上記以外のもので以下のア～エの事項を満たすもの<br>ア 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。<br>イ 法令等で定める許可、認定又は免許を取得していること。<br>ウ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。<br>エ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。<br>なお、(5)の材料を使用する場合は、ア～エの証明となる資料を監督員に提出して承諾を受けるものとする。<br>また、備考欄に商品名等が記載された機材は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受けること。 |
| | ⑧ 機器及び材料の選定 | 評価名簿による評価書の写しを添付した納入仕様書を監督員に提出する。(1-1.4.1) |
| | ⑨ 化学物質を放散する建築材等 | 工事に使用する化学物質を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(6)を満たすものとする。<br>(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDFパーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(3)接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(5)(1)、(3)及び(4)の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないもの。<br>(6)アスベストを含有していないこと。 |
| | 10. 施工条件 | ・図示　・工事補足説明事項 |
| | ⑪ 工事用電力、水、その他 | 必要な工事用電力、水などの費用及び官公署等への諸手続のどの費用は請負者の負担とする。また、既存施設の利用は下記とする。<br>1 工事用電力　・利用できる(※有償　・無償)　⊙利用できない<br>2 工事用水　・利用できる(※有償　・無償)　⊙利用できない |
| | 12. 技能士 | ※適用する　・適用しない　(1-1.5.2)<br>〔適用職種(1級の職種作業)〕<br>⊙配管施工(配管工事)　・建築板金施工(ダクト製作及び取付)<br>・熱絶縁施工(保温工事)<br>・冷凍空気調和機器施工(パッケージ形空気調和機の据付及び整備) |
| | 13. 溶接工 | JIS Z3801に基づく(社)日本溶接協会の管溶接の資格を有する者とする。 |
| | ⑭ 工事写真 | 工事中、完成時ともカラー写真とする。 |

| 分類 | 規格 | 撮影箇所 | 提出部数 |
|---|---|---|---|
| 着工前 | サービス版 | 工事写真の撮り方建築設備編 | 2部 |
| 工事中 | サービス版 | 工事写真の撮り方建築設備編 | 2部 |
| 完成時 | ⊙サービス版・キャビネ版 | 工事写真の撮り方建築設備編 同上 | 2部 同上 |
| 営繕年報用 | ・キャビネ版 | 外部1枚、内部1枚 | 部 |

この表のほか監督員が必要と認め、指示した箇所及び部数。また、上記の写真はデジタル写真も可とし、その仕様等は監督員の指示による。

| | | |
|---|---|---|
| | ⑮ 完成図書等 | ※完成検査後に次の完成図書(各1部)を速やかに提出する。(1-1.7.1)<br>(1)完成図書(A4版、完成図書作成要領による)<br>(2)アパッチャーカード(アイボリー)にマイクロフィルムを添付したもの<br>(3)マイクロ第2原図(A3版)<br>(4)完成図及び施工図(原寸)二つ折りに製本したもの<br>(5)完成図及び施工図A3版縮小図を二つ折りしたもの<br>(6)保全に関する資料<br>(7)その他監督員が指示したもの<br>※付属品、予備品、保守工具等は引継目録を添えて提出する<br>※カギ等の表示札は樹脂製(市販品)をする |
| | ⑯ 総合調整 | (2-1.3.2)<br>各機器の個別運転調整後に下記の総合調整を行い、測定表を提出する。<br>・風量調整　・水量調整　・室内外空気の温湿度の測定<br>・室内気流及びじんあいの測定　・騒音の測定<br>・二次側電気配線絶縁抵抗の測定　・接地抵抗の測定<br>・飲用水の水質測定(水道法施行規則(昭和32年厚生省令第45号)第10条による水質検査)<br>・その他(　　) |
| | ⑰ かし点検 | ※適用する　・適用しない<br>契約事項によるかし担保期間満了前にかし点検を行うので請負者は立ち会うこと。 |
| | 18. 環境への配慮 | 秋田県は県の事務事業において、環境にやさしい行動が定着することを目指し、環境に与える負荷を低減する取り組みを継続的に推進するためISO14001の認証を取得している。請負者は監督職員と協議を行い、県の定めるISO14001環境方針の基本理念、基本方針を具体的に公共事業に反映させるよう努めなければならない。 |
| | 19. 発注者が実施する調査等に対する協力 | 当該工事が公共事業労務費調査等の対象工事となった場合には、調査に協力しなければならない。 |

## ② 配管工事

① 配管材料

管材は下表による。
注
1 ＪＩＳはＪＩＳ工業規格、ＪＷＷＡは日本水道協会規格、ＷＳＰは日本水道鋼管協会規格及びＡＳは塩化ビニル管・継手協会規格を表す。
2 ＰＰ継手は青銅製とする。
3 同一で管材の規格が異なる場合は図示による。
4 埋設とは土中、土間(FL-300mmまでは土間と同様とする)、ｺﾝｸﾘｰﾄ内、ＣＢ内を示す。屋内とは露出、いんぺい、ＰＳ、ピット内を示す。

・空調、暖冷房設備工事

| 呼称 | 規格番号 | 管種 | 用途 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 蒸気管 | | 油管 | | | 排水管 | | |
| | | | 冷温水管 | 冷却水管 | 給気管 | 還り管 | 屋内 | 屋外露出 | 埋設 | 冷媒管 | 空調機 | 熱源機械室 |
| 鋼管 | JIS G3452 | 白 | ※ | ※ | | | | ・ | | | ・ | ・ |
| | 〃 | 黒 | | | ※ | ※ | ※ | ・ | | | | |
| 塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 | JWWA K116 | SGP-VB | | ・ | | | | | | | | |
| | 〃 | SGP-VD | | ・ | | | | | | | | |
| | WSP 011 | SGP-FVB | | ・ | | | | | | | | |
| 耐熱性ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 | JWWA K140 | SGP-HVA | ・ | | | | | | | | | |
| | WSP 054 | SGP-H-FVA<br>SGP-H-FCA | ・ | | | | | | | | | |
| ステンレス鋼管 | JIS G3448 | 一般用 | ・ | ・ | | ・ | | | | | | |
| 断熱材被覆銅管 | 原管JIS H3300(製造者標準品) | | | | | | | | | ※ | | |
| ビニル管 | JIS K6741 | VP 一般用 | | | | | | | | | ※ | |
| | AS-58 | REP-VU | | | | | | | | | ・ | |
| | JIS K9798 | RF-VP | | | | | | | | | ・ | |
| | JIS K6776 | HT 耐熱用 | | | | | | | | | | ※ |
| 耐火二層管 | JIS K6741 | VP繊維ﾓﾙﾀﾙ | | | | | | | | | | |
| | JIS K9798 | RE-VP繊維ﾓﾙﾀﾙ | | | | | | | | | | |
| ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管 | JIS G3469 | PLP (参考) | | | | | | ※ | | | | |
| 密着一層型ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管 | JIS G3469 | PLS (参考) | | | | | ※ | | ・ | | | |
| 硬質塩化ビニル被覆鋼管 | ―― | PLV,VI(参考) | | | | | | ※ | | | | |
| 低密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管 | JIS H3300 | CU | | | | | | ・ | ・ | ・ | | |
| 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 | JIS K6769 | | ・ | | | | | | | | | |
| ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管 | JIS K6778 | | ・ | | | | | | | | | |

その他特記事項

・給排水衛生設備工事

| 呼称 | 規格番号 | 管種 | 用途 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 給水管 | 排水管 | | | | | ガス管 | | | | |
| | | | 屋内 | 埋設 | 屋内 | 埋設 | 通気管 | 給湯管 | 消火管 | 屋内 | 屋外露出 | 埋設 | 雨水管 |
| 鋼管 | JIS G3452 | 白 | | | ・ | ・ | ・ | | ※ | ※ | ・ | | ・ |
| | 〃 | 黒 | | | | | | | | | ・ | | |
| 塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 | JWWA K116 | SGP-VB | ・ | | | | | | | | | | |
| | 〃 | SGP-VD | | ・ | | | | | | | | | |
| | WSP 011 | SGP-FVB | ・ | | | | | | | | | | |
| 耐熱性ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 | JWWA K140 | SGP-HVA | | | | | | ・ | | | | | |
| ポリ粉体鋼管 | JWWA K132 | SGP-PB | ※ | | | | | | | | | | |
| | 〃 | SGP-PD | | ※ | | | | | | | | | |
| | WSP 039 | SGP-FPB | ・ | | | | | | | | | | |
| ステンレス鋼管 | JIS G3448 | 一般用 | ⊙ | | | | ※ | | | | | | |
| | JWWA G115 | 水道用 | ・ | | | | | ・ | | | | | |
| | JWWA G119 | 水道用波状 | | | | | | | | | | | |
| 銅管 | JIS H3300 | M型 | ・ | | | | | ・ | | | | | |
| ビニル管 | JIS K6742 | VP 水道用 | ・ | ・ | | | | | | | | | |
| | JIS K6742 | HIVP耐衝撃性 | | ・ | | | | | | | | | |
| | JIS K6741 | VP 一般用 | | | ※ | ※ | ・ | | | | | | ・ |
| | JIS K6741 | VU 薄肉管 | | | ※ | | | | | | | | ※ |
| | JIS K6776 | HTVP耐熱用 | | | | | | ・ | | | | | |
| | AS-58 | REP-VU | | | | ・ | | | | | | | |
| | JIS K9798 | RF-VP | | | | ・ | ・ | | | | | | |
| | JIS K9797 | RS-VU | | | | ・ | | | | | | | |
| ポリエチレン管 | JIS K6762 | 水道用 | | ※ | | | | | | | | | |
| 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 | JIS K6769 | 水道用 | ・ | | | | | ・ | | | | | |
| ｶﾞｽ用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 | JIS K6774 | PEP | | | | | | | | | | ※ | |
| 外面被覆鋼管 | WSP 041 | 消火用 | | | | | | | ・ | | | | |
| 排水用塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 | WSP 042 | | | | ・ | | | | | | | | |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管 | JIS A5372 | 1種B形 | | | | ・ | | | | | | | ・ |
| 耐火二層管 | JIS K6741 | VP繊維ﾓﾙﾀﾙ | | | ※ | | ※ | | | | | | |
| | JIS K9798 | RE-VP繊維ﾓﾙﾀﾙ | | | ※ | | ※ | | | | | | |
| ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管 | JIS G3469 | PLP (参考) | | | | | | | | ・ | | ※ | |
| 密着一層型ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管 | JIS G3469 | PLS (参考) | | | | | | | | ⊗ | | ・ | |
| 硬質塩化ビニル被覆鋼管 | ―― | PLV,VI(参考) | | | | | | | | ・ | ※ | | |
| ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管 | JIS K6792 | 水道用 | ・ | | | | | | | | | | |
| | JIS K6778 | | ・ | | | | | ・ | | | | | |

給水設備及び給湯設備に使用する機材は、厚生労働省令138号「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」(平成14年10月29日)に適合するものとする。

## ② 配管工事

② 鋼管用伸縮管継手　※ベローズ形　・スリーブ形　(2-2.2.6.1)
③ 耐火二層管伸縮継手　取付箇所は図示による。　(2-2.5.15)
④ 水栓柱　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製　・樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼製　・人造石とぎ出し製　(2-2.2.19)
⑤ スリーブ　水密を要する梁、床、壁のスリーブ　(2-2.2.23)
※つば付き鋼管製　・亜鉛鉄板製
⑥ 絶縁フランジ継手　(2-2.2.10)
取付箇所は図示による。
⑦ 吊りボルト及び支持金物　ピット内の吊りボルト、ナット、支持金具はステンレス製とする。(2-2.4.1)
⑧ 埋込配管　1 一般事項　(2-2.7.1)
地中埋設標の位置は図示による。
また、埋設表示用テープ(ビニル製)は折返し付きとする。
2 埋設油管
※ 保護埋設　・直埋設
保護の方法、範囲については図示による。
⑨ 鋼管の保護管及び吊り間隔　ＦＦ温風機の油配管用途に鋼管を使用するときの保護管(継手、曲がり部分を除く)は、一般ビニル管とし、下記による。

| 屋内 | | |
|---|---|---|
| 鋼管外径 | 保護管径 | 保護管吊り間隔 |
| 10 | 20 | 1.0m |
| 8 | 15 | 1.0m |

| 屋外 | |
|---|---|
| 鋼管外径 | 保護管径 |
| 10 | 50 |
| 8 | 50 |

注 1 屋内(露出、いんぺい、間仕切り内)
2 屋外(屋外埋設、土間埋設)
3 屋外の保護管は曲がり部分も含む。
4 保護管内での鋼管の接続はしない。
⑩ 試験　試験は配管途中ましくは、いんぺい、埋戻前、または配管完了後の塗装又は被覆施工前に行う。なお、完成時の系統全領域のわたる耐圧試験方法については、監督員との協議による。
1 凍結の恐れのある水配管
水圧試験を空気圧試験(最大常用圧力の1.5倍、または最高圧力0.2MPa)に代えることが出来るが完成時まで水圧試験を実施する。
2 油配管
空気圧試験の最小圧力は0.1MPaとする。
3 排水管
・満水試験　※通水試験　・煙試験
4 ガス(液化石油ガス設備)配管
気密試験及び点火試験とする。
気密試験の圧力値は高圧側1.56MPa以上、低圧側8.4KPa以上10.0KPa以下とする。
保持時間は管内容積10ﾘｯﾄﾙ以下は5分間以上、10ﾘｯﾄﾙを超え50ﾘｯﾄﾙ以下は10分間以上、50ﾘｯﾄﾙを超えるものは24分間以上とする。

## ③ 保温・塗装及び防錆工事

① 保温施工　施工は次のとおりとするが、工法等の変更については監督員の承諾を受ける。
1 配管、機器
(1)消火配管は給水管の仕様による。
2 弁、継手類
(1)標準仕様書2-3.1.4の表2.3.2の注12項(ハ)は保温する。
(2)保温材は接続する配管の仕様とする。
3 外装材は次による。
(1)機器、タンク、ヘッダー、ダクトはステンレス0.3mm
(2)屋外露出(多湿箇所)の管、弁類はステンレス0.2mm
(3)煙道はカラー亜鉛鉄板0.35mmとする。
② 空気調和設備工事の保温

| | ロックウール | グラスウール |
|---|---|---|
| 温水管 | ※ | ・ |
| 蒸気管 | ※ | ・ |
| タンク | ※ | ・ |
| ヘッダー | ※ | |
| 煙道 | ※ | |
| ダクト | | ⊗ |

注(1)外気取り入れダクトの全てと、排気用ダクトの外壁から1mのゾーンは保温する。
保温材はグラスウール24kg(厚25mmｱﾙﾐｸﾗﾌﾄ)とする。
(2)地下ピット換気用排気ダクトは、ピット内を除く部分全てを保温する。
(3)熱交換型の換気扇ダクトは、外気取入用ダクト、室内給気用ダクト、排気用ダクトの全てを保温する。
③ 給排水衛生設備工事の保温

| | ロックウール | グラスウール | ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ |
|---|---|---|---|
| 給水管 | ・ | | ※ |
| 消火管 | ・ | ※ | |
| 給湯管 | ※ | | |
| 排水管・雨水管 | ・ | ※ | |
| 貯湯タンク | ※ | | |

注(1)屋内、屋外に露出する消火管、排水管、雨水管は、ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑとする。
(2)電熱保温帯巻き付け箇所はロックウールとする。
(3)井水管は冷水管の仕様で保温する。
④ FF式給排気筒の保温　ＦＦ式機器の給排気筒の保温はロックウール厚25mmとする。
⑤ 冷媒管の外装　※保温化粧ケース(樹脂製)　・その他(　　)　(2-3.1.4)
6．ダクト塗装　ダクト(排気フードを含む)で見え掛り範囲は調合ペイント(つやけし)を2回塗りとする。ペイント色は監督員の指示による。

Title (仮称)小町の館建築工事（機械設備工事）
Scale
NO M-01
機械設備工事特記仕様書(1)

## ④ 関連工事

### ① 仮設工事

1 仮設現場事務所 (2-4.1.1)
・監督員事務所 ・設ける（ ㎡程度） ※設けない
・請負人事務所 ⊙設ける（ ㎡程度） ・設けない
・作業下小屋 ・設ける（ ㎡程度） ※設けない

2 建築工事の表示

| | 建築工事の表示 |
|---|---|
| 工事名称 | （仮称）小町の館建築工事（機械設備工事） |
| 構造・規模 | 木造平家建 延べ床面積 630.13㎡ |
| 工事期間 | 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 |
| 建築主 | |
| 設計者 | みらい設計一級建築士事務所 代表 高橋一秀 |
| 工事監督者 | |
| 工事施工者 | |

注1 表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。
2 地色は、マンセル記号１ＧＹ7.5/8とし黒文字（角ゴシック）で表現する。
3 建築主は、契約担当者名とすること。
4 表示板の大きさ
※１号 （横180cm×縦 90cm） ・２号 （横240cm×縦120cm）
・３号 （横360cm×縦180cm） ・その他（ ）

### ② 建設発生土の処理

⊙構外指示の場所に搬出（搬出先は特記1章4項による） (2-4.2.1)
※構内指定箇所へ敷きならす 指定箇所（ ）
・構内指定箇所へたい積する 指定箇所（ ）

### ③ 屋外機器類のｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ等

屋外に設ける機器類（外壁に取り付ける機器類含む）のｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ、ナット、架台、支持金具等はステンレス（SUS304）製とする。 (2-4.6.2)

### ④ 他工事との調整

特記なき場合は下記による。（●印適用）

| 区分 種別 | | 電気 | 機械 | 建築 |
|---|---|---|---|---|
| 梁・床・壁貫通部 | 補強 | | | ● |
| | スリーブ | ● | ● | |
| 壁埋込型機器類 | 補強 | | | ● |
| | 仮枠 | ● | ● | |
| 天井埋込型器具類下地 | 切込 | | | ● |
| | 補強 | | | ● |
| | 墨出し | ● | ● | |
| 別途機器への接続 | | ● | ● | |
| 防火戸閉鎖装置 | | ● | | |
| 電動ｼｬｯﾀｰ 自動扉 | 開閉装置 | | | ● |
| | 二次配線・操作ｽｲｯﾁ | | | ● |
| | 二次配管 | ● | | |
| 軽量鉄骨壁の機器取付け用の補強 | | ● | ● | |
| 吊ボルト用インサート | | ● | ● | |
| 機械室電気室等の設備機器の基礎 | | | | ● |
| 機械室電気室等の設備ピット（蓋含む） | | | | ● |
| 自立型制御盤の基礎 | | | | ● |
| 自立型アンテナの基礎 | | | | ● |
| 床点検口、天井点検口 | | | | ● |
| 消火水槽用マンホール | | | | ● |

注 複数箇所に●印のあるものは、各工事に適用する。

## ⑤ 空気調和・暖房・冷房設備

### 1. 設計温湿度

| | 外気条件 一般系統 温度(DB) | 外気条件 一般系統 湿度(RH) | 外気条件 系統 温度(DB) | 外気条件 系統 湿度(RH) | 室内（調整目標値） 一般系統 温度(DB) | 室内（調整目標値） 一般系統 湿度(RH) | 室内（調整目標値） 系統 温度(DB) | 室内（調整目標値） 系統 湿度(RH) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夏期 | ℃ | % | ℃ | % | ℃ | % | ℃ | % |
| 冬期 | ℃ | % | ℃ | % | ℃ | % | ℃ | % |

ただし、湿度制御を行わない方式による湿度はなりゆきとする。

### 2. 煙道

直径300㎜（270□）以下は鋼板厚3.2㎜、直径300㎜を超えるものは板厚4.5㎜以上とする。 (3-1.1.9)

### 3. 煤煙濃度計

取付箇所は図示による。 (3-1.1.10)

### ④ 冷媒

オゾン層を破壊する物質が使用されていないものとし、種類は別添機器表による。

### 5. 成績係数

以下に該当する機器の成績係数は別添機器表による。なお、機器表に記載が無い場合は、標準仕様書及び「グリーン購入法」で定めるところによる。
対象機種：遠心冷凍機、スクリュー冷凍機、吸収冷凍機、EHP、KHP、直だき吸収冷温水機、小形吸収冷温水機ユニット、氷蓄熱ユニット、GHP。

### ⑥ 機器の接続

特記がなければ、機器とスパイラルダクトを接続する場合、アルミフレキシブルダクトを１ｍ以内だ使用してよいが、有効断面を損なわないよう取り付ける。また、ダクト用テープはアルミニウム箔を使用する。

### ⑦ 機器の据え付け

1 天井いんぺい機器の吊り下げ金物は構造体へ直接取り付ける。
2 コンクリート外壁に取り付ける換気扇用木枠には防腐剤処理を施す。

### 8. 防震架台

機器表による。
※屋内および屋上設置機器の架台は防震架台とする。

### ⑨ 室外機基礎及び架台

28KW以下の室外機基礎高さはGL+150㎜とし、溶融亜鉛メッキ仕上架台（H=300㎜）を設ける。その他の機器及び豪雪地における基礎、架台は図示による。

### 10. 空調用ポンプ軸封装置

※メカニカルシール ・グランドパッキン ・その他（ ） (3-1.12.1)

### 11. 空調用膨張タンク

※密閉形隔膜式 ・開放形 ・その他（ ） (3-1.13.5～1.13.6)

### 12. 放熱器の取り付け

放熱器と温水管との接続には、必要に応じて架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管及びﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管並びに銅製またはステンレス製のﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞを使用しても良い。

### 13. 不凍液

※不要 ・要（工業用ポリプロピレングリコール30%濃度）

### 14. オイルタンク

1 オイルタンク種別は次による。
・地下オイルタンク
・タンク室（・本工事 ・建築工事）
※鋼製強化プラスチック製二重殻タンク
［地下タンク施工時の土留め］
・要（ 型 m） ・不要
・屋内オイルタンク
・小型タンク（防油堤共）
2 消火器および標識板
法により指定された消火器及び標識板を槽最寄りの位置へ設置する。
(1)消火器 ・20型 2本（ステンレス製格納箱共）
・20型 1本（ 〃 ）
・10型 1本（ 〃 ）
(2)標識板 ・ステンレス製 ・アルミ製
3 プロテクタ内塗装
錆止め塗装後、タールエポキシ樹脂塗装仕上とする。

### 15. 定風量ユニット

・メカニカルタイプ ・風量センサータイプ (3-1.15.13)

### 16. ダクトの区分

低圧とする。（高圧1,2の部位は図示による。）

### 17. 矩形ダクトの工法

※コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
・アングルフランジ工法

### 18. 温度計

標準仕様書、標準図による他、下記の箇所に取り付ける。
（配管はＬ形、ダクトには丸形とする。）
1 空気調和機廻りの給気ダクト、還気ダクト及び外気ダクト
2 冷温水ヘッダー（送り）及び冷温水ヘッダーの各還り管
3 冷温水発生機や温水発生機の冷却水及び冷水・温水の出入口

### 19. 吹出口及び吸込口ボックス

※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製 (3-1.14.6)

### 20. 消音内貼

施工箇所は図示による。 (3-2.2.7.1)

### 21. 風量測定口

※要（送風機または空調機の出口側に設置する） ・不要 (3-2.2.7.3)

### 22. 瞬間流量計

※取り付ける ・取り付けない
取り付ける瞬間流量計は32㎜ピトー管流量計を標準とし、取り付け箇所は下記とする。
1 冷凍機または冷温水発生機の冷水出口
2 冷凍機または冷温水発生機の冷却水出口
3 ボイラーまたは熱交換機の温水出口
4 空気調和機の冷温水入口
5 冷温水ヘッダーの各送り管

形式： ※固定形 ・着脱可能形（※全数・図示による）

### 23. 冬期養生用カバー

ファン部分を覆う冬期養生用カバー（合成帆布6号相当品）を付属品として備える。なお、エアコン屋外機（冷房専用）には屋外機全体を覆う冬期洋上用カバー（メーカー標準品）を付属品として備える。

### 24 凍結防止ヒーター

電気パネルヒーター、遠赤外線ヒーターのサーモスタット温度調整部には、いたずら防止カバーを取り付ける。

### 25. FF式暖房機給排気筒の保護

保護ガードの取り付け箇所は図示による。

## ⑥ 換気設備

### ① 準拠事項

前章（空気調和・暖房・冷房設備）の16,17に準ずる。

### ② 厨房用排気フード

1 ステンレス製Ⅱ形とし、本体およびフード囲いは、ステンレス製（厚1.0㎜）とする。
2 吊りボルトは亜鉛メッキ製とし、露出部のボルトの端部にはステンレス製の袋ナットを取り付ける。

### 3. 厨房用排気ダクト

1 ※亜鉛鉄板 ・ステンレス鋼板(SUS304)
2 アングルフランジ工法 ⊙コーナーボルト工法

### 4. 耐薬品ダクト、ダンパー

実験、試験施設用に供するダクト・ダンパーの材質は耐薬品性とし、範囲、仕様は図示による。

## ⑦ 衛生器具設備

陶器及び付属品の仕様は器具表による。また、衛生陶器色は監督員の指示による。

### ② 洗浄弁及びロータンク

1 洗浄弁は不凍結形節水弁（ﾊﾞｷｭｰﾑﾌﾞﾚｰｶｰ付き）とする。 (5-1.1.2)
2 ロータンクは防露式とする。

### ③ 便座

洋風便器は暖房便座とする。 (5-1.1.2)
その他、付属機器は次とする。
・温水洗浄式便座（・貯湯式 ・瞬間式） ・温風乾燥機能 ・脱臭機能

### ④ 小便器洗浄管

※埋込 ・露出 (5-1.1.11)

### 5. 和風便器耐火カバー

要（ピット内を除く） ⊙不要

### ⑥ 鏡

大きさは器具表による。 (5-1.1.12)

### 7. 自動水栓

電源供給方式： ※ＡＣ１００Ｖ ・電池式

### ⑧ 給水栓

湯沸室、台所、厨房内は泡沫水栓とする。

## ⑧ 給水設備

### ① 給水源

⊙上水道 ・井水 ・その他（ ）

### ② 水道加入金

・本工事 ※別途

### 3. 受水槽、高置水槽

1 緊急用水栓 ※要 ・不要
2 緊急遮断弁 ※要 ・不要
3 水槽廻りのフランジ用ボルト、ナットは全てステンレス製とする。

### ④ その他

上水道直結部分の施工は水道事業者の給水規定による。

## ⑨ 給湯設備

### ① ガス給湯器等

ガス供給者の承認する製品とし、液化石油ガス器具に該当するものは法令に基づく技術上の基準によるものとする。

### ② 湯沸器の排気筒

ステンレス鋼板製とし、いんぺい部は断熱材（ﾛｯｸｳｰﾙ50㎜＋きっ甲金網）露出部は（ﾛｯｸｳｰﾙ50㎜＋着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ）で覆い、直接屋外へ排気する。

## 10 消火設備

### 1. 消火ポンプ用制御盤

消火ポンプ用制御盤は製造業者標準仕様とするが、盤内には起動リレー取り付けスペースを設ける。

### 2. 消火器

・本工事 ※別途

## ⑪ 排水設備

### 1. ポンプ

1 ポンプ廻りのフランジ用ボルト、ナットはステンレス製とする。
2 水中ポンプ脱着装置
汚水ポンプ ※脱着装置付 ・固定式
湧水ポンプ ※脱着装置付 ・固定式
その他（ ）※脱着装置付 ・固定式
3 水中ポンプの銘板はポンプ本体の他、最寄りの壁に設ける。

### ② 桝の規格

ＰＰ桝、小口径桝を使用する場合はＶＰソケットを使用する。
汚水桝、雑排水桝の規格は下表による。 (5-1.8.1～1.8.8)

| 記号 | 内法寸法（㎜） | 埋設深さ（㎜） | 防臭蓋 |
|---|---|---|---|
| ＳＣ－1 ＲＣ－1 | 360×360 A（市販品） B（現場打） | 450以下 | ＭＨＡ350 ＭＨＢ350 |
| ＳＣ－2 ＲＣ－2 | 450×450 A（市販品） B（現場打） | 600以下 | ＭＨＡ450 ＭＨＢ450 |
| ＳＣ－3 ＲＣ－3 | 600×600 A（市販品） B（現場打） | 1,200以下 | ＭＨＡ600 ＭＨＢ600 |
| ＳＣ－4 ＲＣ－4 | φ900 A（公設桝） | 1,201以上 | ＭＨＡ600 ＭＨＢ600 ＭＨＤ600 （公設蓋） |
| ＰＰ－1 | φ300 | 400以下 | ・レジコン ・鋳鉄 |
| ＰＰ－2 | φ300 | 700以下 | ・鋳鉄 |
| ＰＰ－3 | φ450 | 701以上 | ・レジコン ・鋳鉄 |
| ＰＶＣ－150 | φ150 | | ・塩ビ ・ |
| ＰＶＣ－200 | φ200 | | ・塩ビ ・ |

注 1 ＳＣは汚水桝、ＲＣは雑排水桝を、ＰＰはポリプロピレン製桝を、ＰＶＣは塩化ビニル製桝を表す。
2 現場打ち桝の詳細は標準図による。
3 埋設深さは管底深さを表す。
4 防臭蓋（公設蓋を除く）は文字入りとする。

## ⑫ ガス設備

### ① 一般事項

ガス供給事業者の諸規定または液化石油ガスに関する法律等により施工する。 (6-1.1.1)

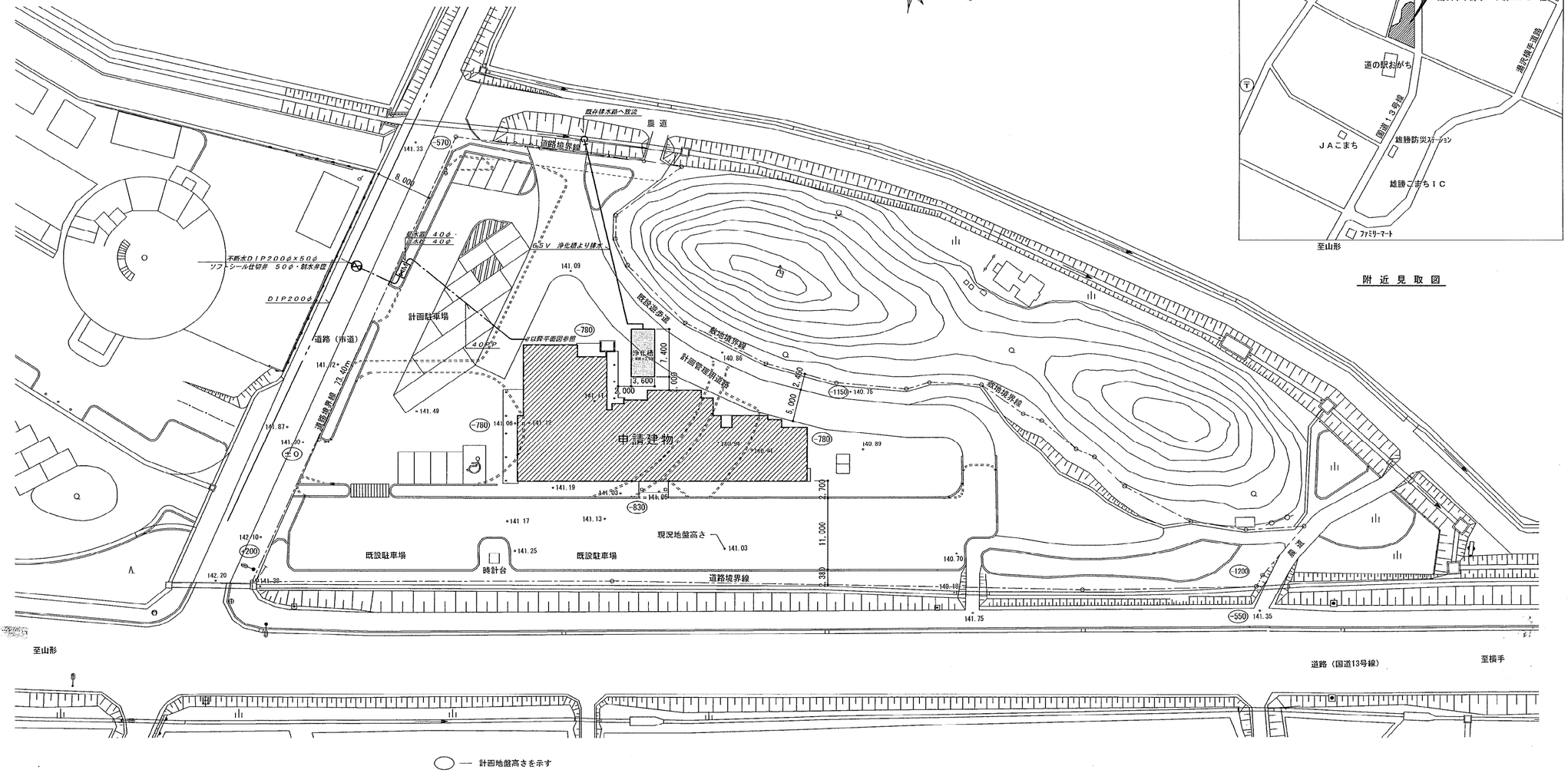
### ② 液化石油ガス

1 ガスボンベ ※借用 ・買取り
（・10kg ・20kg ・50kg 本）
2 集合装置 標準図 施工70の下記仕様とする。
・（ａ） ・（ｂ） ※（ｃ）（イ） ・（ｃ）（ロ）
3 転倒防止等 標準図 施工71の下記仕様とする。
※（ａ） ・（ｂ）

### 3. 標識板及び消火器

液化石油ガスの貯蔵量が300kg以上の場合
1 標識板（アルミまたはステンレス製）
※本工事 ・別途
2 消火器（ＡＢＣ10型 1本、ステンレスボックス共）
※本工事 ・別途

Title (仮称)小町の館建築工事（機械設備工事)
Scale
NO M-02
機械設備工事特記仕様書(2)




配　置　図 S=1:500

面　積　表

(m²)

| | 申請建物 | 既存建物 | 合　計 |
|---|---|---|---|
| 敷地面積 | | | 5,560.21 |
| 建築面積 | 674.20 | —— | 674.20 |
| 延床面積 | 630.13 | —— | 630.13 |

Title
(仮称)小町の館建築工事（機械設備工事）

給排水衛生設備配置図

Scale
S=1:500

NO
M-03

## 衛生器具リスト表

| 品名 | 品番 | 主要付属金具・備考 | 男子トイレ | 女子トイレ | 多目的トイレ | 職員便所(男) | 職員便所(女) | 物産展示室 | 準備室・案内所 | 厨房 | 屋外 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 腰掛便器 | CS220B | 防露式密結タンク・ウォシュレット・棚付二連紙巻器 | 2 | 5 | | 1 | 1 | | | | | 9 |
| 和風両用便器 | C750AV | ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ・ｽﾊﾟｯﾄﾞ・棚付二連紙巻器 | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| 小便器 | UFS800C | 自動洗浄小便器・バックハンガー・排便フランジ | 5 | | | | | | | | | 5 |
| 車椅子対応洋風便器 | CS20AB | 防露式密結タンク・ウォシュレット・紙巻器 | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 車椅子対応洗面器 | L130LA | 電気温水器・自動水栓・排水金具(32m)・バックハンガー | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 掃除流し | SK22A | 横水栓・排水金具(塩ビ管用)・ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓・ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ・ﾘﾑｶﾊﾞｰ | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | | | |
| ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ | ML34C2600NNX11CZY | ブラケットフレーム | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| 洗面器 | L546 | 排水金具(Sトラップ) | 3 | 3 | | | | | | | | 6 |
| 自動水栓 | TEN41AX | ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓 | 3 | 3 | | | | | | | | 6 |
| 電気温水器12L(2連用) | REWS12A1KM1 | 自動水栓取付脚・連結管・排水ホッパー | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| 電気温水器6L(1連用) | REWS06A1DKM1 | 自動水栓取付脚・連結管・排水ホッパー | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙｹﾙﾄﾞﾝ式 | MFB3C2694CSV1 | ブラケットフレーム | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| ﾌﾘｰｻｲｽﾞ大型鏡 | MMA2A2690B1100 | 取付金具 | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 壁掛ﾊﾞｯｸ付手洗器 | LSHB870AP | 排水金具(Pトラップ)・ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓・ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ | | | | 1 | 1 | | | | | 2 |
| 壁掛手洗器 | L30DM | 自動水栓・排水金具(Pトラップ)・ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓・ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ | | | | | | | | 5 | | 5 |
| ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ用手すり(はね上げ) | T112H7 | 固定金具・樹脂被覆タイプ | | | 1 | | | | | | | 1 |
| ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ用手すり | T112CL9 | 固定金具・樹脂被覆タイプ | 1 | 2 | 1 | | | | | | | 3 |
| ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ用手すり | T112CP3 | 固定金具・樹脂被覆タイプ | | | 1 | | | | | | | 1 |
| ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ用手すり(小便器用手すり) | T112CU2 | 固定金具・樹脂被覆タイプ | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 傾斜鏡 | LM531 | 取付金具 | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 混合水栓 | TKJ31UF3SZ | ｽﾄﾚｰﾄ形止水栓 | | | | | | | | 8 | | 8 |
| 分岐水栓 | BM13 | ガス湯沸器用 | | | | | | | | 4 | | 4 |
| 自在水栓 | T30ARNR13 | | | | | | | | 2 | | | 2 |
| 万能ﾎｰﾑ水栓 | T200SNR13 | 洗い場 共栓 | | | | | | | | | 2 | 2 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 電動式水抜栓 | NR-2-MT30 | ライラック(標準タイプ) | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| ベビーシート | YKA25 | 取付金具 | | | 1 | | | | | | | 1 |

| 項目 | 記号 | 名称 | 台数 | 仕様 |
|---|---|---|---|---|
| その他の機器 | | 浄化槽 | 1 | 形式：FRP製　合併処理浄化槽　人槽：90人　嫌気ろ床担体流動ろ過循環方式　ﾋﾟｰｸｶｯﾄ流量調整型 |
| | | | | 形状寸法，付属品，板厚等：標準仕様書に準拠する。原水槽・放流ポンプ付 |
| | | ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ | 2 | 形式：FRP製　　有効容量：１００L |
| | | | | 形状寸法，付属品，板厚等：標準仕様書に準拠する。 |
| | | | | |
| | | | | |

## 桝リスト表

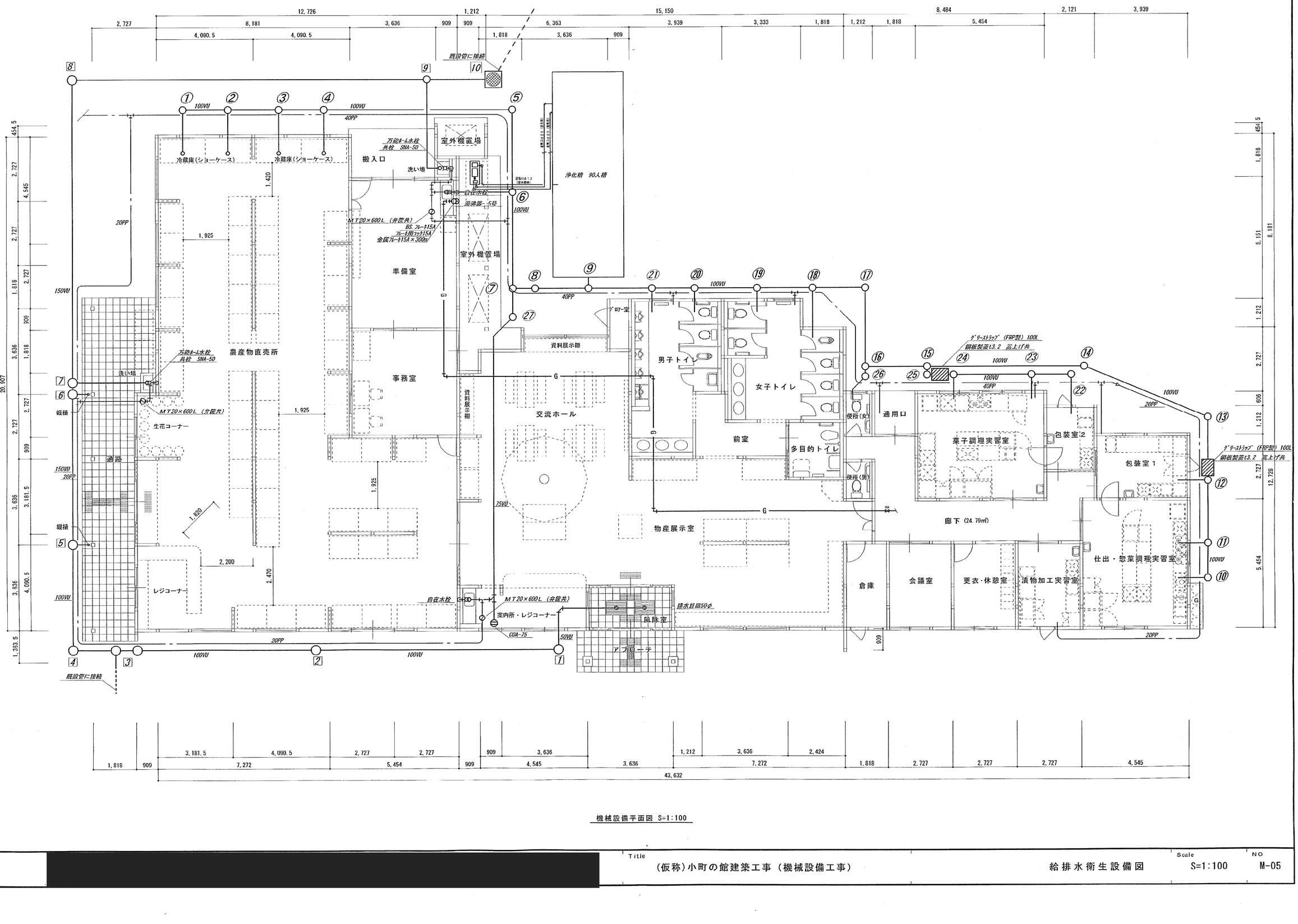
| 区分 | NO | 品名 | 型式 | 深さH | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 排水桝 | ① | M-90L 100-150 | 塩ビ製 | H=350 | |
| 〃 | ② | M-90Y 100-150 | 〃 | H=380 | |
| 〃 | ③ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=420 | |
| 〃 | ④ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=450 | |
| 〃 | ⑤ | M-90L 100-150 | 〃 | H=570 | |
| 〃 | ⑥ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=700 | |
| 〃 | ⑦ | M-WLS 100-150 | 〃 | H=620 | |
| 〃 | ⑧ | M-DR 100-200 | 〃 | H=1,100 | |
| 〃 | ⑨ | M-WLS 100-200 | 〃 | H=1,160 | |
| 〃 | ⑩ | M-90L 100-150 | 〃 | H=350 | |
| 〃 | ⑪ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=370 | |
| 〃 | ⑫ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=430 | |
| 〃 | ⑬ | M-45Y 100-150 | 〃 | H=560 | |
| 〃 | ⑭ | M-45Y 100-150 | 〃 | H=630 | 鋳鉄製防護蓋φ150 T-8 |
| 〃 | ⑮ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=790 | |
| 〃 | ⑯ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=800 | 鋳鉄製防護蓋φ150 T-8 |
| 〃 | ⑰ | M-90L 100-150 | 〃 | H=850 | 鋳鉄製防護蓋φ150 T-8 |
| 〃 | ⑱ | M-45YS 100-200 | 〃 | H=930 | |
| 〃 | ⑲ | M-45YS 100-200 | 〃 | H=1,000 | |
| 〃 | ⑳ | M-45YS 100-200 | 〃 | H=1,070 | |
| 〃 | ㉑ | M-90Y 100-200 | 〃 | H=1,090 | |
| 〃 | ㉒ | M-90L 100-150 | 〃 | H=350 | |
| 〃 | ㉓ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=390 | |
| 〃 | ㉔ | M-90Y 100-150 | 〃 | H=410 | |
| 〃 | ㉕ | M-90L 100-150 | 〃 | H=780 | |
| 〃 | ㉖ | M-45L 100-150 | 〃 | H=770 | 鋳鉄製防護蓋φ150 T-8 |
| 〃 | ㉗ | M-45L 100-150 | 〃 | H=650 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 雨水桝 | 1 | UMA-90L 100-150 | 塩ビ製 | H=300 | |
| 〃 | 2 | UMA-ST 100-150 | 〃 | H=400 | |
| 〃 | 3 | UMA-90Y 200-200 | 〃 | H=780 | |
| 〃 | 4 | UMA-90L 200-200 | 〃 | H=800 | |
| 〃 | 5 | UMA-90Y 200-200 | 〃 | H=820 | |
| 〃 | 6 | UMA-90Y 200-200 | 〃 | H=840 | |
| 〃 | 7 | UMA-90Y 200-200 | 〃 | H=850 | |
| 〃 | 8 | UMA-90L 200-200 | 〃 | H=900 | 鋳鉄製防護蓋φ150 T-8 |
| 〃 | 9 | UMA-90Y 200-200 | 〃 | H=980 | 鋳鉄製防護蓋φ150 T-8 |
| 〃 | 10 | 市販桝 600□ | ｺﾝｸﾘｰﾄ | H=1,100 | マンホール MHA |

Title (仮称)小町の館建築工事（機械設備工事）

衛生器具・桝リスト表

Scale

NO M-04




機械設備平面図 S=1:100

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | Title | (仮称)小町の館建築工事(機械設備工事) | 給排水衛生設備図 | Scale S=1:100 NO M-05 |

ドルゴ通気弁５０

男子トイレ
女子トイレ
前室
多目的トイレ
便所(女)
便所(男)
ステンレス台棚
通用口
廊下
物産展示室
風除室
アプローチ
倉庫
会議室
更衣・休憩室
菓子調理実習室
包装室１
包装室２
仕出・惣菜調理実習室
清物加工実習室

ガス湯沸器24号 RUX-2402FFU BM フレーキ20A
ガス湯沸器16号 RUX-V1615SFFUA-E BM フレーキ15A
集合装置 4本立 ｻｰﾋﾞｽｺｯｸ 32A ｶﾞｽﾒｰﾀｰ 納入業者

機械設備平面詳細図 S=1:50

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（機械設備工事） 給排水衛生設備詳細図 | S=1:50 | M-06 |

冷 暖 房 機 器 表

| 記号 | 名称 | 仕様 | | | 電源 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ZHP－１ | ﾋﾞﾙﾏﾙﾁｴｱｺﾝ 室外機 | 型式 INVｽﾞﾊﾞ暖ﾏﾙﾁ〈R410A〉<br>暖房能力 40.0 kw | 冷房能力 | 35.5 kw | 3Φ－200ｖ | 1 | 13HP<br>室外機置場<br>PUHY-HP355CM-G |
| | | 架台 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ床置き500H | 付属品 | SUS製防雪ﾌｰﾄﾞ〈吹出のみ〉・配管ｼﾞｮｲﾝﾄ | | | |
| ZHP－１－１ | 室内機 | 型式 天井ｶｾｯﾄ4方向吹出<br>暖房能力 9.0 kw | 冷房能力 | 8.0 kw | 1Φ－200ｖ | 3 | 農産物直売所<br>PLFY-P80BM-G |
| | | | 付属品 | ﾑｰﾌﾞﾌｧﾊﾞﾈﾙ〈自動昇降〉・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | |
| ZHP－１－２ | 室内機 | 型式 天井ｶｾｯﾄ4方向吹出<br>暖房能力 8.0 kw | 冷房能力 | 7.1 kw | 1Φ－200ｖ | 1 | 準備室<br>PLFY-P71BM-G |
| | | | 付属品 | ﾑｰﾌﾞﾌｧﾊﾞﾈﾙ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | |
| ZHP－２ | ﾋﾞﾙﾏﾙﾁｴｱｺﾝ 室外機 | 型式 INVｽﾞﾊﾞ暖ﾏﾙﾁ〈R410A〉<br>暖房能力 40.0 kw | 冷房能力 | 35.5 kw | 3Φ－200ｖ | 1 | 13HP<br>室外機置場<br>PUHY-HP355CM-G |
| | | 架台 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ床置き500H | 付属品 | SUS製防雪ﾌｰﾄﾞ〈吹出のみ〉・配管ｼﾞｮｲﾝﾄ | | | |
| ZHP－２－１ | 室内機 | 型式 天井ｶｾｯﾄ4方向吹出<br>暖房能力 9.0 kw | 冷房能力 | 8.0 kw | 1Φ－200ｖ | 4 | 農産物直売所<br>PLFY-P80BM-G |
| | | | 付属品 | ﾑｰﾌﾞﾌｧﾊﾞﾈﾙ〈自動昇降〉・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | |
| ZHP－２－２ | 室内機 | 型式 天井ｶｾｯﾄ4方向吹出<br>暖房能力 6.3 kw | 冷房能力 | 5.6 kw | 1Φ－200ｖ | 1 | 事務室<br>PLFY-P56BM-G |
| | | | 付属品 | ﾑｰﾌﾞﾌｧﾊﾞﾈﾙ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | |
| ZHP－３ | ﾋﾞﾙﾏﾙﾁｴｱｺﾝ 室外機 | 型式 INVｽﾞﾊﾞ暖ﾏﾙﾁ〈R410A〉<br>暖房能力 31.5 kw | 冷房能力 | 28.0 kw | 3Φ－200ｖ | 2 | 10HP<br>室外機置場<br>PUHY-HP280SCM-G |
| | | 架台 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ床置き500H | 付属品 | SUS製防雪ﾌｰﾄﾞ〈吹出のみ〉・配管ｼﾞｮｲﾝﾄ | | | |
| ZHP－３－１ | 室内機 | 型式 天井ｶｾｯﾄ4方向吹出<br>暖房能力 9.0 kw | 冷房能力 | 8.0 kw | 1Φ－200ｖ | 6 | 交流ホール・他<br>PLFY-P80BM-G |
| | | | 付属品 | 化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | |
| ZHP－４ | ﾋﾞﾙﾏﾙﾁﾏﾙﾁｴｱｺﾝ 室外機 | 型式 INVｽﾞﾊﾞ暖ﾏﾙﾁ〈R410A〉<br>暖房能力 31.5 kw | 冷房能力 | 28.0 kw | 3Φ－200ｖ | 1 | 10HP<br>室外機置場<br>PUHY-HP280SCM-G |
| | | 架台 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ床置き500H | 付属品 | SUS製防雪ﾌｰﾄﾞ〈吹出のみ〉・配管ｼﾞｮｲﾝﾄ | | | |
| ZHP－４－１ | 室内機 | 型式 厨房用天吊型<br>暖房能力 9.0 kw | 冷房能力 | 8.0 kw | 1Φ－200ｖ | 2 | 菓子調理室・他<br>PCFY-P80HM-G |
| | | | 付属品 | ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | |
| ZHP－４－２ | 室内機 | 型式 天井ｶｾｯﾄ1方向吹出<br>暖房能力 3.2 kw | 冷房能力 | 2.8 kw | 1Φ－200ｖ | 4 | 包装室１・他<br>PMFY-P28BM-G |
| | | | 付属品 | 化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | |
| ZHP－４－３ | 室内機 | 型式 天井ｶｾｯﾄ1方向吹出<br>暖房能力 2.5 kw | 冷房能力 | 2.2 kw | 1Φ－200ｖ | 1 | 包装室２・他<br>PMFY-P22BM-G |
| | | | 付属品 | 化粧ﾊﾟﾈﾙ・ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | |

換 気 機 器 表

| 記号 | 名称 | 仕様 | | | 電源 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24VF－１ | 天井埋込形換気扇 (24時間換気用) | 型式 低騒音ﾀｲﾌﾟ<br>付属品 24H専用ｽｲｯﾁ・SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 150Φ×300m3/H | 1Φ－100ｖ | 7 | VD-18ZLX8-CS<br>農産物直売所他 |
| 24VF－２ | 天井埋込形換気扇 (24時間換気用) | 型式 低騒音ｵｰﾙ金属ﾀｲﾌﾟ<br>付属品 24H専用ｽｲｯﾁ・SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 100Φ×270m3/H | 1Φ－100ｖ | 2 | VD-18ZLY8<br>菓子調理実習室他 |
| 24VF－３ | 天井埋込形換気扇 (24時間換気用) | 型式 低騒音ﾀｲﾌﾟ<br>付属品 24H専用ｽｲｯﾁ・SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 100Φ×200m3/H | 1Φ－100ｖ | 1 | VD-15ZLXP8-CS<br>準備室 |
| 24VF－４ | 天井埋込形換気扇 (24時間換気用) | 型式 低騒音ﾀｲﾌﾟ<br>付属品 24H専用ｽｲｯﾁ・SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 100Φ×150m3/H | 1Φ－100ｖ | 1 | VD-15ZLX8-CS<br>事務室 |
| 24VF－５ | 天井埋込形換気扇 (24時間換気用) | 型式 低騒音ﾀｲﾌﾟ<br>付属品 24H専用ｽｲｯﾁ・SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 100Φ×90m3/H | 1Φ－100ｖ | 5 | VD-10ZLC9-S<br>会議室他 |
| | | | | | | | |
| VF－１ | 天井埋込形換気扇 | 型式 低騒音<br>付属品 SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 100Φ×220m3/H | 1Φ－100ｖ | 1 | VD-15ZPC9<br>多目的ﾄｲﾚ |
| VF－２ | 天井埋込形換気扇 | 型式 低騒音<br>付属品 SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 100Φ×125m3/H | 1Φ－100ｖ | 1 | VD-13ZC9<br>倉庫 |
| VF－３ | 天井埋込形換気扇 | 型式 低騒音ｵｰﾙ金属ﾀｲﾌﾟ<br>付属品 SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 100Φ×156m3/H | 1Φ－100ｖ | 1 | VD-13ZY8<br>準備室 |
| VF－４ | 天井埋込形換気扇 | 型式 低騒音<br>付属品 SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 100Φ×90m3/H | 1Φ－100ｖ | 2 | VD-10ZC9<br>便所（女）・（男） |
| VF－５ | ﾊﾟｲﾌﾟ用ﾌｧﾝ | 型式 浴室・ﾄｲﾚ・洗面所用<br>付属品 SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ用ｽﾘｰﾌﾞ | 能力 | 100Φ×100m3/H | 1Φ－100ｖ | 1 | V-08PPM6<br>ﾌﾟﾛｱ室 |
| | | | | | | | |
| EF－１ | 斜流ダクトファン | 型式 標準形<br>付属品 給排気グリル・SUS製防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ・天吊金具 | 能力 | 1,500m3/H | 1Φ－100ｖ | 2 | JF-150S3<br>男・女ﾄｲﾚ |
| EF－２ | 有圧換気扇 | 型式 低騒音ｽﾃﾝﾚｽ形<br>付属品 電動式鋼板製ｼｬｯﾀｰ・保護ｶﾞｰﾄﾞ・SUS製ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ・木枠 | 能力 | 3,000m3/H | 3Φ－200ｖ | 2 | EG-50ETXB3<br>菓子調理実習室 |
| EF－３ | 有圧換気扇 | 型式 低騒音ｽﾃﾝﾚｽ形<br>付属品 電動式鋼板製ｼｬｯﾀｰ・保護ｶﾞｰﾄﾞ・SUS製ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ・木枠 | 能力 | 1,600m3/H | 3Φ－200ｖ | 2 | EG-40CTXB3<br>菓子調理実習室他 |
| EF－４ | 有圧換気扇 | 型式 低騒音ｽﾃﾝﾚｽ形<br>付属品 電動式鋼板製ｼｬｯﾀｰ・保護ｶﾞｰﾄﾞ・SUS製ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ・木枠 | 能力 | 3,200m3/H | 3Φ－200ｖ | 2 | EF-40DTXB3<br>仕出・惣菜調理実習室 |
| | | | | | | | |
| OA－１ | 給気用ｸﾞﾘﾙ | 型式 給排気ｸﾞﾘﾙ（ﾈｯﾄﾌｨﾙﾀｰ付） 150Φ用 | | | | 5 | P-18GLF5<br>農産物直売所他 |
| OA－２ | 給気用ｸﾞﾘﾙ | 型式 給排気ｸﾞﾘﾙ（ﾈｯﾄﾌｨﾙﾀｰ付） 100Φ用 | | | | 3 | P-13GLF5<br>準備室他 |

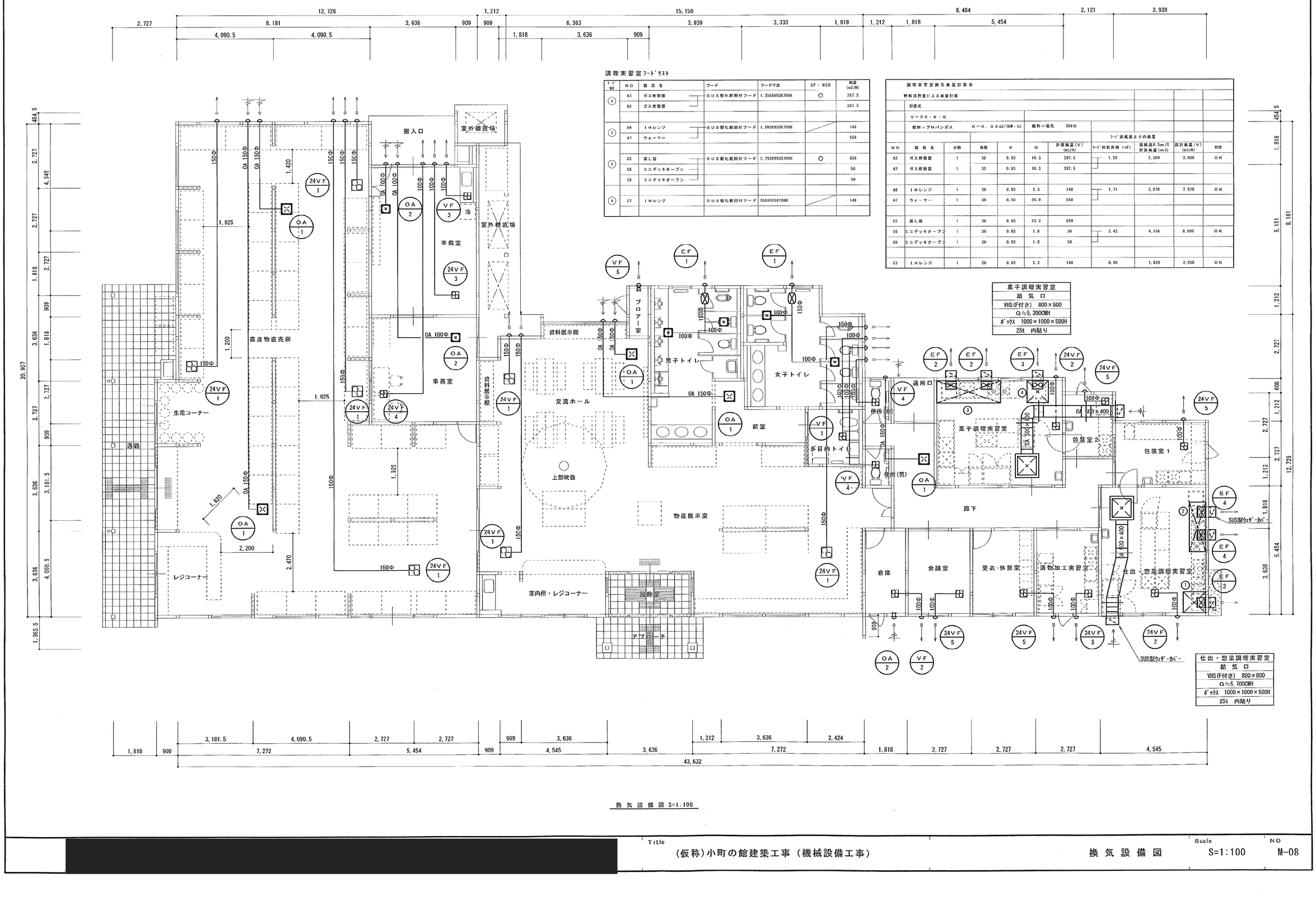
[redacted]

Title (仮称)小町の館建築工事（機械設備工事)

Scale

冷暖房・換気設備機器表

NO M-07




調理実習室フードリスト

| フードNO | NO | 器具名 | フード | フード寸法 | GF・HGD | 風量(m3/H) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | A3 | ガス炊飯器 | SUS製化粧囲付フード | 1,350X950X700H | ○ | 287.5 |
| | A3 | ガス炊飯器 | | | | 287.5 |
| ② | A6 | IHレンジ | SUS製化粧囲付フード | 1,800X950X700H | | 148 |
| | A7 | ウォーマー | | | | 558 |
| ③ | C5 | 蒸し器 | SUS製化粧囲付フード | 2,750X950X700H | ○ | 650 |
| | C6 | ミニデッキオーブン | | | | 50 |
| | C6 | ミニデッキオーブン | | | | 50 |
| ④ | C7 | IHレンジ | SUS製化粧囲付フード | 950X950X700H | | 148 |

調理実習室換気風量計算表

燃料消費量による風量計算

計算式

V＝30・K・Q

燃料＝プロパンガス　K＝0．93m3/(KW・h)　燃料＝電気　30XQ

| NO | 器具名 | 台数 | 係数 | K | Q | 計算風量(V)(m3/H) | フード開口面積(㎡) | フード開口速0.5m/S計算風量(m3) | 設計風量(V)(m3/H) | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | フード開口速よりの風量 | | | | |
| A3 | ガス炊飯器 | 1 | 30 | 0.93 | 10.3 | 287.5 | 1.28 | 2,304 | 3,060 | OK |
| A3 | ガス炊飯器 | 1 | 30 | 0.93 | 10.3 | 287.5 | | | | |
| A6 | IHレンジ | 1 | 30 | 0.93 | 5.3 | 148 | 1.71 | 3,078 | 7,520 | OK |
| A7 | ウォーマー | 1 | 30 | 0.93 | 20.0 | 558 | | | | |
| C5 | 蒸し器 | 1 | 30 | 0.93 | 23.3 | 650 | | | | |
| C6 | ミニデッキオーブン | 1 | 30 | 0.93 | 1.8 | 50 | 2.42 | 4,356 | 8,000 | OK |
| C6 | ミニデッキオーブン | 1 | 30 | 0.93 | 1.8 | 50 | | | | |
| C7 | IHレンジ | 1 | 30 | 0.93 | 5.3 | 148 | 0.90 | 1,620 | 3,060 | OK |

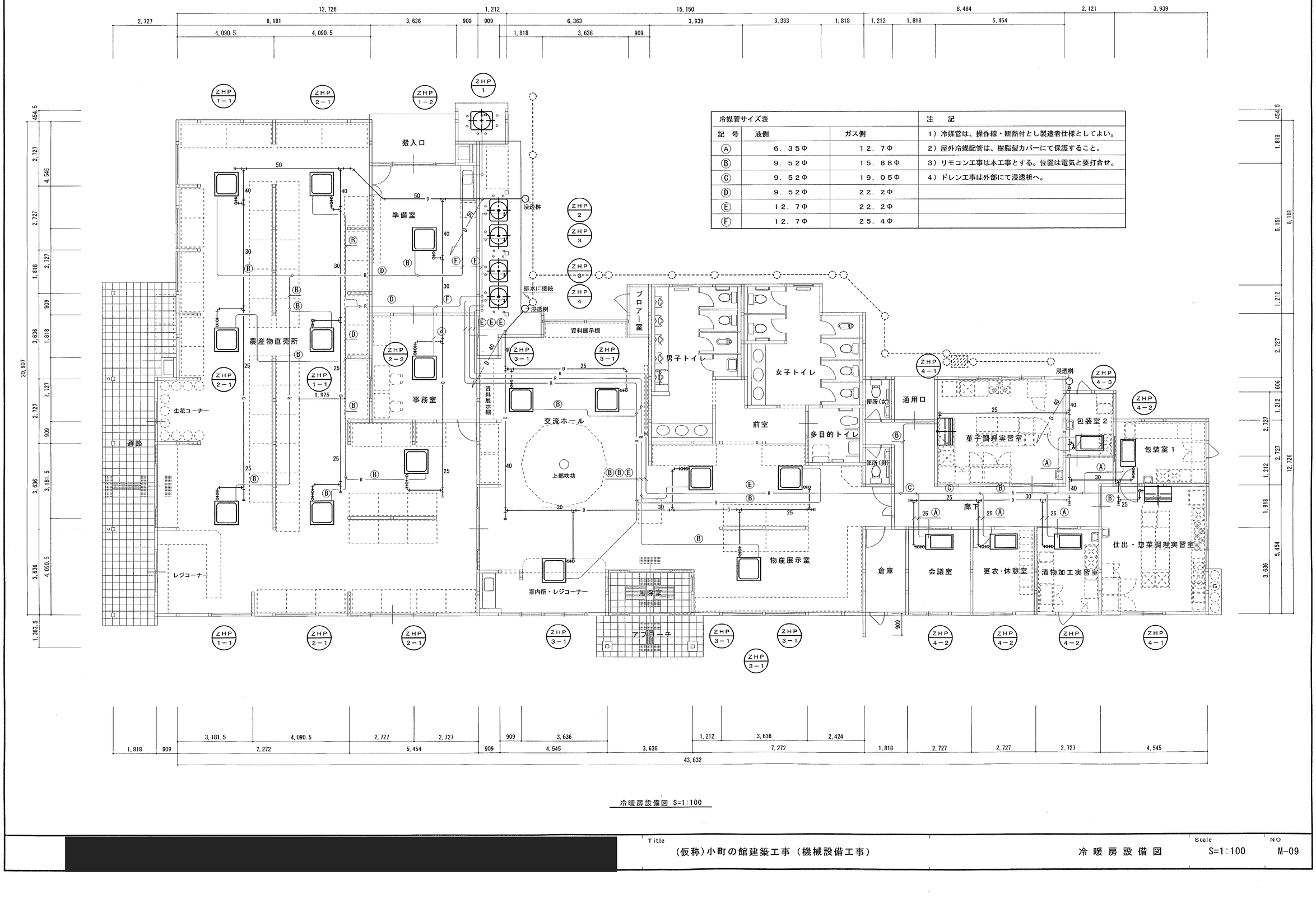
| 菓子調理実習室 |
|---|
| 給気口 |
| VHS(F付き) 800×800 |
| Q≒5,300CMH |
| ﾎﾞｯｸｽ 1000×1000×500H |
| 25t 内貼り |

| 仕出・惣菜調理実習室 |
|---|
| 給気口 |
| VHS(F付き) 800×800 |
| Q≒5,700CMH |
| ﾎﾞｯｸｽ 1000×1000×500H |
| 25t 内貼り |

換気設備図 S=1:100

[redacted]

Title: (仮称)小町の館建築工事（機械設備工事)　換気設備図　Scale: S=1:100　NO: M-08




| 冷媒管サイズ表 | | | 注　記 |
|---|---|---|---|
| 記　号 | 液側 | ガス側 | 1）冷媒管は、操作線・断熱付とし製造者仕様としてよい。 |
| Ⓐ | 6．35Φ | 12．7Φ | 2）屋外冷媒配管は、樹脂製カバーにて保護すること。 |
| Ⓑ | 9．52Φ | 15．88Φ | 3）リモコン工事は本工事とする。位置は電気と要打合せ。 |
| Ⓒ | 9．52Φ | 19．05Φ | 4）ドレン工事は外部にて浸透桝へ。 |
| Ⓓ | 9．52Φ | 22．2Φ | |
| Ⓔ | 12．7Φ | 22．2Φ | |
| Ⓕ | 12．7Φ | 25．4Φ | |

冷暖房設備図 S=1:100

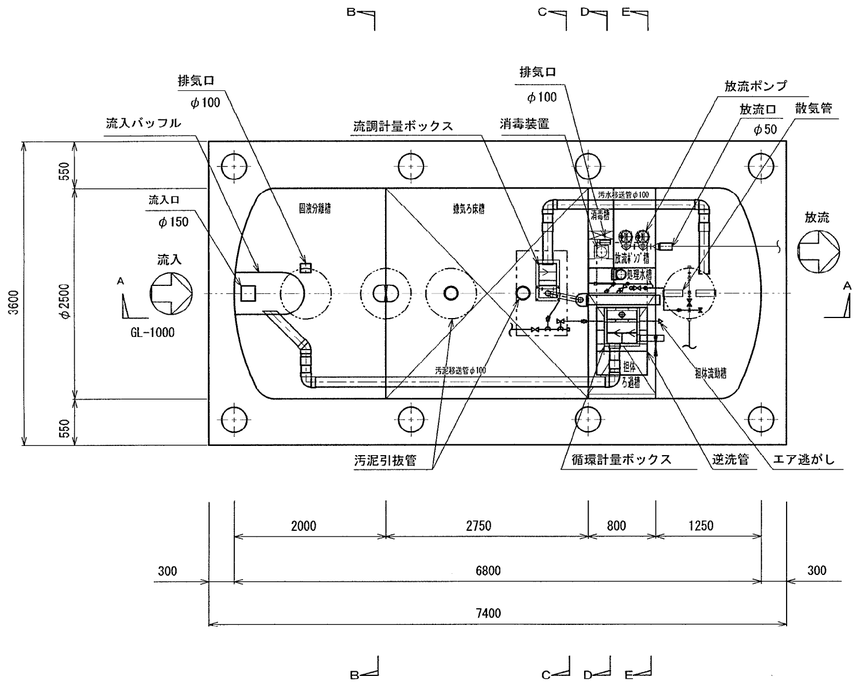
[redacted]

Title
(仮称)小町の館建築工事（機械設備工事）

冷暖房設備図

Scale
S=1:100

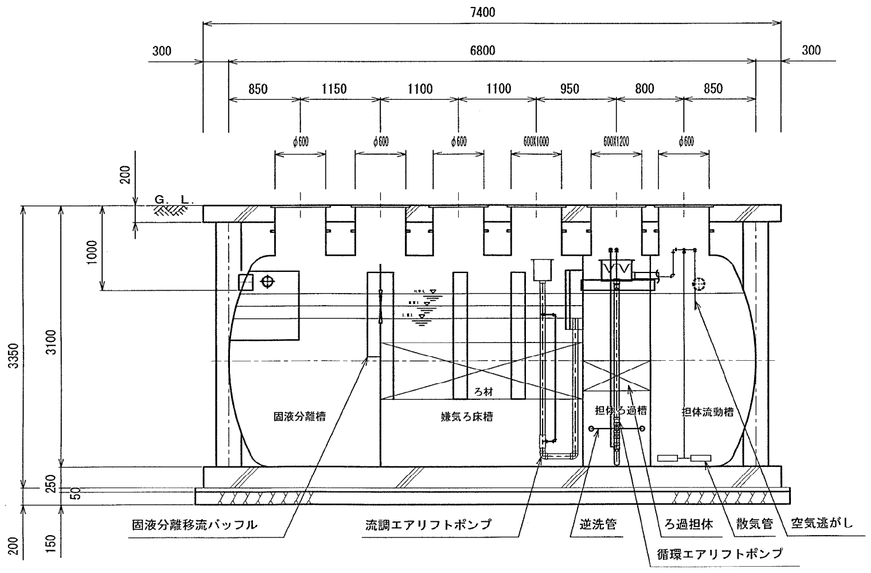
NO
M-09



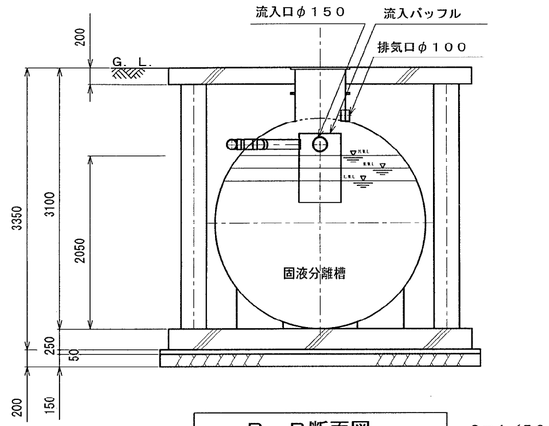




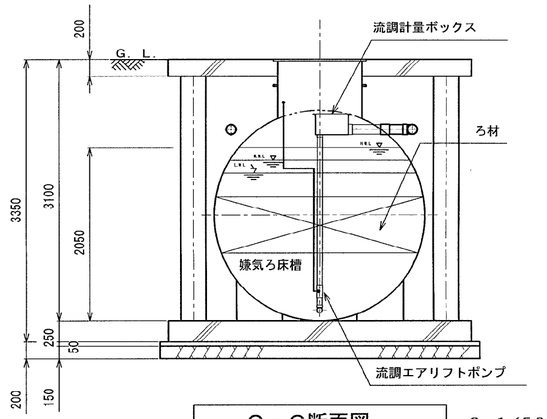
## 平　面　図　　S＝1／50



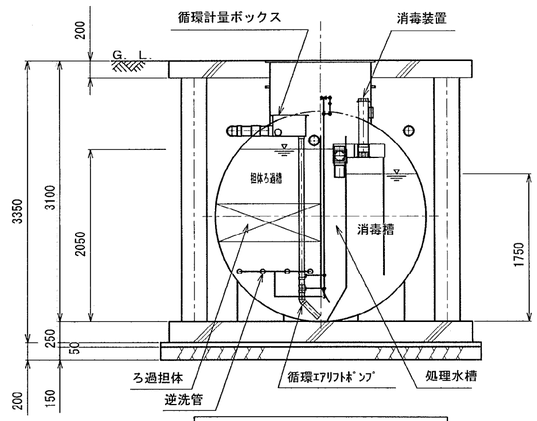

## Ａ－Ａ断面図　　S＝1／50



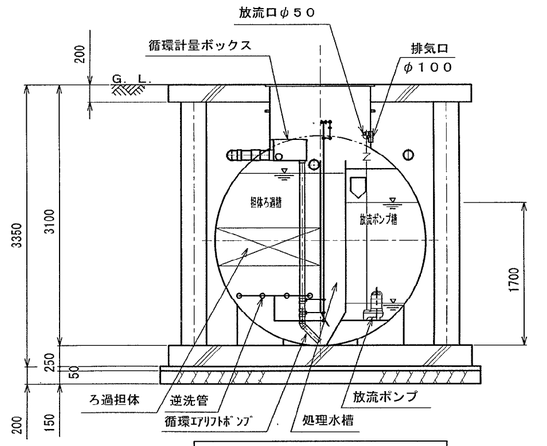

## Ｂ－Ｂ断面図　　S＝1／50




## Ｃ－Ｃ断面図　　S＝1／50




## Ｄ－Ｄ断面図　　S＝1／50




## Ｅ－Ｅ断面図　　S＝1／50

| 点検口蓋仕様（5000K） | | |
|---|---|---|
| H1 | φ600 | 3 |
| H2 | 600×1000 | 1 |
| H3 | 600×1200 | 1 |

| 機　器　リ　ス　ト | | |
|---|---|---|
| 機　器　名 | 仕　　様 | (50Hz/200V) |
| ばっ気ブロワ | 0.35m³/min×0.02MPa×25A×0.4kW×2台 | |
| 流調ｴｱﾘﾌﾄﾌﾞﾛﾜ | 0.12m³/min×0.02MPa×15A×0.2kW×1台 | |
| 放流ポンプ | 0.08m³/min×5.0m×φ40×0.15kW×2台 | |

※本槽補強リングは、ＦＲＰ製とする。
※チェッカープレート枠は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
※マンホール・チェッカープレートは、ボルトロック式、防臭パッキン付きとする。
※汚水移送管・汚泥移送管は、槽外配管とする。
※カサ上げ３００mm付

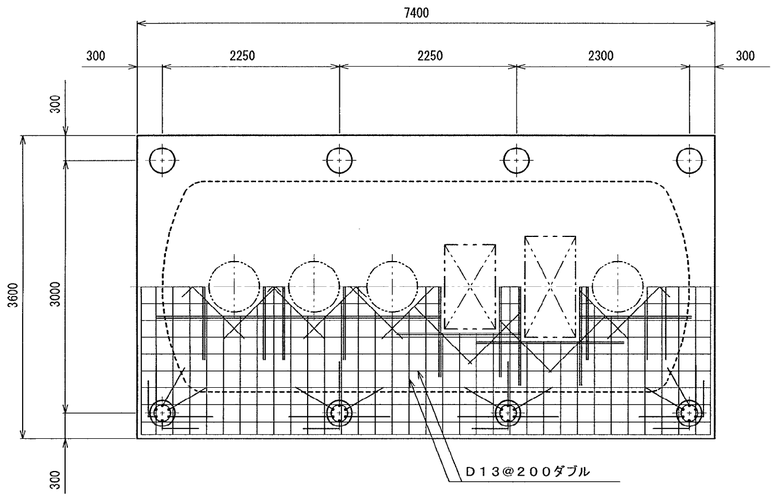
| クボタ浄化槽仕様書 | | |
|---|---|---|
| 型　　式 | K－HC－T－IC | |
| 処理対象人員 | 90　人 | |
| 日平均汚水量 | 16.0　m³／日 | |
| 流入BOD量 | 3.520　kg／日 | |
| 流入水質 | BOD | 220　mg／ℓ |
| 処理水質 | BOD | 20　mg／ℓ 以下 |
| 処理方式 | ピークカット流量調整型固液分離<br>嫌気ろ床担体流動ろ過循環方式 | |
| 型式認定番号 | 6－08－H－003（07）－6 | |
| 型式適合認定番号 | 型01CafOa1013625 | |
| 有効容量 流量調整部 | 2.56　m³ | |
| 有効容量 固液分離槽 | 6.58　m³ | |
| 有効容量 嫌気ろ床槽 | 9.60　m³ | |
| 有効容量 担体流動槽 | 4.70　m³ | |
| 有効容量 担体ろ過槽 | 1.36　m³ | |
| 有効容量 処理水槽 | 0.81　m³ | |
| 有効容量 消毒槽 | 0.39　m³ | |
| 有効容量 放流ポンプ槽 | 0.53　m³ | |
| 有効容量 総容量 | 26.53　m³ | |

Title
（仮称）小町の館建築工事（機械設備工事）

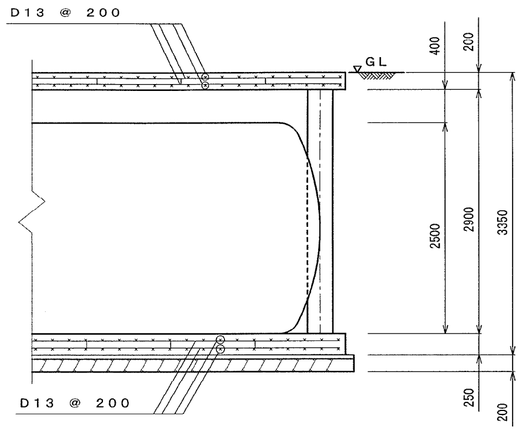
浄化槽設備図（1）

Scale
S=1:50

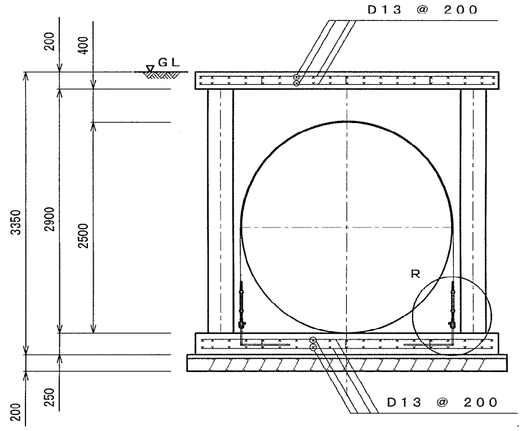
NO
M-10



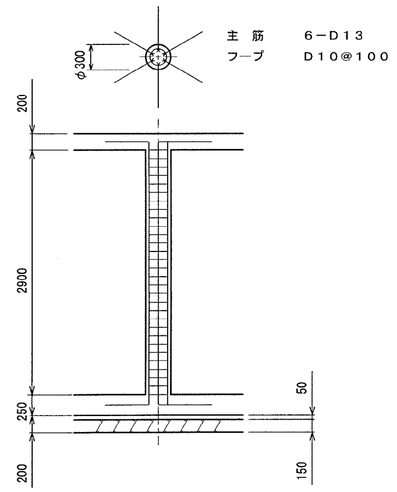

上版伏図　S＝1／50



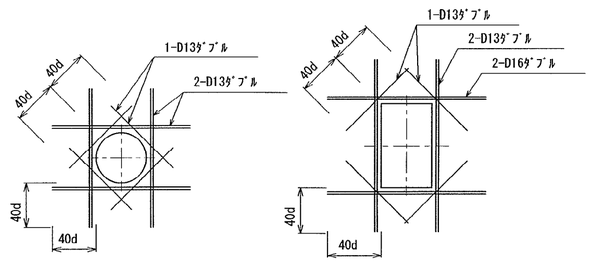

A－A断面配筋図　S＝1／50



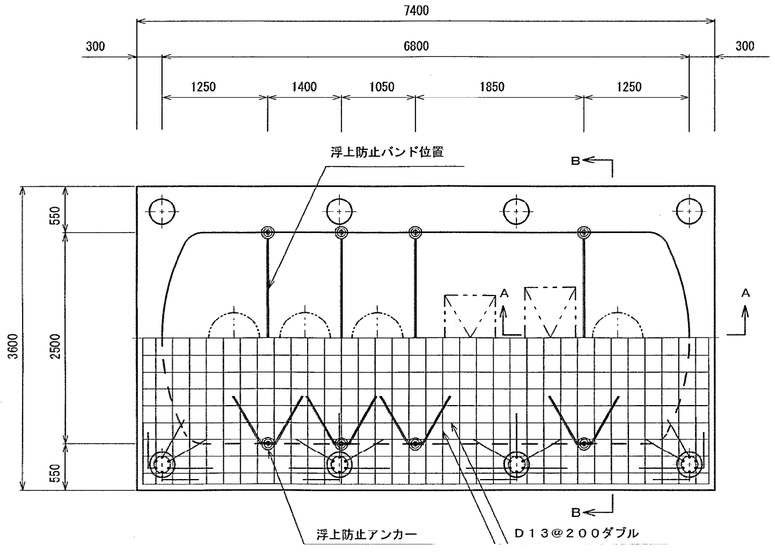

B－B断面配筋図　S＝1／50



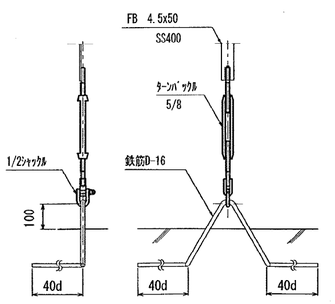

柱　断面図　S＝1／50




床 開口補強筋要領図




底盤伏図　S＝1／50

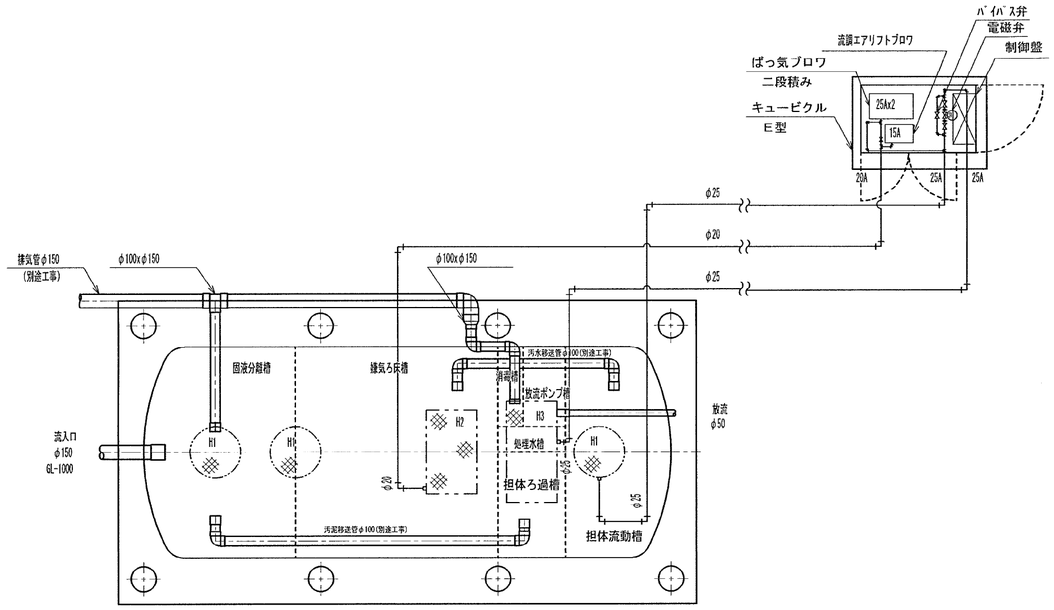



R部詳細図

・アンカーは別途土木工事に含む。

| 特記事項 | | |
|---|---|---|
| 1．使用材料 | コンクリート | ＦＣ＝２１Ｎ／mm² 但し、捨てコン・無筋コンクリートはＦＣ＝１８Ｎ／mm² |
| | 鉄筋 | ＳＤ２９５Ａ（規格品） |
| 2．配筋事項 | 継ぎ手・定着長さ | 全て４０ｄとする |
| | 巾止め筋 | Ｄ１０@１０００ |
| | | |
| | その他 | |
| | | |
| 3．鉄筋のかぶり厚さ | 上床版 | ５０ |
| | 柱 | ５０ |
| | 底盤 | ７０ |
| | | |
| | | |
| 4．地耐力その他 | 必要地耐力 | ６０ｋＮ／m²以上 |
| | 施工時に地質、地下水位を調査し、地耐力を確認すること。 | |
| | | |
| | Ｔ－６仕様 | |
| | | |

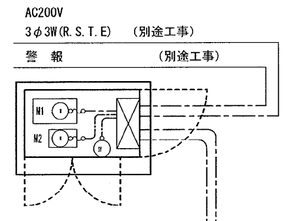
Title　(仮称)小町の館建築工事（機械設備工事）　浄化槽設備図（２）　Scale S=1:50　NO M-11

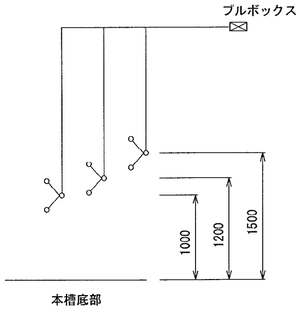



槽外配管工事図　S＝1／50

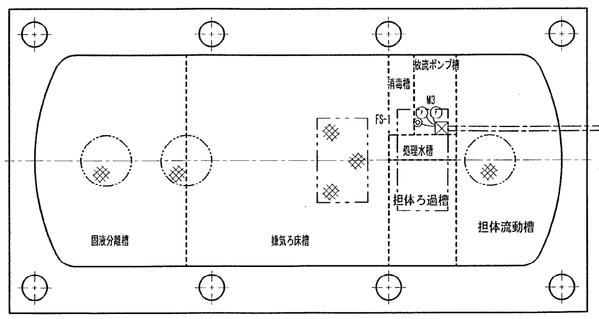
| 外部配管仕様 | |
|---|---|
| 汚水配管 | VU又はVP管 |
| エアー配管（埋設部） | V P 管 |
| 排気管 | V U 管 |

※ポンプ圧送の場合、汚水配管はＶＰ管とする。
※汚水移送管及び汚泥移送管は槽外配管のため、現場配管工事範囲とする。




放流ポンプ槽フロート図




電気工事図　S＝1／50

| 記号 | 機器名称 | 出力 | 台数 | 電線 | 電線管径 | プルボックス ☒ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| M1 | ばっ気ブロワ | 0.40kW | 2 | キュービクル内配線済 | | |
| M2 | 流調エアリフトブロワ | 0.20kW | 1 | | | |
| M3 | 放流ポンプ | 0.15kW | 2 | CV2-□4 ○ | 28x1 | 150x150x100(PVC) |
| SV | 電磁弁 | ——— | 1 | キュービクル内配線済 | | |
| FS-1 ◎ | フロートスイッチ | ——— | 3 | CVV2-□4 ○ | 22x1 | ——— |

※プルボックスは非附属品です。
※制御盤内へのガス（塩素ガス等）の流入を防止するため
　プルボックス及び盤内への配線入口側をコーキング処理すること。
※接地（Ｄ種）は、確実に取ること。

[redacted]

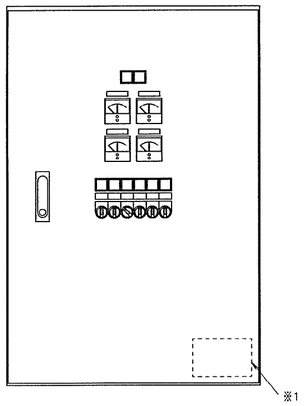
Title
(仮称)小町の館建築工事（機械設備工事)

浄化槽設備図（３）

Scale
S=1:50

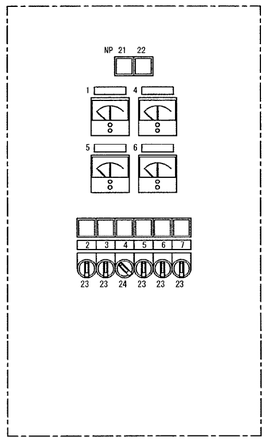
NO
M-12

## 正面図




※1：　指定のケーブル施工
　　注意ラベル（扉裏側）

## 機器配置図（盤表面）




## 銘板表

| 記号 | 記入文字 |
|---|---|
| NP01 | 汚水処理装置制御盤 |
| 02 | 社名板 |
| | |
| NP 1 | ばっ気ブロワ |
| 2 | 1号 ばっ気ブロワ |
| 3 | 2号 ばっ気ブロワ |
| 4 | 流調エアリフトブロワ |
| 5 | 1号 放流ポンプ |
| 6 | 2号 放流ポンプ |
| 7 | 逆洗用電磁弁 |
| | |
| | |
| NP21 | 電源 |
| 22 | 放流槽 満水 |
| 23 | 手動－切－自動 |
| 24 | 切－入 |
| | |
| | |
| | |

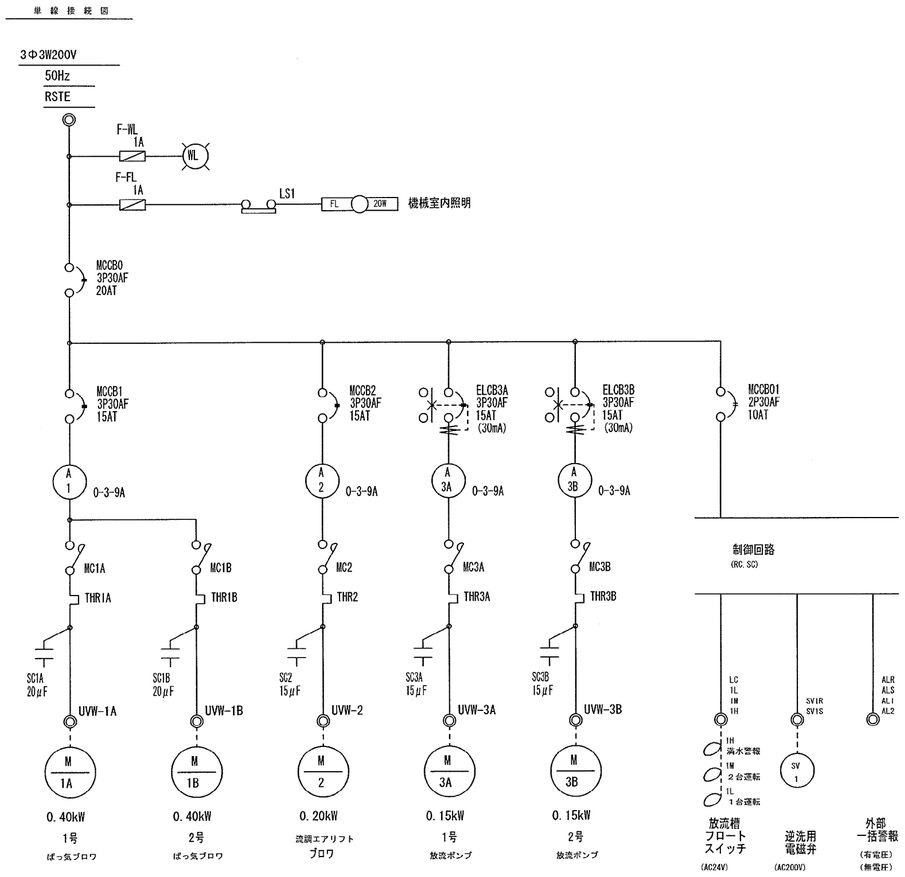
## 制御盤仕様表

| 形式 | キュービクル組込形 |
|---|---|

| 鋼板仕様 | 板厚 | 材質 |
|---|---|---|
| ボックス | 1.6mm | SPC |
| ドア | 2.3mm | SPC |

| 塗装仕様 | 色彩　(マンセル値) | つや |
|---|---|---|
| 盤表面 | 5Y7/1 | 半つや |
| 盤内面 | 5Y7/1 | 半つや |

## 単線接続図



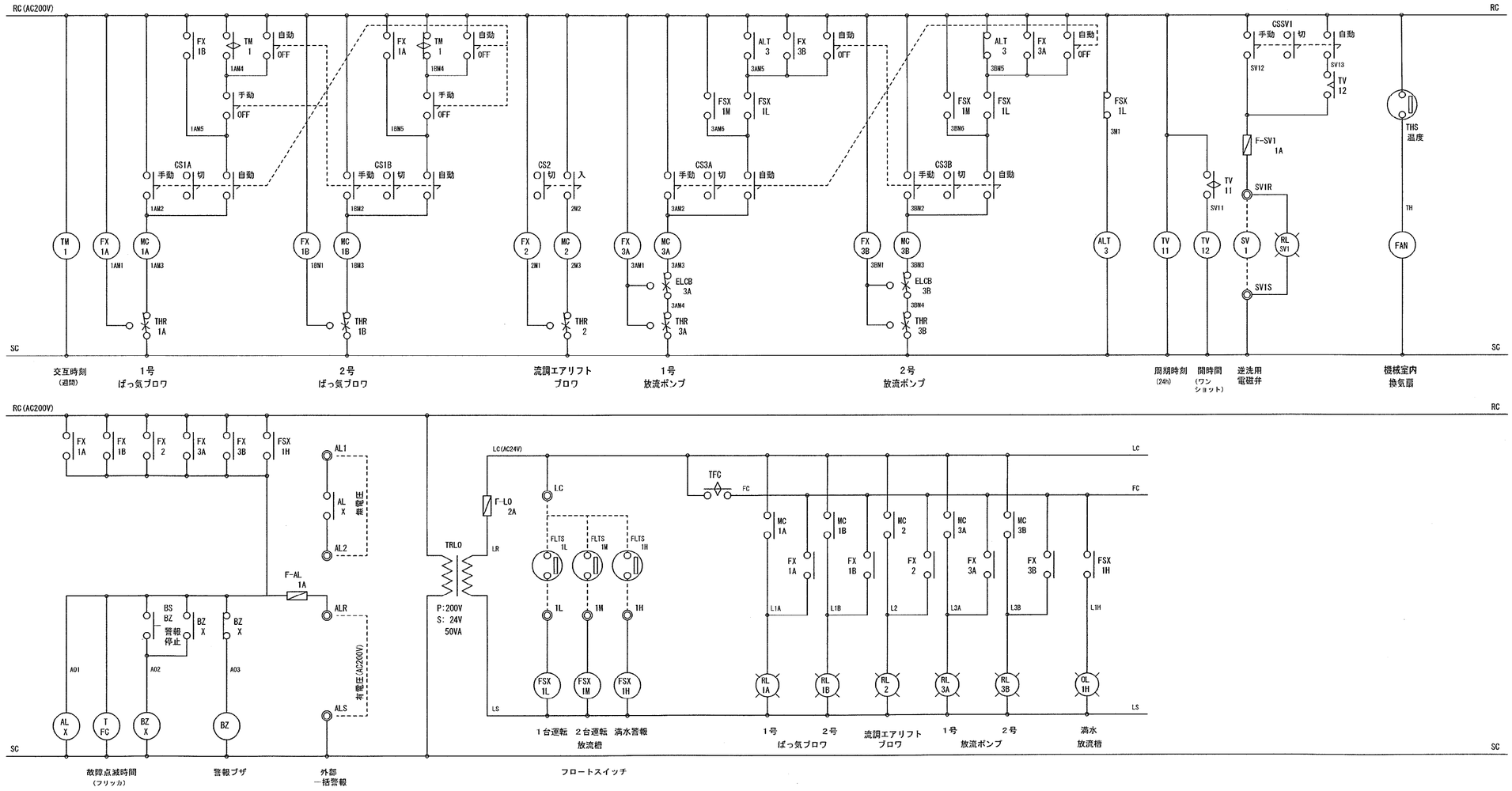

## 外部接続端子表

| R | S | T | E |
|---|---|---|---|
| 入力電源 (AC200V) | | | |

| U1A | V1A | W1A | E | U1B | V1B | W1B | U2 | V2 | W2 | E | U3A | V3A | W3A | E | U3B | V3B | W3B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1号 2号 ばっ気ブロワ | | | | | | | 流調エアリフトブロワ | | | | 1号 2号 放流ポンプ | | | | | | |

| LC | 1L | 1M | 1H | SV1R | SV1S | ALR | ALS | AL1 | AL2 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 放流槽フロートスイッチ | | | | 逆洗用電磁弁 | | (有電圧) (AC200V) 外部一括警報 | | (無電圧) 外部一括警報 | | 予備 | |

展 開 接 続 図





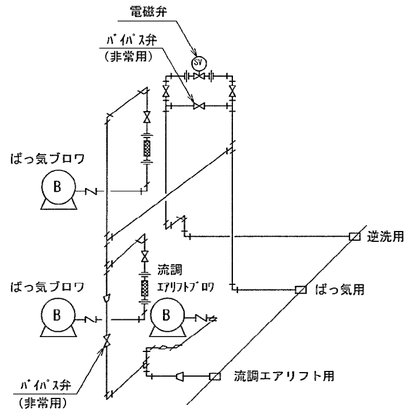


Title
(仮称)小町の館建築工事(機械設備工事)

Scale

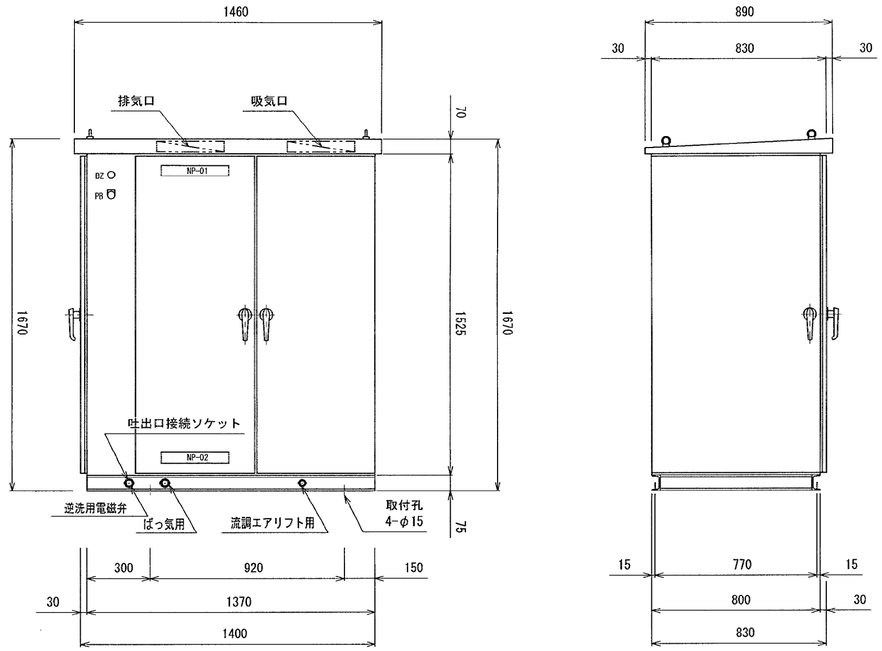
NO
M-14

浄 化 槽 設 備 図 (5)




注）組込機器により、配管ルートが変更される場合があります。

## 配管系統図







## 外形図

S＝1／20

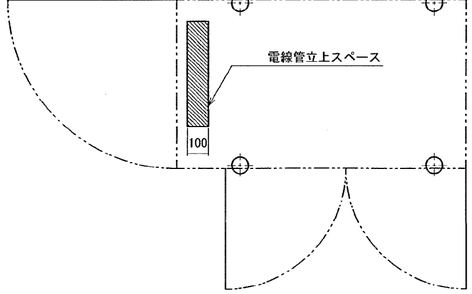
### 機械室　E型

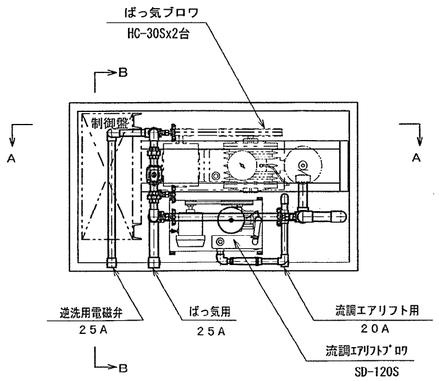
本体仕様

| | | |
|---|---|---|
| 1．構造 | 屋外自立防水型 | |
| 2．材料 | ＳＰＣ－２．３ｔ | |
| | ７５×４０x５t（チャンネルベース） | |
| 3．塗装色 | 中外共 マンセル５Ｙ７／１ | |
| 4．防音材 | 内部グラスウール３２Ｋ（２５ｔ） | |

特記事項

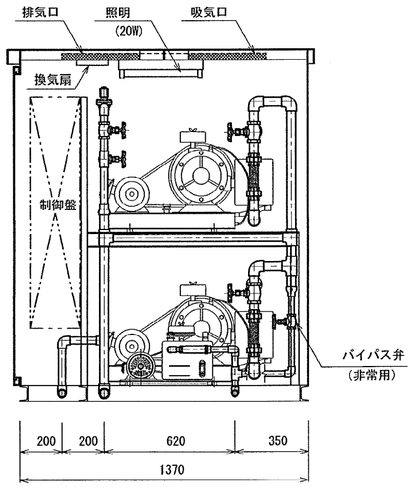
1．ブロワの配管及び電磁弁配管、配管サポートを含む。
2．ブロワは、防振ゴムにて取付。
3．ブロワ、電磁弁、換気扇、照明の配線を含む。
4．換気扇は、サーモを付属する。



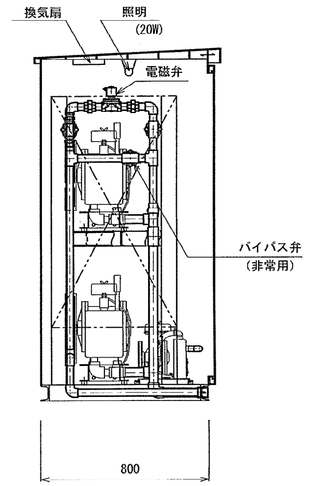

## 内部平面図

S＝1／20




## Ａ－Ａ断面図

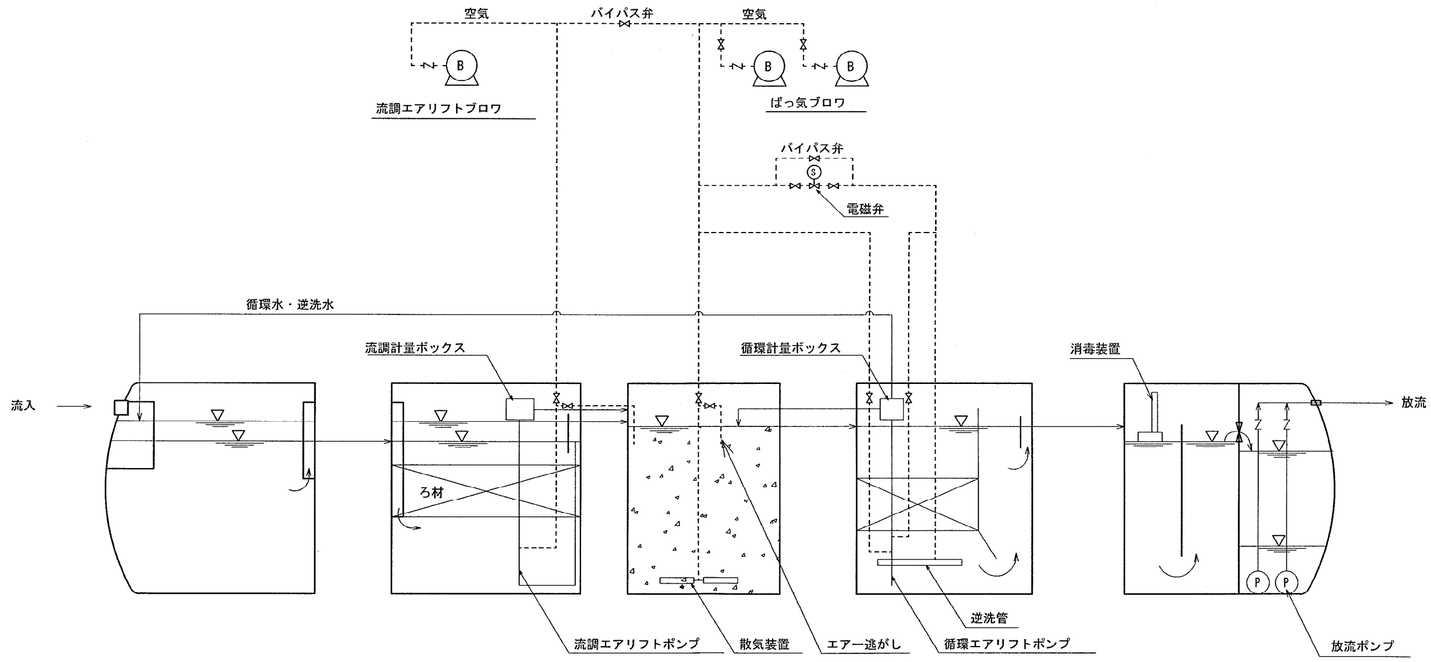
S＝1／20




## Ｂ－Ｂ断面図

S＝1／20

| Title | Scale | NO |
|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（機械設備工事） 浄化槽設備図（６） | S=1:20 | M-15 |




K－HC－T型　フローシート

| Title | | Scale | NO |
|---|---|---|---|
| (仮称)小町の館建築工事（機械設備工事） | 浄 化 槽 設 備 図（7） | | M-16 |